

第4次三鷹市基本計画第2次改定等に向けた  
市民満足度・意向調査

報告書

平成30年12月

三鷹市



## はじめに

このたび、『第4次三鷹市基本計画』の第2次改定や関連する個別計画の改定等に向けて、現行の各施策に対する市民の皆様の満足度を把握するとともに、行政サービスや施策に関するご意向や多様なご意見を伺うために行った「第4次三鷹市基本計画の第2次改定等に向けた市民満足度・意向調査」の結果を取りまとめた報告書を発行いたします。

「市民満足度・意向調査」は、市民の皆様の市政に関する想いや考え、評価等を伺うために、基本計画の策定及び改定の前年度に行っています。本調査は、住民基本台帳から無作為で選ばせていただいた満15歳以上の市民の皆様3,500人に調査票を郵送し、1,667人の方に回答していただきました。

本調査では、まずは前回実施した平成26(2014)年度の調査と同様の調査項目についてお聞きし、三鷹市政についての市民の皆様の満足度、ご意向や評価等についての現状や経年変化を分析しています。また、少子高齢化の進展をはじめとする社会変動の中で、市政の将来課題を見据えたコミュニティ、防災、子育て、そして東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などの設問を加えて、多角的なテーマに関する市民の皆様のお考えをお聞きしました。

回答については、性別・年齢・居住地区などの基本的属性との相関関係を確認するクロス集計を実施したほか、『第4次三鷹市基本計画(第1次改定)』の最重点・重点プロジェクトと関連性の高い設問について、複数の設問の回答同士のクロス集計を実施して、異なる施策に関する市民の皆様の意識や評価の相関関係について分析しています。

三鷹市では、地域課題解決のために地域の暮らしの実態を反映した統計データに基づいて検討していく「EBPM: Evidence Based Policy Making(根拠に基づく政策形成)」の考えを積極的に推進しています。そこで、「市民満足度・意向調査」の結果は検討の基礎となる極めて大切なデータです。平成31(2019)年度に予定している『第4次三鷹市基本計画』の第2次改定及び関連する個別計画の改定に当たって、この調査結果をはじめとした様々な情報と地域課題を市民の皆様と共有させていただくことが必要です。そして、市民の皆様の暮らしやすさの向上を図りつつ、市民の皆様が三鷹市に住み続けたい、三鷹市で活動していきたいと感じていただける方向を目指して、丁寧に基本計画等の改定作業に取り組んでいきたいと考えています。

結びに、今回の調査に回答していただきました市民の皆様が心から感謝申し上げますとともに、本報告書が市民の皆様をはじめ、関係行政機関や企業等の皆様にも役立てていただけることを心から願っています。

平成30(2018)年12月

三鷹市長 清原慶子



# 目次

I	アンケート調査の概要	1
II	調査結果の概要	4
III	回答者の属性	9
IV	調査結果	13
1	三鷹市での今後の定住意向	13
(1)	三鷹市での今後の定住意向	13
(2)	三鷹市での定住意向の理由	18
(3)	三鷹市からの転出意向の理由	23
2	近所づきあいや地域活動	25
(1)	近所づきあいの程度	25
(2)	地域とのつながりや近所づきあいの満足度	29
(3)	日常生活の手助けや相談する相手	33
(4)	支えあう地域社会のために三鷹市が推進すべき取り組み	38
(5)	地域活動の参加状況	44
(6)	現在行っている活動と今後行いたい活動	48
(7)	地域活動に参加する条件	55
3	市の重点プロジェクトに対する満足度と今後の取り組みの重要性	60
(1)	市の重点プロジェクトに対する満足度	61
(2)	今後の取り組みの重要性	63
(3)	施策についての総合評価	65
4	三鷹市政に対する総合的な満足度・行政機関としての信頼度	70
(1)	三鷹市政の満足度	70
(2)	三鷹市政の満足度の理由	73
(3)	三鷹市役所の行政機関としての信頼度	74
(4)	三鷹市役所に期待すること	77
5	日頃の防災意識や行動	78
(1)	日頃の地震対策	78
(2)	地震対策を行わない理由	81
(3)	地震発生時の市からの災害情報取得手段	83
6	交通安全に対する意識	85
(1)	自転車の安全運転対策	85

<b>7 生活圏での買物環境に対する意識</b>	87
(1) 買物困難の有無	87
(2) 買物困難の理由	90
<b>8 環境に対する意識や行動</b>	93
(1) 日頃の環境に配慮した取り組み	93
<b>9 ライフ・ワーク・バランス</b>	96
(1) 「生活と仕事の調和（ライフ・ワーク・バランス）」の認知	96
(2) 仕事、家庭、地域・個人の生活における理想と現実の優先度比較	98
<b>10 男女平等に関する考え</b>	101
(1) 男女平等に関する意識	101
<b>11 子育て支援施策に対する意識</b>	106
(1) 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策の有無	106
(2) 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策	108
<b>12 健康に対する意識や行動</b>	113
(1) 健康診断の受診有無	113
(2) 健康診断の受診場所	114
(3) 健康診断を受診しない理由	116
<b>13 スポーツに対する意識や活動</b>	118
(1) スポーツを行う頻度	118
(2) スポーツを行わない理由	121
<b>14 芸術・文化や生涯学習に対する意識や活動</b>	123
(1) 芸術・文化の鑑賞・体験状況	123
(2) 芸術・文化の鑑賞・体験頻度	126
(3) 生涯学習活動を行う頻度	128
(4) 生涯学習活動で身に付けた知識・技能の活用の有無	130
(5) 生涯学習活動を行わない理由	131
(6) 今後行いたい生涯学習活動	133
(7) 三鷹市立図書館利用頻度	136
(8) 三鷹市立図書館を利用しない理由	139
(9) 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス	143
<b>15 東京 2020 大会、ラグビーワールドカップ 2019</b>	148
(1) 両大会の三鷹市への期待できる効果	148
(2) ボランティア協力意向	151
(3) ボランティアに協力したくない、できない理由	153
<b>資料編</b>	155
調査票	155

# I アンケート調査の概要

## 1 調査の目的

「第4次三鷹市基本計画(平成23年度～平成34年度)」第2次改定の基礎資料とするため、現行の各施策に対する市民の満足度を把握するとともに、多様な市民意見等を収集するために調査を実施した。

## 2 調査方法

### (1) 調査方法

郵送配布・郵送回収

### (2) 調査対象と抽出方法

市内在住の満15歳以上の男・女の中から、住民基本台帳をもとに無作為に抽出した。

### (3) 調査期間

平成30年6月1日～6月30日

### (4) 調査対象サンプル数

・標本数 3,500

・有効回収数 1,667 (総回収数 1,670 無効票 3)

・有効回収率 47.6%

## 3 調査項目

実施方針に即して、以下のような調査項目を設定した。

(1) 回答者の属性

(2) 三鷹市での今後の定住意向

(3) 近所づきあいや地域活動

(4) 市の重点プロジェクトに対する満足度と今後の取り組みの重要性

(5) 三鷹市政に対する総合的な満足度・行政機関としての信頼度

(6) 日頃の防災意識や行動

(7) 交通安全に対する意識

(8) 生活圏での買物環境に対する意識

(9) 環境に対する意識や行動

(10) ライフ・ワーク・バランス

(11) 男女平等に関する考え

(12) 子育て支援施策に対する意識

(13) 健康に対する意識や行動

(14) スポーツに対する意識や活動

(15) 芸術・文化や生涯学習に対する意識や活動

(16) 東京2020大会、ラグビーワールドカップ2019

## 4 標本誤差

下記は無作為抽出の標本誤差算出の数式である。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N=母集団の大きさ(15歳以上人口)  
n=回答数(1,667)  
P=回答の比率

今回の調査結果の標本誤差は、以下の標本誤差早見表のとおりとなる。

回答数が1,667人の設問の誤差の範囲は、最大で±2.4%となる。

表 I -1 標本誤差早見表

基数(n)		回答比率(p)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
総数		1,667	± 1.5%	± 2.0%	± 2.2%	± 2.4%	± 2.4%
性別	男性	707	± 2.3%	± 3.0%	± 3.4%	± 3.7%	± 3.8%
	女性	938	± 2.0%	± 2.6%	± 3.0%	± 3.2%	± 3.3%
年代	10代	63	± 7.6%	± 10.1%	± 11.5%	± 12.3%	± 12.6%
	20代	131	± 5.2%	± 7.0%	± 8.0%	± 8.6%	± 8.7%
	30代	241	± 3.9%	± 5.2%	± 5.9%	± 6.3%	± 6.4%
	40代	299	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
	50代	295	± 3.5%	± 4.7%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
	60代	246	± 3.8%	± 5.1%	± 5.8%	± 6.2%	± 6.4%
	70代	234	± 3.9%	± 5.2%	± 6.0%	± 6.4%	± 6.5%
80代以上	146	± 5.0%	± 6.6%	± 7.6%	± 8.1%	± 8.3%	

※本表の計算式の信頼度は95%である。

## 5 報告書の見方

(1) 回答の比率はその設問の回答数を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入している。したがって、比率の合計が必ずしも100.0%にならない場合がある。同様に、複数の回答の合計比率も図中の数字が一致しない場合がある。

(例:13頁 住みたい(計)[90.6%]=これからも住みたい[63.8%]+当分は住みたい[26.9%])

(2) 複数回答の設問は、その設問の回答数を基数として回答比率を算出しているため、すべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

(3) 設問に対して無回答があったクロス集計による分析では、各回答者数の合計が全体の回答者数と一致していない。

(4) 設問の回答数(基数)は「n」で表示している。回答数が30未満のものは誤差が大きくなるため、参考値とする。



## 6 用語説明

- (1) 「東京 2020 大会」とは、2020 年に東京で開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会のこと。
- (2) 「スポーツ」には、サッカー、野球等の競技スポーツだけでなく、健康・体力の保持増進を目的としたウォーキング、散歩(犬の散歩等を含む)、体操、ヨガ、太極拳等の軽い運動や野外活動としてのハイキングや登山、スキーなどを含む。
- (3) 「生涯学習」とは、人が生涯を通じ、各時期の興味や必要に応じて、自分の成長や生活の向上、社会のために自ら進んで行うさまざまな学習のこと。ボランティアや趣味の活動も含む。
- (4) 「地域活動」とは、特定の地域における市民活動(よりよい社会をつくるための、市民の自発的・主体的な活動)や生涯学習活動のこと。
- (5) 「三鷹市立図書館」は、図書館本館、三鷹駅前図書館、東部図書館、西部図書館、南部図書館、移動図書館ひまわり号、井の頭コミュニティ・センター図書室(連携館)のことをいう。

## II 調査結果の概要

### 1 三鷹市での今後の定住意向

三鷹市での定住意向は9割を占める。年齢別では、年代が上がるにつれ定住意向は高くなる傾向がみられる。また、居住年数別でも、居住年数が長くなるにつれ定住意向は高くなる傾向がみられる。

定住意向の理由として、「住環境が良い」「交通の便が良い」が6割を超え、「持ち家がある」「自然環境が良い」が5割を超える。年齢別では、「住環境が良い」「交通の便が良い」は各年代とも5割を超える。「持ち家がある」「近隣の間人間関係が良好である」は高年層ほど高くなる傾向を示している。

一方、転出意向の理由として、「交通の便が悪い」「買い物などに不便」「公共施設が利用しにくい」が上位に挙げられた。

### 2 近所づきあいや地域活動

近所づきあいの程度は、「会えばあいさつする程度」が半数強を占める。「ほとんどつきあいはない」は約1割である。年齢別では、近所との会話以上のつきあいがある割合は、30代以上で年代が上がるにつれ高くなる傾向にある。「ほとんどつきあいはない」または「会えばあいさつする程度」が高いのは、年齢別では10代・20代、居住年数別では3年未満で、近所づきあいの程度が低い傾向にある。

近所づきあいの満足度は、「満足している(計)」が6割を超え、「満足していない(計)」は1割未満である。

日常生活の手助けや相談する相手は、「家族・親戚」が約9割で最も高い。次いで「友人・知人(近隣以外)」「近所に住む友人・知人」などが続く。「行政や民間の専門相談窓口」は1割未満である。同居家族がいない場合は、「家族・親戚」が7割台にとどまっており、その代わりに「家族・親戚」以外の相手に相談している。特に「友人・知人(近隣以外)」の割合が増え、5割を超えている。

住民同士が共に支えあうための三鷹市が推進すべき取り組みは、「地域の居場所づくりや相談などを行う地域ケアネットワーク事業の推進」「孤立死などを防ぐ見守りネットワーク事業の推進」「地域で子どもを育てるコミュニティ・スクールの充実」が上位に挙げられた。

地域活動の参加状況は、「活動していない」が7割、「活動している」が1割半ば、「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」は1割強である。

現在行っている活動をみると、「町会・自治会や住民協議会の行事の運営に参加するなどの地域コミュニティ活動」が4割、「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動」が3割である。今は活動していないが今後活動したい人の今後行いたい活動は、「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動」が4割、「子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動」が3割である。また、「緑化推進活動」「子ども・子育て家庭支援活動」「防災活動」「教育・青少年育成活動」「地域福祉活動」も2割を超えており、様々な活動への参加意向があることがうかがえる。

地域活動に参加する条件として、今後活動したい人は「活動に関する情報提供の充実」が5割を超え、その他の条件も5割弱である。活動していない人は「仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担」が4割で最も高い。

### 3 市の重点プロジェクトに対する満足度と今後の取り組みの重要性

取り組みに対する評価では、満足度が相対的に高いプロジェクトは「都市再生プロジェクト」「安全安心プロジェクト」「サステナブルプロジェクト」などである。一方、満足度が相対的に低いのは「都市交通安全プロジェクト」である。

引き続き重点的に取り組む必要性では、重要度が最も高いプロジェクトは「安全安心プロジェクト」であり、次いで「子ども・子育て支援プロジェクト」「健康長寿社会プロジェクト」などが高い。重要度が最も低いプロジェクトは「地域活性化プロジェクト」である。

9つのプロジェクトを比較すると、満足度が高く、重要度も高い施策は「安全安心プロジェクト」である。今後の課題となる、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い施策は、「コミュニティ創生プロジェクト」である。

### 4 三鷹市政に対する総合的な満足度・行政機関としての信頼度

三鷹市政についての総合的な満足度は、「満足(計)」が7割を超える。一方、「不満(計)」は2割である。過去の調査結果と比較すると、ほとんど傾向は変わらない。

総合的な満足度の理由としては、満足な点は「施策の内容・取り組む姿勢・成果に満足／安定した市政運営」「住環境がよい／暮らしやすい」「職員応対がよい／市長が信頼できる」などが挙げられ、不満な点は「施策の内容・方向性・成果等に不満」「子育て支援の拡充を(医療費助成・待機児童解消等)」「行政サービス(医療・福祉・ごみ等)に不満・地域格差がある」「公共施設(図書館・駐輪場等)が不十分・不便」などが挙げられた。

三鷹市役所の行政機関としての信頼度は、「信頼できる(計)」が8割を超える。一方、「信頼できない(計)」は1割弱である。過去の調査結果と比較すると、「信頼できる(計)」はわずかずつではあるが、年々高くなる傾向にある。

三鷹市役所に期待することとしては、「若者向けの政策も考えてほしい」「全ての市民への支援をしてほしい」「魅力ある市を目指してほしい」「優先順位をよく考えて市政を行ってほしい」など「市政」への要望が最も多く、次いで「職員の対応・態度」「子育て支援」「公共施設」などへの要望も挙げられた。

### 5 日頃の防災意識や行動

日頃から行っている地震対策は、「避難するときに携帯する非常用持出袋を用意している」が4割を超え最も高い。「発災後自宅で最低3日間は生活できるよう、食料・水の備蓄をしている」「自宅の家具を固定している」も4割弱である。一方、「特に行っていない」が2割弱を占める。

地震対策を行わない理由としては、「何からどうすればいいのかわからない」が4割半ば、「忙しくて時間がない」が3割である。

大地震が発生した際の市からの災害情報取得手段は、「三鷹市防災行政無線」が5割を超え、次いで「携帯会社の災害情報通知」が4割である。

## 6 交通安全に対する意識

自転車に乗るための安全対策は、「左側通行・一時停止など交通ルールを順守している」が6割で最も高い。次いで「飲酒をしたら絶対に自転車に乗らない」「自転車保険に加入している」が3割前後である。「特に対策をしていない」は1割未満である。

## 7 生活圏での買物環境に対する意識

普段の食料品や日用品などの買物については、「特に困っているとは感じていない」が8割、「困っていると感じている」は2割弱である。

買物困難と感じる理由は、「近くに店が少ないから」が6割半ばで最も高い。次いで「重い荷物を持ってないから」が3割である。性別では、「近くに店が少ないから」は男女とも高いが、「重い荷物を持ってないから」「長く歩けないから」「自動車が使えないから」「自転車が使えないから」は男女差が大きく、女性の方が高いことから、買い物に際しての“足”に関して、女性が困難さを感じている。年齢別では、「重い荷物を持ってないから」「長く歩けないから」は70代以上が高い。地区別では、回答数が少ない地区もあるため注意が必要ではあるが、「近くに店が少ないから」は上連雀と下連雀が5割弱で、他の地区よりやや低い。中原は「坂が多いから」(45.7%)が他の地区と比べて倍以上高い。

## 8 環境に対する意識や行動

日頃から行っている環境に配慮した取り組みは、「シャンプーや調味料などは詰替え商品を購入し、容器を再利用している」が8割弱で最も高い。次いで「エコバッグを活用し、レジ袋はもらわないようにしている」「家電を買い替えるときは、省エネ性能の高いものを選んでいく」「食べ残しや消費期限切れなどによるごみを出さないようにしている」も5割を超えている。「特に行ってない」は1割未満である。

## 9 ライフ・ワーク・バランス

「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知は、「言葉も内容も知っている」が4割、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が3割強、「言葉も内容も知らない」は2割である。過去の調査結果と比較すると、「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」ともに前回より高くなっている。

「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度は、①理想の生活では、『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』『「家庭生活」を優先』が高い。②実際の生活では、『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』『「仕事」を優先』『「家庭生活」を優先』が高い。理想は「家庭生活」を優先しながら、「仕事」や「地域・個人の生活」も同様に優先したいと考えているが、実際は「仕事」のみ、「家庭」のみとなったり、あるいは「地域・個人の生活」は後回しとなっていることがうかがえる。

## 10 男女平等に関する考え

男女平等については、「平等になっている」が高いのは、「学校教育の場で」「家庭の中で」で、4割を占める。全ての項目で「女性優遇」より「男性優遇」の方が高いが、特に「男性優遇」が高いのは、「政治の場で」「社会全体で」である。

## 11 子育て支援施策に対する意識

三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策が「ある」が約半数を占める。「特にない」は2割弱である。

今後充実してほしい施策は、「保育園、学童保育所の待機児童解消」が6割で最も高い。次いで「子どもの医療費助成」「子育てと仕事の両立ができる職場づくり」「妊産婦への経済的支援」などが上位に挙げられた。

## 12 健康に対する意識や行動

年に1回の健康診断を「受けている」が8割強、「受けていない」が2割弱である。

健康診断の受診場所は、「勤務先・通学先の健康診査で」が5割半ばで最も高い。次いで「市が実施する健康診査で」が4割弱である。

健康診断を受診しない理由は、「受ける時間がないから」が3割弱で最も高い。次いで「現在治療中だから」「心身の調子が悪くなったら受ければよいと思うから」などが高い。

## 13 スポーツに対する意識や活動

この1年間でスポーツを行った頻度は、週1回以上行っている人が4割弱となっている。一方で、「1回も行っていない」も2割いる。

「1回も行っていない」人のスポーツを行わない理由は、「忙しくて時間がない」が4割で最も高い。次いで「きっかけがない」「健康に不安がある」「費用をかけたくない」が高い。

## 14 芸術・文化や生涯学習に対する意識や活動

この1年間の芸術・文化の鑑賞・体験状況は、「映画館での映画鑑賞」が5割弱で最も高い。次いで「歴史的な建物、遺跡、文化財の見学」「コンサートホールやライブ会場での音楽鑑賞」「美術館での絵画鑑賞」などが上位に挙げられた。「この1年間の間で一度も鑑賞・体験をしていない」は約2割である。

鑑賞・体験の頻度は、「年に1～3日」「3か月に1～2日」が4割弱、「1か月に1～3日」が2割弱である。

この1年間で生涯学習を行った頻度は、「1回も行っていない」が5割以上を占める。活動を行っている中では、「1か月に1～3日」が1割強で最も高い。

生涯学習を通じて身に付けた知識・技能を「活かしている」は4割、「活かしていない」は5割半ばである。

生涯学習を「1回も行っていない」人の行わない理由は、「忙しくて時間がない」が4割で最も高く、次いで「きっかけがない」が3割である。

今後行いたい生涯学習活動の内容は、「趣味的なもの(音楽、美術、書道、華道、舞踊、園芸など)」が5割半ばで最も高い。次いで「教養的なもの(歴史、文学、哲学など)」「健康法など(健康管理、栄養、医療など)」「語学(英語、中国語、ハングルなど)」がそれぞれ3割弱である。

この1年間の三鷹市立図書館の利用頻度は、「1回も利用していない」が6割を占める。一方、利用者の中では、「年に1～3日」「1か月に1～3日」が1割を超えている。

三鷹市立図書館を「1回も利用していない」人の利用しない理由は、「読みたい本・雑誌などは自分で購入する」が4割弱で最も高い。次いで「情報収集はインターネットで行う」「図書館サービスの拠点が近くにないため利用できない」がそれぞれ2割を超えている。

三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービスは、「閲覧席などの施設整備」「蔵書構成・蔵書冊数の充実」「開館時間の拡充」が2割を超えている。「特になし」は約3割である。

## 15 東京 2020 大会、ラグビーワールドカップ 2019

両大会を通じて三鷹市への期待する効果については、「会場周辺をはじめ、市内の道路や公共交通などの都市基盤整備」「子どもから高齢者、障がい者など、だれもがスポーツ・健康づくりなどの運動に参加できる機会の充実」がそれぞれ3割半ば、「パブリックビューイングの開催等によるスポーツを観戦できる環境整備」が3割である。

両大会または両大会に係るスポーツイベントへのボランティア協力意向は、「協力できない」が4割、「協力したい」が2割半ば、「どちらともいえない・わからない」が2割、「協力したくない」が1割である。

「協力したくない」または「協力できない」理由は、「忙しくて時間がない」が5割で最も高い。次いで「健康・体力に不安がある」が3割強である。

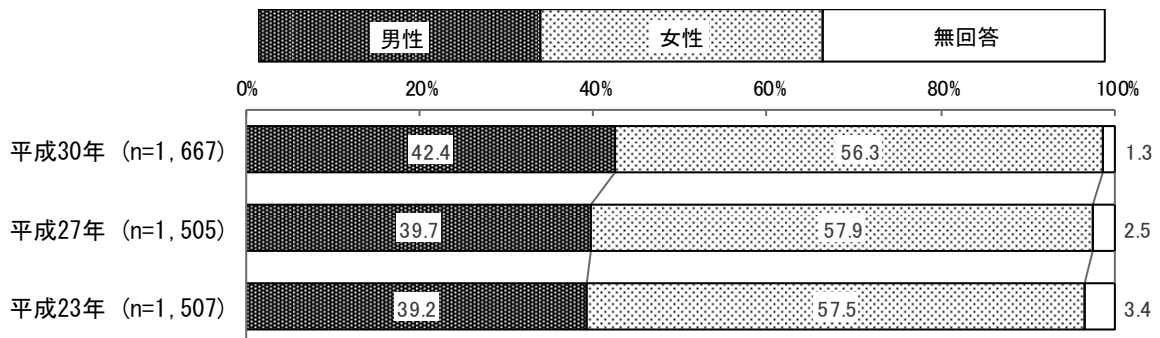
### Ⅲ 回答者の属性

#### 1 回答者の性別

男性が42.4%、女性が56.3%である。

過去の調査結果と比較すると、やや男性の割合が高くなっているもののほぼ同様の傾向がみられる。

図Ⅲ-1-1 回答者の性別

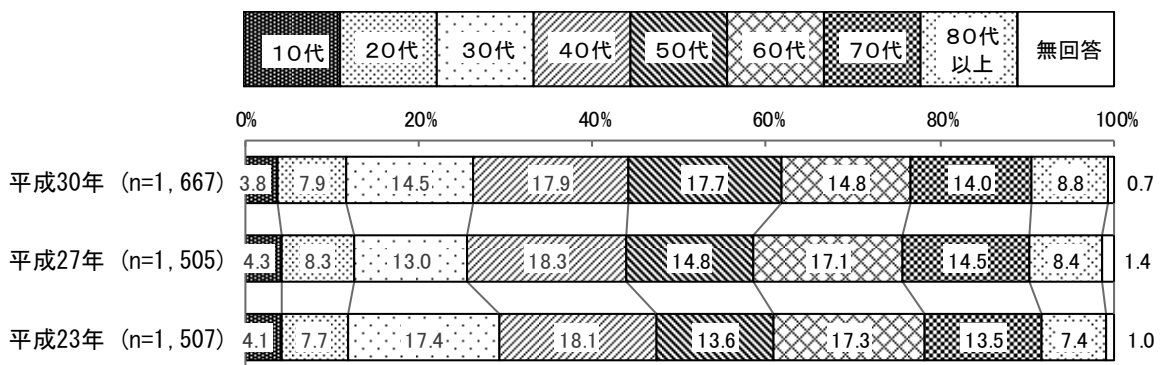


#### 2 回答者の年齢

40代が17.9%で最も多く、次いで50代(17.7%)が多い。30～70代はそれぞれ15%前後、20代・80代以上がそれぞれ8%前後、10代が3.8%である。

過去の調査結果と比較すると、過去2回に比べ今回は60代がやや減り、50代がやや増えている。

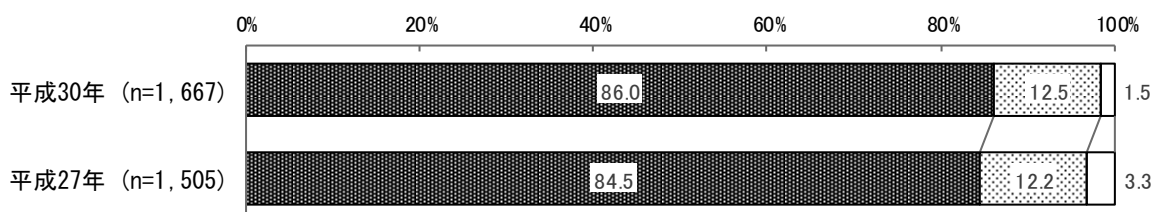
図Ⅲ-1-2 回答者の年齢



### 3 回答者の同居家族の有無

「同居している家族がいる」が86.0%、「同居している家族はいない」が12.5%である。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向がみられる。

図Ⅲ-1-3 回答者の同居家族の有無

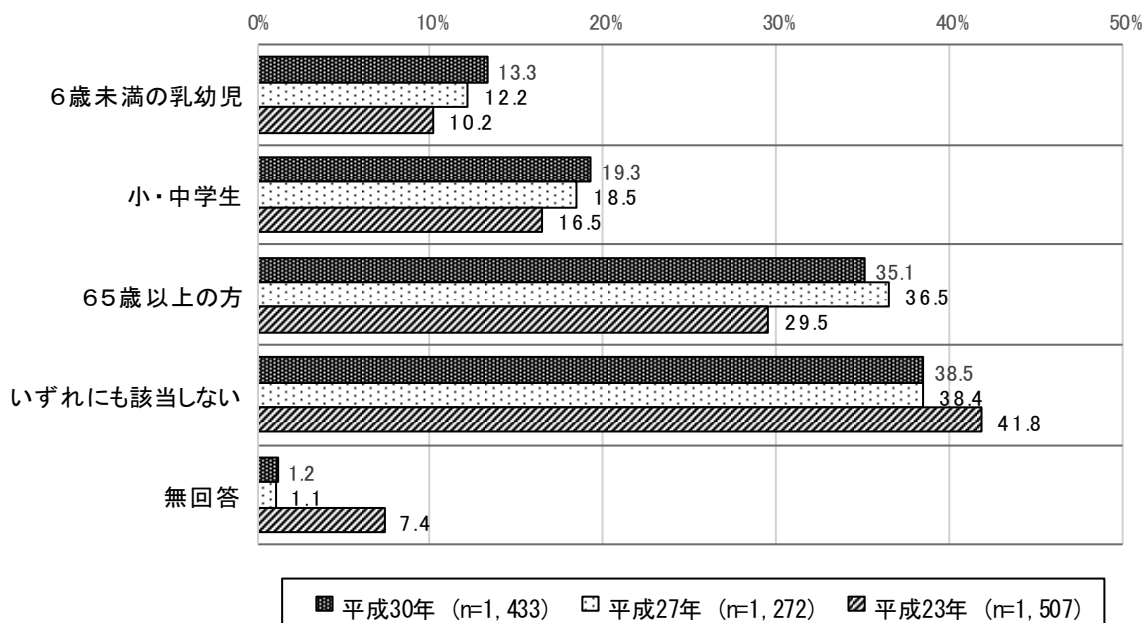


### 4 回答者の同居家族の状況

3で「同居している家族がいる」と回答した人に同居家族の状況を聞いたところ、「いずれにも該当しない」が38.5%で最も多く、次いで「65歳以上の方」(35.1%)が多い。「小・中学生」は19.3%、「6歳未満の乳幼児」は13.3%である。

過去の調査結果と比較すると、ほぼ同様の傾向がみられる。

図Ⅲ-1-4 回答者の同居家族の状況



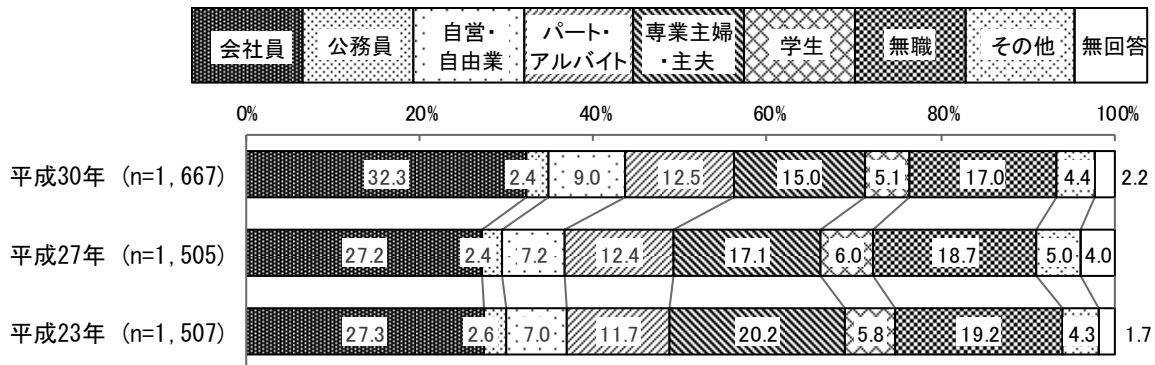


## 5 回答者の職業

「会社員」が32.3%で最も多い。次いで「無職」(17.0%)、「専業主婦・主夫」(15.0%)、「パート・アルバイト」(12.5%)などが多い。

過去の調査結果と比較すると、年々、「専業主婦・主夫」が減る傾向がみられる。「会社員」は過去2回より5ポイント上がっている。

図Ⅲ-1-5 回答者の職業



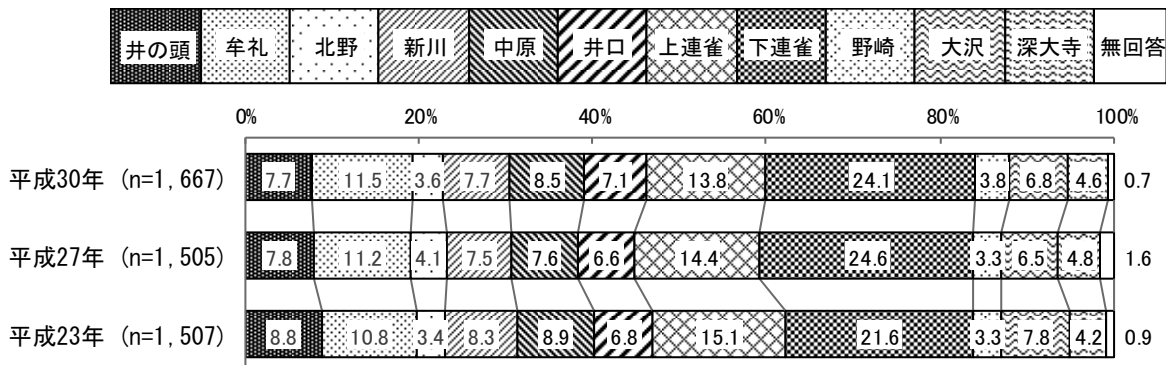
## 6 回答者の居住地区

下連雀が24.1%で最も多い。次いで上連雀(13.8%)、牟礼(11.5%)が多い。

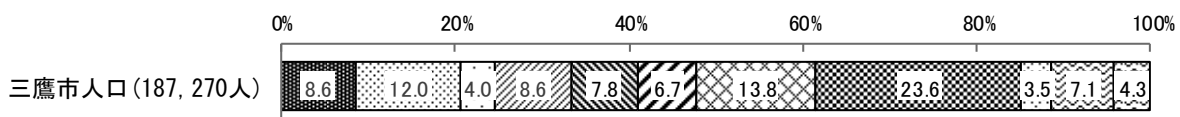
過去の調査結果と比較すると、ほぼ同様の傾向がみられる。

また、三鷹市地区別人口比率と比較すると、回答者の居住地区は三鷹市の地区別人口比率と同様の分布をしていることがわかる。

図Ⅲ-1-6 回答者の居住地区



【参考資料】三鷹市地区別人口比率(平成30年6月1日現在)

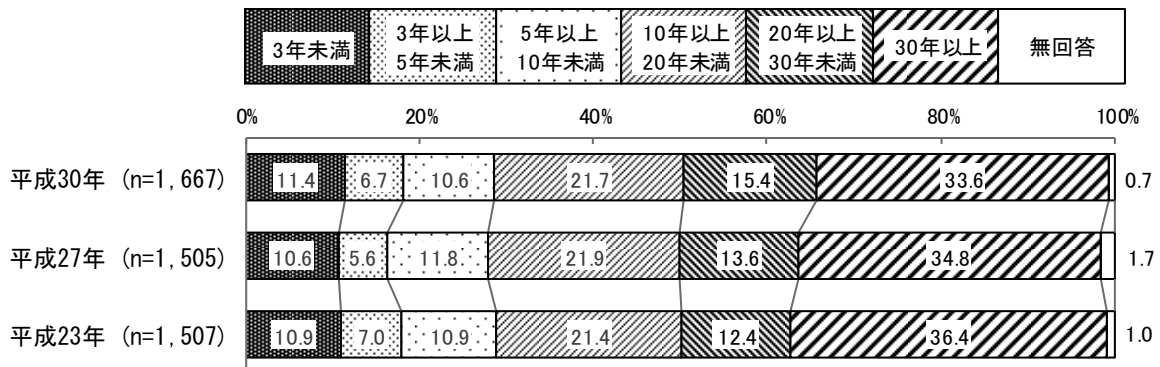


## 7 回答者の市内居住年数

「30年以上」が33.6%で最も多い。次いで「10年以上20年未満」(21.7%)、「20年以上30年未満」(15.4%)が多い。

過去の調査結果と比較すると、「30年以上」が年々減り、「20年以上30年未満」が増える傾向がみられる。

図Ⅲ-1-7 回答者の市内居住年数

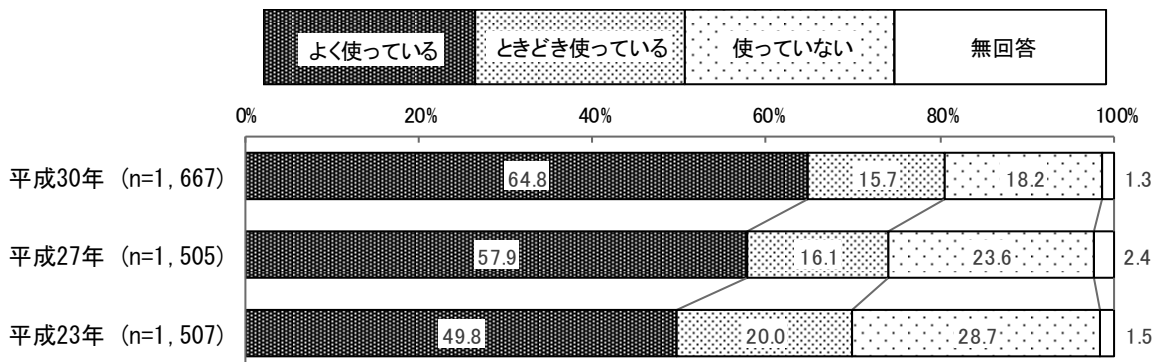


## 8 回答者のインターネット・メールの使用状況

「よく使っている」が64.8%で最も多い。「ときどき使っている」は15.7%、「使っていない」は18.2%である。

過去の調査結果と比較すると、「よく使っている」は年々増加しており、それに伴って使用率も上昇している。

図Ⅲ-1-8 回答者のインターネット・メールの使用状況



## IV 調査結果

### 1 三鷹市での今後の定住意向

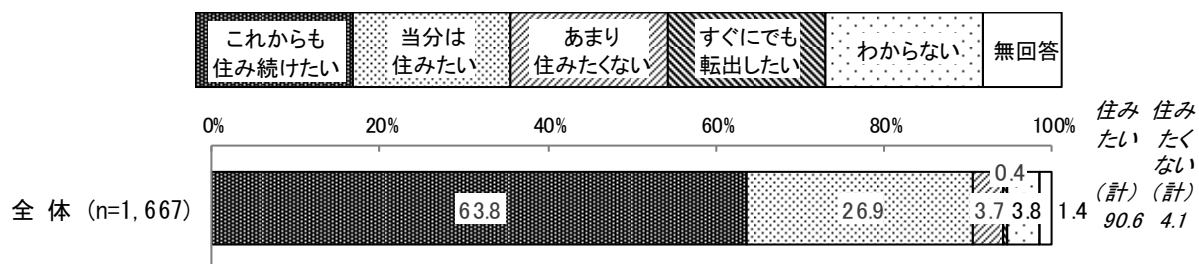
#### (1) 三鷹市での今後の定住意向

問1:あなたは三鷹市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

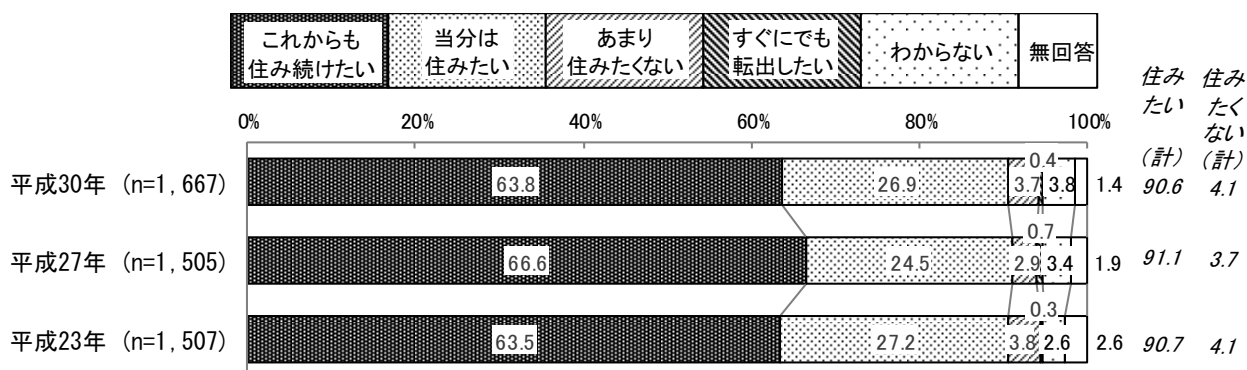
「これからも住み続けたい」が 63.8%で6割以上を占め、「住みたい(計)」「これからも住み続けたい」+「当分は住みたい」は 90.6%で9割を占める。

過去の調査結果と比較すると、「これからも住み続けたい」は平成 27 年が 66.6%で他の年よりやや高いが、「住みたい(計)」「住みたくない(計)」「あまり住みたくない」+「すぐにもでも転出したい」をみると大きな変化はみられない。

図IV-1-1-1 三鷹市での定住意向(n=1,667)



図IV-1-1-2 三鷹市での定住意向(過去調査比較)

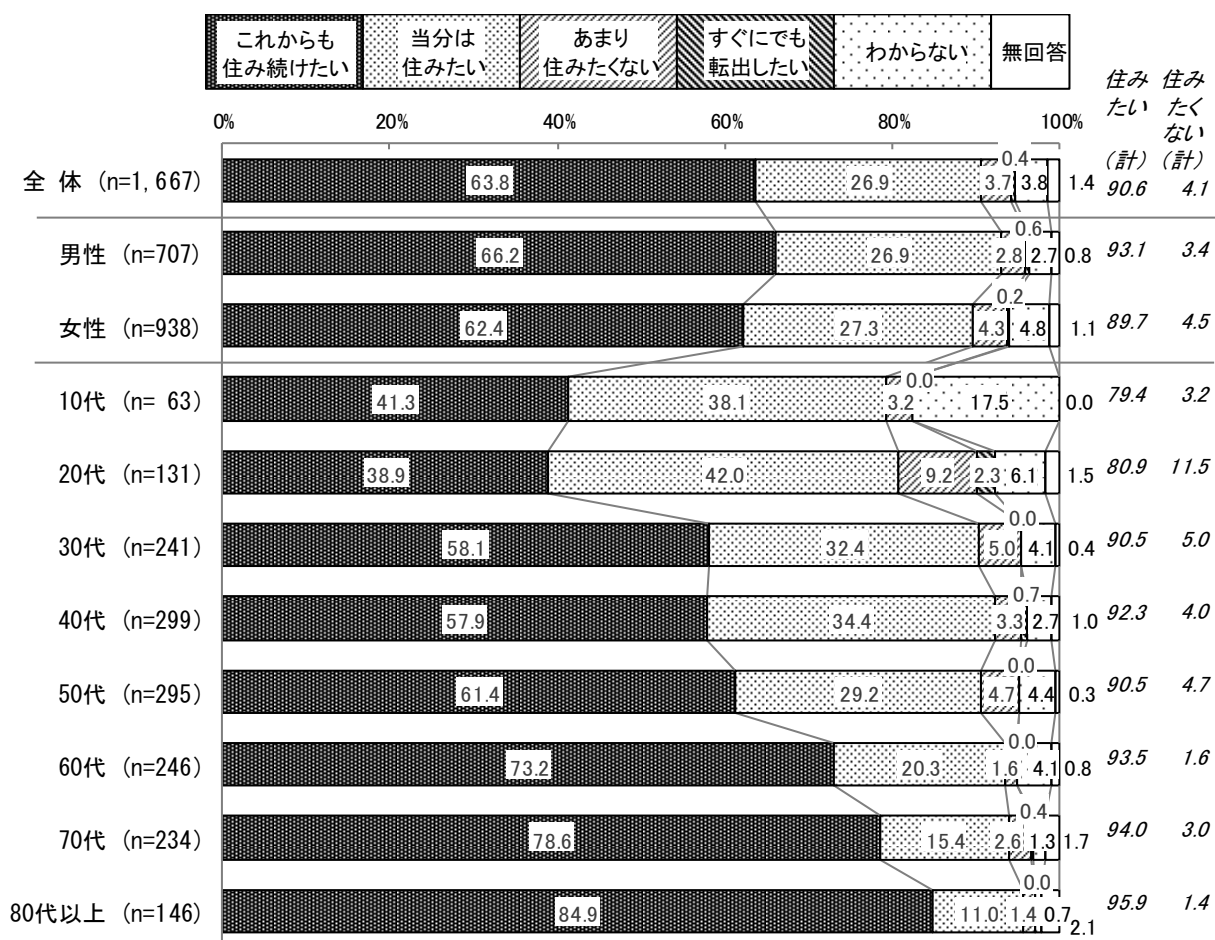


### ①性・年齢別

性別でみると、男女ともほぼ同様の傾向がみられる。

年齢別でみると、年代が上がるにつれ定住意向は高くなる傾向がみられ、10代・20代では「これからも住み続けたい」が4割前後、「住みたい(計)」が8割前後であるのに対し、70代・80代以上では「これからも住み続けたい」が8割前後、「住みたい(計)」は9割半ばを占める。「住みたくない(計)」は20代が11.5%で他の年代よりやや高い。10代は「わからない」が17.5%で他の年代より高い。

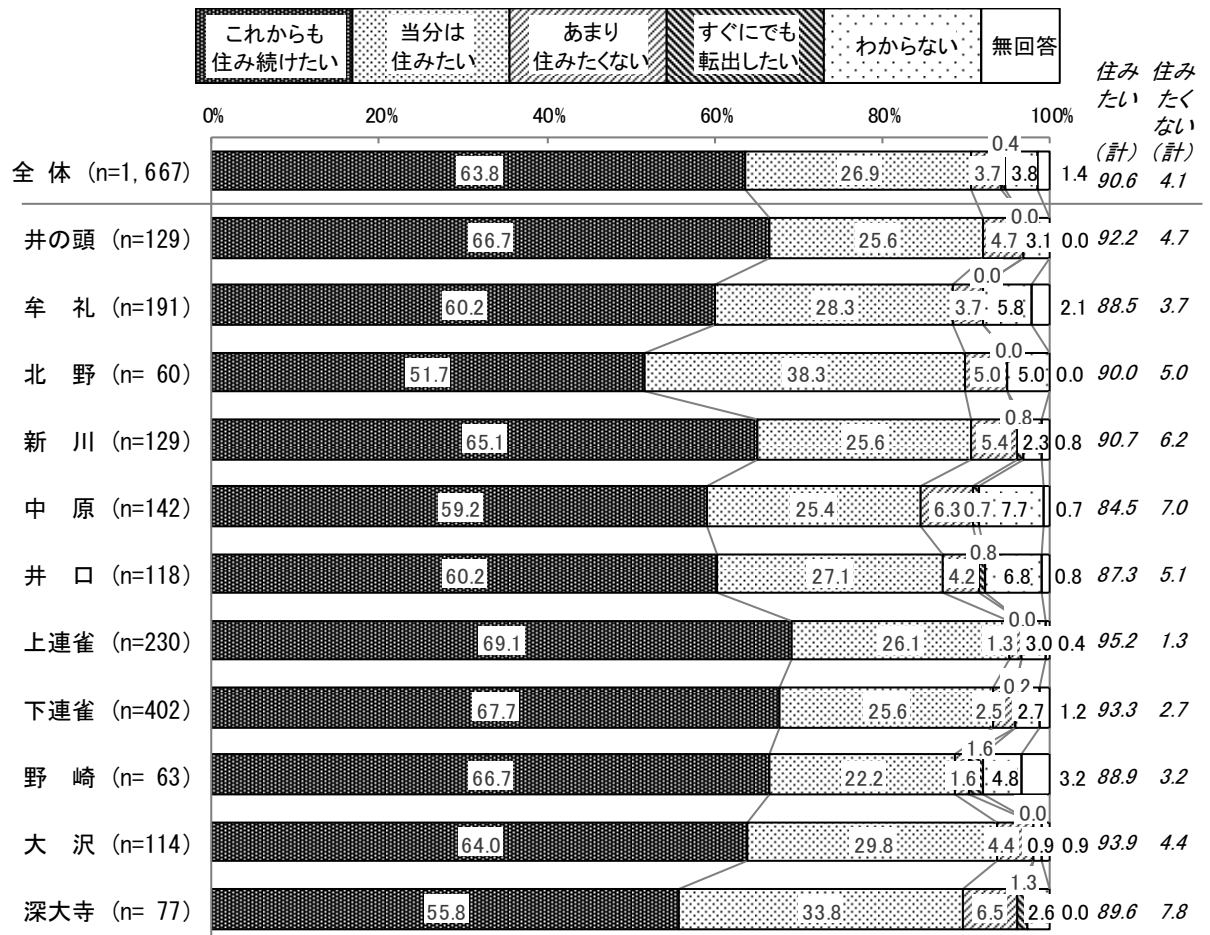
図IV-1-1-3 三鷹市での定住意向(性・年齢別)



## ②地区別

地区別でみると、「これからも住みたい」が最も高いのは上連雀の 69.1%である。「住みたい(計)」も上連雀が 95.2%で最も高い。一方、「これからも住みたい」が最も低いのは北野の 51.7%で、「住みたい(計)」が最も低いのは中原の 84.5%である。

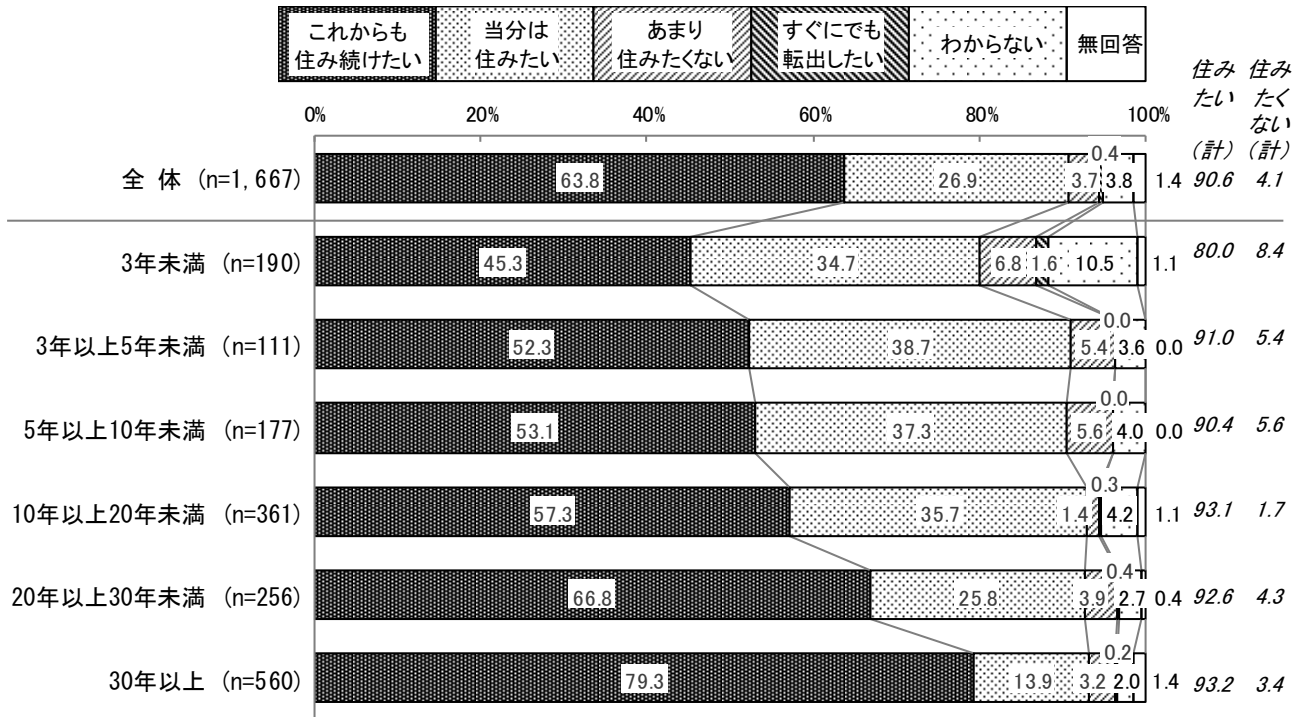
図IV-1-1-4 三鷹市での定住意向(地区別)



### ③居住年数別

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ定住意向は高くなる傾向がみられ、特に「これからも住み続けたい」は3年未満が45.3%であるのに対し、30年以上では79.3%を占める。

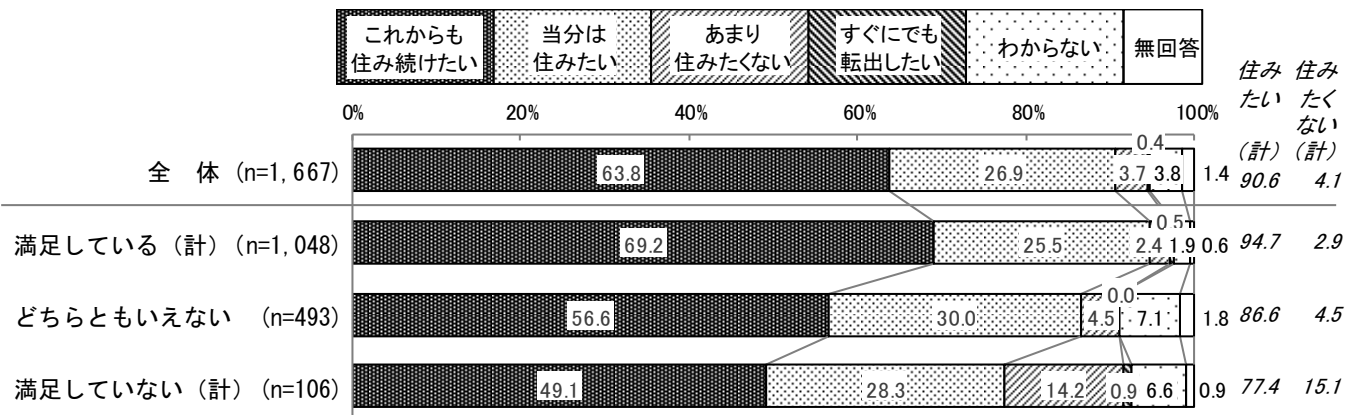
図IV-1-1-5 三鷹市での定住意向(居住年数別)



### ④地域とのつながりやご近所づきあいの満足度別

地域とのつながりやご近所づきあいの満足度でみると、「これからも住み続けたい」は満足度による差が顕著であり、「満足している(計)」では約7割を占めるのに対し、「満足していない(計)」では約5割にとどまっている。「満足していない(計)」をみると、「あまり住みたくない」が14.2%で他層より高い。ただし、「満足していない(計)」でも8割弱は「住みたい(計)」としている。

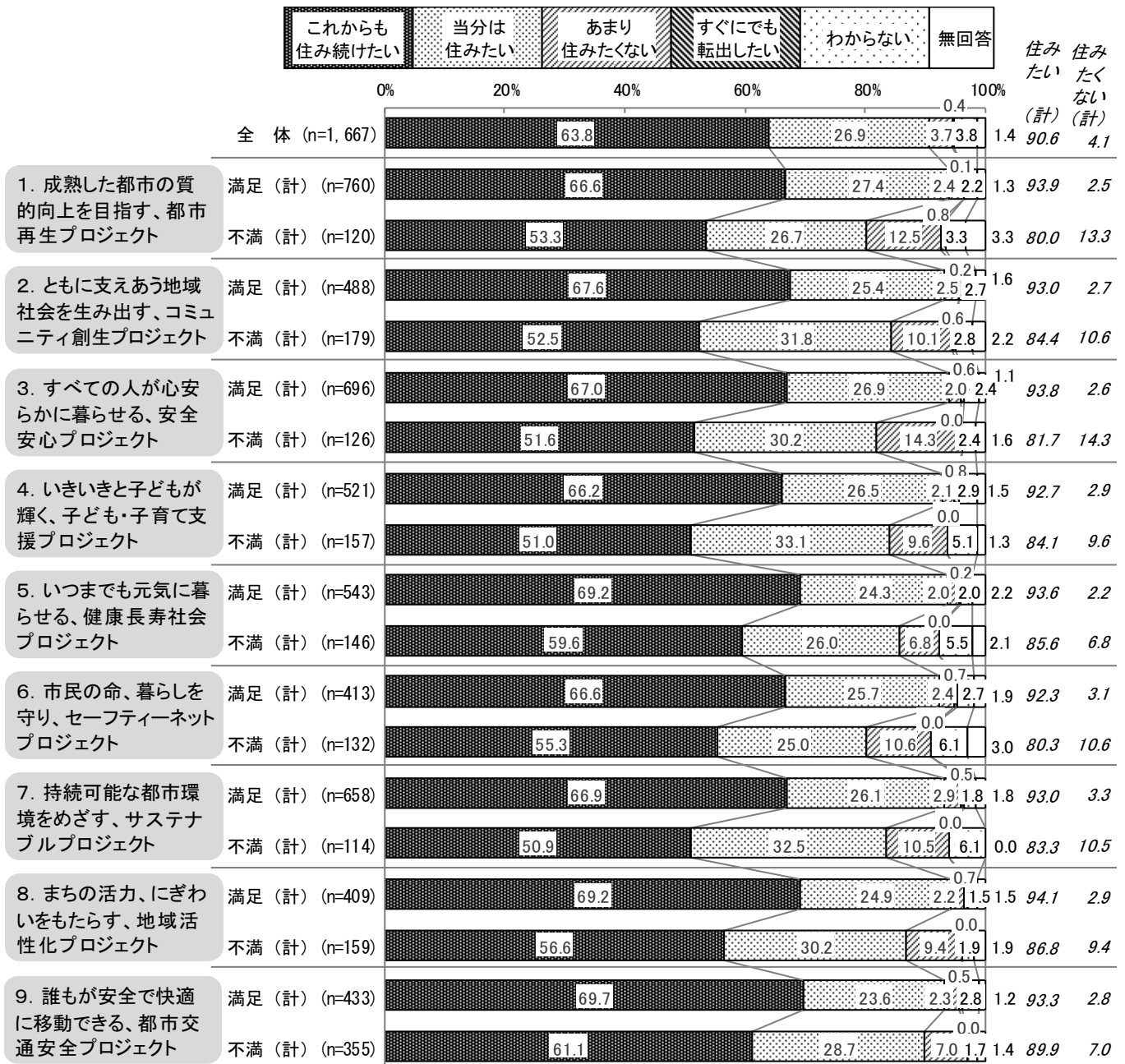
図IV-1-1-6 三鷹市での定住意向(地域とのつながりやご近所づきあいの満足度別)



### ⑤市の重点プロジェクトに対する満足度別

市の重点プロジェクトに対する満足度別でみると、「住みたい(計)」はどのプロジェクトも「満足(計)」は9割を超え、「不満(計)」も8割を超えている。「住みたくない(計)」はどのプロジェクトも「満足(計)」より「不満(計)」の方が高く、「3. すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト」(14.3%)、「1. 成熟した都市の質的向上を目指す、都市再生プロジェクト」(13.3%)などが他のプロジェクトに比べやや高い。

図IV-1-1-7 三鷹市での定住意向(市政に対する満足度別)



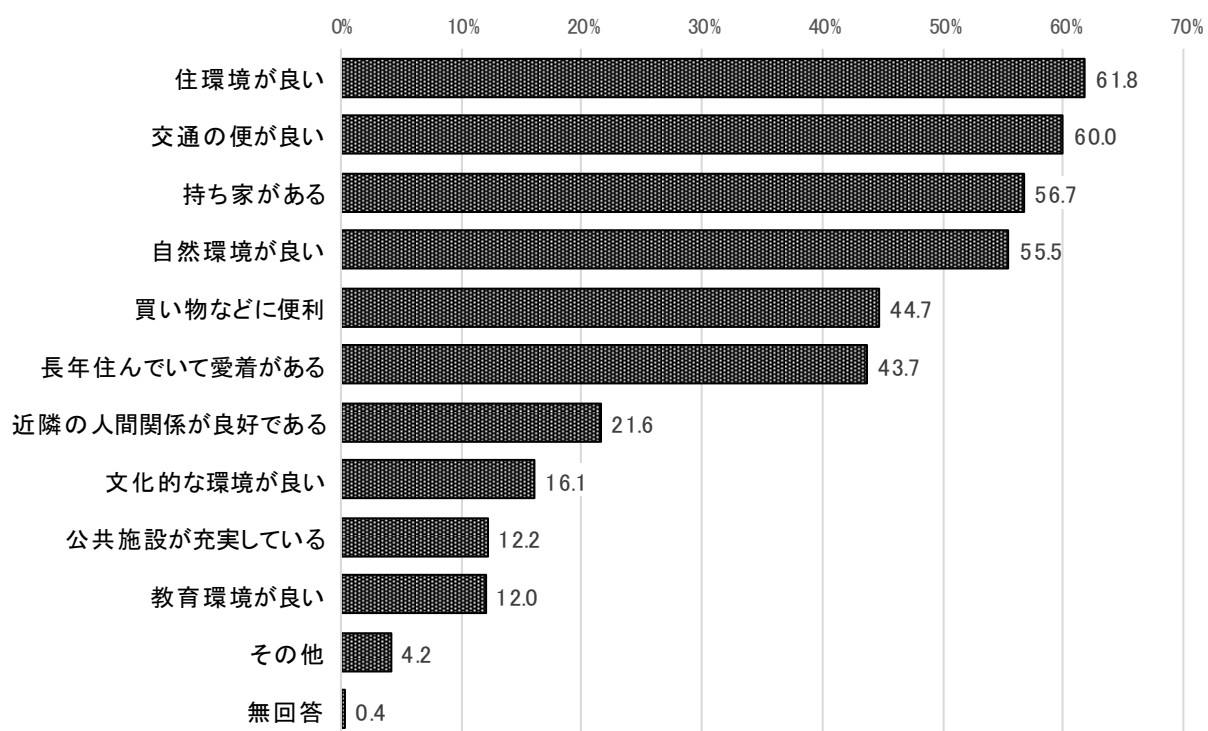
## (2) 三鷹市での定住意向の理由

問1-1:三鷹市に住み続けたいと思う理由について、あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問1で「これからも住み続けたい」「当分は住みたい」と回答した方対象]

「住環境が良い」(61.8%)、「交通の便が良い」(60.0%)が6割を超え、「持ち家がある」(56.7%)、「自然環境が良い」(55.5%)が5割を超える。

過去の調査結果と比較すると、概ね傾向は変わらない。「自然環境が良い」は平成23年の59.9%に比べると、平成27年と平成30年は55%前後でやや下がっている。

図IV-1-2-1 三鷹市での定住意向の理由 (n=1,511)

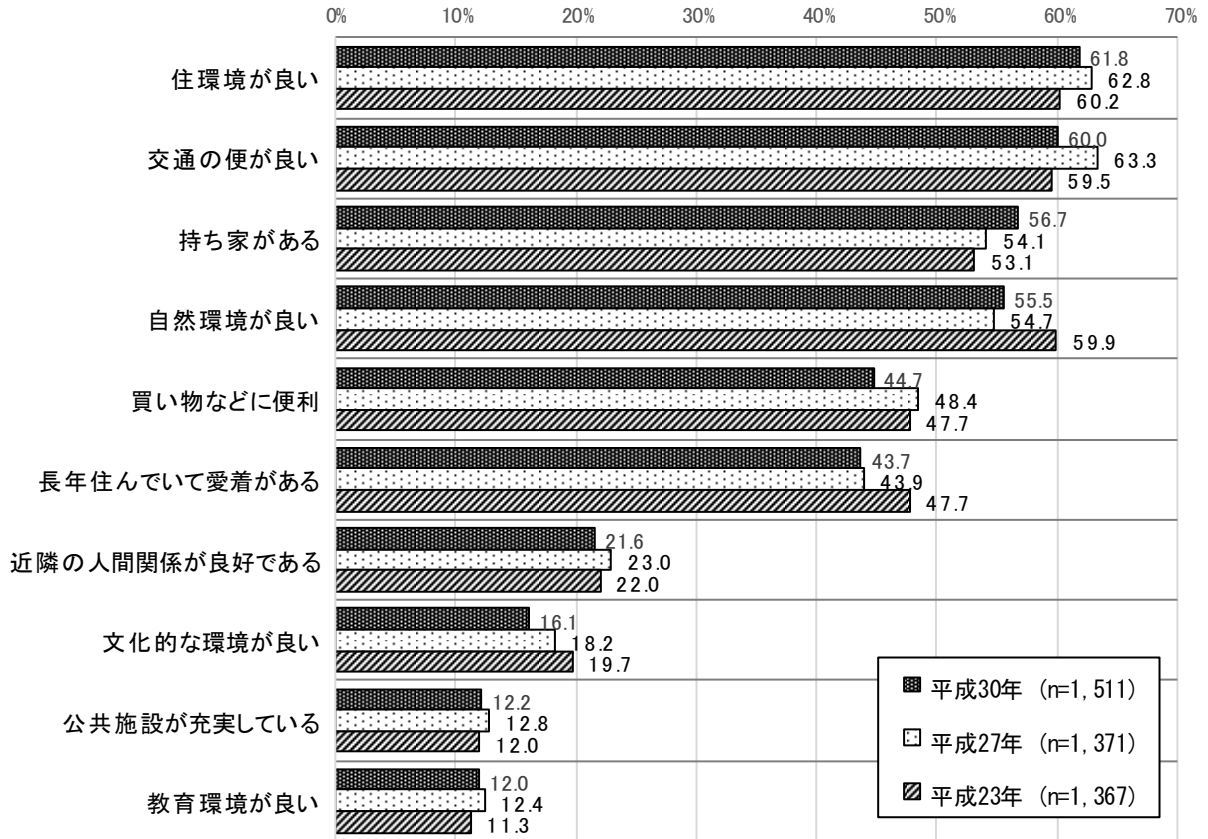


### 【その他の回答】

「実家が近い/家族が近くに住んでいる/介護のため」、「職場に近い/通勤が便利/社宅がある/仕事の都合」、「かかりつけ医療機関が近い/病院が充実」、「住替えは無理/子どもを転園・転校させたくない」など



図IV-1-2-2 三鷹市での定住意向の理由(過去調査比較)

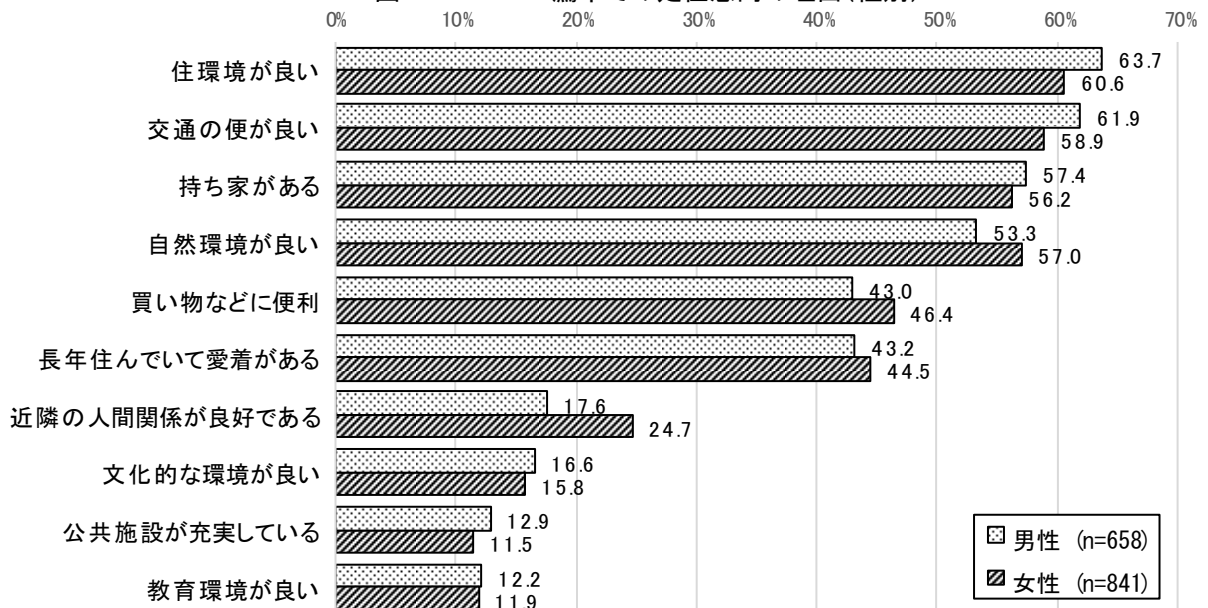


①性・年齢別

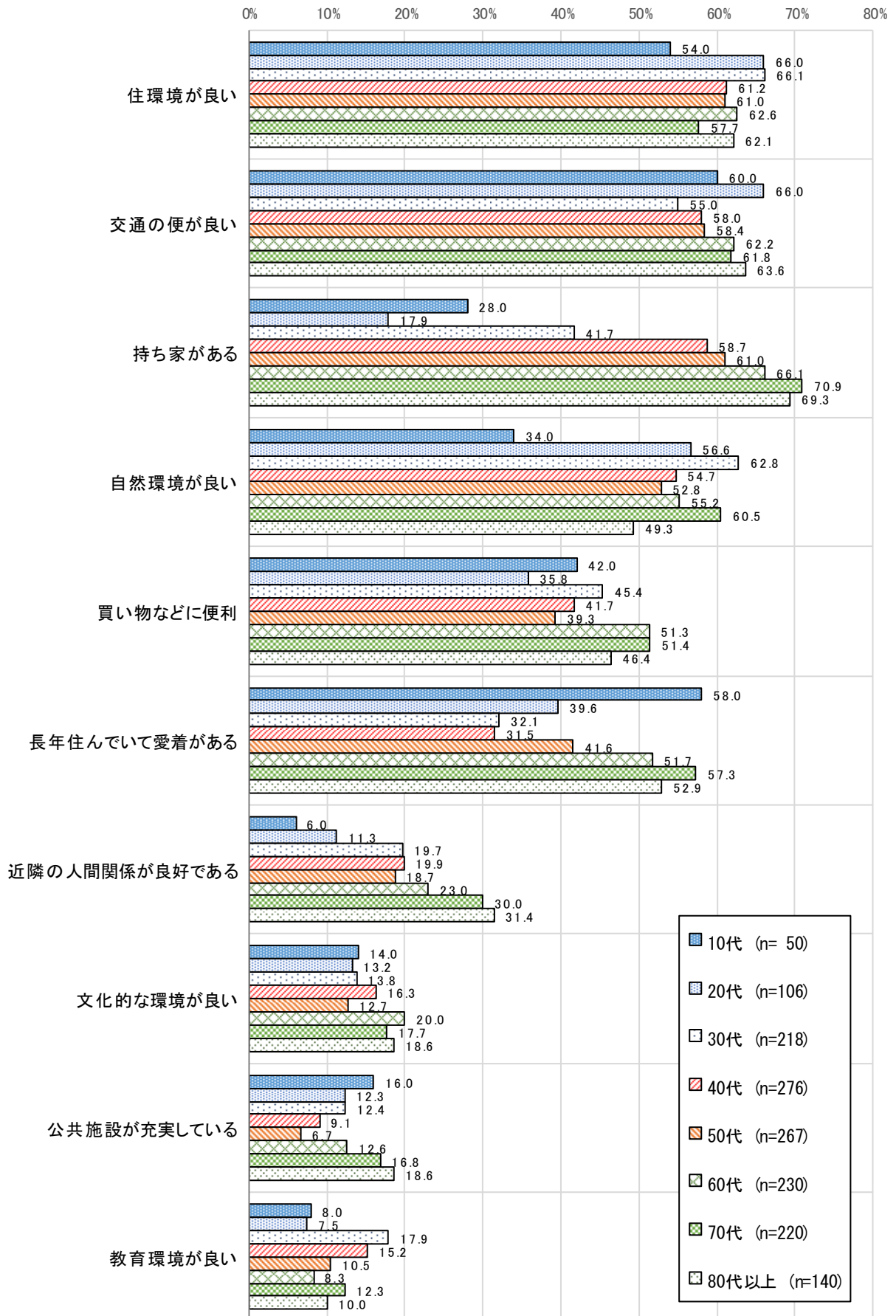
性別でみると、上位2位は男女とも同じだが、男性の第3位は「持ち家がある」、女性の第3位は「自然環境が良い」である。また、「近隣の人間関係が良好である」は男性より女性の方が重視していることがわかる。

年齢別にみると、「住環境が良い」と「交通の便が良い」は各年代とも5割を超える。「持ち家がある」は20代以下は3割未満、30代で4割、40代以上では約6割～7割である。「近隣の人間関係が良好である」は高年齢層ほど高くなる傾向を示している。

図IV-1-2-3 三鷹市での定住意向の理由(性別)



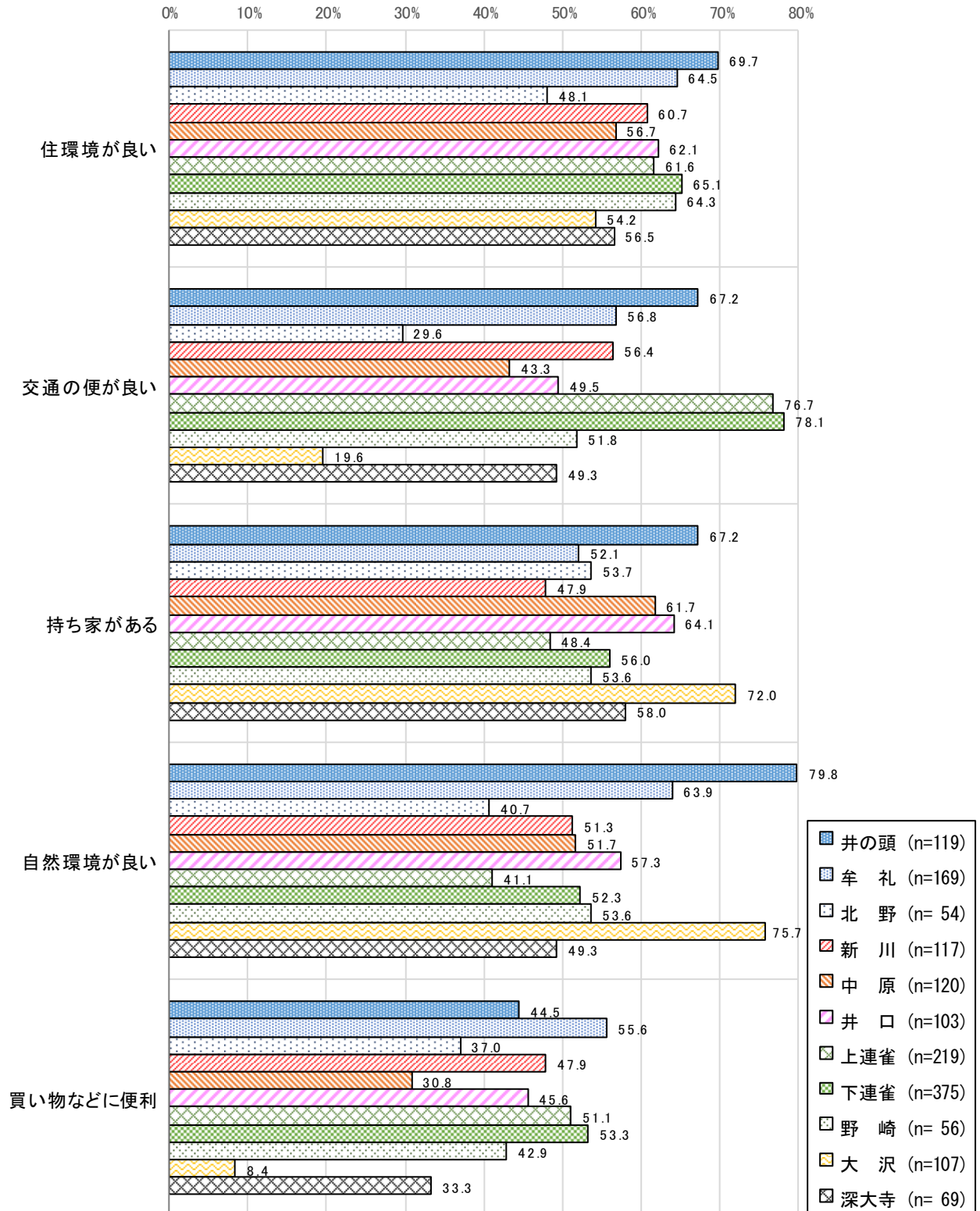
図IV-1-2-4 三鷹市での定住意向の理由(年齢別)



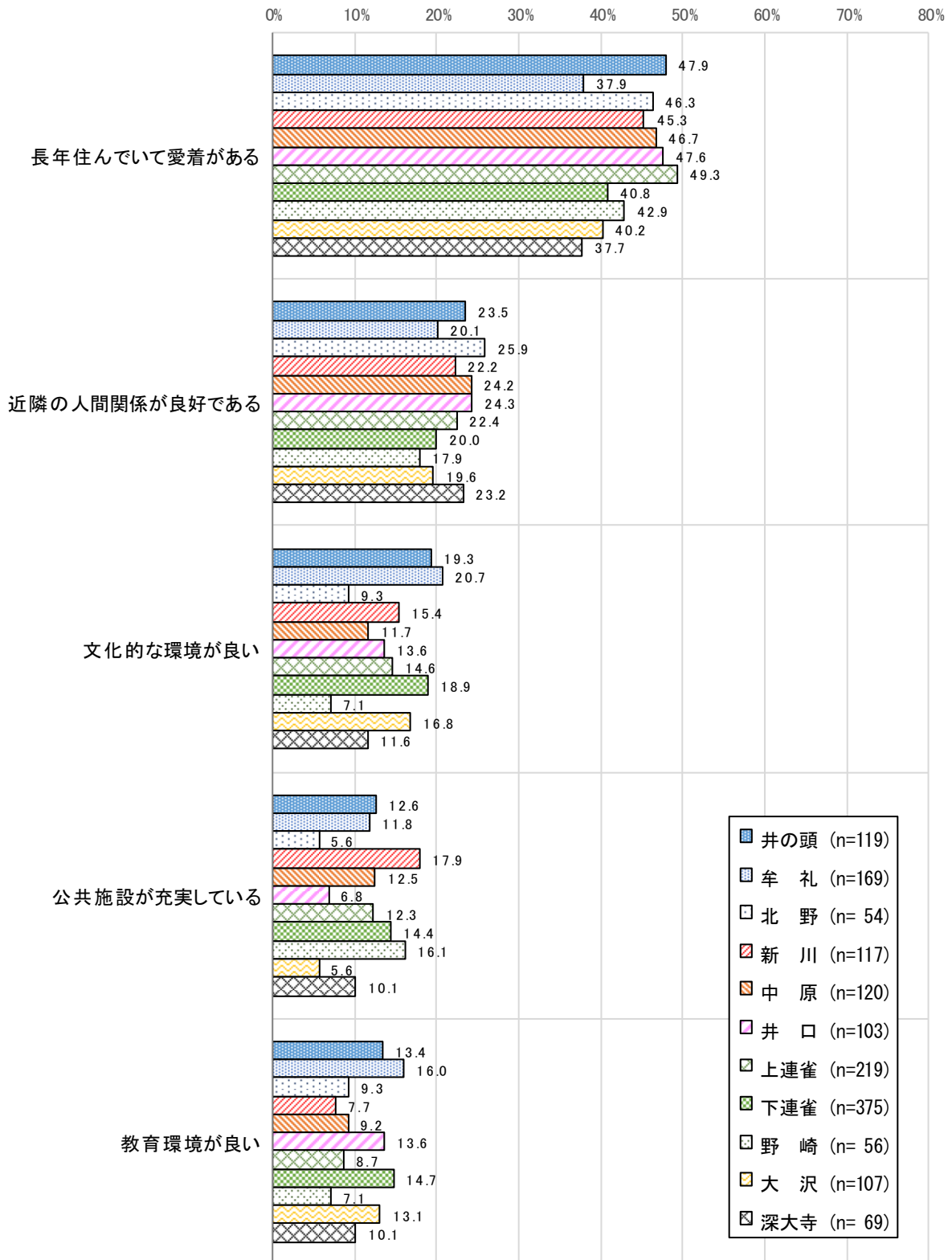
## ②地区別

地区別でみると、地区による差が大きいのは「交通の便が良い」「自然環境が良い」「買い物などに便利」などである。「交通の便が良い」は上連雀と下連雀では8割近くであるのに対し、大沢は2割にとどまっている。「自然環境が良い」は井の頭と大沢がともに7割以上と特に高い。

図IV-1-2-5 三鷹市での定住意向の理由(地区別)(その1)



図IV-1-2-5 三鷹市での定住意向の理由(地区別)(その2)



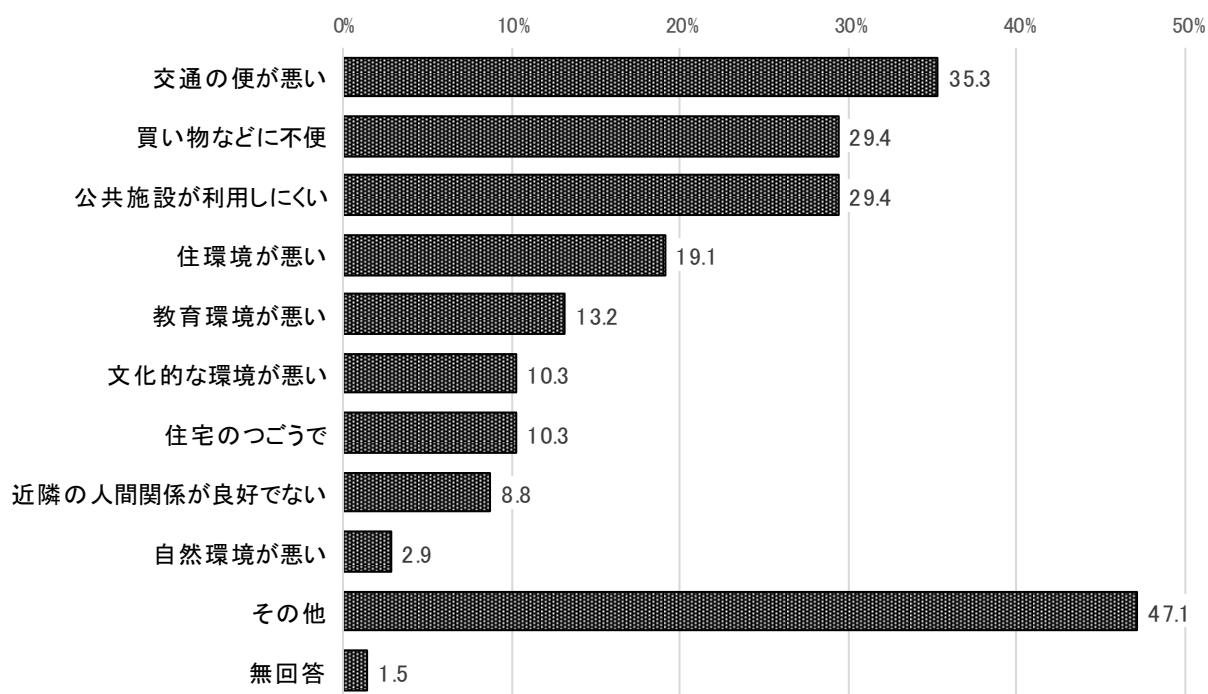
### (3) 三鷹市からの転出意向の理由

問1-2: 三鷹市に住み続けたくない理由について、あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問1で「あまり住みたくない」「すぐにでも転出したい」と回答した方対象]

「交通の便が悪い」が35.3%で最も高く、次いで「買い物などに不便」「公共施設が利用しにくい」(共に29.4%)が高い。

過去の調査結果と比較すると、回答数が少ないため経年変化の傾向をみるのは難しいが、「交通の便が悪い」はいずれの年も最も高い。また、「住環境が悪い」は、平成23年は33.9%で「交通の便が悪い」に次いで高かったが、平成27年と平成30年は2割弱で共に第4位である。

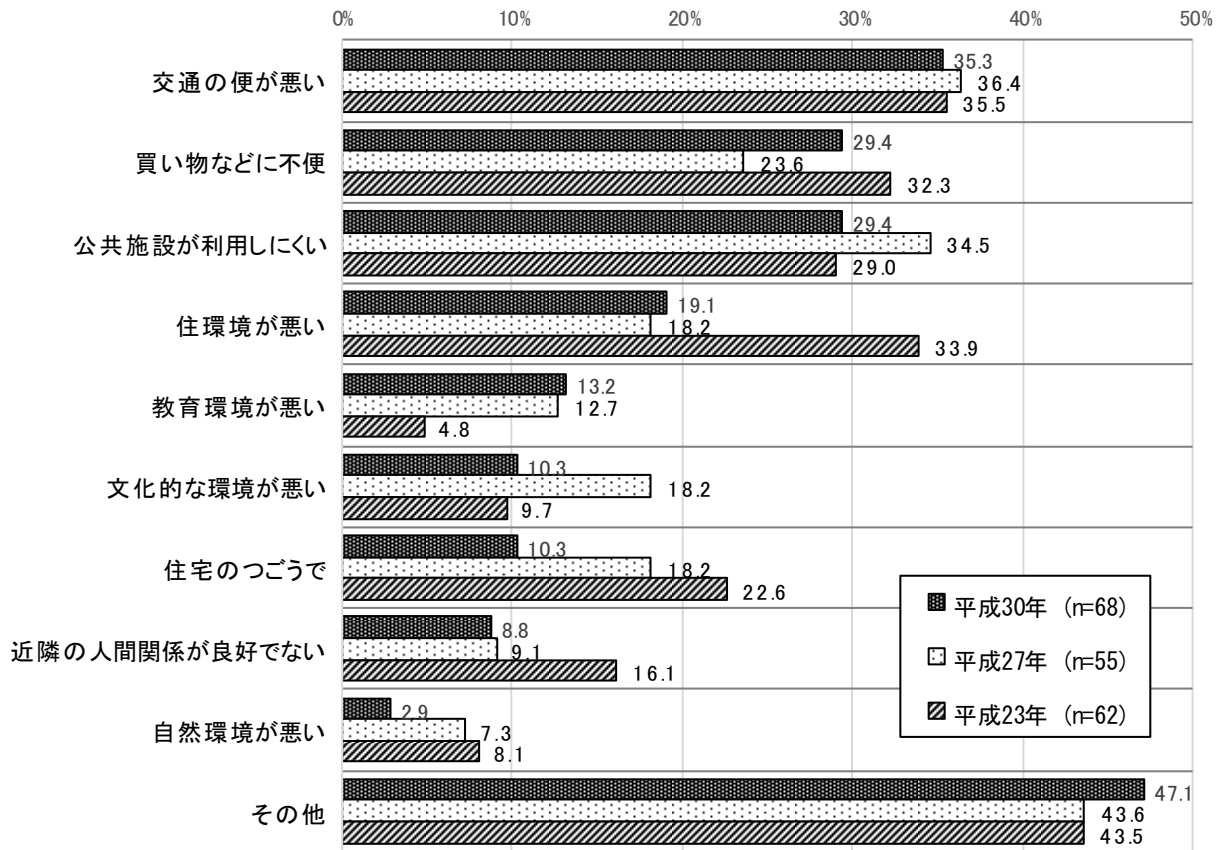
図IV-1-3-1 三鷹市からの転出意向の理由 (n=68)



**【その他の回答】**

「子育て環境に不満(子どもの医療費が高い/保育園に入れにくいなど)」、「道路が狭い」、「通勤時間が長い/ラッシュにイライラする/バスの時間が異なる」、「住民税が高い/助成・恩恵が少ない」、「近隣住人のマナーが悪い」など

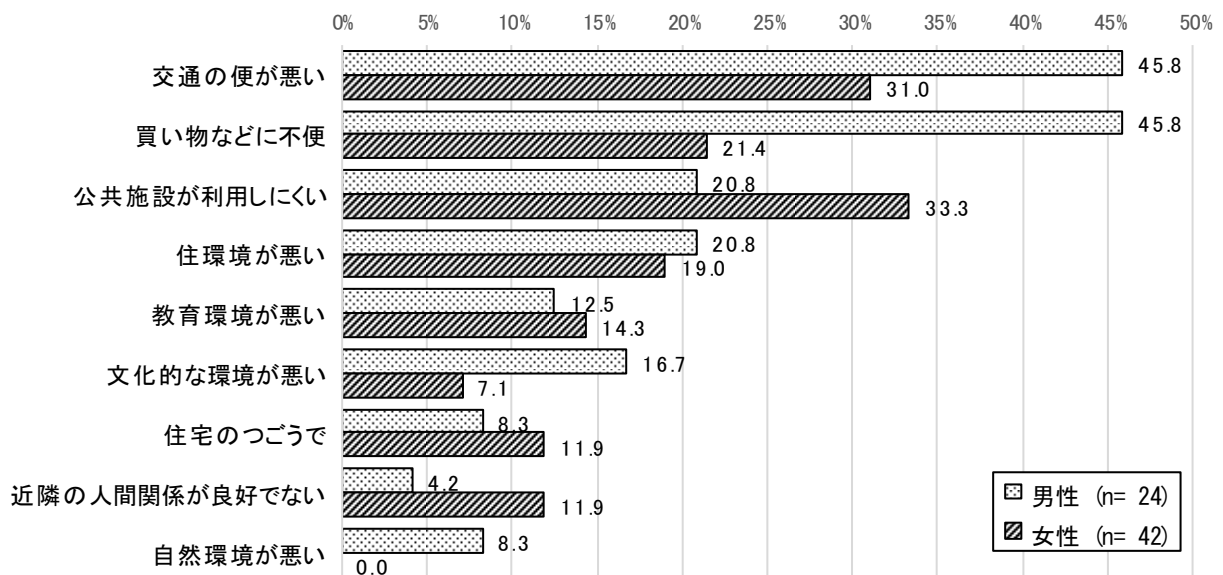
図IV-1-3-2 三鷹市からの転出意向の理由(過去調査比較)



①性別

性別でみると、女性は「公共施設が利用しにくい」が 33.3%で最も高く、次いで「交通の便が悪い」(31.0%)が高い。

図IV-1-3-3 三鷹市からの転出意向の理由(性別)



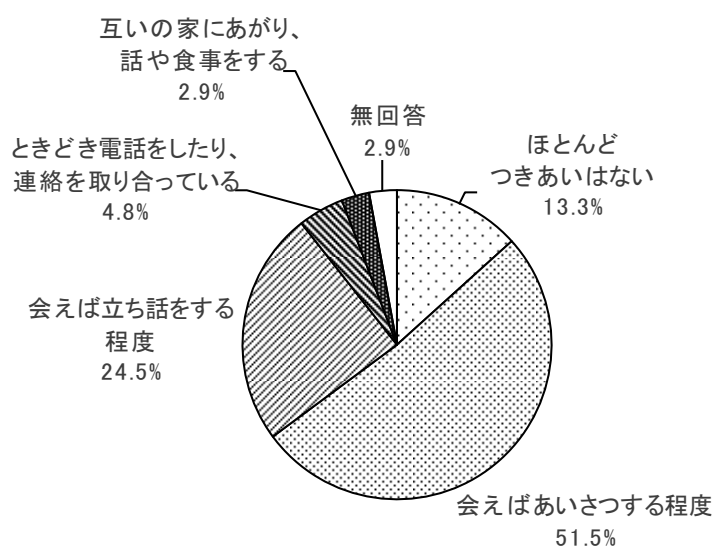
## 2 近所づきあいや地域活動

### (1) 近所づきあいの程度

問2:あなたは日頃、近所の方との程度おつきあいをされていますか。最もあてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「会えばあいさつする程度」が 51.5%で半数強を占める。「会えば立ち話をする程度」は 24.5%で、両方を合わせると7割を超える。「ほとんどつきあいはない」は 13.3%である。

図IV-2-1-1 近所づきあいの程度(n=1,667)

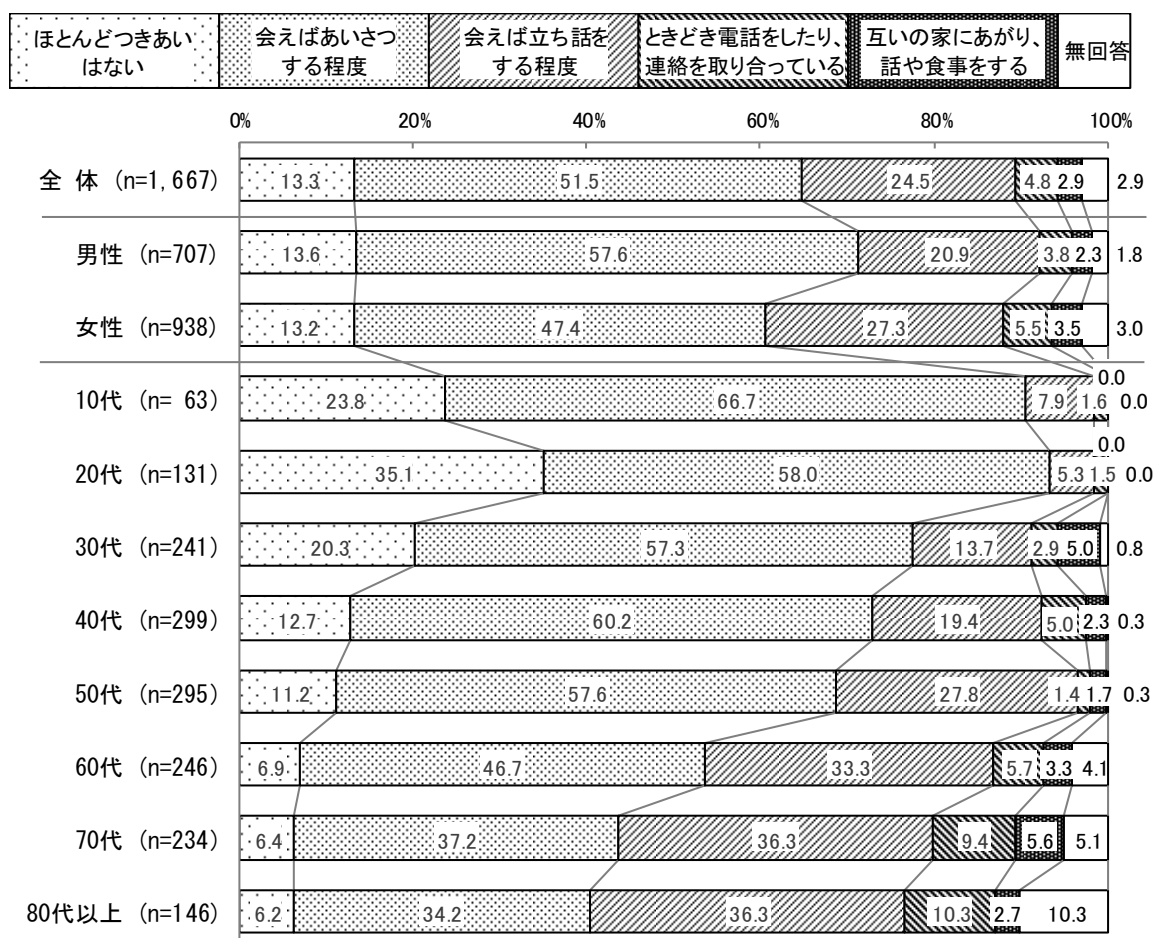


①性・年齢別

性別でみると、「ほとんどつきあいはない」は男女ともほぼ同じであるが、「会えばあいさつする程度」は男性が 57.6%であるのに対し、女性は 47.4%、一方、「会えば立ち話をする程度」は男性の 20.9%に対し、女性は 27.3%である。

年齢別でみると、近所との会話以上のつきあい(「会えば立ち話をする程度」+「ときどき電話をしたり、連絡を取り合っている」+「互いの家にあがり、話や食事をする」)がある割合は、30代以上で年代が上がるにつれ高くなる傾向にある。「ほとんどつきあいはない」は20代が35.1%で他の年代の中で最も高く、20代は近所づきあいが他の年代より希薄であると言える。

図IV-2-1-2 近所づきあいの程度(性・年齢別)

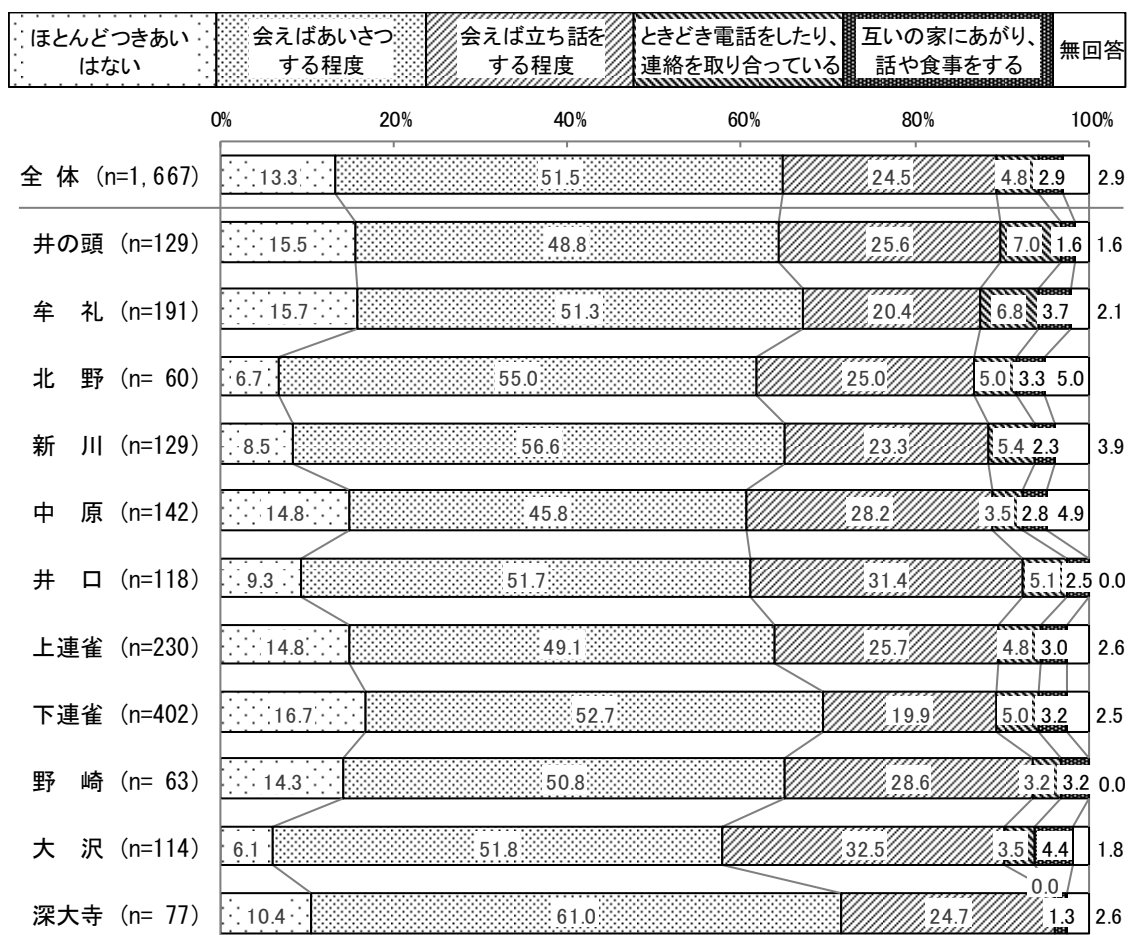




## ②地区別

地区別でみると、大沢と井口は「会えば立ち話をする程度」が3割を超え、他の地区より高い。「ほとんどつきあいはない」が1割を超えている地区は、井の頭、牟礼、中原、上連雀、下連雀、野崎、深大寺である。

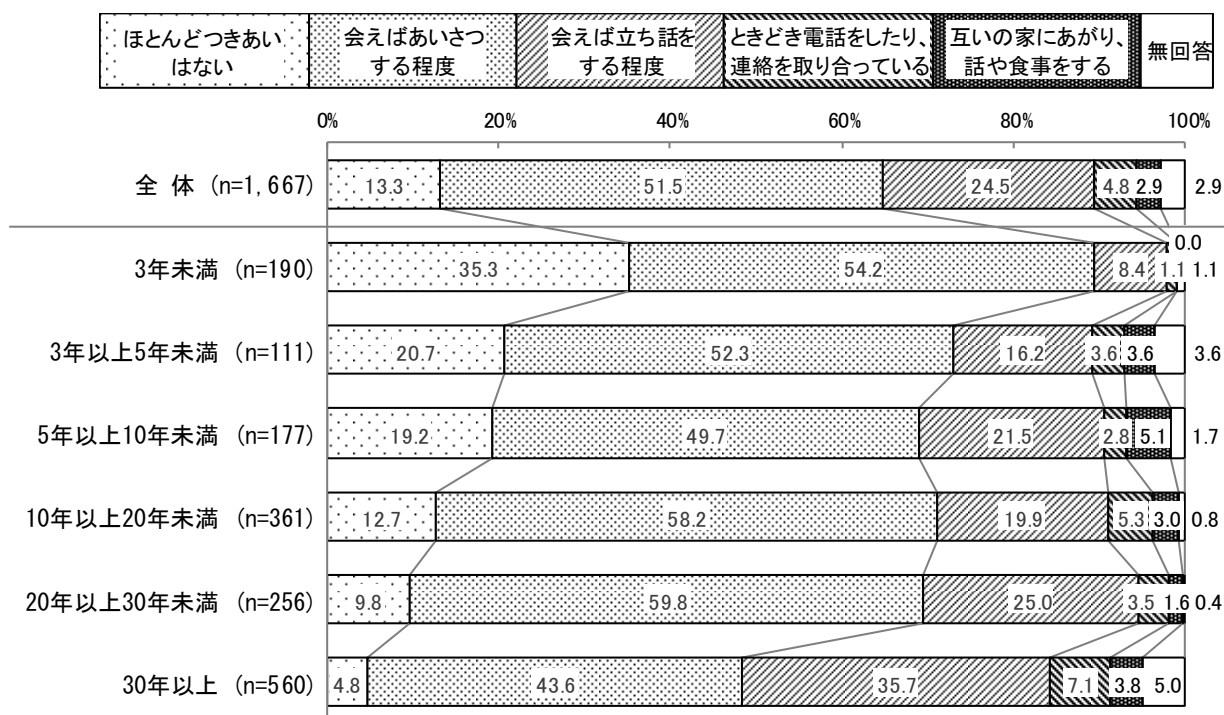
図IV-2-1-3 近所づきあいの程度(地区別)



### ③居住年数別

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ近所づきあいは深くなる傾向にあり、特に「30年以上」では、近所との会話以上のつきあい（「会えば立ち話をする程度」+「ときどき電話をしたり、連絡を取り合っている」+「互いの家にあがり、話や食事をする」）が4割を超える。居住年数が「3年未満」では、「ほとんどつきあいはない」が35.3%、「会えばあいさつする程度」が54.2%で、近所づきあいの程度が低い傾向にある。

図IV-2-1-4 近所づきあいの程度(居住年数別)

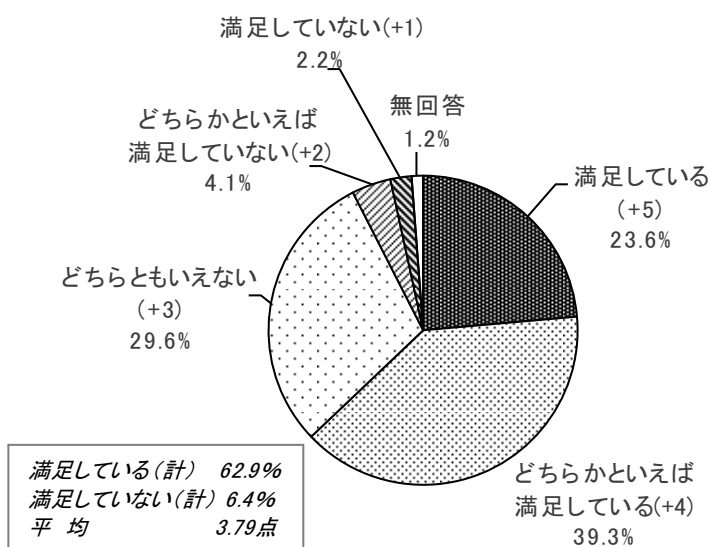


## (2) 地域とのつながりや近所づきあいの満足度

問3: あなたは、お住まいの地域とのつながりや近所づきあいに満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「どちらかといえば満足している」が 39.3%で最も高い。「満足している(計) (「満足している」+「どちらかといえば満足している」)」は 62.9%で6割を超えている。一方、「満足していない(計) (「どちらかといえば満足していない」+「満足していない」)」は 6.4%で1割未満である。

図IV-2-2-1 地域とのつながりや近所づきあいの満足度(n=1,667)

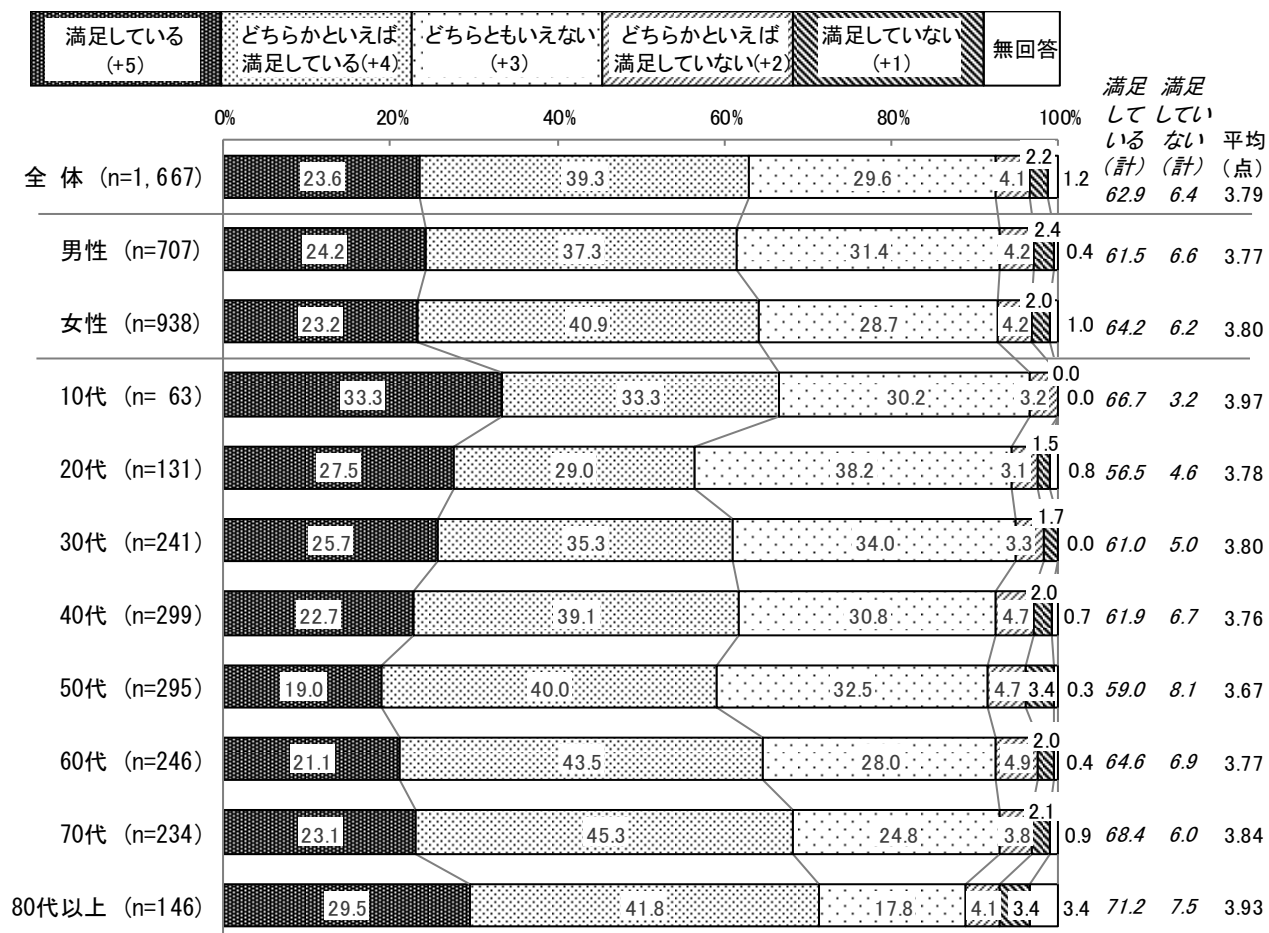


①性・年齢別

性別でみると、男女ともほぼ同様の傾向がみられる。

年齢別でみると、「満足している(計)」が最も高いのは80代以上の71.2%であり、最も低いのは20代の56.5%である。50代は「満足している(計)」が59.0%で20代に次いで低く、「満足していない(計)」は8.1%で最も高い。

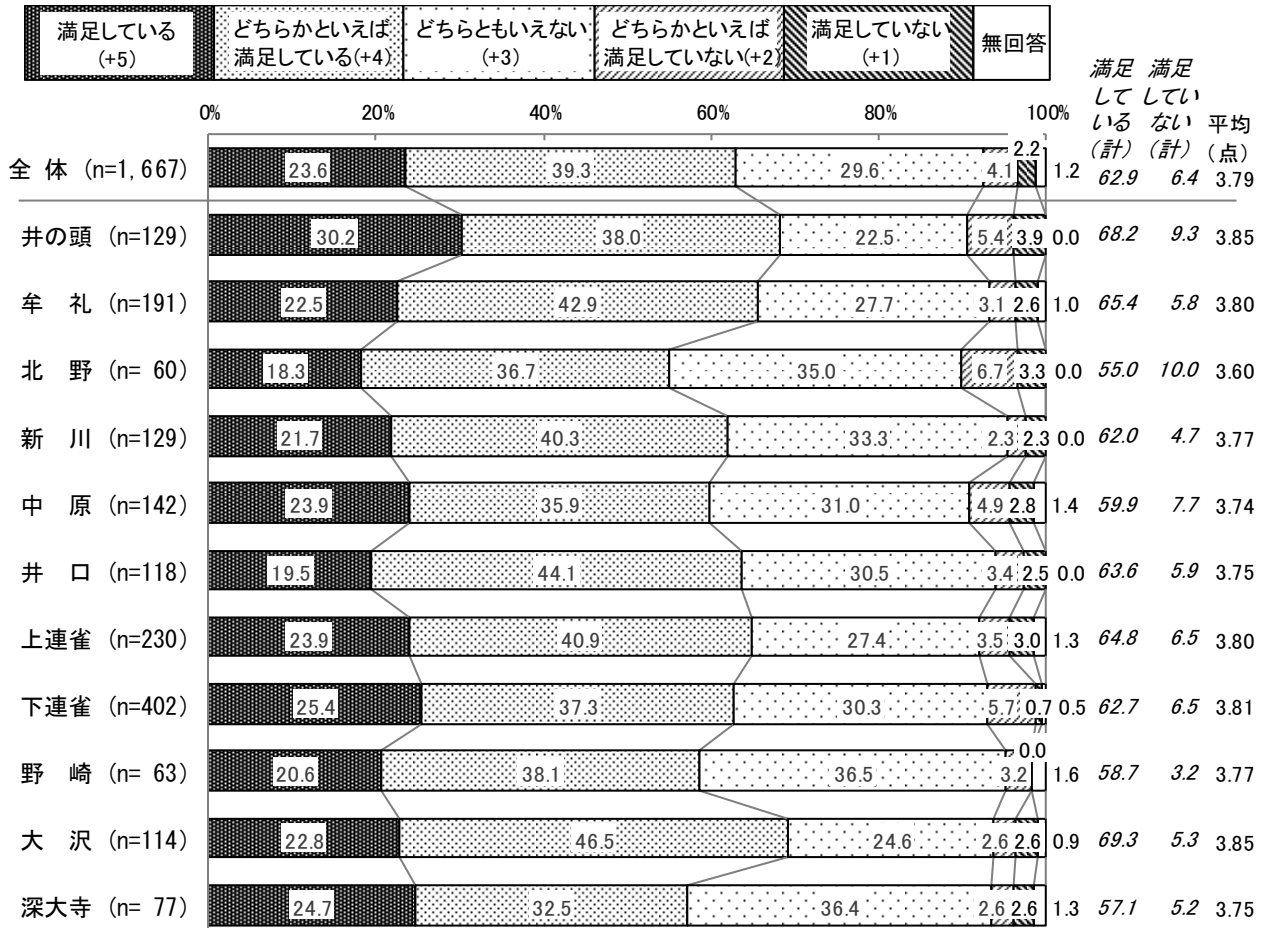
図IV-2-2-2 地域とのつながりや近所づきあいの満足度(性・年齢別)



②地区別

地区別でみると、「満足している(計)」が最も高いのは大沢の 69.3%で、次いで井の頭(68.2%)が高い。「満足していない(計)」は北野(10.0%)と井の頭(9.3%)がやや高い。

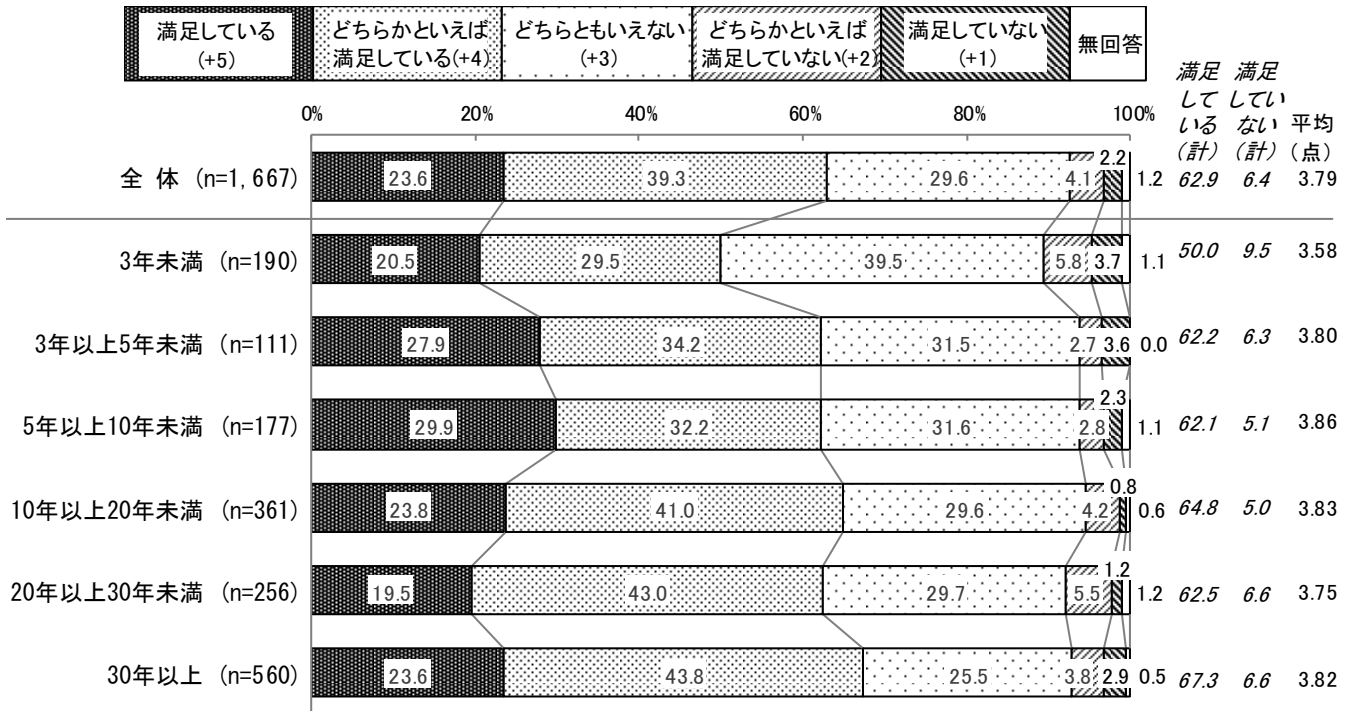
図IV-2-2-3 地域とのつながりや近所づきあいの満足度(地区別)



### ③居住年数別

居住年数別でみると、居住年数3年未満では「満足している(計)」が50.0%で他層より低い。3年以上5年未満と5年以上10年未満は「満足している」が3割近くあり、他層よりやや高い。

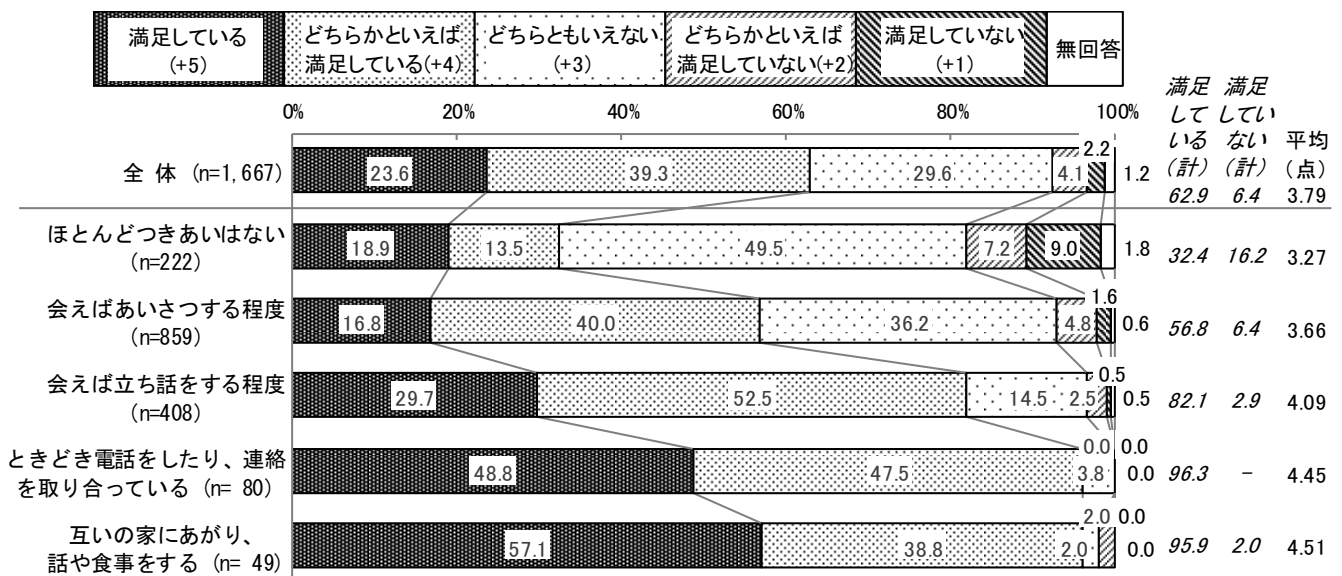
図IV-2-2-4 地域とのつながりや近所づきあいの満足度(居住年数別)



### ④近所づきあいの程度別

近所づきあいの程度別でみると、つきあいが深くなればなるほど、「満足している(計)」は高くなる傾向にあり、「会えば立ち話をする程度」で8割を超え、「ときどき電話をしたり、連絡を取り合っている」「互いの家にあがり、話や食事をする」では9割半ばを占める。「ほとんどつきあいはない」は「満足している(計)」が32.4%、「満足していない(計)」が16.2%である。

図IV-2-2-5 地域とのつながりや近所づきあいの満足度(ご近所づきあいの程度別)

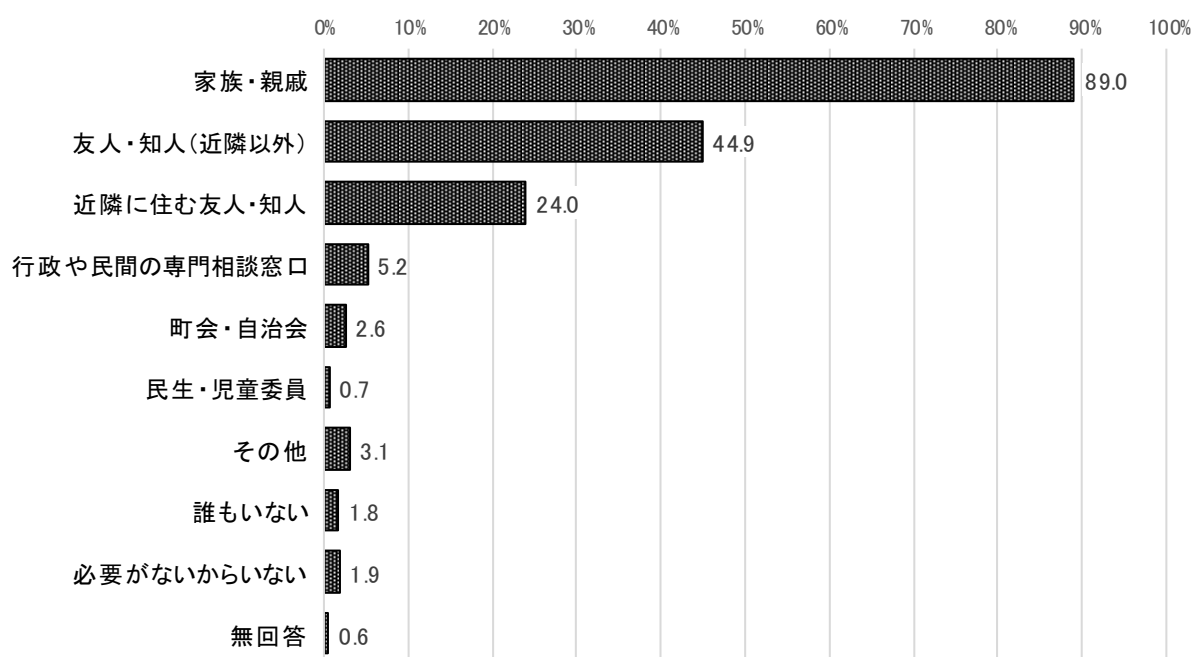


### (3) 日常生活の手助けや相談する相手

問4:あなたが日常生活で手助けをしてもらったり、相談をするのは誰ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「家族・親戚」が89.0%で最も高い。次いで、「友人・知人(近隣以外)」(44.9%)、「近隣に住む友人・知人」(24.0%)が続く。「行政や民間の専門相談窓口」は5.2%である。

図IV-2-3-1 日常生活の手助けや相談する相手(n=1,667)



#### 【その他の回答】

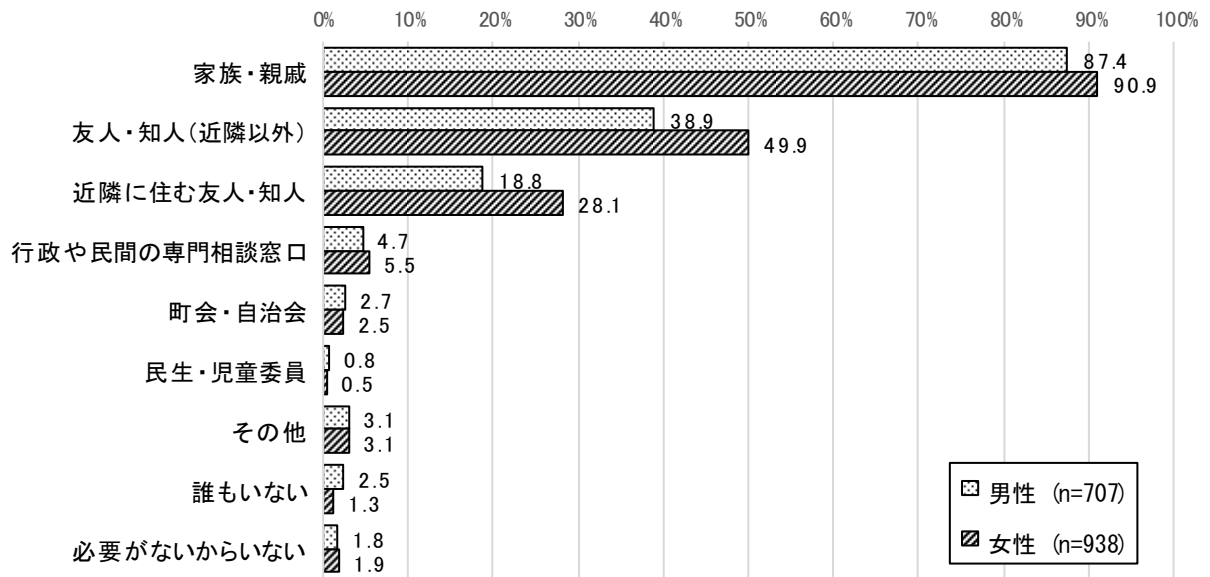
「職場の同僚/会社の人」、「ケアマネージャー/デイサービス/老人ホーム職員」、「保育園の方/ママ友」、「大家/居住マンションのスタッフ」など

#### ①性・年齢別

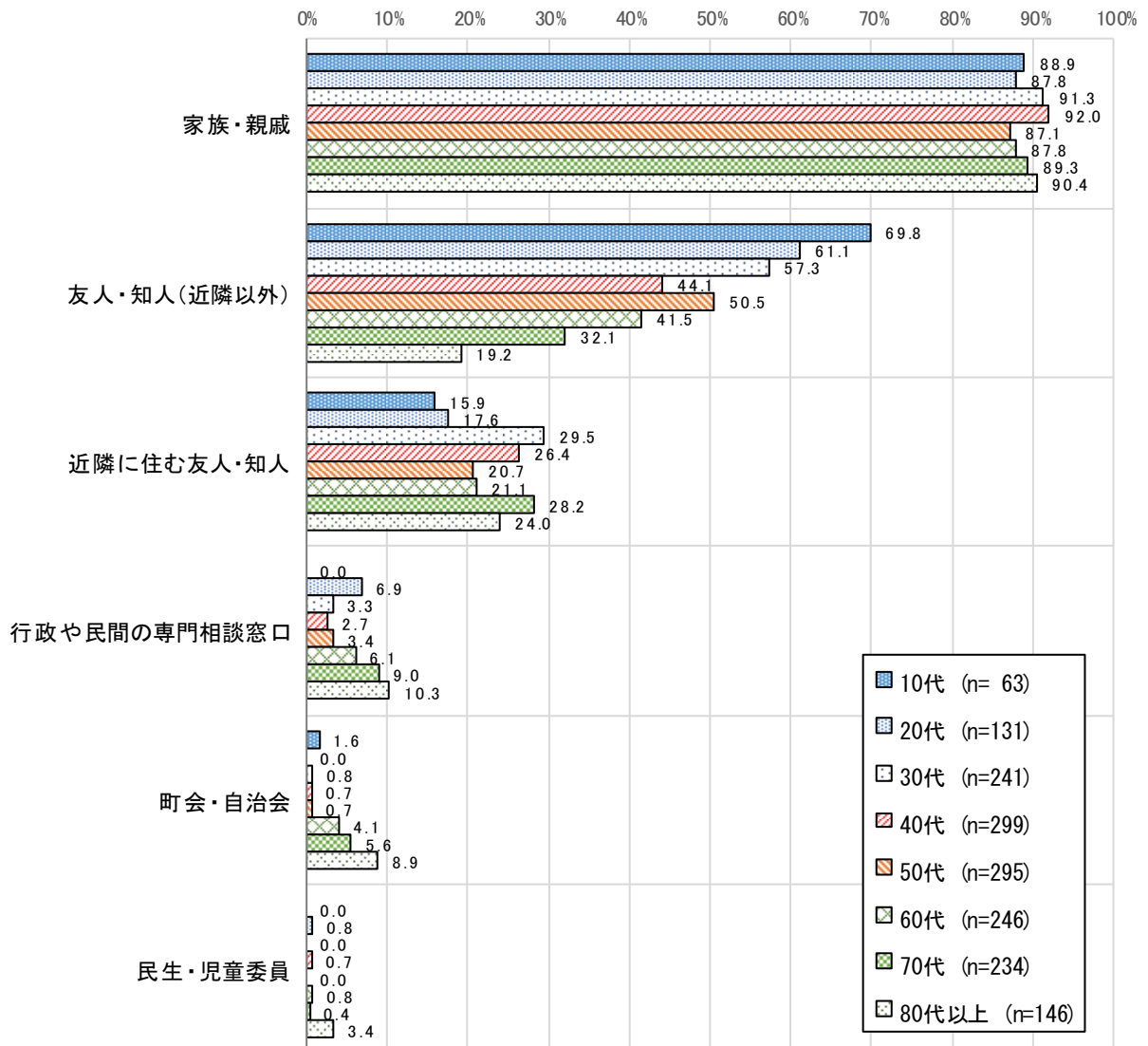
性別でみると、相談する相手の上位3位は男女とも変わらないが、女性の方が男性より、「友人・知人(近隣以外)」や「近隣に住む友人・知人」へ相談する割合が高い。

年齢別でみると、「家族・親戚」はいずれの年代も最も高く、8割を超えている。「友人・知人(近隣以外)」は年代が上がるにつれ、割合が低くなる傾向がみられる。「行政や民間の専門相談窓口」は80代以上で1割を超えている。

図IV-2-3-2 日常生活の手助けや相談する相手(性別)



図IV-2-3-3 日常生活の手助けや相談する相手(年齢別)

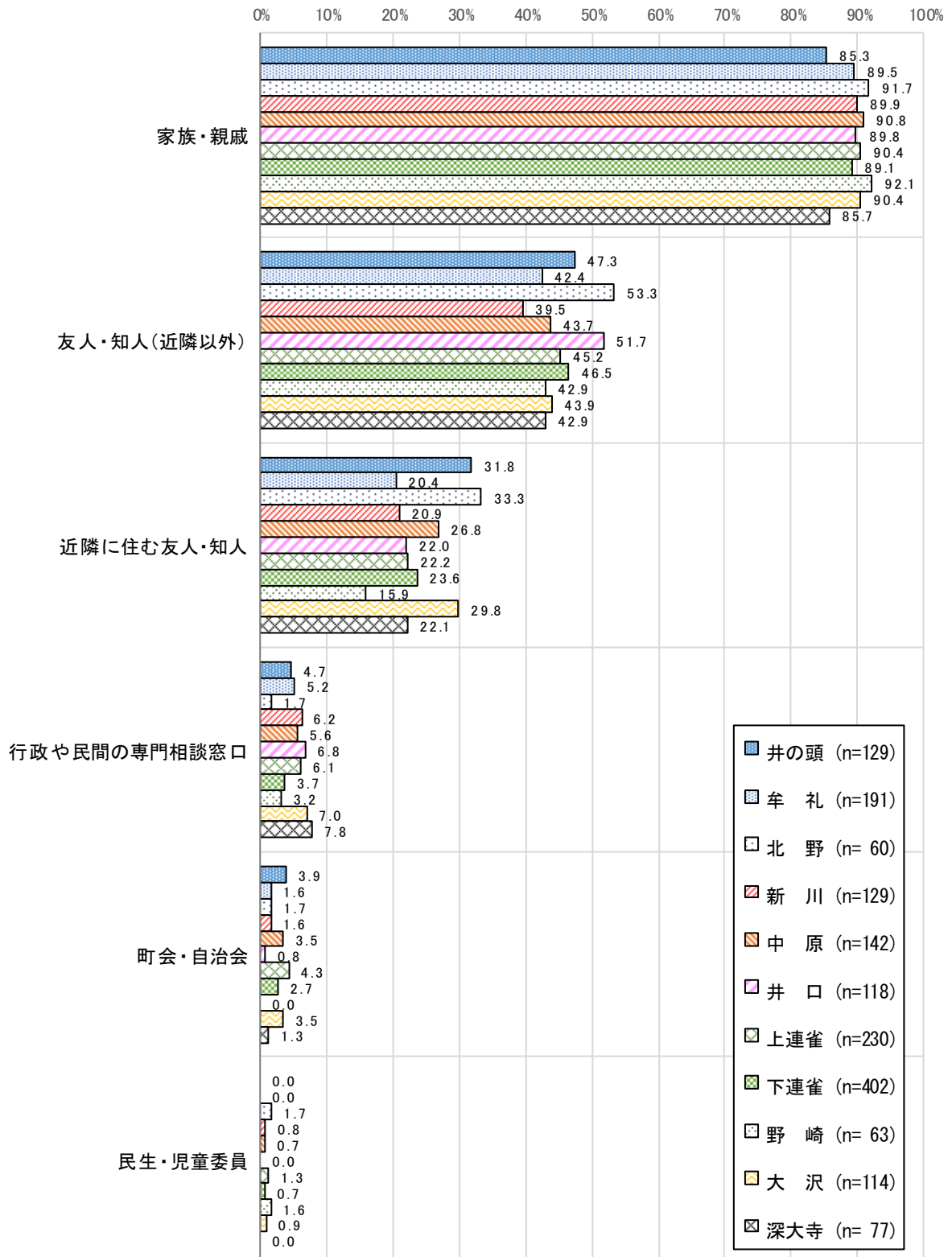




## ②地区別

地区別でみると、「家族・親戚」はいずれの地区も最も高く、8割を超えている。「友人・知人(近隣以外)」は北野と井口で5割を超え、他の地区よりやや高い。「近隣に住む友人・知人」は北野、井の頭で3割を超え、他の地区よりやや高い。

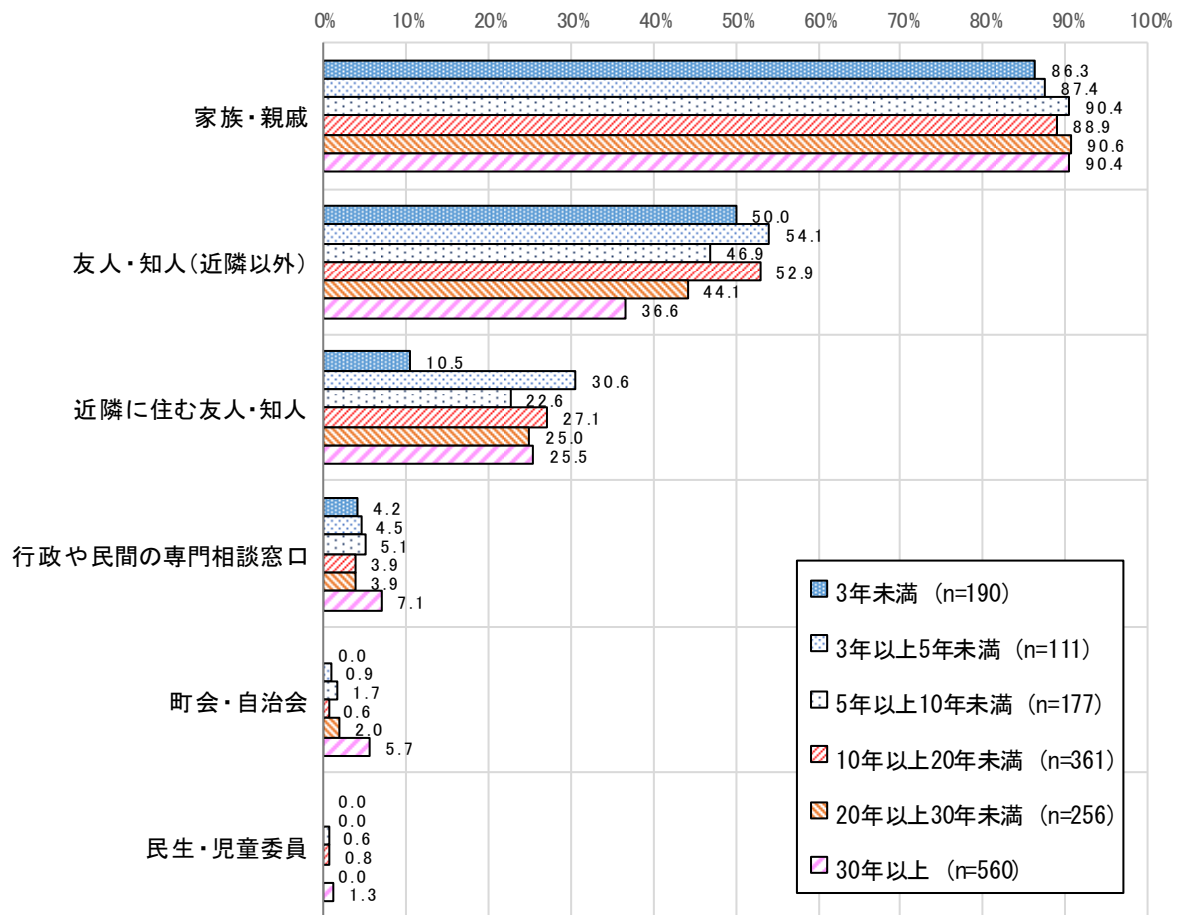
図IV-2-3-4 日常生活の手助けや相談する相手(地区別)



### ③居住年数別

居住年数別でみると、「家族・親戚」はいずれの層も最も高く、8割を超えている。「近隣に住む友人・知人」は居住年数 3 年未満では他層の半分以下(10.5%)で、近隣とのつきあいが希薄であることがうかがえる。居住年数 30 年以上は「行政や民間の専門相談窓口」や「町会・自治会」が他層よりやや高い。

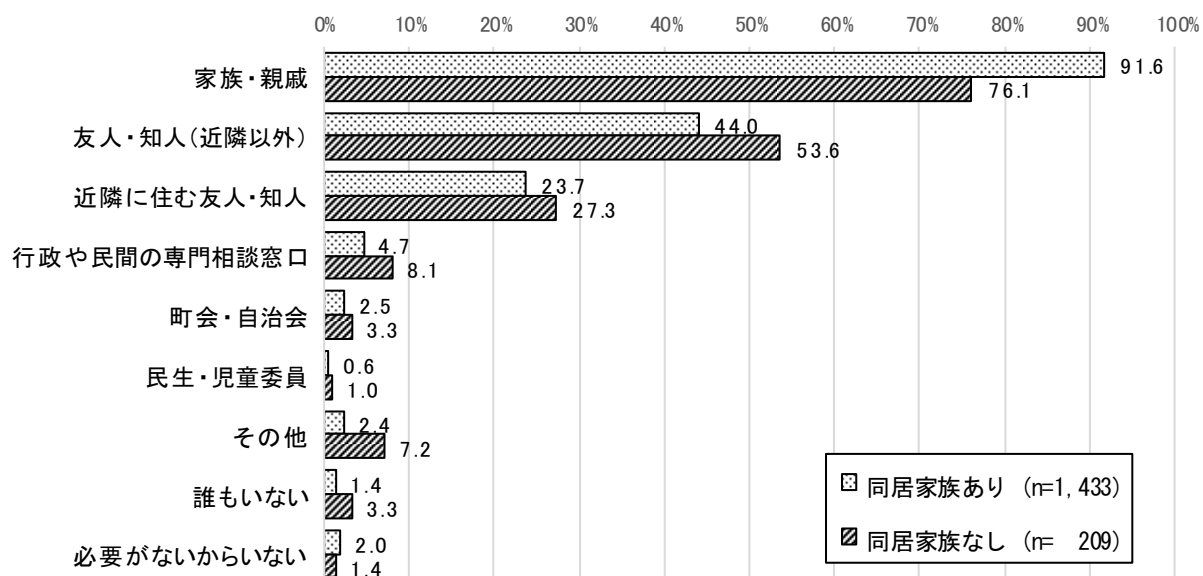
図IV-2-3-5 日常生活の手助けや相談する相手(居住年数別)



#### ④同居者の有無別

同居者の有無別でみると、同居家族ありは「家族・親戚」が9割を超えている。同居家族なしは「家族・親戚」が7割台にとどまっておろ、その代わりに「家族・親戚」以外の相手に相談していることがわかる。特に「友人・知人(近隣以外)」が増え、5割を超えている。

図IV-2-3-6 日常生活の手助けや相談する相手(同居者の有無別)

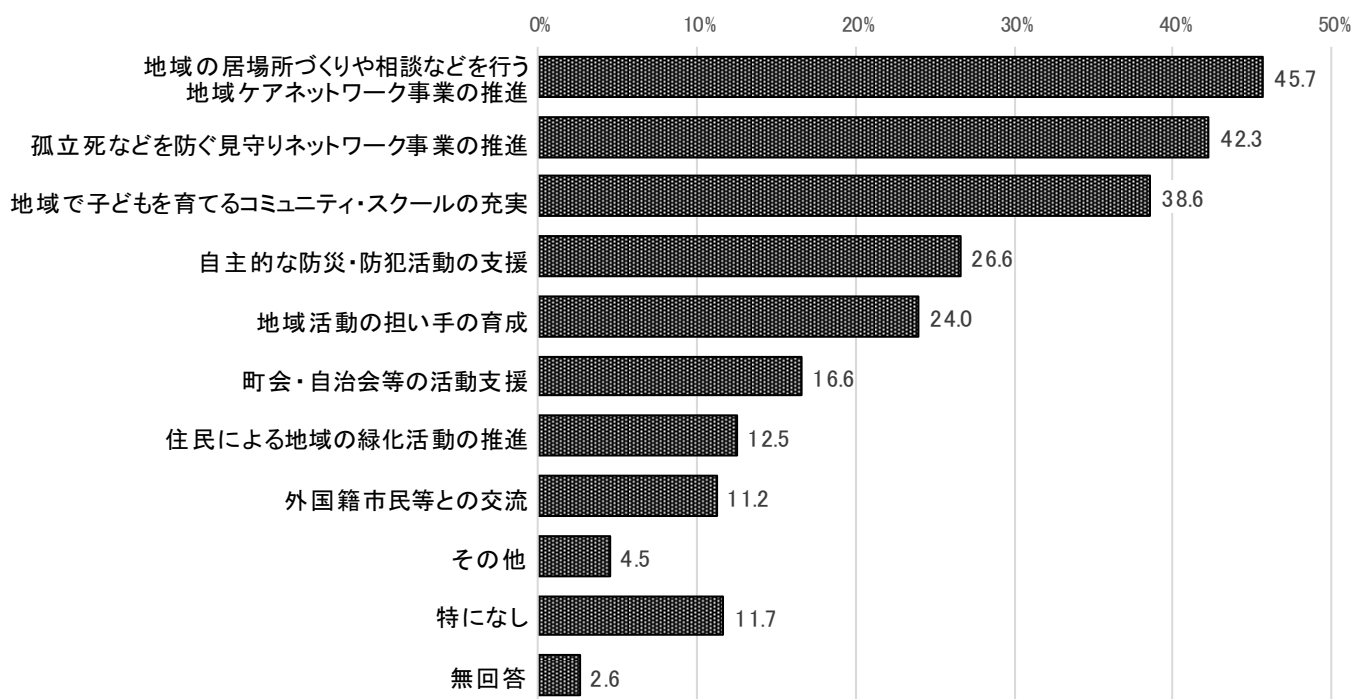


#### (4) 支えあう地域社会のために三鷹市が推進すべき取り組み

問5: 今後、住民同士が共に支えあう地域社会を生み出すために、三鷹市が推進すべき取り組みはどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

「地域の居場所づくりや相談などを行う地域ケアネットワーク事業の推進」が45.7%で最も高く、次いで、「孤立死などを防ぐ見守りネットワーク事業の推進」(42.3%)、「地域で子どもを育てるコミュニティ・スクールの充実」(38.6%)が高い。

図IV-2-4-1 支えあう地域社会のために三鷹市が推進すべき取り組み (n=1,667)



**【その他の回答】**

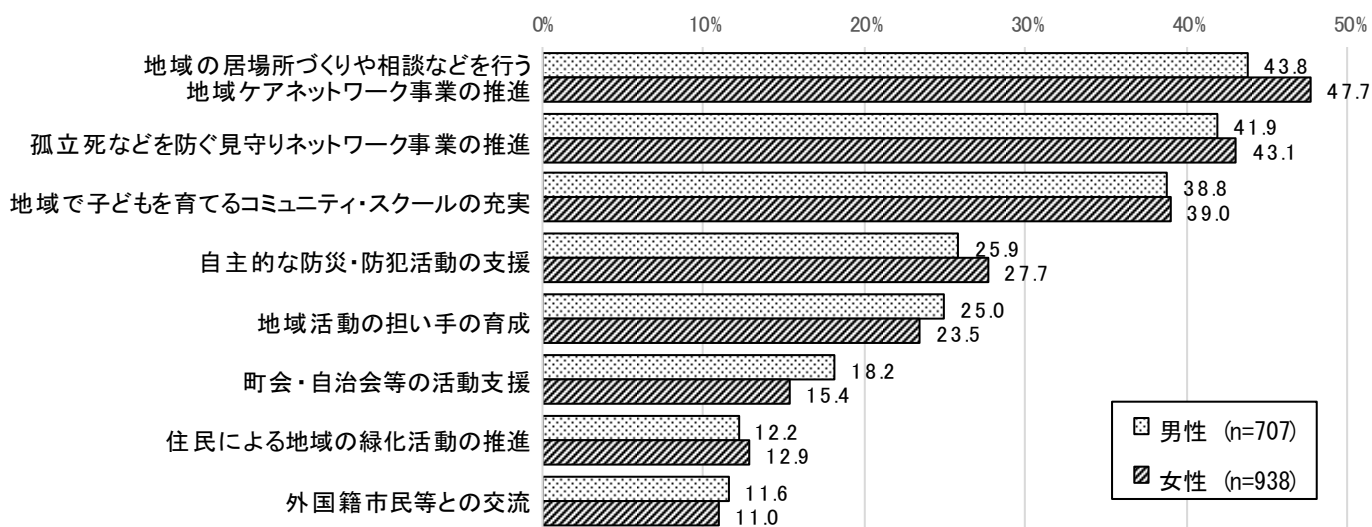
「地域コミュニティ・町会の活性化や改革」、「スポーツや音楽などイベントの充実」、「スポーツ・音楽・文化施設の充実/学校の開放」、「世代間・地域間交流の推進」、「人財の有効活用・マッチング」、「道路整備/交通の利便性向上」など

### ①性・年齢別

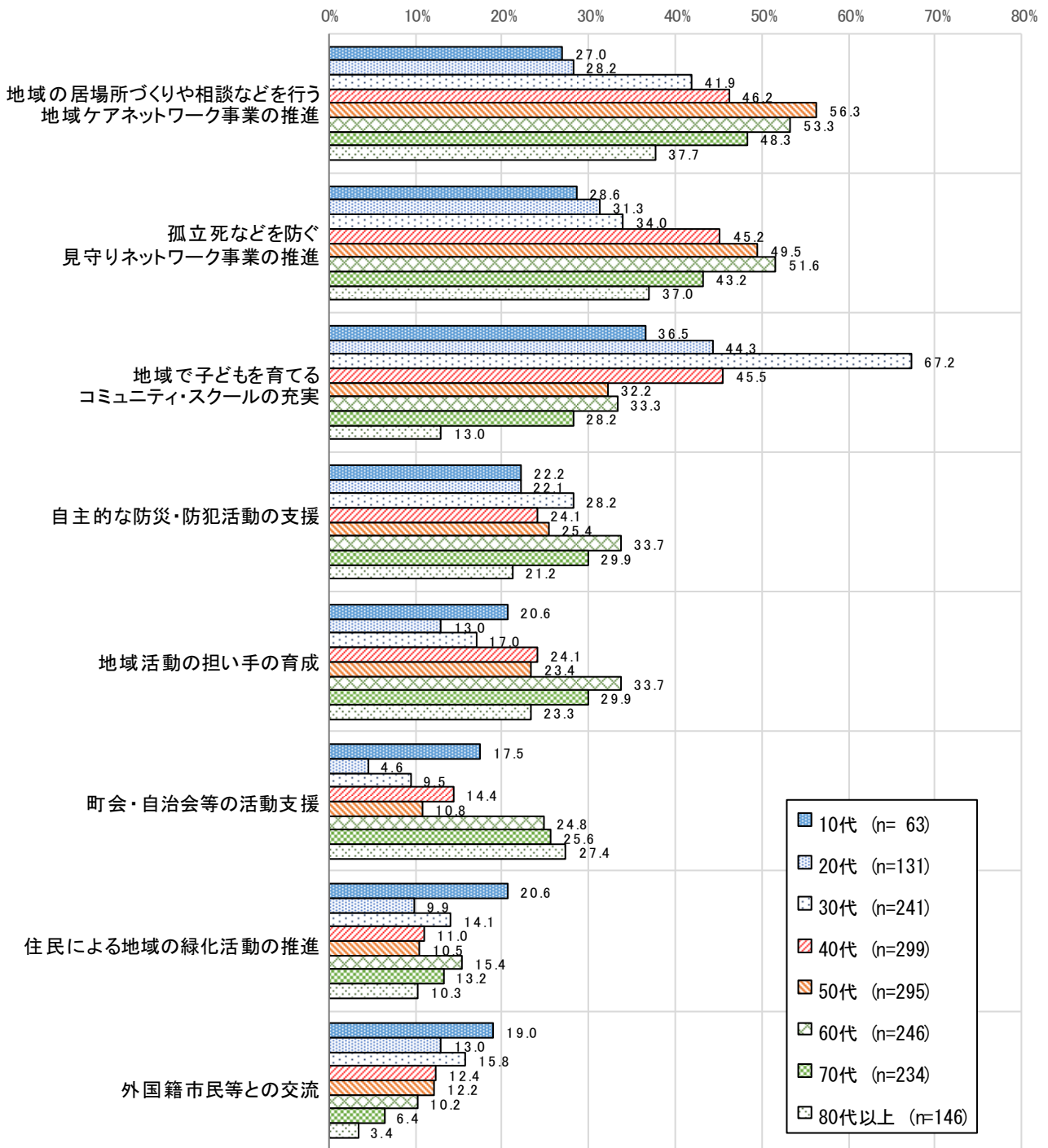
性別でみると、男女ともほぼ同様の傾向がみられる。

年齢別でみると、「地域で子どもを育てるコミュニティ・スクールの充実」は30代が67.2%で他の年代より高い。「地域ケアネットワーク事業の推進」や「見守りネットワーク事業の推進」は50代・60代が高い。「自主的な防災・防犯活動の支援」や「地域活動の担い手の育成」は60代・70代が高く、「町会・自治会等の活動支援」は60代以上が高い。

図IV-2-4-2 支えあう地域社会のために三鷹市が推進すべき取り組み(性別)



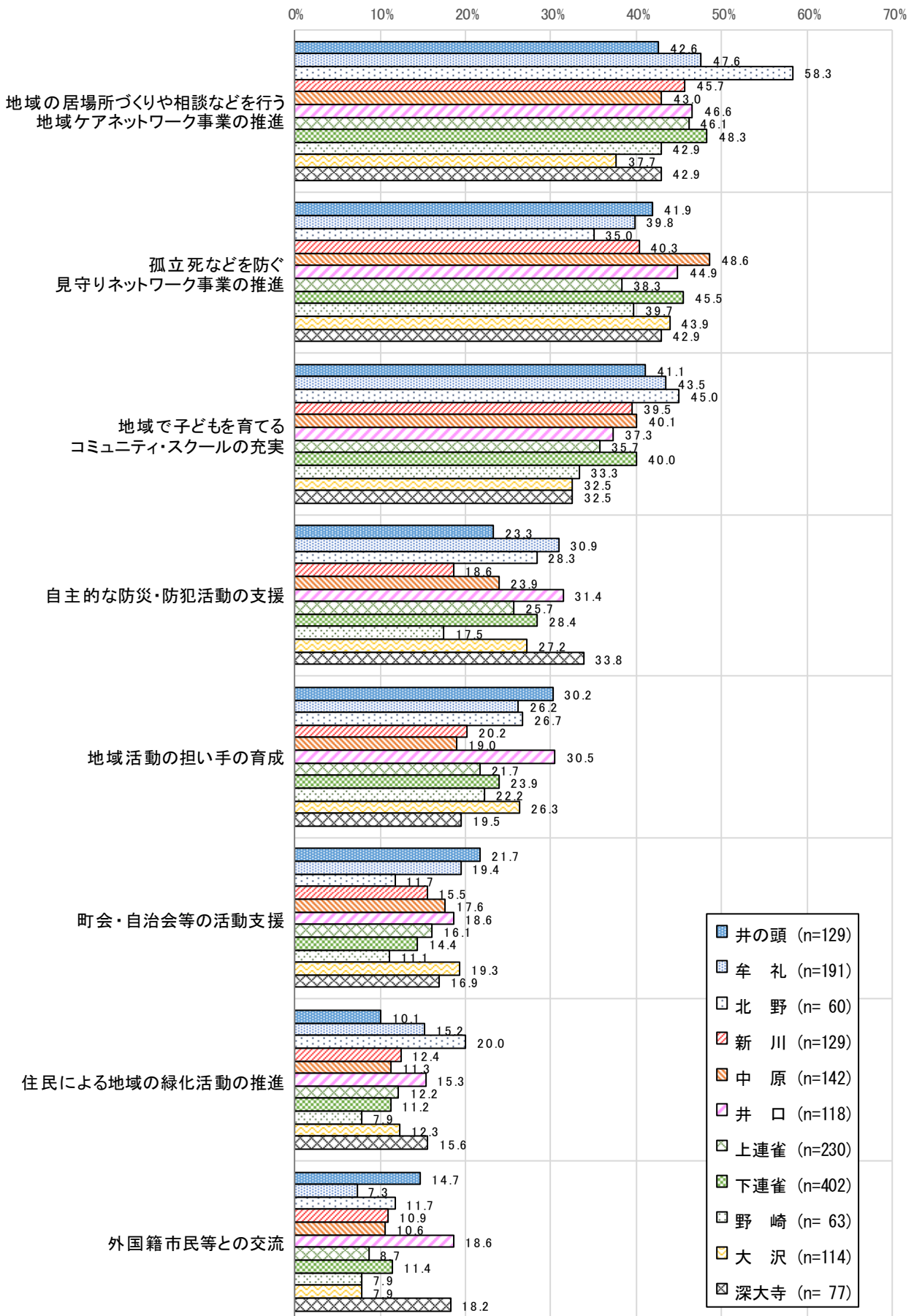
図IV-2-4-3 支えあう地域社会のために三鷹市が推進するべき取り組み(年齢別)



②地区別

地区別でみると、「地域ケアネットワーク事業の推進」は北野(58.3%)が最も高く、大沢(37.7%)が最も低い。「見守りネットワーク事業の推進」は中原(48.6%)が最も高く、北野(35.0%)が最も低い。「自主的な防災・防犯活動の支援」は深大寺、井口、牟礼で3割を超えている。

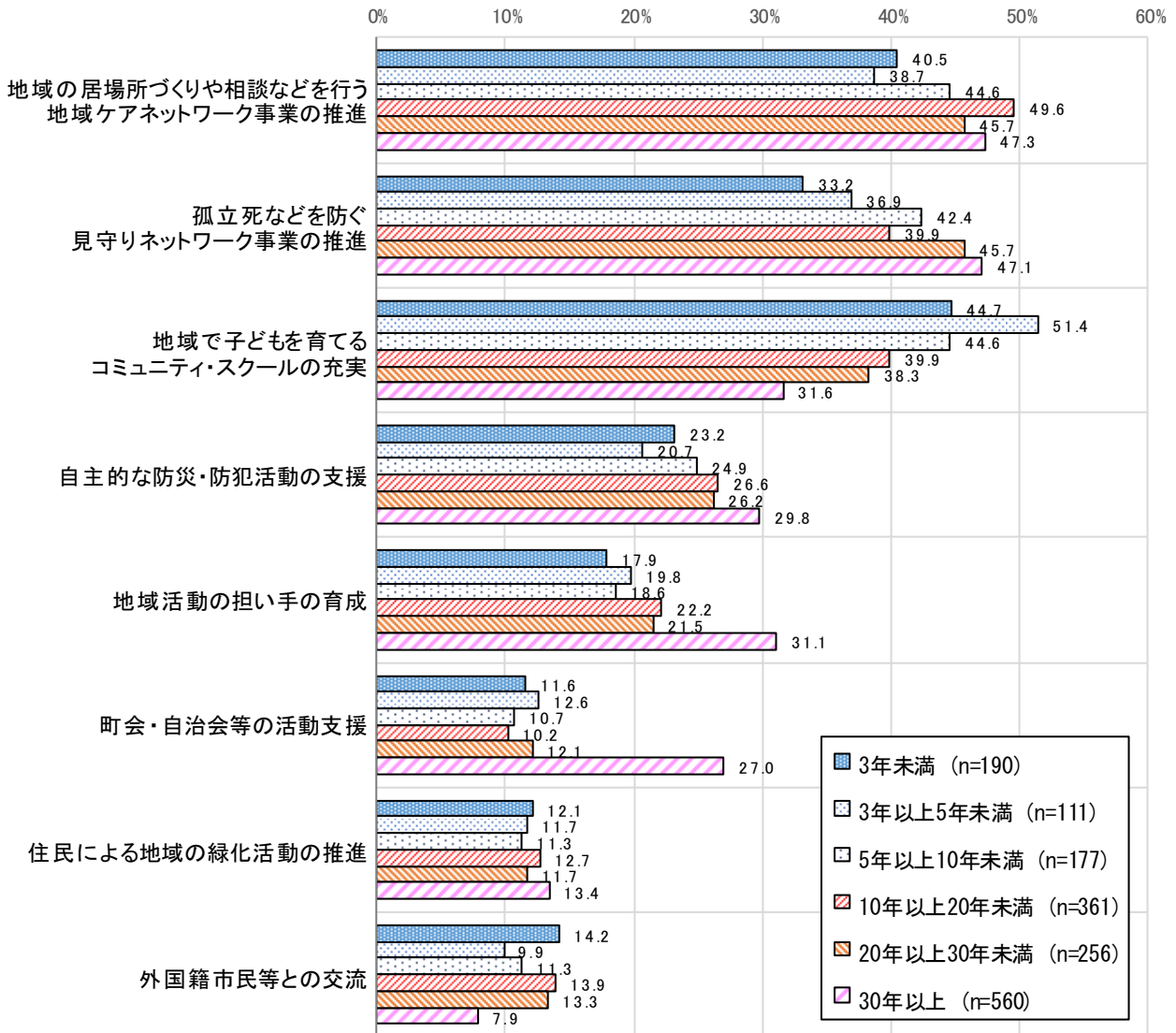
図IV-2-4-4 支えあう地域社会のために三鷹市が推進するべき取り組み(地区別)



### ③居住年数別

居住年数別でみると、「地域ケアネットワーク事業の推進」や「見守りネットワーク事業の推進」は居住年数5年以上でそれ未満より高くなる傾向がみられる。「地域で子どもを育てるコミュニティ・スクールの充実」は居住年数の少ない層の方が高く、3年以上5年未満は51.4%で最も高い。「地域活動の担い手の育成」や「町会・自治会等の活動支援」は30年以上が3割前後で他層より高い。

図IV-2-4-5 支えあう地域社会のために三鷹市が推進すべき取り組み(居住年数別)

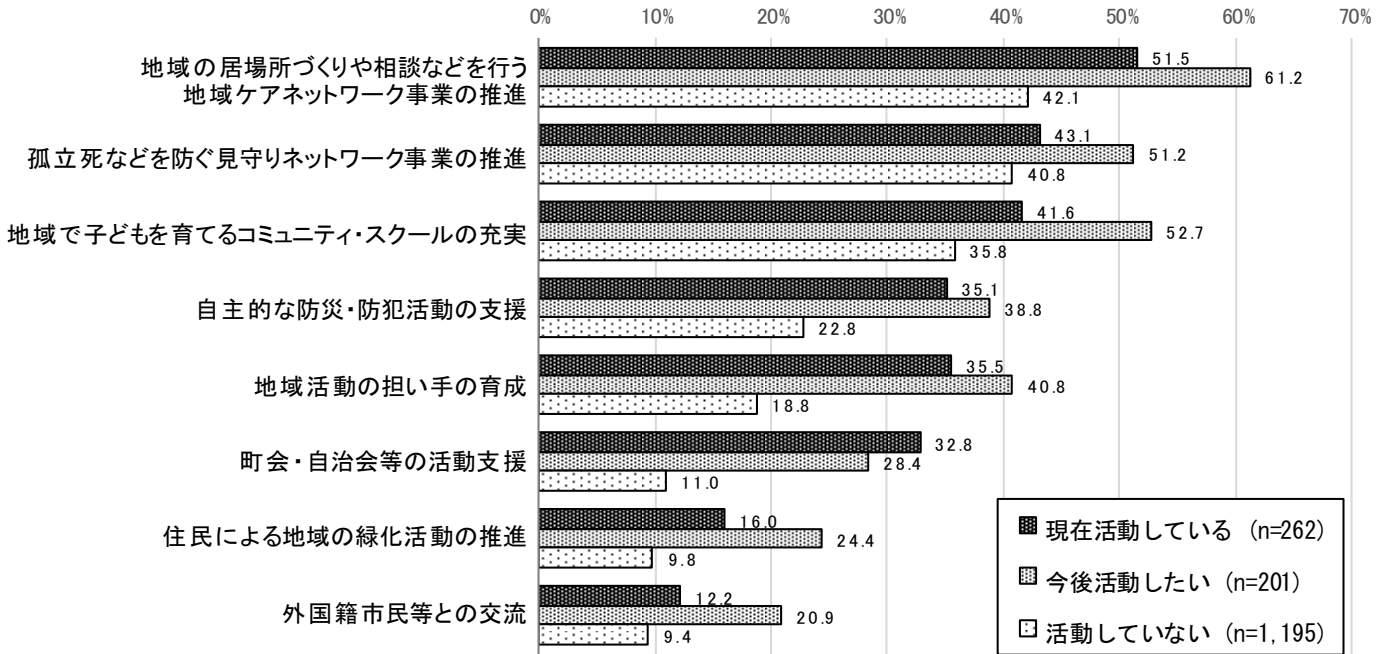




#### ④地域活動の参加状況別

問6の地域活動の参加状況別でみると、どの層も「地域ケアネットワーク事業の推進」が最も高い。「今後活動したい」は全体的に他層より高いが、「町会・自治会等の活動支援」は「現在活動している」が32.8%で「今後活動したい」(28.4%)より高い。「活動していない」は全体的に他層より低く、特に「地域活動の担い手の育成」「町会・自治会等の活動支援」は他層の半分程度にとどまっている。

図IV-2-4-6 支えあう地域社会のために三鷹市が推進すべき取り組み(地域活動の参加状況別)



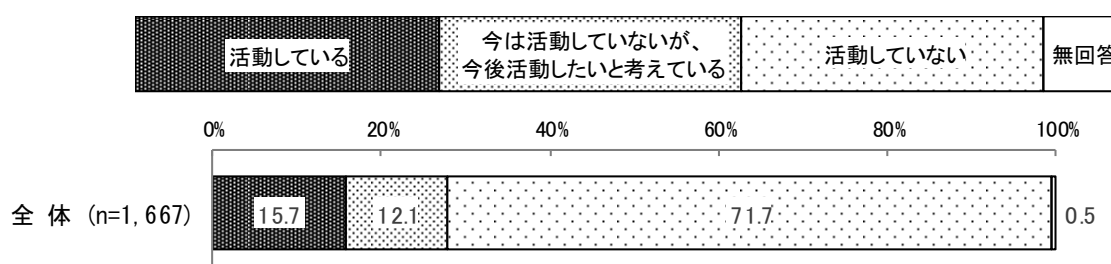
(5) 地域活動の参加状況

問6: あなたはお住まいの地域で何かしらの活動を行っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

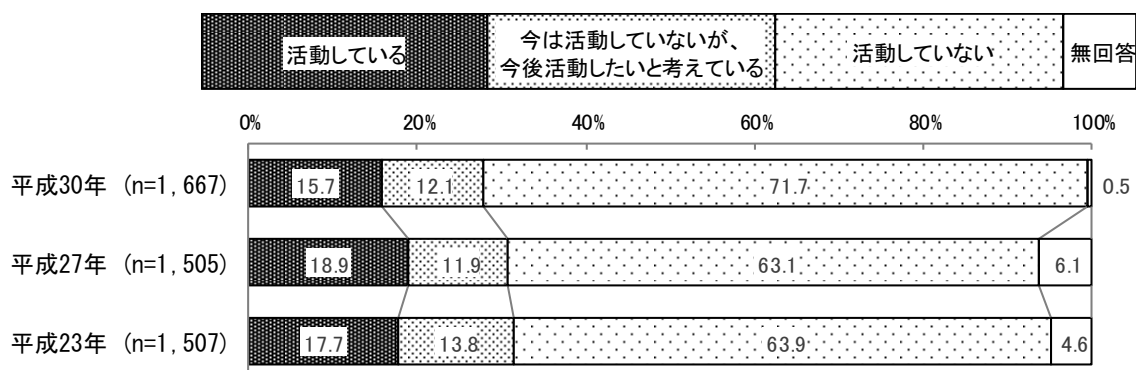
「活動していない」が 71.7%で最も高い。「活動している」は 15.7%、「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」は 12.1%である。

過去の調査結果と比較すると、平成30年は「活動している」がやや減り、「活動していない」が増えている。

図IV-2-5-1 地域活動の参加状況(n=1,667)



図IV-2-5-2 地域活動の参加状況(過去調査比較)

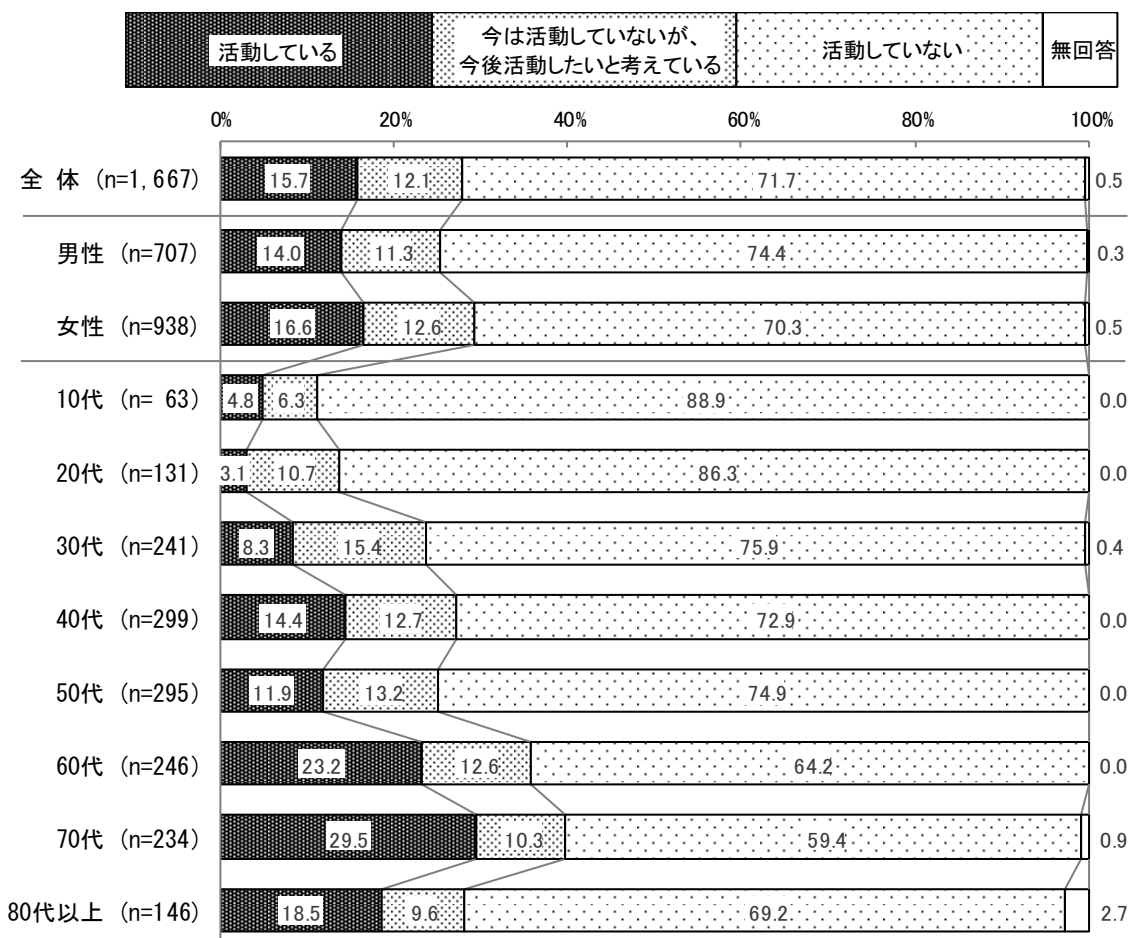


### ①性・年齢別

性別でみると、女性の方が男性より「活動していない」がやや低い。

年齢別でみると、10代から70代までは年代が上がるにつれ「活動していない」は低くなる傾向にある。「活動している」と「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」の合計は10～20代、30～50代、60～70代と段階的に高くなる傾向がみられる。

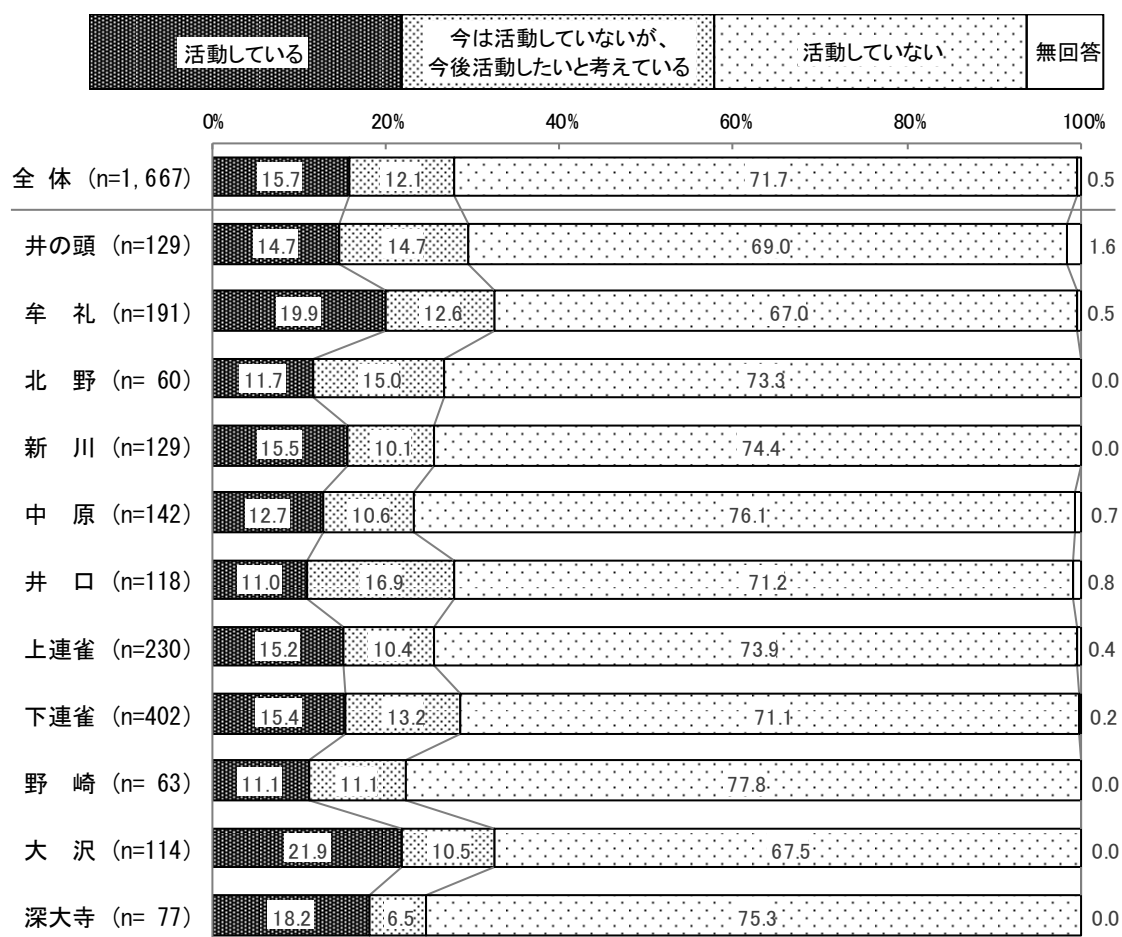
図IV-2-5-3 地域活動の参加状況(性・年齢別)



## ②地区別

地区別でみると、「活動している」は大沢が21.9%で最も高く、次いで牟礼(19.9%)、深大寺(18.2%)が高い。「活動している」が低いのは井口(11.0%)や野崎(11.1%)で、野崎は「活動していない」が77.8%で最も高い。

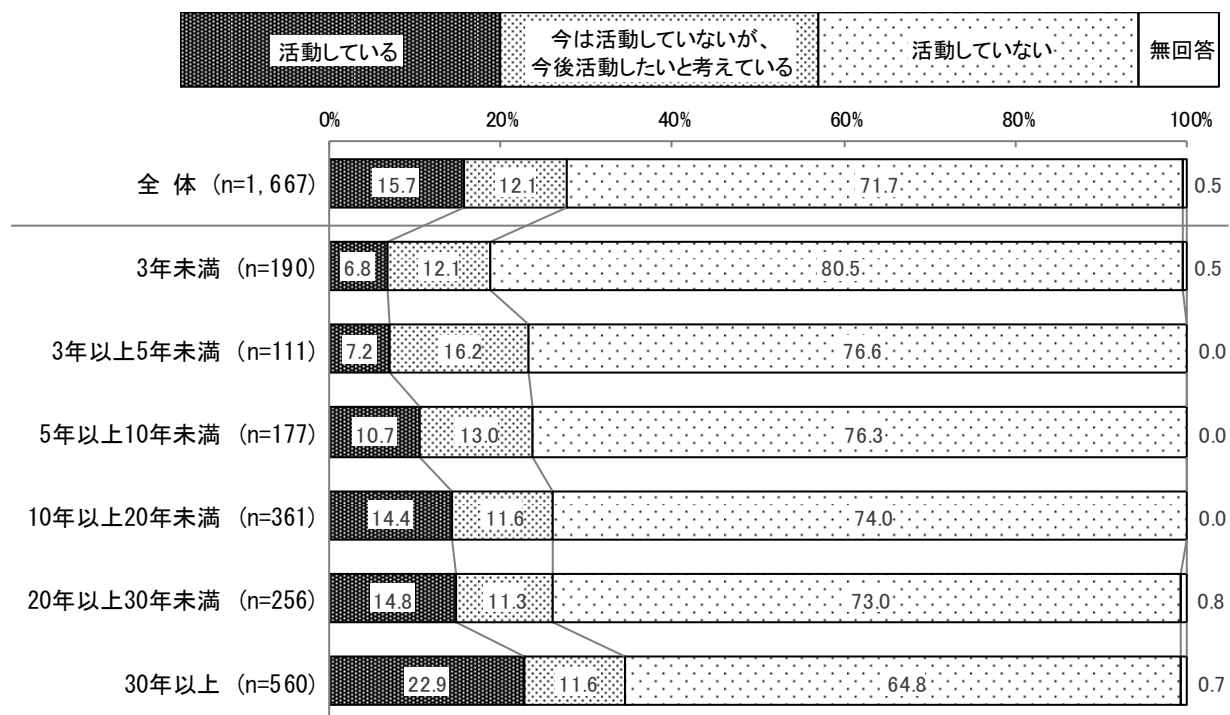
図IV-2-5-4 地域活動の参加状況(地区別)



### ③居住年数別

居住年数別でみると、居住年数が長くなるほど「活動している」の割合が高くなる傾向にあり、30年以上は2割を占める。3年未満は「活動していない」が8割を超えている。

図IV-2-5-5 地域活動の参加状況(居住年数別)



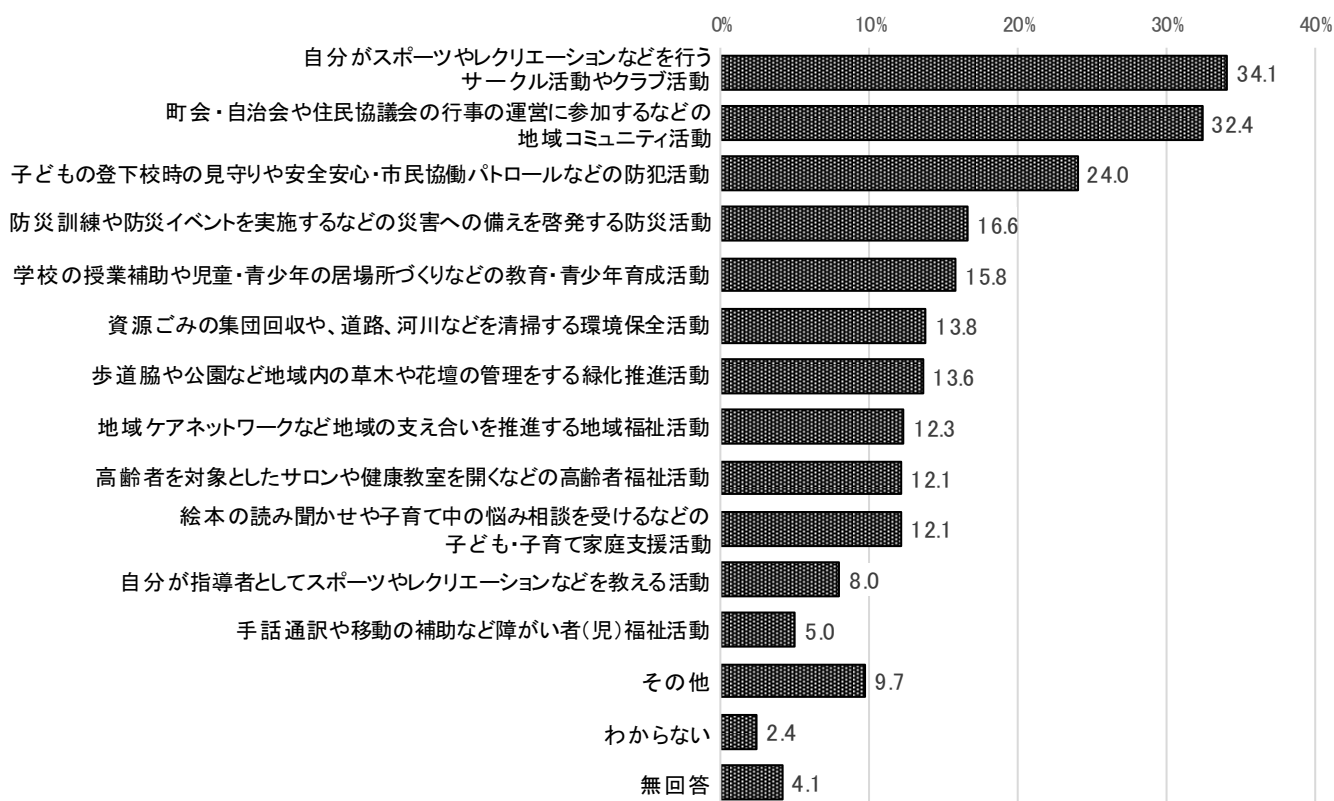
## (6) 現在行っている活動と今後行いたい活動

問6-1:「1.活動している」と回答した方は現在行っている活動、「2.今は活動していないが、今後活動したいと考えている」と回答した方は今後行いたいと考えている活動について、あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問6で「活動している」「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」と回答した方対象

「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動」(34.1%)と「町会・自治会や住民協議会の行事の運営に参加するなどの地域コミュニティ活動」(32.4%)が3割を超えている。次いで、「子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動」(24.0%)が高い。

過去の調査結果は選択肢がやや異なるため直接比較はできないが、上位2位に変化はない。

図IV-2-6-1 現在行っている活動と今後行いたい活動(n=463)

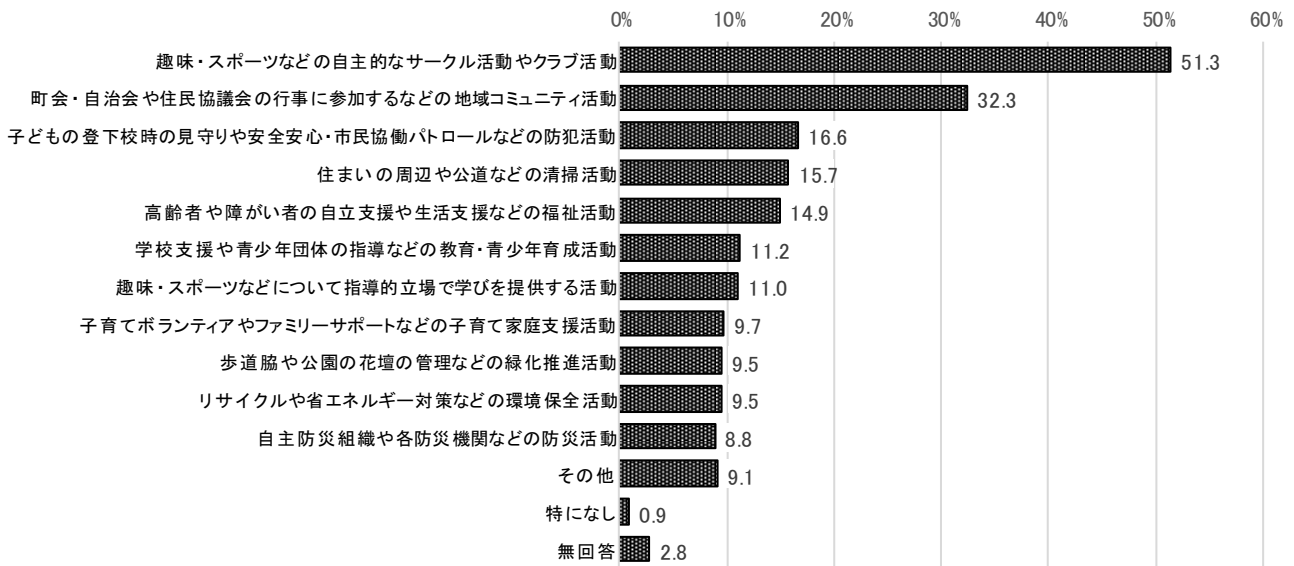


### 【その他の回答】

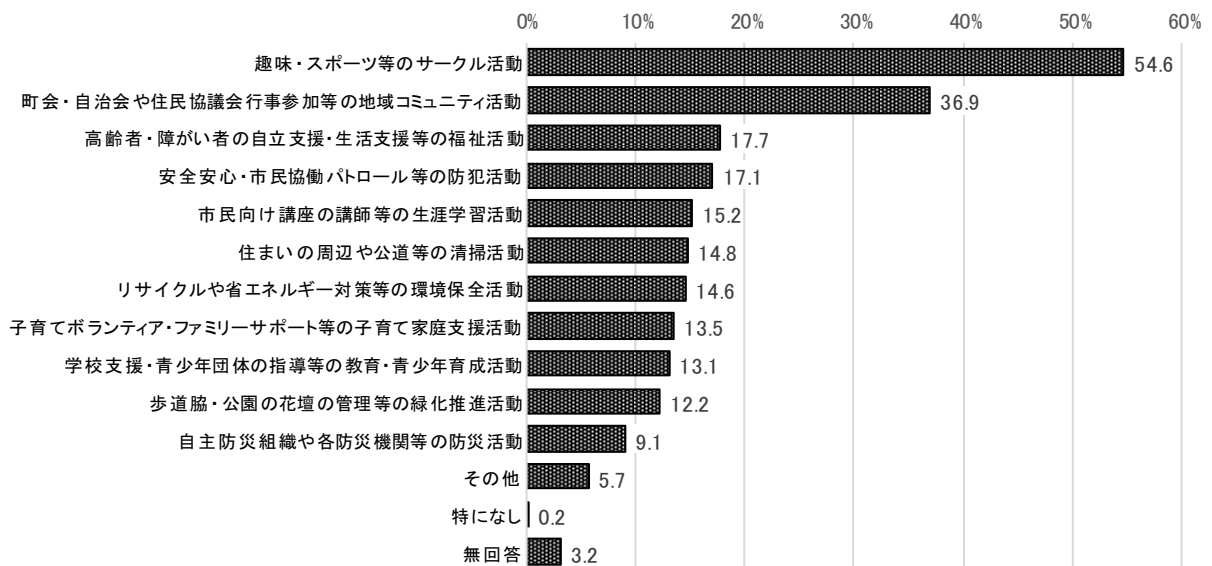
「子ども食堂/児童福祉施設/子ども会」、「ほのぼのネット/ボランティア活動」、「PTA 活動/おやじの会」、「社会福祉事業団/老人保健施設」、「シルバーセンター/シルバー活動」など

【参考資料】

現在行っている活動と今後行いたい活動(平成 27 年 n=464)



現在行っている活動と今後行いたい活動(平成 23 年 n=474)

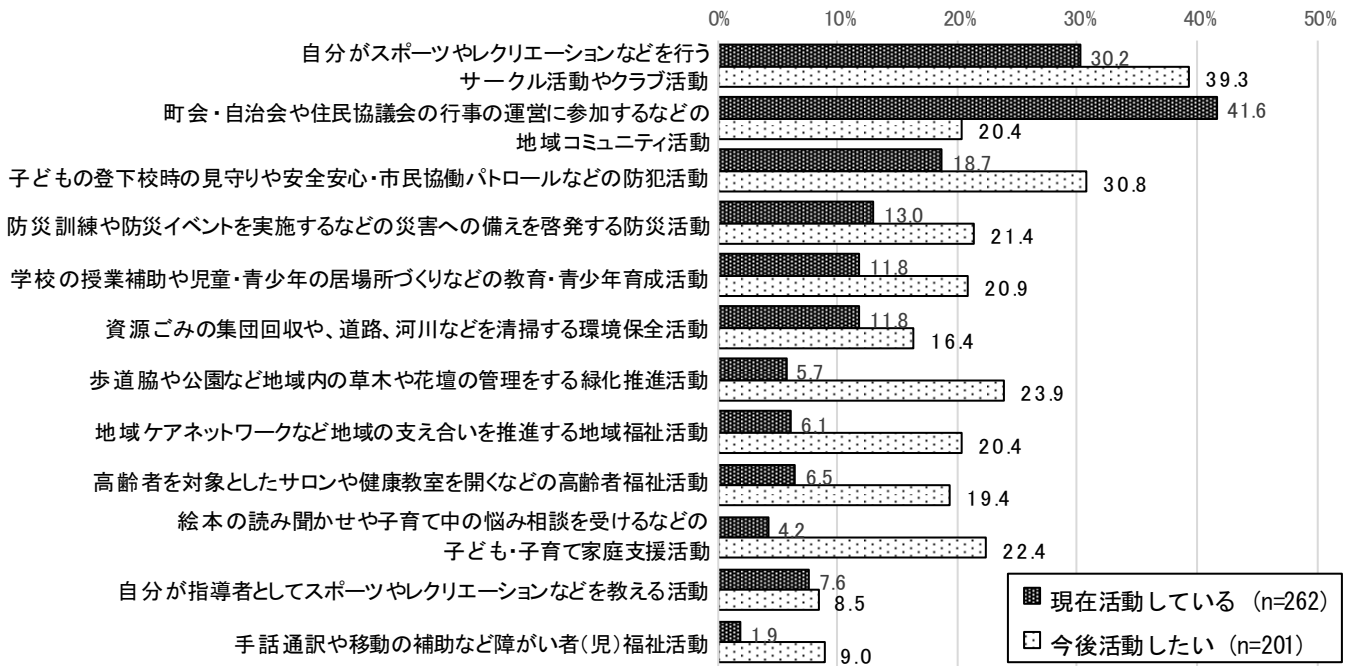


①現在行っている活動と今後行いたい活動

現在行っている活動でみると、「町会・自治会や住民協議会の行事の運営に参加するなどの地域コミュニティ活動」が 41.6%で最も高く、次いで「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動」(30.2%)が高い。

今後行いたい活動でみると、「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動」が 39.3%で最も高く、次いで「子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動」(30.8%)が高い。また、「緑化推進活動」「子ども・子育て家庭支援活動」「防災活動」「教育・青少年育成活動」「地域福祉活動」も2割を超えており、様々な活動への参加意向があることがうかがえる。

図IV-2-6-2 現在行っている活動と今後行いたい活動(現在と今後)

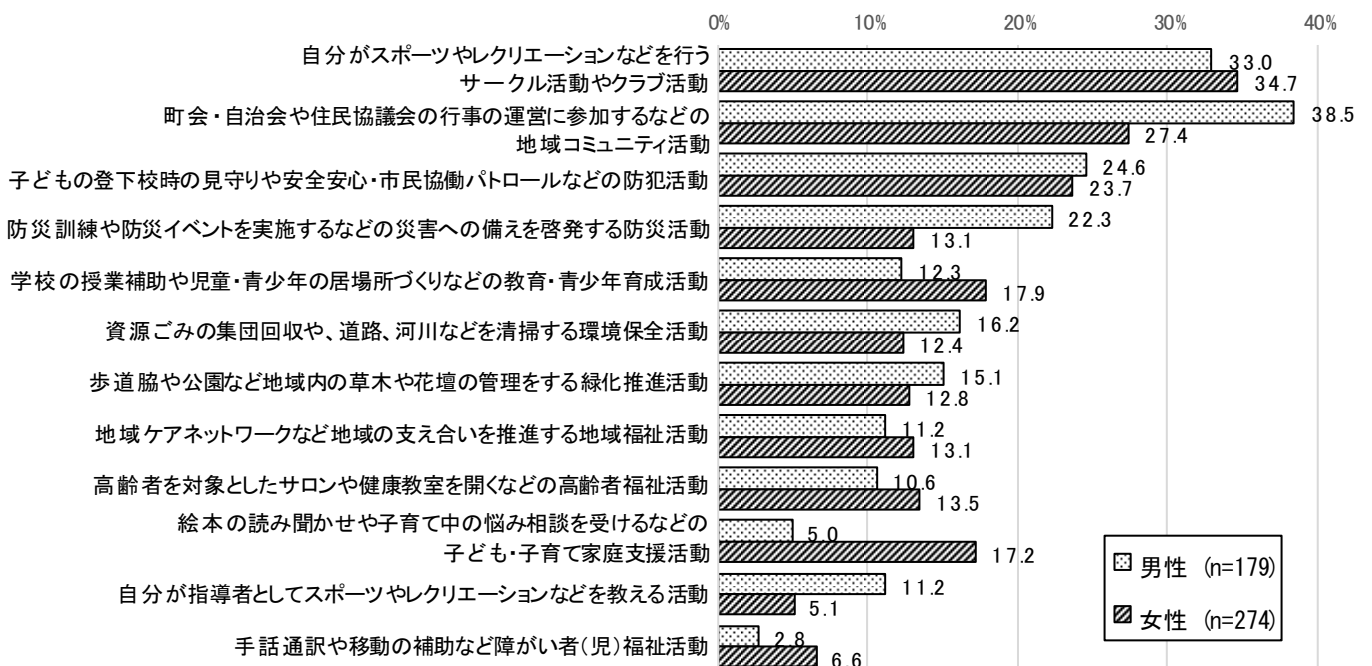


②性・年齢別

性別でみると、男性は「地域コミュニティ活動」や「防災活動」が女性より高く、女性は「教育・青少年育成活動」や「子ども・子育て家庭支援活動」が男性より高い。

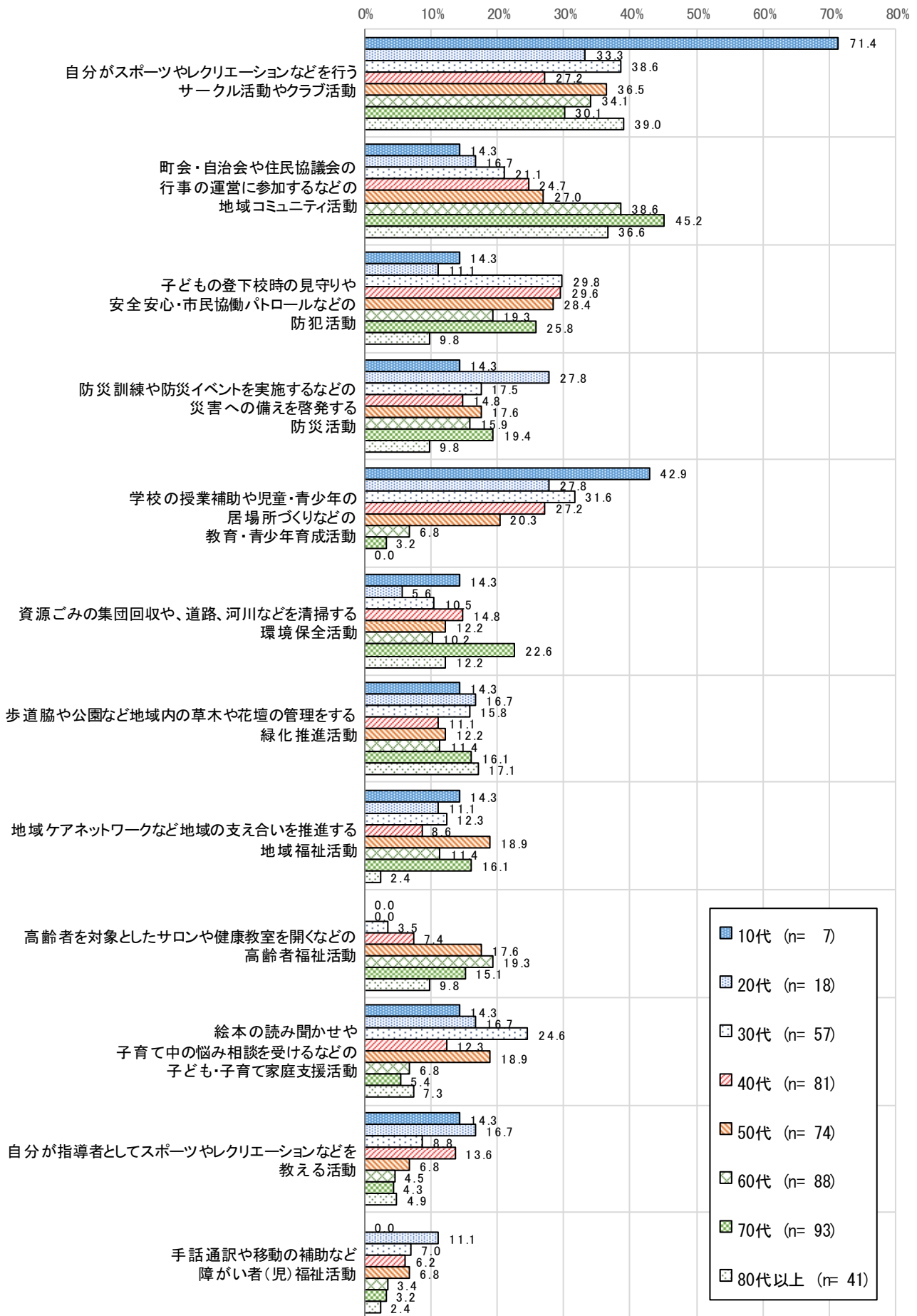
年齢別でみると、10代・20代は回答数が少ないため傾向をみるのは難しいが、「地域コミュニティ活動」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、「教育・青少年育成活動」は年代が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。

図IV-2-6-3 現在行っている活動と今後行いたい活動(性別)





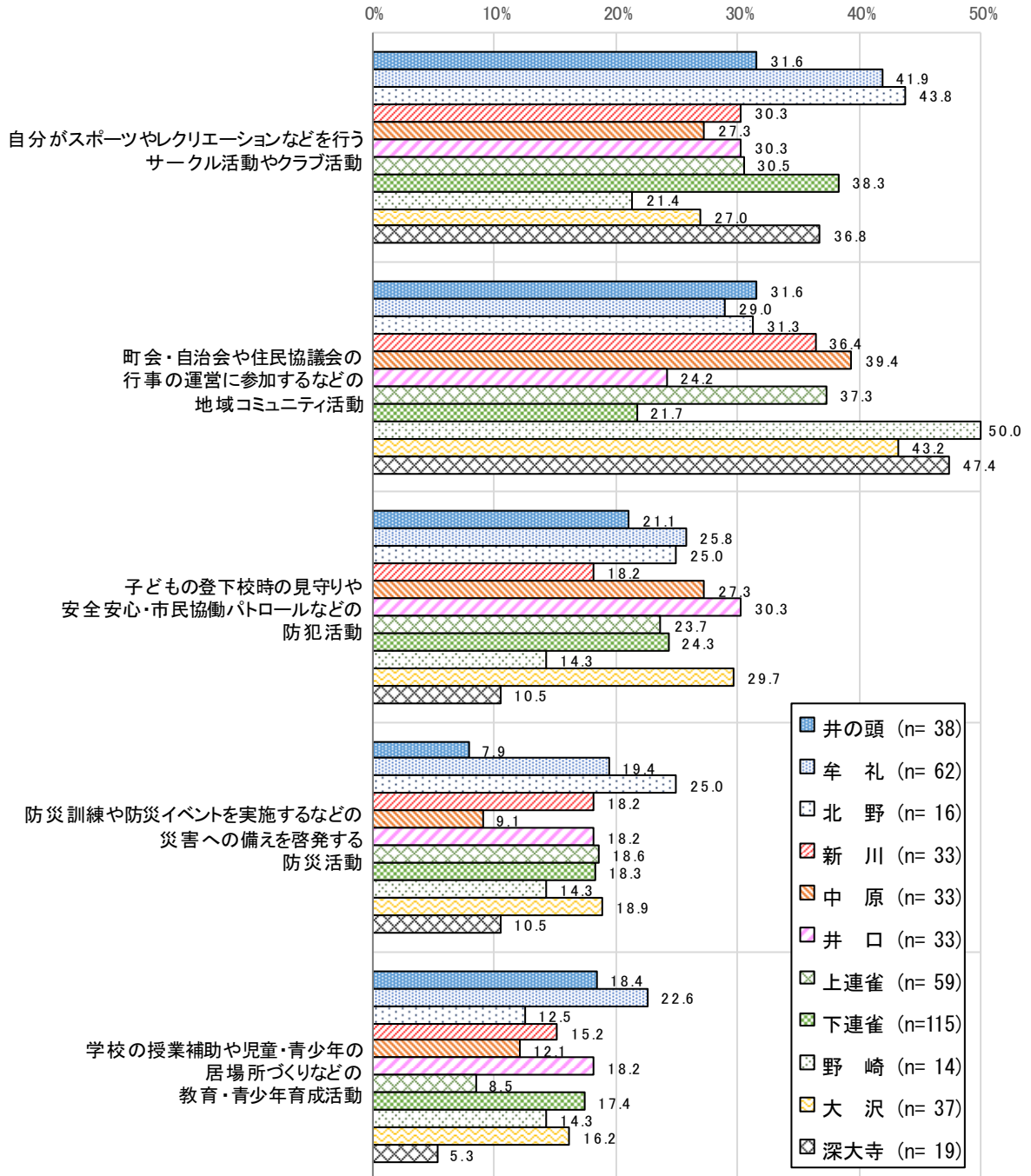
図IV-2-6-4 現在行っている活動と今後行いたい活動(年齢別)



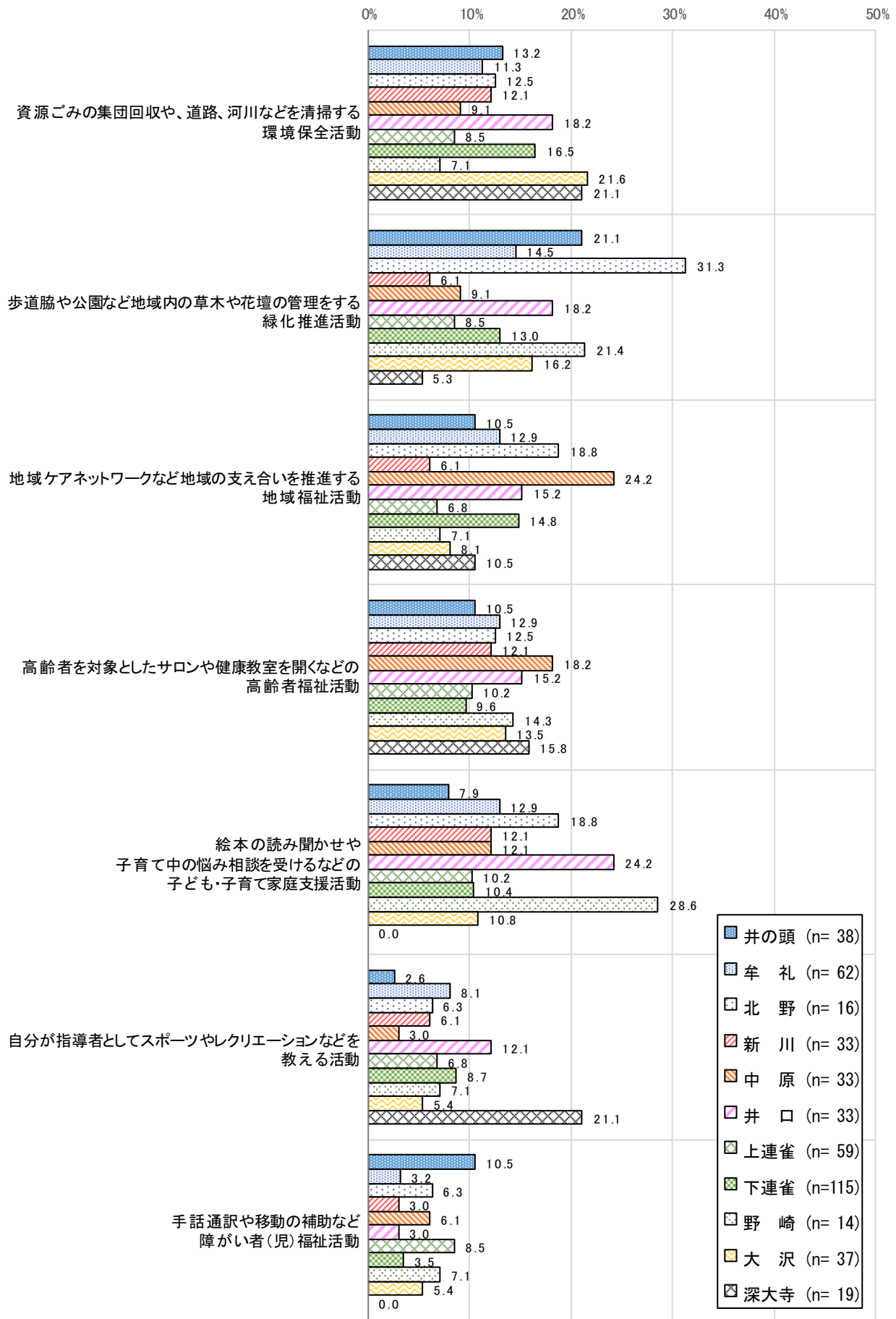
### ③地区別

地区別でみると、回答数が少ない地区があるため比較するのは難しいが、「地域コミュニティ活動」は井口や下連雀がやや低く、「防災活動」は井の頭や中原がやや低い。

図IV-2-6-5 現在行っている活動と今後行いたい活動(地区別)(その1)



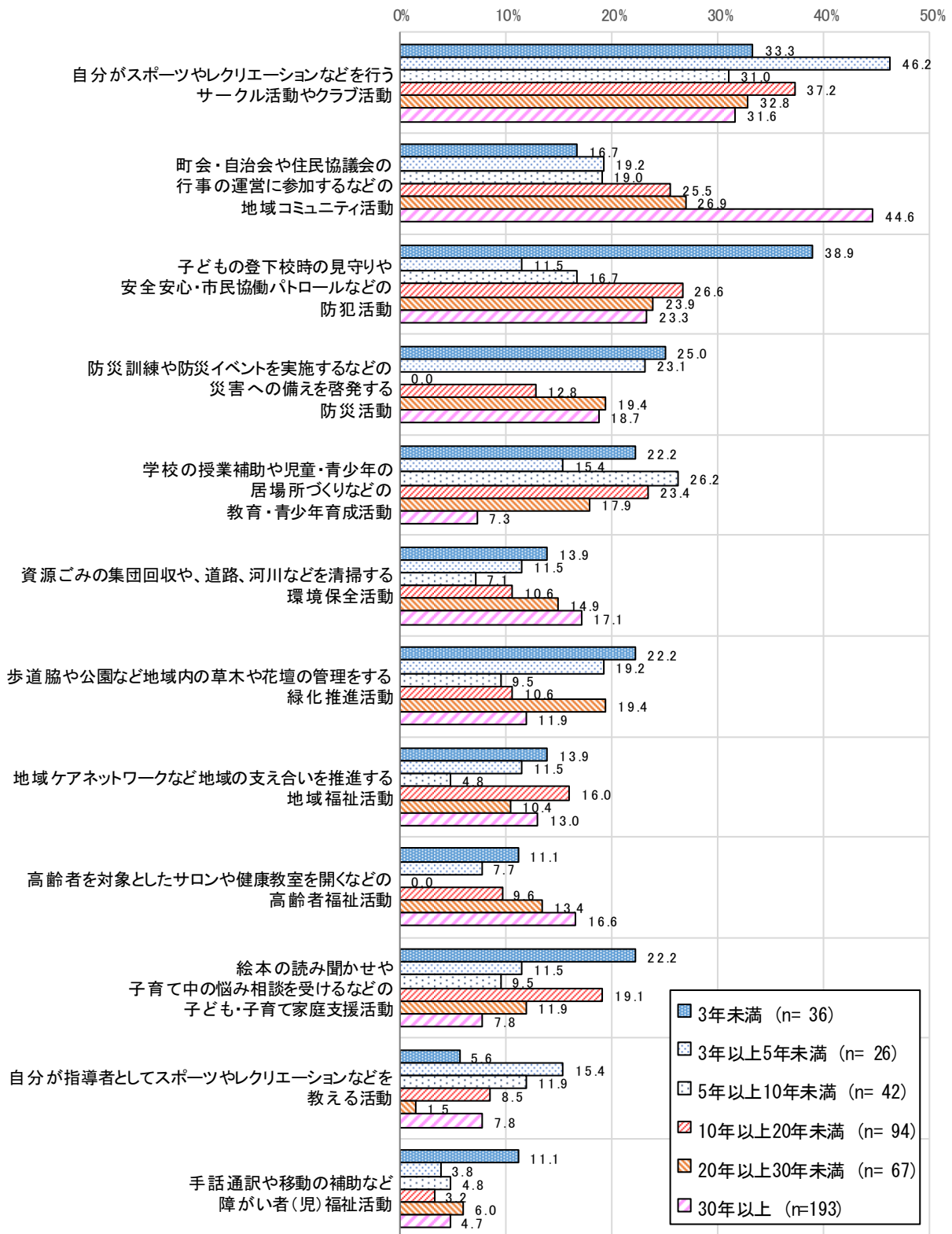
図IV-2-6-5 現在行っている活動と今後行いたい活動(地区別)(その2)



#### ④居住年数別

居住年数別でみると、回答数の少ない3年以上5年未満を除くと、「サークル活動やクラブ活動」は全ての層で3割を超えている。「地域コミュニティ活動」は居住年数が長くなるにつれ高くなる傾向がみられ、30年以上では44.6%に達する。「防犯活動」は3年未満が38.9%で他層より高い。また、「防犯活動」と「防災活動」は5年以上10年未満が他層より低い。

図IV-2-6-6 現在行っている活動と今後行いたい活動(居住年数別)



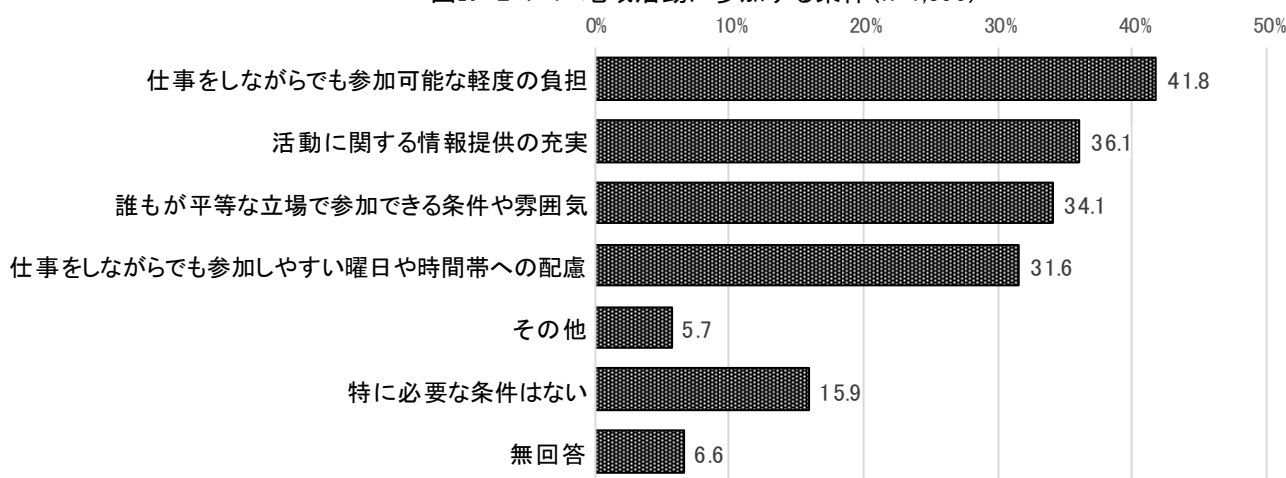
(7) 地域活動に参加する条件

問6-2:あなたが今後、様々な地域の活動に参加する場合、どのような条件が必要となりますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問6で「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」「活動していない」と回答した方対象]

「仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担」が41.8%で最も高く、「活動に関する情報提供の充実」(36.1%)、「誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気」(34.1%)、「仕事をしながらでも参加しやすい曜日や時間帯への配慮」(31.6%)が続く。

過去の調査結果と比較すると、「仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担」や「誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気」が過去の調査より高くなっている。

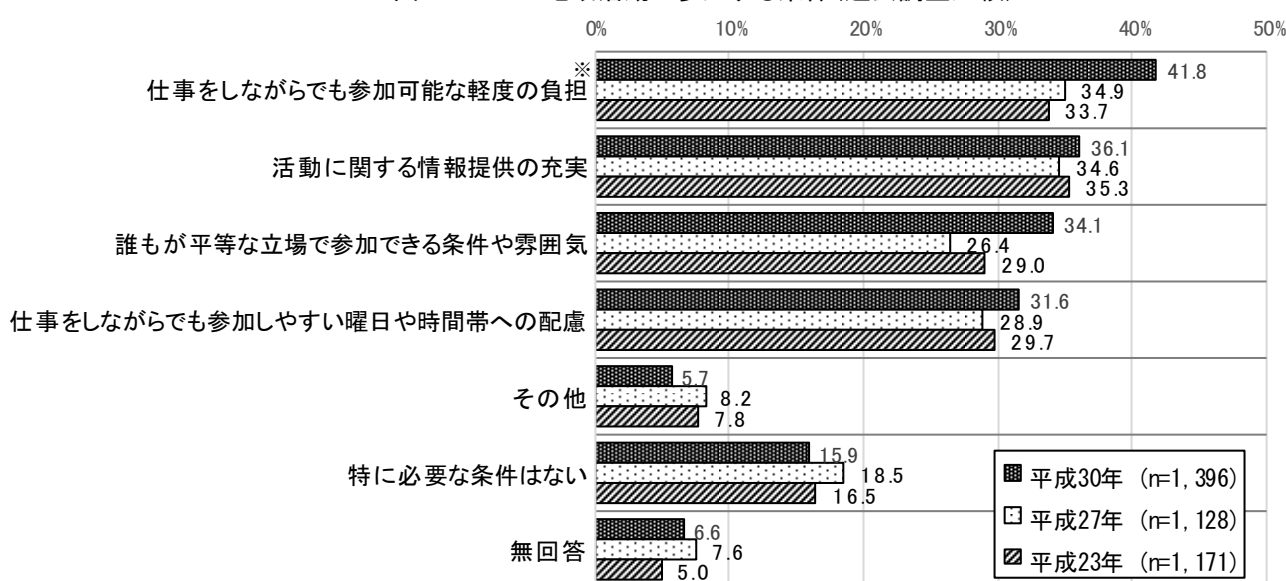
図IV-2-7-1 地域活動に参加する条件 (n=1,396)



【その他の回答】

「気軽に参加できる/強制されない/年代関係なく集まれる」、「興味のある活動内容/活動の分野の開拓」、「子連れで参加できる」、「金銭的支援」、「年齢・障がい・病気への配慮」、「活動したくない/活動できない(病気・高齢・時間がない)」など

図IV-2-7-2 地域活動に参加する条件(過去調査比較)

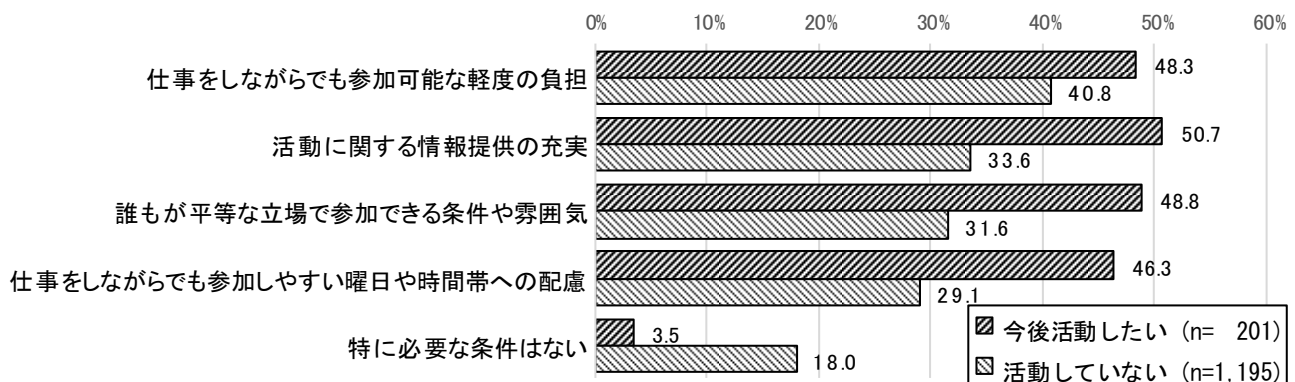


※平成23年は「仕事をしながらでも参加可能な軽度の時間的負担」

### ①今後の活動意向別

今後活動したいと活動していない別でみると、今後活動したいは「活動に関する情報提供の充実」が50.7%で最も高く、その他の条件も5割弱である。活動していないは「仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担」が40.8%で最も高い。

図IV-2-7-3 地域活動に参加する条件(今後の活動意向別)

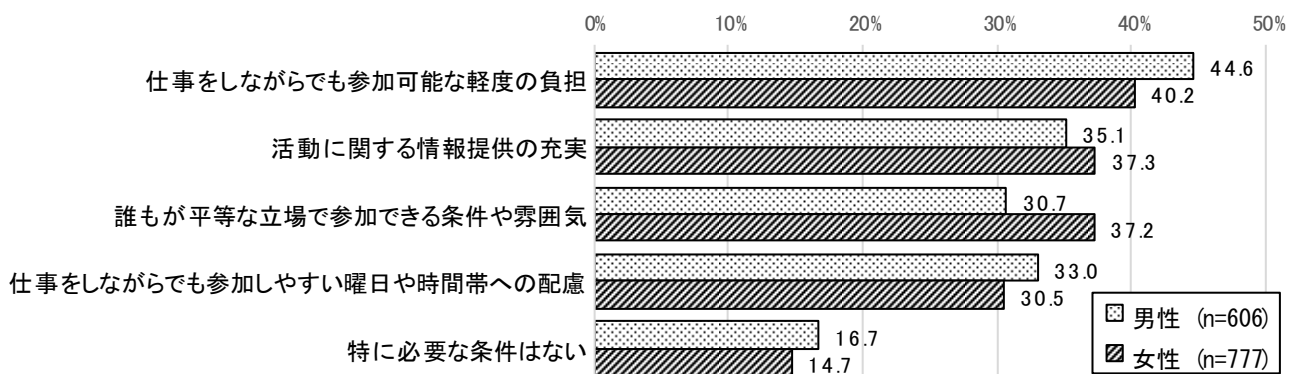


### ②性・年齢別

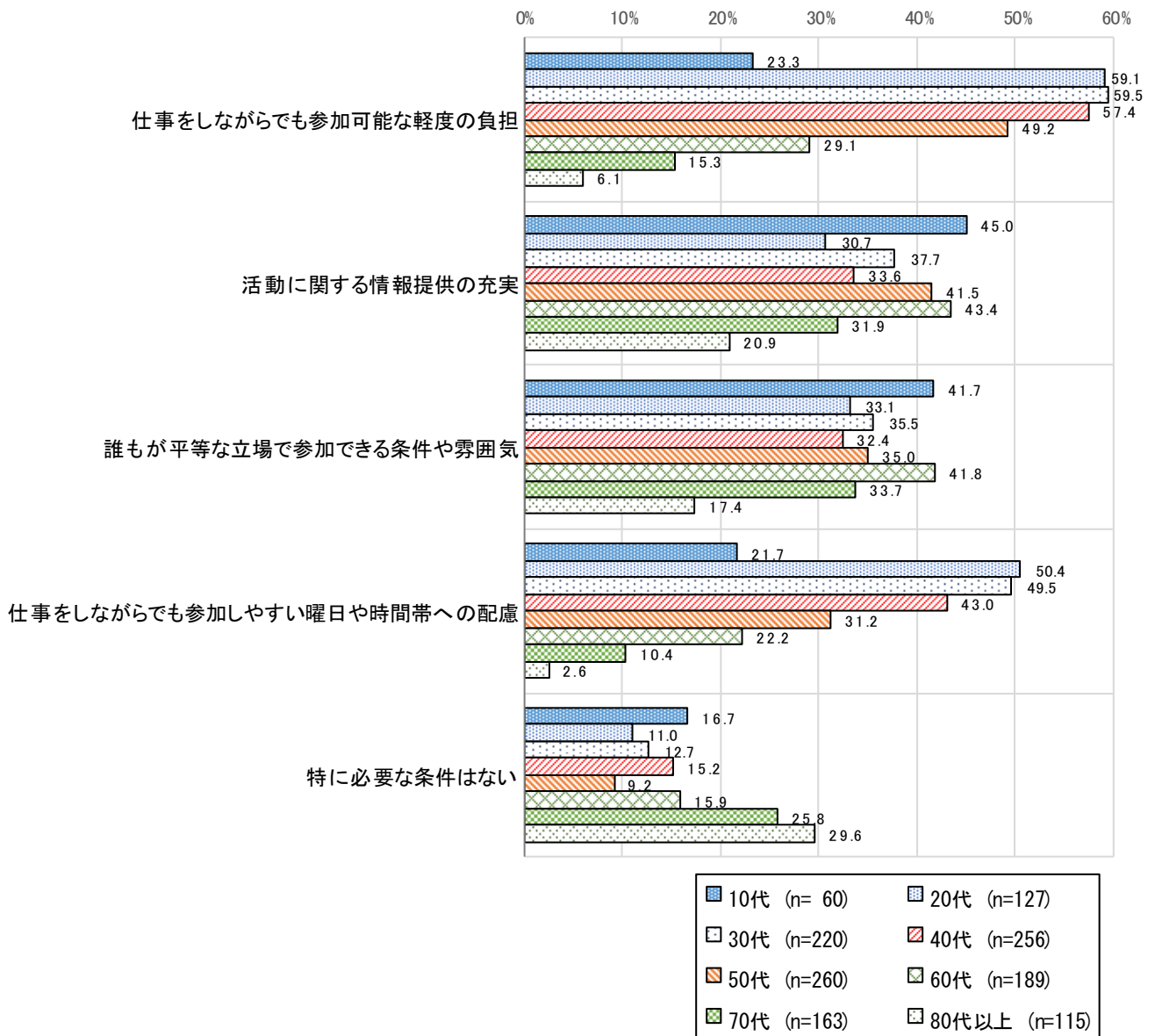
性別でみると、男女で差が大きいのは「誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気」で、男性が30.7%であるのに対し、女性は37.2%である。

年齢別でみると、「仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担」や「仕事をしながらでも参加しやすい曜日や時間帯への配慮」は20～50代で高い。10代は「活動に関する情報提供の充実」や「誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気」が他の項目より高い。

図IV-2-7-4 地域活動に参加する条件(性別)



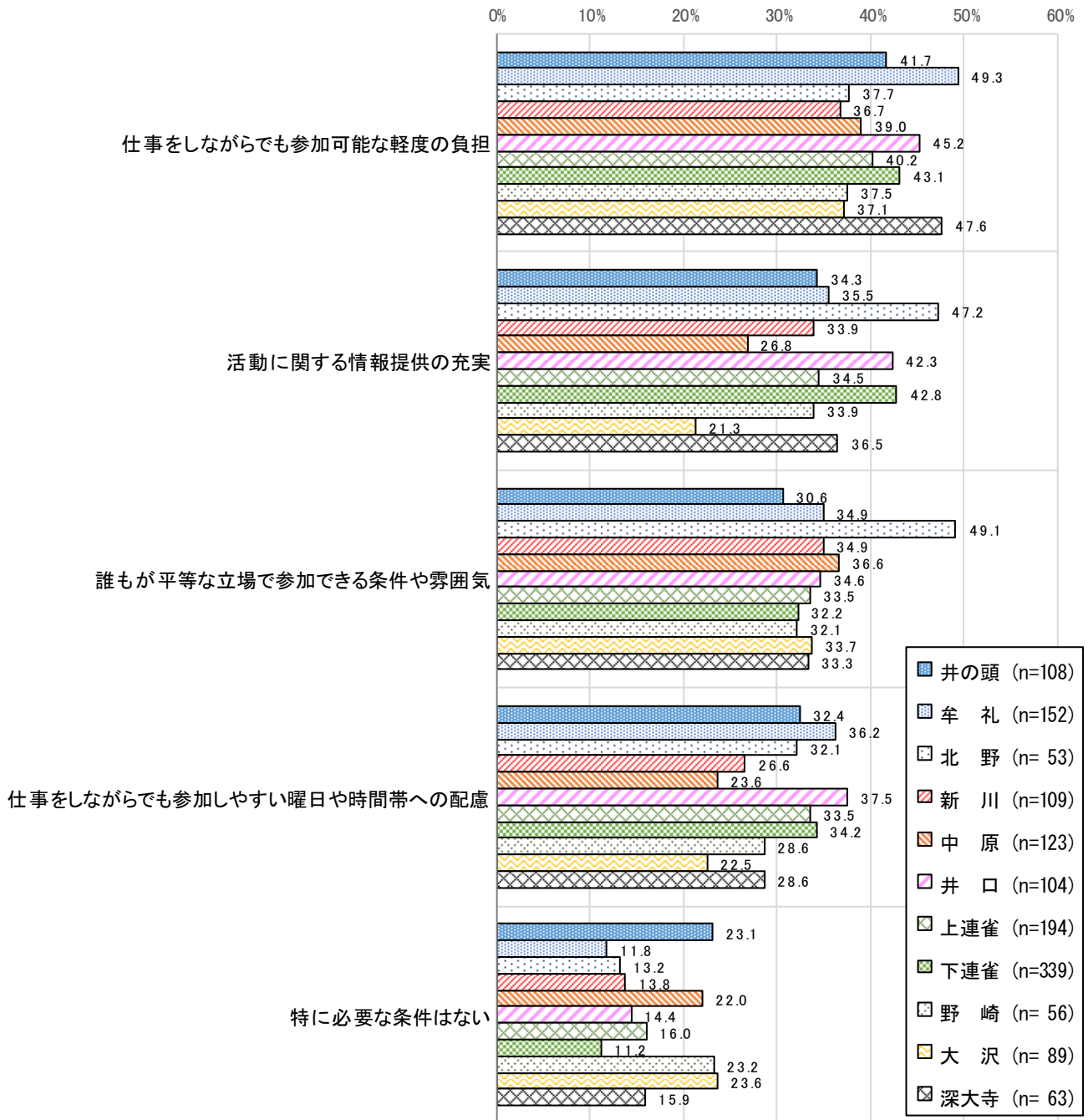
図IV-2-7-5 地域活動に参加する条件(年齢別)



### ③地区別

地区別でみると、「仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担」は牟礼、深大寺、井口などが高い。「活動に関する情報提供の充実」は北野が高く、中原や大沢は低い。「誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気」は北野が高い。

図IV-2-7-6 地域活動に参加する条件(地区別)

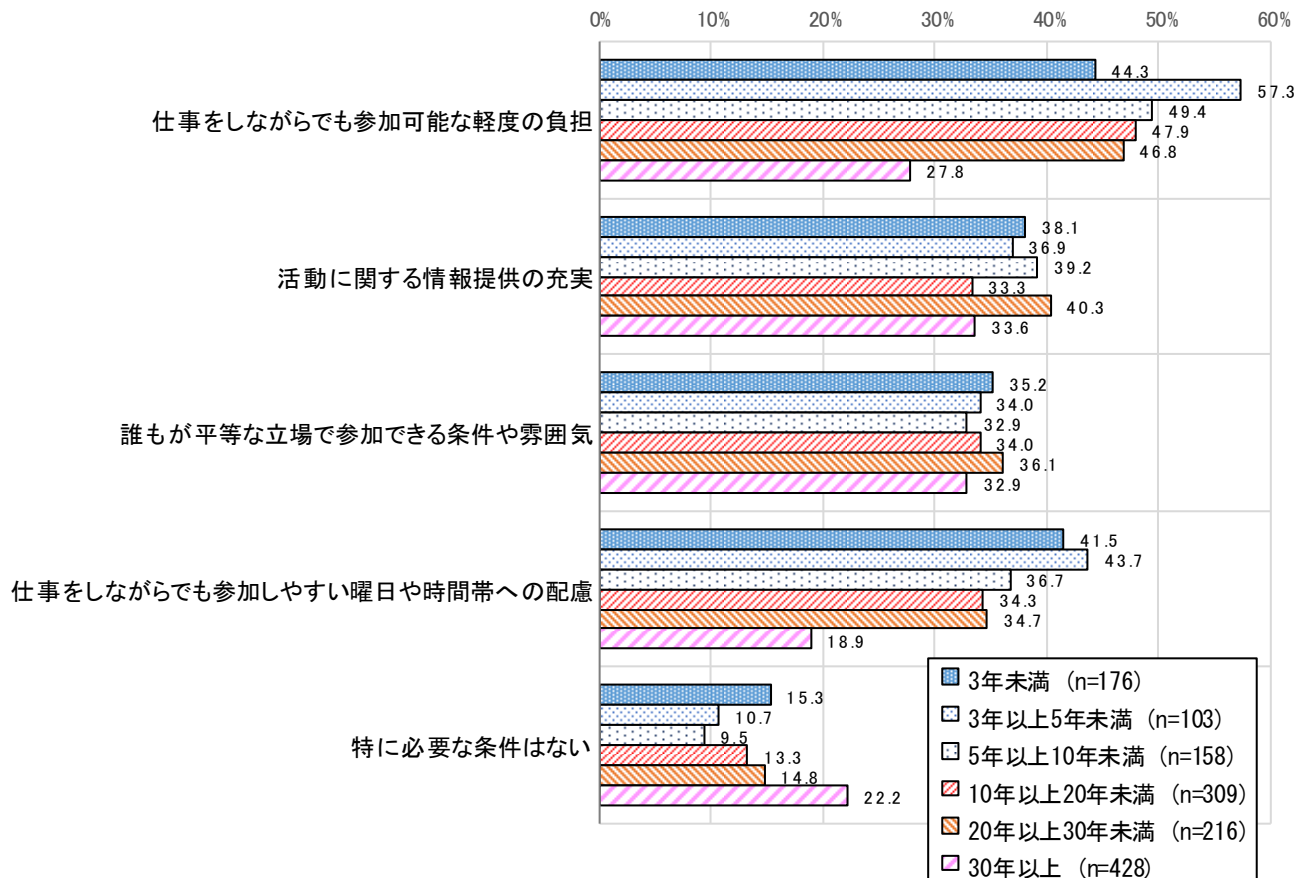




#### ④居住年数別

居住年数別でみると、「仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担」は3年以上5年未満が57.3%で他層より高い。「仕事をしながらでも参加しやすい曜日や時間帯への配慮」は3年未満と3年以上5年未満で4割を超えている。「誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気」は居住年数による差は小さい。

図IV-2-7-7 地域活動に参加する条件(居住年数別)



### 3 市の重点プロジェクトに対する満足度と今後の取り組みの重要性

問7:三鷹市では、第4次三鷹市基本計画(第1次改定)(平成27年3月改定)で、市政の重点課題として9つのプロジェクトを設定し、取り組みを進めてきました。これまで3年間の取り組みに対する評価(満足度)と引き続き重点的に取り組む必要性(重要度)について、記入例を参考に、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。なお、わからない場合には、空欄にしてください。

市の重点プロジェクトの満足度・取り組みの重要性の回答表イメージ(抜粋)

(記入例)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に取り組む必要性 (重要度)			
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	ない	重要では
5	4	3	2	1	3	2	1	

プロジェクト名称/概要/3年間の主な取り組み	
<b>1. 成熟した都市の質的向上を目指す、都市再生プロジェクト</b>	
概要	既存の社会資本を有効に使いつつ、環境と調和を図りながら、ハード・ソフト両面においての「都市の質的向上」を図ることで、命と暮らしを守るまちづくりをめざします。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化により耐震性に課題がある公共施設を集約し、三鷹中央防災公園・元気創造プラザを開設(平成29年4月)</li> <li>・老朽化した第二分庁舎を建替え、上連雀分庁舎を開設(平成28年9月)</li> <li>・市立小・中学校、市立保育園、コミュニティ・センターの耐震化率100%を達成</li> <li>・市庁舎・議場棟等の建替えに向けた取り組みを推進</li> </ul>

(概要と3年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 満足度					回答欄B: 重要度			
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	ない	重要では
5	4	3	2	1	3	2	1	

プロジェクト名称/概要/3年間の主な取り組み	
<b>2. とともに支えあう地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト</b>	
概要	高齢者、子育て世代、障がい者等、すべての市民が地域において健康で心ゆたかに生活を営めるような、ともに支えあう地域社会をめざします。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7つのコミュニティ・センターを地域の活動拠点とした施策を展開</li> <li>・保護者や地域の住民が学校運営に参加する「コミュニティ・スクール」を基盤とした小・中一貫教育の推進</li> <li>・地域でのつながりや支え合いの輪を広げる地域ケアネットワーク事業を市内の全7地域で推進</li> <li>・災害時に支援が必要な方の名簿を活用した、避難支援の仕組みづくりを推進</li> </ul>

(概要と3年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 満足度					回答欄B: 重要度			
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	ない	重要では
5	4	3	2	1	3	2	1	

プロジェクト名称/概要/3年間の主な取り組み	
<b>3. すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト</b>	
概要	市民の命と暮らしを守り、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりをめざします。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪の抑止と地域の安全確保のため、通学路などに防犯カメラを設置</li> <li>・防災出前講座、防災訓練の実施等による市民の自助と地域の共助による防災力の強化</li> <li>・振り込め詐欺の被害を減らすため「電話撃退体験談の作成」や「自動通話録音機の無償貸与」を実施</li> <li>・集中豪雨による水害対策として、雨水管等の整備を実施。また、中仙川の改修工事に着手</li> </ul>

(概要と3年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

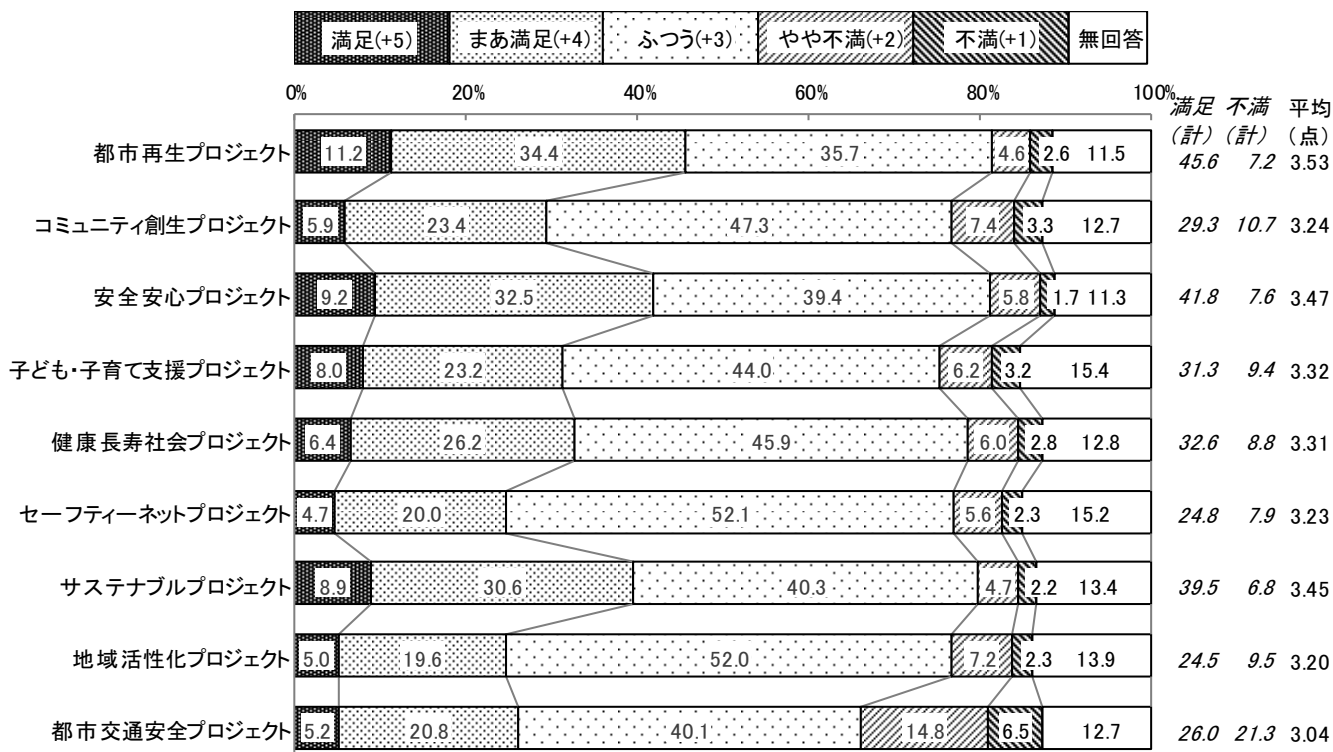
回答欄A: 満足度					回答欄B: 重要度			
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	ない	重要では
5	4	3	2	1	3	2	1	

### (1) 市の重点プロジェクトに対する満足度

「満足(計)」が高いプロジェクトは都市再生プロジェクト(45.6%)、安全安心プロジェクト(41.8%)、サステナブルプロジェクト(39.5%)などである。一方、「不満(計)」が高いのは都市交通安全プロジェクト(21.3%)で2割を超えている。

「満足」を5点、「不満」を1点として算出した平均点は都市再生プロジェクト(3.53)が最も高く、都市交通安全プロジェクト(3.04)が最も低い。

図IV-3-1-1 市の重点プロジェクトに対する満足度(n=1,667)



#### ①性・年齢別

性別でみると、すべてのプロジェクトで女性は男性より満足度が高い。

年齢別でみると、40～60代は全体の満足度より低い傾向がみられる。都市交通安全プロジェクトは10代を除くすべての年代で満足度が最も低い。

表IV-3-1-1 市の重点プロジェクトに対する満足度(性・年齢別)

	全 体	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
n	1,667	707	938	63	131	241	299	295	246	234	146
成熟した都市の質的向上を目指す、 都市再生プロジェクト	3.53	3.49	3.57	3.74	3.69	3.77	3.51	3.40	3.31	3.57	3.51
ともに支えあう地域社会を生み出す、 コミュニティ創生プロジェクト	3.24	3.19	3.29	3.28	3.28	3.25	3.19	3.07	3.24	3.44	3.41
すべての人が心安らかに暮らせる、 安全安心プロジェクト	3.47	3.43	3.51	3.55	3.56	3.48	3.40	3.35	3.45	3.57	3.62
いきいきと子どもが輝く、 子ども・子育て支援プロジェクト	3.32	3.29	3.34	3.43	3.40	3.31	3.23	3.16	3.31	3.46	3.57
いつまでも元気に暮らせる、 健康長寿社会プロジェクト	3.31	3.26	3.36	3.28	3.32	3.22	3.22	3.22	3.35	3.45	3.61
市民の命、暮らしを守り、 セーフティーネットプロジェクト	3.23	3.16	3.29	3.35	3.32	3.20	3.13	3.15	3.18	3.33	3.45
持続可能な都市環境をめざす、 サステナブルプロジェクト	3.45	3.40	3.50	3.57	3.44	3.46	3.34	3.33	3.43	3.64	3.72
まちの活力、にぎわいをもたらす、 地域活性化プロジェクト	3.20	3.16	3.24	3.51	3.30	3.29	3.09	3.02	3.11	3.30	3.52
誰もが安全で快適に移動できる、 都市交通安全プロジェクト	3.04	3.00	3.07	3.40	3.25	3.00	2.98	2.83	2.97	3.14	3.34

注) 満足: 5点、まあ満足: 4点、ふつう: 3点、やや不満: 2点、不満: 1点として算出。

注) 表中の網掛け箇所は平均スコアより満足度が高いことを示す。

## ②地区別

地区別でみると、牟礼はすべてのプロジェクトで全体より満足度が高く、北野や井口は全体より満足度が低い。都市交通安全プロジェクトは井口(2.88)と下連雀(2.99)で満足度が低い。また、北野は子ども・子育て支援プロジェクト(2.96)とコミュニティ創生プロジェクト(2.98)で3点未満である。

表IV-3-1-2 市の重点プロジェクトに対する満足度(地区別)

	全 体	井の頭	牟礼	北野	新川	中原	井口	上連雀	下連雀	野崎	大沢	深大寺
n	1,667	129	191	60	129	142	118	230	402	63	114	77
成熟した都市の質的向上を目指す、 都市再生プロジェクト	3.53	3.48	3.72	3.32	3.61	3.37	3.37	3.49	3.60	3.58	3.49	3.54
ともに支えあう地域社会を生み出す、 コミュニティ創生プロジェクト	3.24	3.34	3.37	2.98	3.34	3.14	3.14	3.30	3.18	3.26	3.27	3.31
すべての人が心安らかに暮らせる、 安全安心プロジェクト	3.47	3.58	3.49	3.23	3.64	3.32	3.32	3.50	3.46	3.54	3.48	3.51
いきいきと子どもが輝く、 子ども・子育て支援プロジェクト	3.32	3.44	3.32	2.96	3.46	3.24	3.22	3.38	3.28	3.23	3.44	3.37
いつまでも元気に暮らせる、 健康長寿社会プロジェクト	3.31	3.35	3.42	3.10	3.45	3.27	3.19	3.35	3.25	3.18	3.35	3.39
市民の命、暮らしを守り、 セーフティーネットプロジェクト	3.23	3.37	3.32	3.04	3.26	3.19	3.20	3.27	3.16	3.13	3.27	3.26
持続可能な都市環境をめざす、 サステナブルプロジェクト	3.45	3.44	3.57	3.36	3.53	3.52	3.33	3.45	3.37	3.46	3.56	3.53
まちの活力、にぎわいをもたらす、 地域活性化プロジェクト	3.20	3.45	3.26	3.09	3.28	3.14	3.07	3.20	3.15	3.37	3.19	3.19
誰もが安全で快適に移動できる、 都市交通安全プロジェクト	3.04	3.07	3.05	3.00	3.01	3.11	2.88	3.08	2.99	3.11	3.12	3.13

注) 満足: 5点、まあ満足: 4点、ふつう: 3点、やや不満: 2点、不満: 1点として算出。

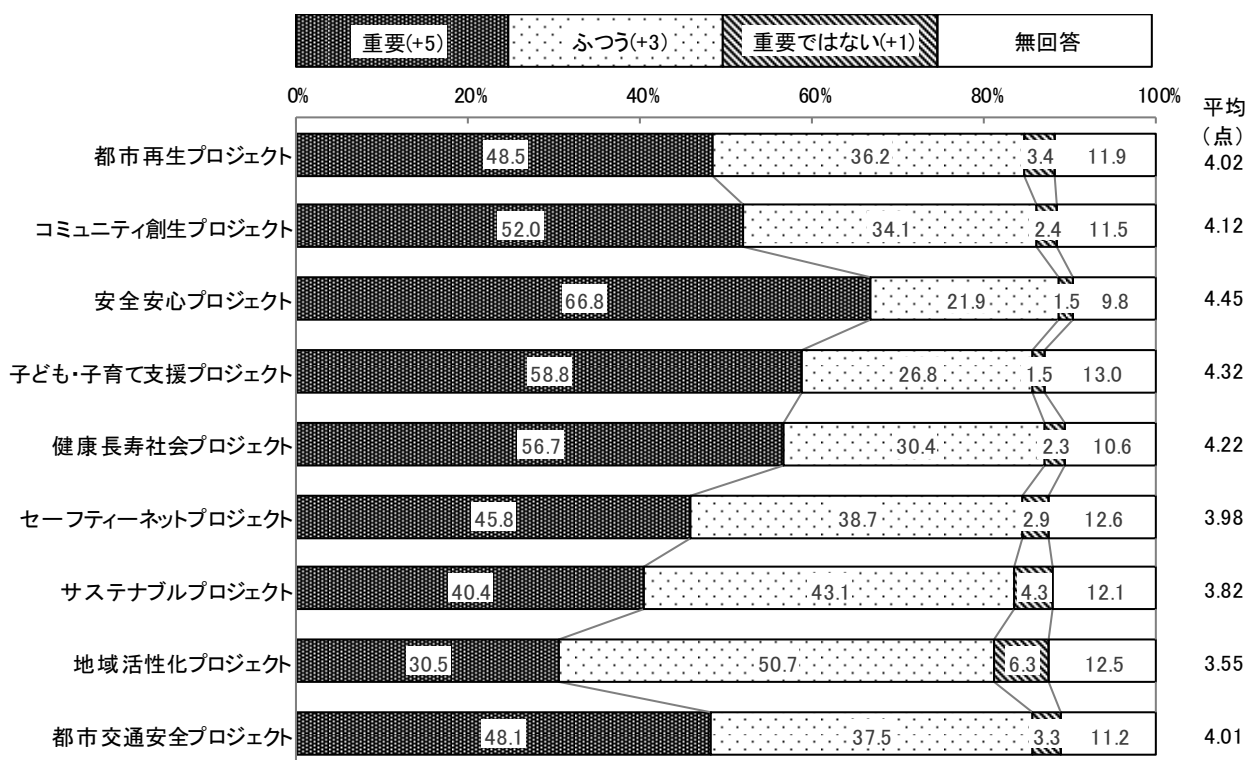
注) 表中の網掛け箇所は平均スコアより満足度が高いことを示す。

## (2) 今後の取り組みの重要性

重要度が最も高いプロジェクトは安全安心プロジェクト(66.8%)である。次いで、子ども・子育て支援プロジェクト(58.8%)、健康長寿社会プロジェクト(56.7%)などが高い。重要度が最も低いプロジェクトは地域活性化プロジェクト(30.5%)である。

「重要」を5点、「ふつう」を3点、「重要ではない」を1点として算出した平均点は安全安心プロジェクト(4.45)が最も高く、地域活性化プロジェクト(3.55)が最も低い。

図IV-3-2-1 今後の取り組みの重要性 (n=1,667)



### ①性・年齢別

性別で見ると、すべてのプロジェクトで女性は男性より重要度が高い。

年齢別で見ると、安全安心プロジェクトは40代以下で重要度が高い。子ども・子育て支援プロジェクトは20代・30代と70代が高く、健康長寿社会プロジェクトは50代と70代以上で高い。

表IV-3-2-1 今後の取り組みの重要性(性・年齢別)

	全 体	男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
n	1,667	707	938	63	131	241	299	295	246	234	146
成熟した都市の質的向上を目指す、 都市再生プロジェクト	4.02	3.93	4.09	4.23	4.11	4.28	3.99	3.87	3.76	4.11	4.06
ともに支えあう地域社会を生み出す、 コミュニティ創生プロジェクト	4.12	4.05	4.19	3.88	3.98	4.28	4.09	4.05	4.14	4.19	4.17
すべての人が心安らかに暮らせる、 安全安心プロジェクト	4.45	4.35	4.54	4.52	4.49	4.61	4.49	4.35	4.33	4.42	4.43
いきいきと子どもが輝く、 子ども・子育て支援プロジェクト	4.32	4.24	4.38	4.28	4.38	4.56	4.27	4.20	4.24	4.33	4.24
いつまでも元気に暮らせる、 健康長寿社会プロジェクト	4.22	4.09	4.33	4.12	3.97	4.10	4.13	4.29	4.21	4.38	4.47
市民の命、暮らしを守り、 セーフティーネットプロジェクト	3.98	3.89	4.06	4.02	3.82	3.99	3.88	3.96	3.93	4.15	4.17
持続可能な都市環境をめざす、 サステナブルプロジェクト	3.82	3.74	3.89	3.70	3.76	3.84	3.69	3.58	3.85	4.12	4.26
まちの活力、にぎわいをもたらす、 地域活性化プロジェクト	3.55	3.52	3.58	3.95	3.46	3.57	3.42	3.39	3.49	3.73	3.95
誰もが安全で快適に移動できる、 都市交通安全プロジェクト	4.01	3.96	4.04	4.34	4.04	4.12	3.86	3.81	3.93	4.15	4.31

注) 重要: 5点、ふつう: 3点、重要ではない: 1点として算出。

注) 表中の網掛け箇所は平均スコアより重要度が高いことを示す。

## ②地区別

地区別でみると、安全安心プロジェクトは新川、牟礼、北野で 4.50 を超えている。井口はセーフティーネットプロジェクトや都市交通安全プロジェクトで全体より重要度が高くなっている。

表IV-3-2-2 今後の取り組みの重要性(地区別)

	全 体	井の頭	牟礼	北野	新川	中原	井口	上連雀	下連雀	野崎	大沢	深大寺
n	1,667	129	191	60	129	142	118	230	402	63	114	77
成熟した都市の質的向上を目指す、 都市再生プロジェクト	4.02	3.92	4.06	4.15	4.04	3.85	4.11	3.96	4.09	3.93	3.94	4.07
ともに支えあう地域社会を生み出す、 コミュニティ創生プロジェクト	4.12	4.09	4.14	3.98	4.19	4.04	4.27	4.13	4.12	4.05	4.07	4.10
すべての人が心安らかに暮らせる、 安全安心プロジェクト	4.45	4.48	4.51	4.51	4.53	4.36	4.48	4.46	4.41	4.19	4.43	4.49
いきいきと子どもが輝く、 子ども・子育て支援プロジェクト	4.32	4.37	4.44	4.15	4.43	4.23	4.35	4.25	4.31	4.16	4.42	4.12
いつまでも元気に暮らせる、 健康長寿社会プロジェクト	4.22	4.16	4.33	3.96	4.32	4.05	4.18	4.22	4.23	4.31	4.23	4.10
市民の命、暮らしを守り、 セーフティーネットプロジェクト	3.98	3.95	4.03	3.92	4.09	3.92	4.27	3.88	3.90	4.04	4.07	3.87
持続可能な都市環境をめざす、 サステナブルプロジェクト	3.82	3.74	3.87	3.79	3.83	3.76	3.85	3.78	3.83	3.85	3.80	3.88
まちの活力、にぎわいをもたらす、 地域活性化プロジェクト	3.55	3.41	3.65	3.64	3.58	3.51	3.62	3.56	3.46	3.75	3.66	3.47
誰もが安全で快適に移動できる、 都市交通安全プロジェクト	4.01	3.88	4.14	4.06	4.11	3.91	4.28	4.06	3.84	3.75	4.11	4.16

注) 重要: 5点、ふつう: 3点、重要ではない: 1点として算出。

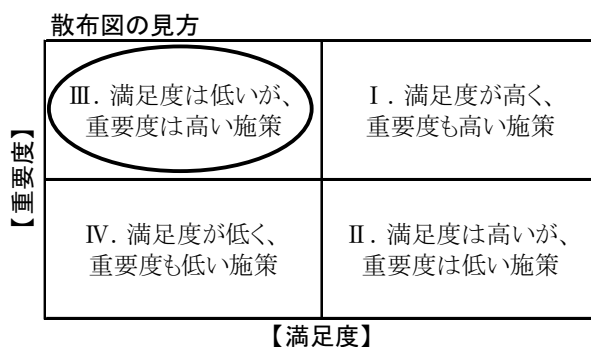
注) 表中の網掛け箇所は平均スコアより重要度が高いことを示す。

### (3) 施策についての総合評価

各施策について、満足度をX軸、重要度をY軸として散布図を作成した。満足度と重要度の点数の割り当て及び散布図の見方は以下の通りである。

【満足度】「満足」5点、「まあ満足」4点、「ふつう」3点、「やや不満」2点、「不満」1点として平均値を算出

【重要度】「重要」5点、「ふつう」3点、「重要ではない」1点として平均値を算出

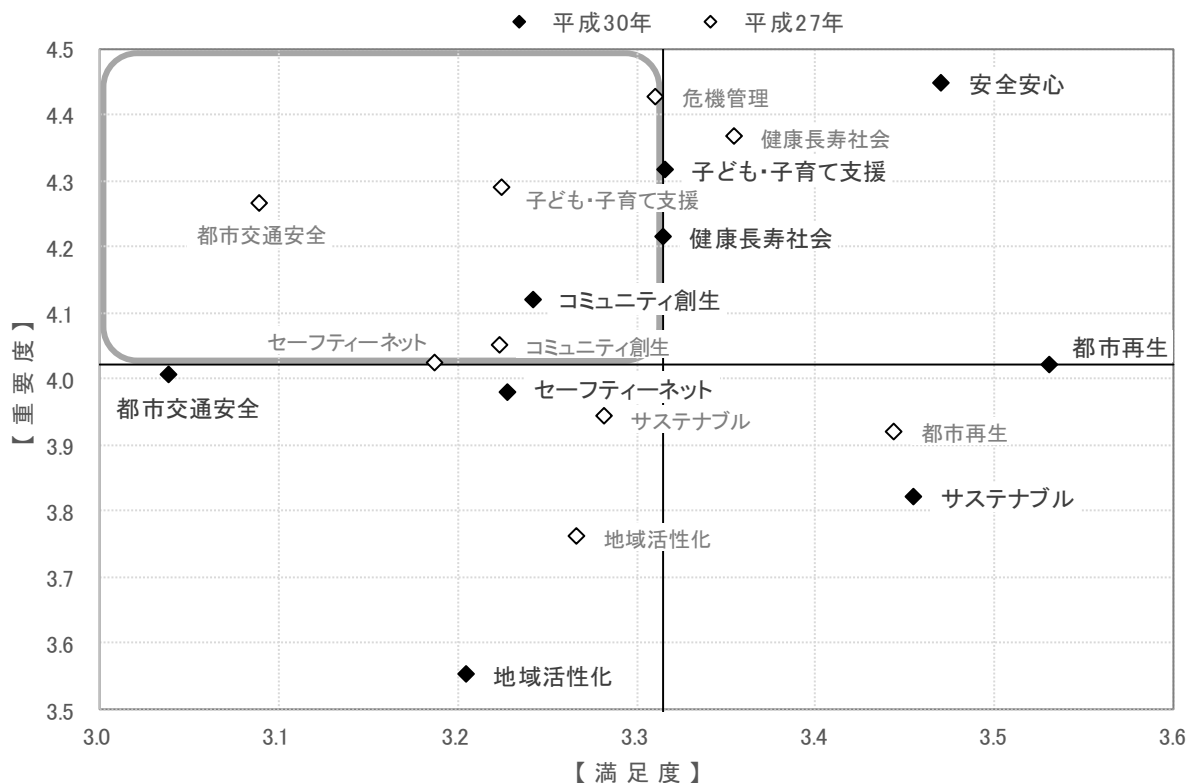


※散布図のⅢの部分にプロットされたものは、満足度は低いが高重要度は高いとみられている施策であるため、今後の取り組みについて、より検討が必要であると考えられる。

#### ① プロジェクト比較と前回調査比較

満足度が高く、重要度も高い施策は「安全安心プロジェクト」である。また、「子ども・子育て支援プロジェクト」や「健康長寿社会プロジェクト」も重要度は高い。満足度が低い施策は「都市交通安全プロジェクト」である。今後の課題となる、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い施策(Ⅲ層)は、「コミュニティ創生プロジェクト」である。過去調査結果と比較すると、「子ども・子育て支援プロジェクト」「都市再生プロジェクト」「サステナブルプロジェクト」は前回(平成 27 年)より満足度が高くなっている。一方、「都市交通安全プロジェクト」「地域活性化プロジェクト」「健康長寿社会プロジェクト」は満足度・重要度とも下がっている。

図IV-3-3-1 施策についての総合評価



※図中の黒色実線は満足度と重要度の中央値

## ② 性・年齢別、地区別の個別施策評価

個別の施策を性・年齢別、地区別で見ると、課題となるⅢ層に入る属性としては、「都市再生プロジェクト」は80代以上、北野、井口が挙げられる。また、10代、30代は満足度・重要度も高い。

「コミュニティ創生プロジェクト」は60代、井口がⅢ層に入る。30代も重要度が高い。

「安全安心プロジェクト」は40代、北野、井口がⅢ層に入る。

「子ども・子育て支援プロジェクト」は30代、井口がⅢ層に入る。また、北野は満足度・重要度も他層に比べ低い。

「健康長寿社会プロジェクト」は50代、野崎、下連雀がⅢ層に入る。また、80代以上が満足度・重要度も他層に比べ高い。

「セーフティーネットプロジェクト」は30代、野崎、井口がⅢ層に入る。80代以上は満足度・重要度も高い。

「サステナブルプロジェクト」は60代、井口、下連雀がⅢ層に入る。また、80代以上が満足度・重要度も他層に比べ高い。

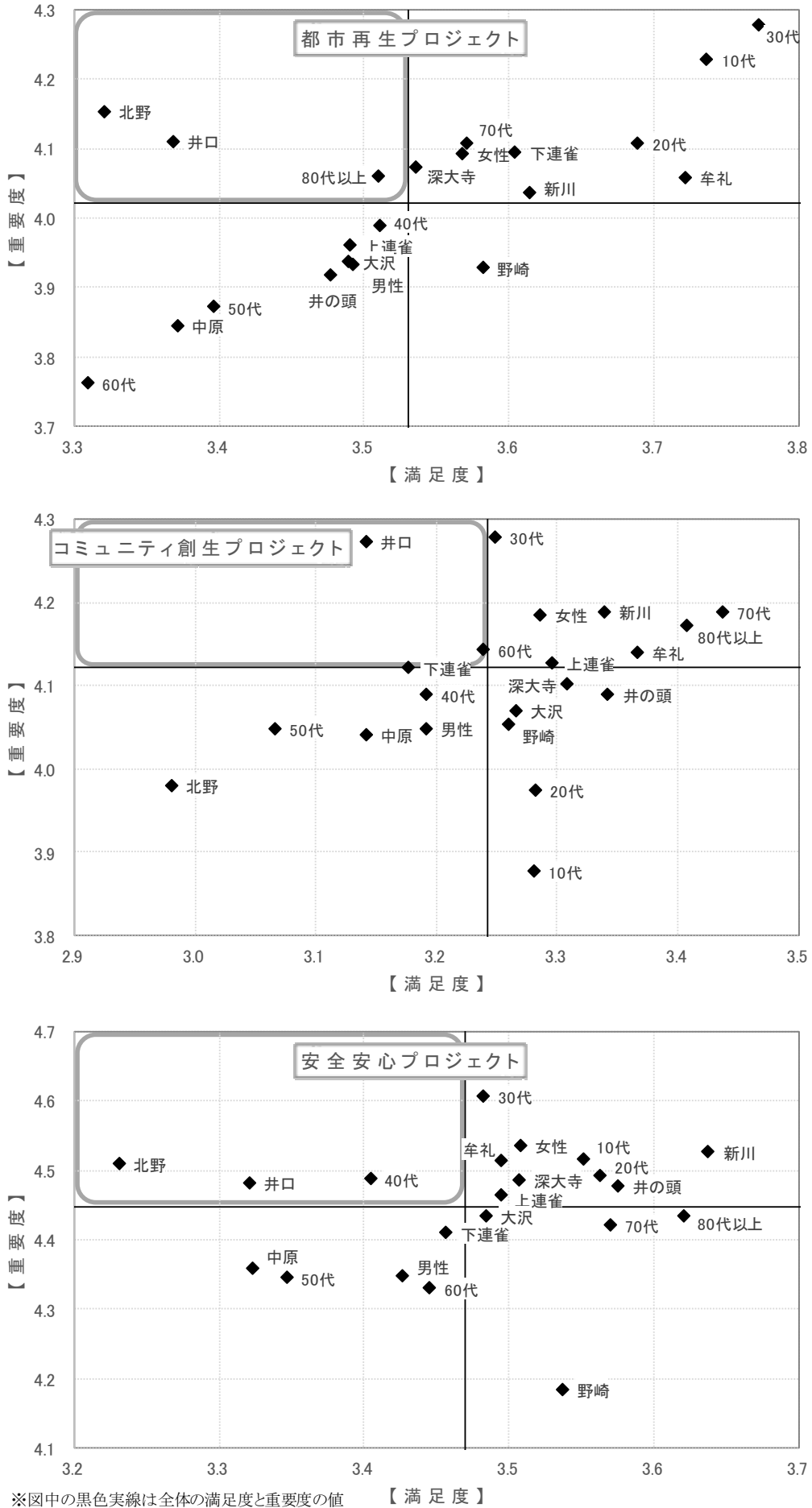
「地域活性化プロジェクト」は井口、北野、大沢、上連雀がⅢ層に入る。また、10代と80代以上は満足度・重要度も他層に比べ高い。

「都市交通安全プロジェクト」は30代、井口、北野、新川がⅢ層に入る。また、10代と80代以上は満足度・重要度も他層に比べ高い。

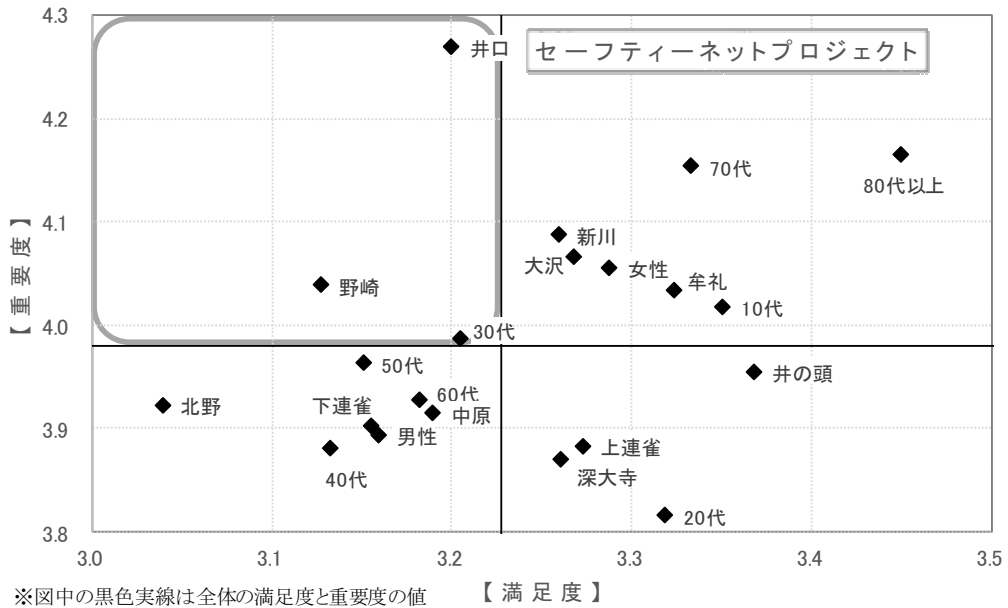
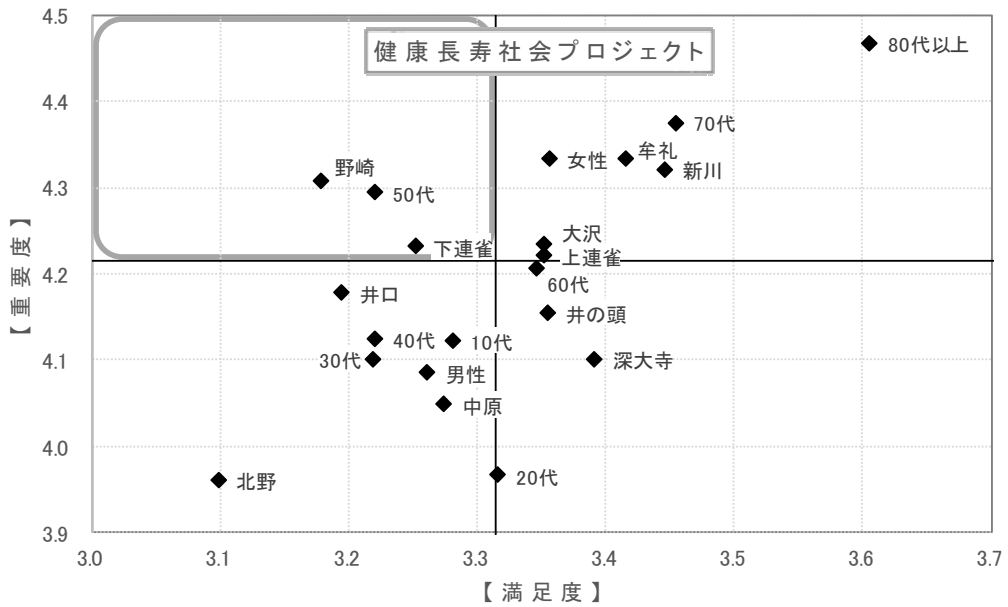
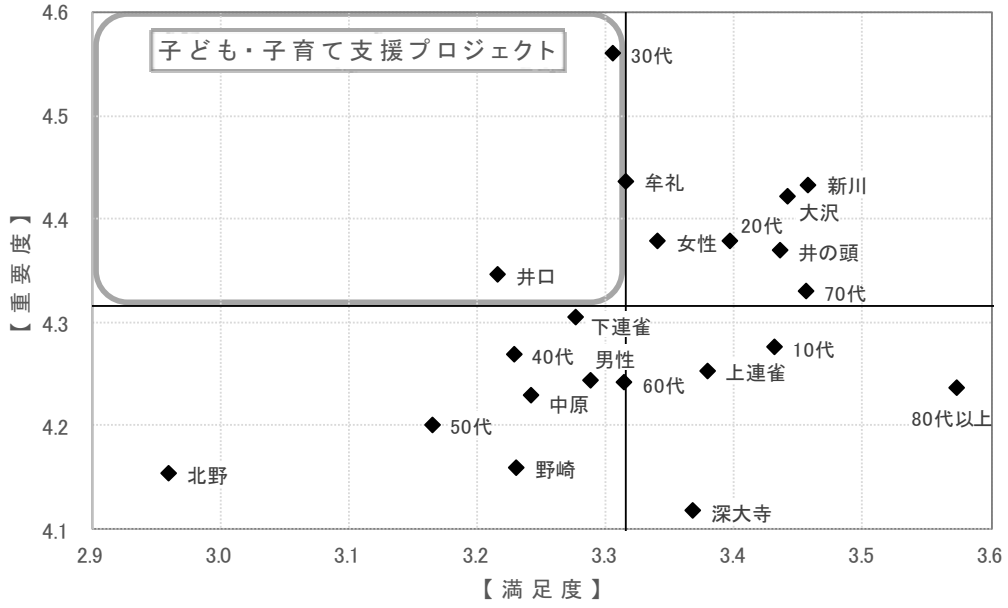
性別で見ると、全てのプロジェクトで男性は女性より満足度、重要度も低く、特に男女の乖離が大きいのは「健康長寿社会プロジェクト」「セーフティーネットプロジェクト」である。年齢別で見ると、40～60代が全般的に満足度が低い傾向にある。また、30代は「コミュニティ創生プロジェクト」「安全安心プロジェクト」「子ども・子育て支援プロジェクト」において、満足度が高くなるにつれ重要度も高くなる右肩上がりの分布からはずれており、他層より重要度は高いが満足度がそれに伴っていないことがうかがえる。地域別で見ると、北野、井口が全般的に満足度が低い傾向にある。井口は「コミュニティ創生プロジェクト」「セーフティーネットプロジェクト」「都市交通安全プロジェクト」で満足度が全体平均より低く、重要度が11地区の中で最も高い。



図IV-3-3-2 個別の施策評価

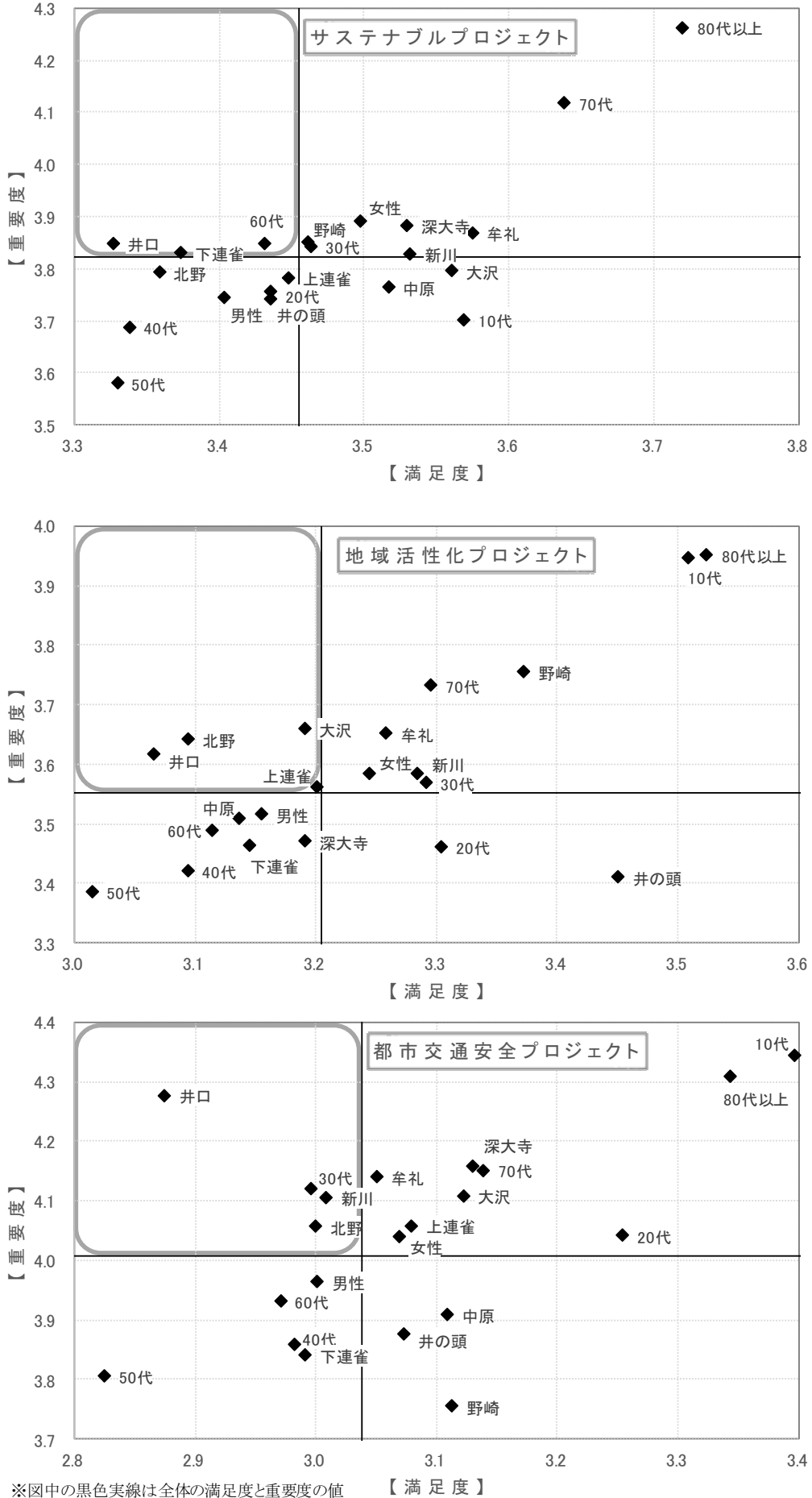


図IV-3-3-3 個別の施策評価(つづき)



※図中の黒色実線は全体の満足度と重要度の値 【満足度】

図IV-3-3-4 個別の施策評価(つづき)



## 4 三鷹市政に対する総合的な満足度・行政機関としての信頼度

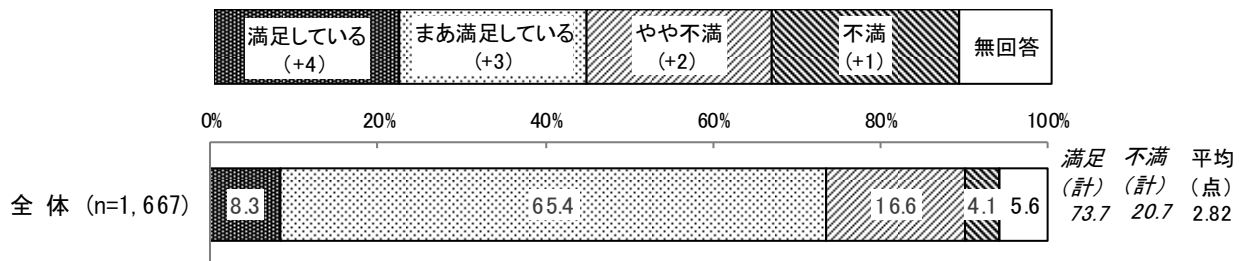
### (1) 三鷹市政の満足度

問8:三鷹市政について、総合的にどの程度満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

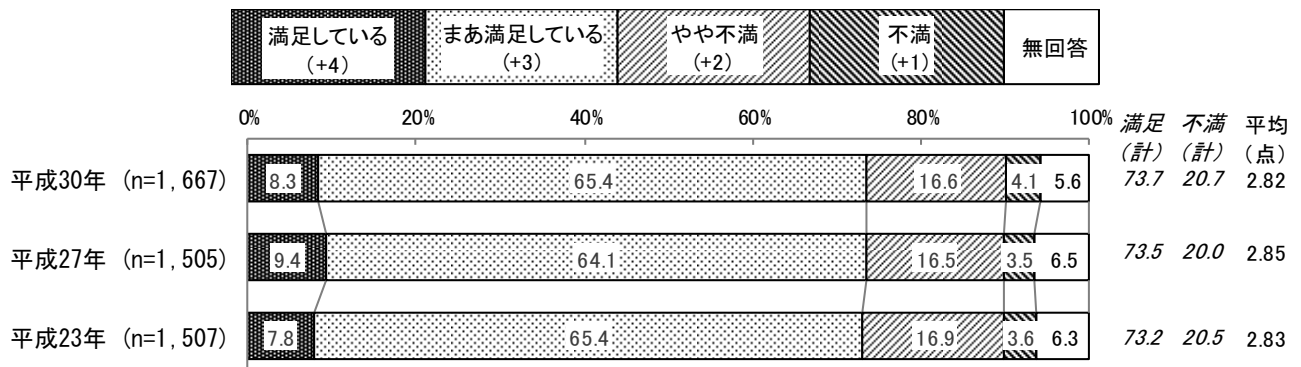
「まあ満足している」が 65.4%を占め、最も高い。「満足(計) (「満足している」+「まあ満足している」)」は 73.7%に達する。一方、「不満(計) (「やや不満」+「不満」)」は 20.7%である。

過去の調査結果と比較すると、傾向はほぼ同じである。「満足している」を5点、「不満」を1点とした場合の平均点も 2.82~2.85 でほとんど変わらない。

図IV-4-1-1 三鷹市政の満足度(n=1,667)

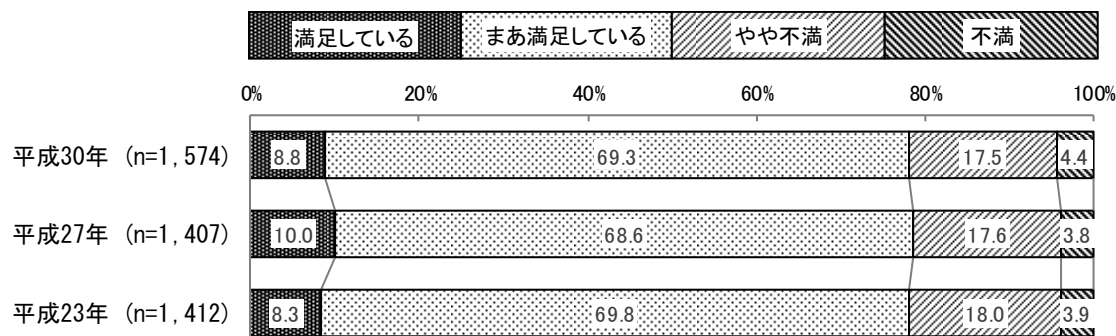


図IV-4-1-2 三鷹市政の満足度(過去調査比較)



#### 【参考資料】

三鷹市政の満足度(過去調査比較—無回答を除いた場合)

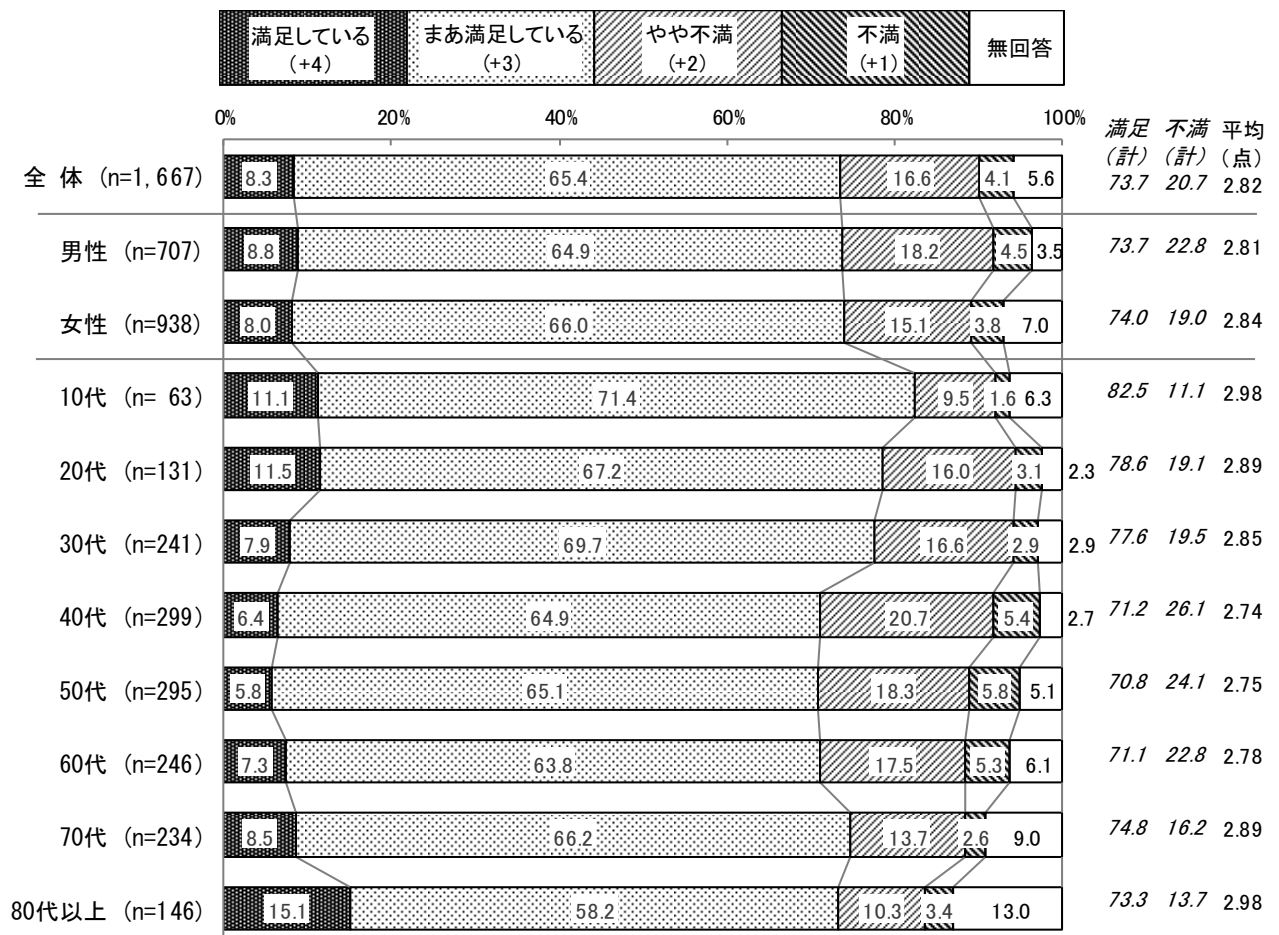


①性・年齢別

性別でみると、男性の方が「不満(計)」がやや高いものの、ほぼ同様の傾向がみられる。

年齢別でみると、各年代とも「満足(計)」は7割を超えており、特に10代は82.5%に達する。一方、「不満(計)」は40～60代で2割を超え、40代が26.1%で最も高い。

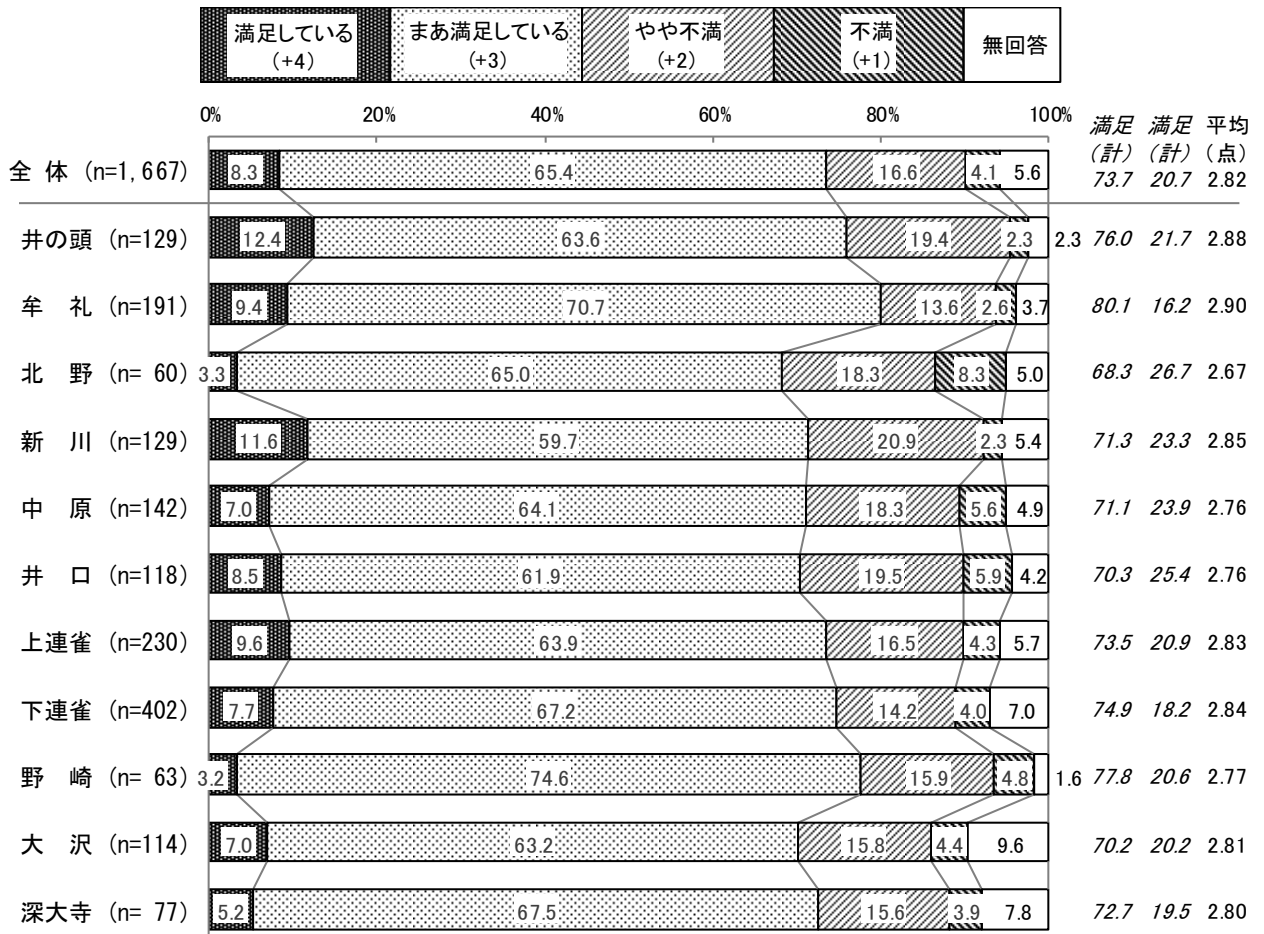
図IV-4-1-3 三鷹市政の満足度(性・年齢別)



## ②地区別

地区別でみると、「満足(計)」が最も高い地区は牟礼(80.1%)で、野崎(77.8%)、井の頭(76.0%)と続く。「不満(計)」が最も高いのは北野(26.7%)で、井口(25.4%)、中原(23.9%)、新川(23.3%)と続く。

図IV-4-1-4 三鷹市政の満足度(地区別)



## (2) 三鷹市政の満足度の理由

問8-1: そのように思う理由をご記入ください。

問8の三鷹市政についての総合的な満足度の回答についての理由を自由記入で回答してもらい、その内容を分類した。分類に際しては、「わからない」「特に不満がない」などの具体的な理由が明記されていないものは除外した。

満足な点は「施策の内容・取り組む姿勢・成果に満足／安定した市政運営」「住環境がよい／暮らしやすい」「職員対応がよい／市長が信頼できる」などが挙げられた。

不満な点は「施策の内容・方向性・成果等に不満」「子育て支援の拡充を(医療費助成・待機児童解消等)」「行政サービス(医療・福祉・ごみ等)に不満・地域格差がある」「公共施設(図書館・駐輪場等)が不十分・不便」などが挙げられた。

満足点、不満点とも「施策」に関する回答が最上位を占めている。

表IV-4-2-1 三鷹市政の満足度の理由(自由記入 n=626)

満足な点		不満な点	
内容	件数	内容	件数
施策の内容・取り組む姿勢・成果に満足／安定した市政運営	83	施策の内容・方向性・成果等に不満	62
住環境がよい／暮らしやすい	53	子育て支援の拡充を(医療費助成・待機児童解消等)	43
職員対応がよい／市長が信頼できる	50	行政サービス(医療・福祉・ごみ等)に不満・地域格差がある	42
安全・安心／災害対策が充実	27	公共施設(図書館・駐輪場等)が不十分・不便	41
公共施設が充実・便利	26	情報提供が少ない／PR不足	35
行政サービス(医療・福祉・ごみ等)が行き届いている	24	道路整備が遅れている／自転車マナー・違法駐輪の改善を	27
子育てしやすい／出産前後に様々なサポートがある	18	高齢者・障がい者・低所得者への支援が不十分	23
広報紙等による積極的な情報公開／市民の意見を吸い上げる努力を感じる	13	職員対応がよくない／仕事の効率化を	22
高齢者生活支援に納得／障がい者にやさしい	12	恩恵がない／若者世代・働く世代への支援がない	20
自然が多い／環境へ取り組む姿勢を評価	11	公共交通機関の地域差が大きい／コミュニティバスが高額	18
地域コミュニティの機能が整っている／行事が充実	10	教育環境(教育の質・施設環境等)がよくない	12
子ども教育が充実／小中一貫教育が良い	9	街に活気がない／経済の活性化対策が不十分	11
道路の整備が進んでいる	7	緑地の減少／環境整備の認識力が低い	11
街がきれい／街並みが清潔	5	税金が高い	9
その他	3	防災・防犯をもっとやるべき	7
		その他	13

注) 1件の回答に複数の内容が記入されている場合はそれぞれの内容についてカウントした。そのため表の件数の合計とn数は一致しない。

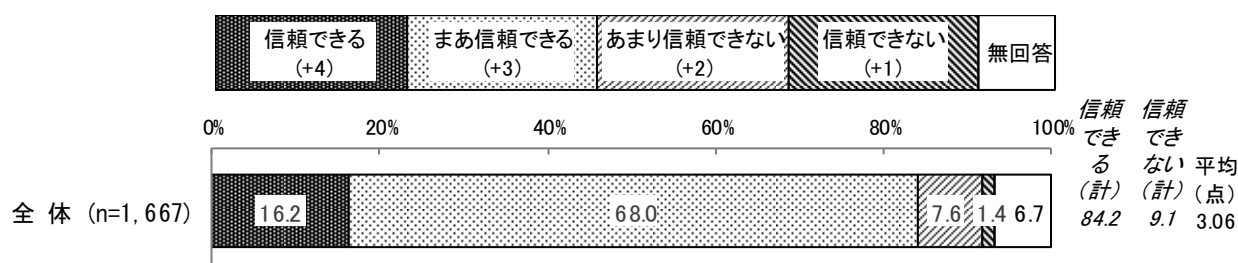
### (3) 三鷹市役所の行政機関としての信頼度

問9:三鷹市役所は行政機関としてどの程度信頼できますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

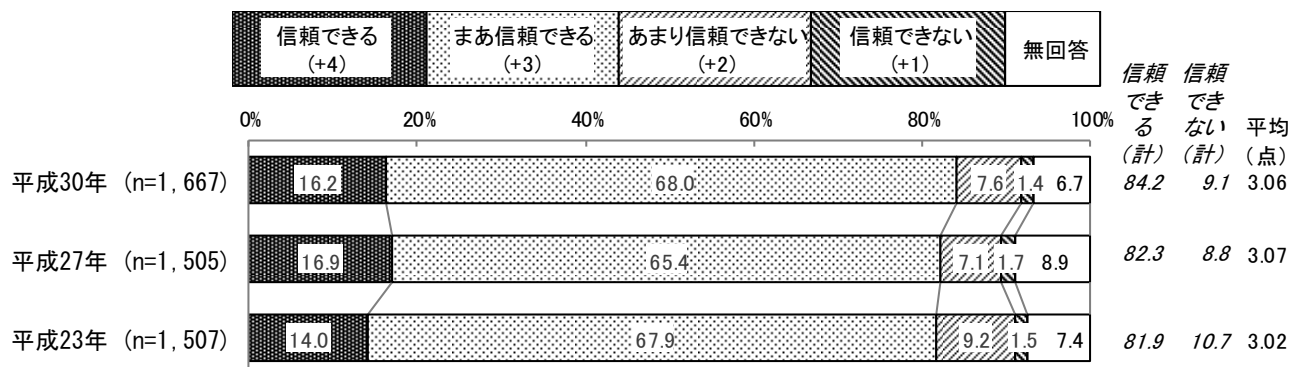
「まあ信頼できる」が68.0%で最も高い。「信頼できる(計)」「信頼できる」「まあ信頼できる」は84.2%に達する。「信頼できない(計)」「あまり信頼できない」「信頼できない」は9.1%である。前問の満足度よりさらに信頼度の方が高くなっている。

過去の調査結果と比較すると、「信頼できる(計)」はわずかずつではあるが、年々高くなる傾向にある。一方、「信頼できない(計)」は平成23年よりはやや下がったものの、ほとんど変わらない。

図IV-4-3-1 三鷹市役所の行政機関としての信頼度(n=1,667)

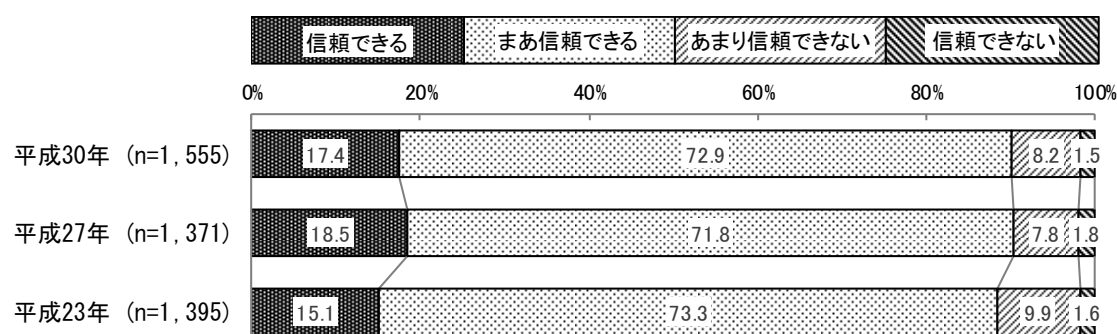


図IV-4-3-2 三鷹市役所の行政機関としての信頼度(過去調査比較)



#### 【参考資料】

三鷹市役所の行政機関としての信頼度(過去調査比較—無回答を除いた場合)



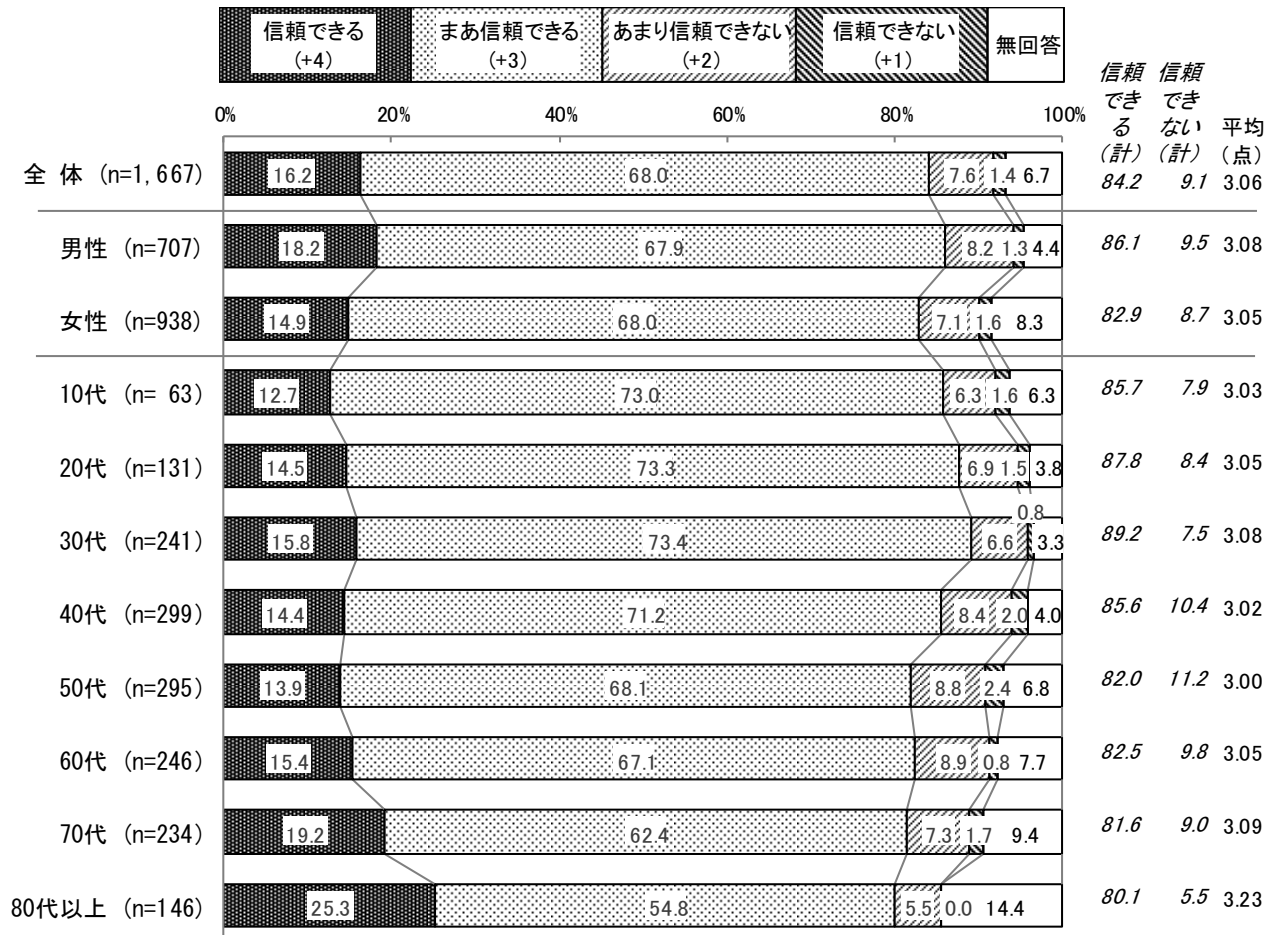


①性・年齢別

性別でみると、「信頼できる(計)」は女性(82.9%)より男性(86.1%)の方が高い。

年齢別でみると、「信頼できる(計)」が最も高いのは30代(89.2%)で、次いで20代(87.8%)が高い。一方、「信頼できない(計)」は40代と50代で1割を超える。

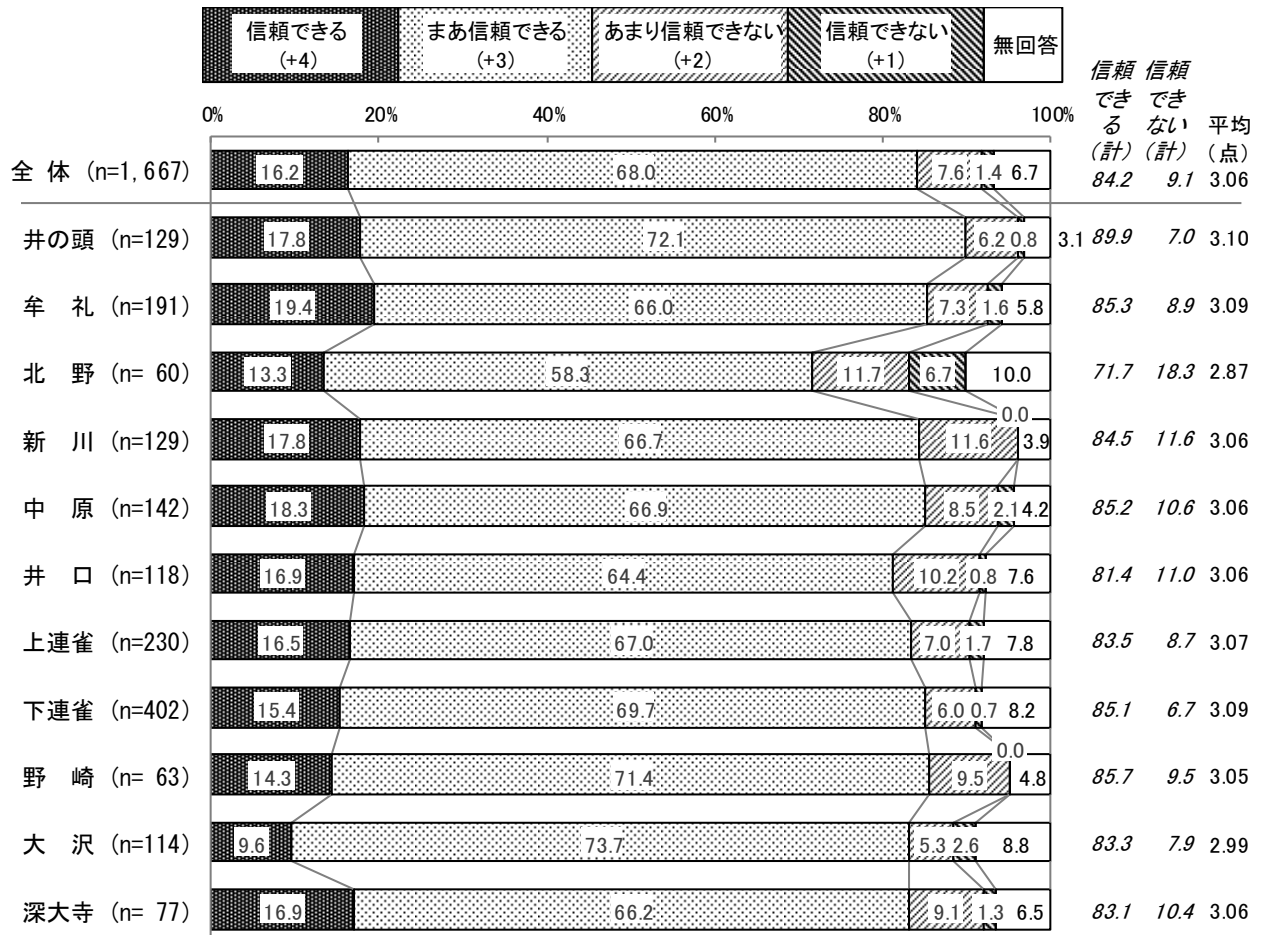
図IV-4-3-3 三鷹市役所の行政機関としての信頼度(性・年齢別)



## ②地区別

地区別でみると、「信頼できる(計)」が最も高い地区は井の頭(89.9%)であり、北野を除くすべての地区で8割を超えている。北野は、「信頼できる(計)」が 71.7%、「信頼できない(計)」が 18.3%で、他の地区より信頼度が低い。

図IV-4-3-4 三鷹市役所の行政機関としての信頼度(地区別)



#### (4) 三鷹市役所に期待すること

問 10: 三鷹市役所に期待すること、ご意見・ご要望等がございましたらご記入ください。

三鷹市役所に期待することや意見・要望について自由記入で回答してもらい、その内容を分類した。分類に際しては、「わからない」「満足している」などの具体的な理由が明記されていないものは除外した。

「市政」への要望が最も多く、次いで「職員の対応・態度」「子育て支援」「公共施設」などへの要望も挙げられた。また、「職員の対応が親切・丁寧だった」など「職員対応・窓口等への好意的な意見」も多かった。

表IV-4-4-1 三鷹市役所に期待すること(自由記入 n=440)

内 容	件数
市政(若者向けの政策を／全ての市民への支援／魅力ある市に／優先順位よく考えて)	52
職員の対応・態度(親切・丁寧な対応を／わかりやすい説明を／明るい雰囲気のある役所に)	39
子育て支援(待機児童解消／医療費支援の拡大／子育て世代が転入しやすい環境を)	38
公共施設(市庁舎の建て替え／公園の整備・拡充／図書館の充実／市全体にバランス良く施設を配置)	36
道路整備(道路が狭い／電信柱が多い／歩道整備／道路が暗い／交通渋滞の緩和)	29
行政サービス(行政の効率化／行政サービスの充実／隣接市との連携・共有化)	28
情報公開(広報活動に工夫を／市民の意見を聞いてほしい／明確な情報開示)	28
窓口サービス(デジタル化の推進／市政窓口のサービス拡充／夜間・土日対応)	27
公共交通(アクセスが悪い／バスが少ない・値段が高い／バス路線の整備)	26
高齢者支援(高齢者福祉政策の充実／高齢者の雇用確保／公共老人ホームの拡充)	26
防犯・防災(市民の安全・安心／防犯の警察との連携／防災対策／災害時のリーダーシップ)	26
職場・市長・議員(職員・議員が多すぎ／横の連携を／地域とのつながりを深める)	25
教育環境(将来ある子どもたちへ予算を／人口増加に伴う小中学校不足／通学路の確保)	19
スポーツ・健康・芸術・文化(スポーツ施設の整備／健康増進教育／音楽ホール・文化的な施設を)	18
開発(開発が遅れている地域がある／マンション開発で住環境悪化／都市計画の方向が理解できない)	15
ゴミ(ゴミ袋代が高い／ゴミ分別の緩和／ゴミ分別アプリの品数を増やす／不法投棄ゴミへの警告表示)	14
自転車(駐輪場が少ない・値段が高い／自転車のマナーが悪い)	14
環境(環境整備対策／森、畑、田んぼが共存している町に)	13
税金(住民税・市税が高い／納税の軽減を)	12
地域コミュニティ・ボランティア活動(参加しやすい環境作り／地域のコミュニティが希薄)	12
商業(商業施設の充実／商店街に活気がない／客引きの取り締り)	10
マナー(車の運転が荒い／ペットの飼い主のマナー向上／禁煙対策)	8
障がい者支援(障がい者福祉の充実・フレキシブルな対応)	6
その他	4
職員対応・窓口等への好意的な意見(親切・丁寧な対応／職員の優秀さを感じる／土日の窓口が便利／住みやすい環境 など)	36

注) 1件の回答に複数の内容が記入されている場合はそれぞれの内容についてカウントした。そのため表の件数の合計とn数は一致しない。

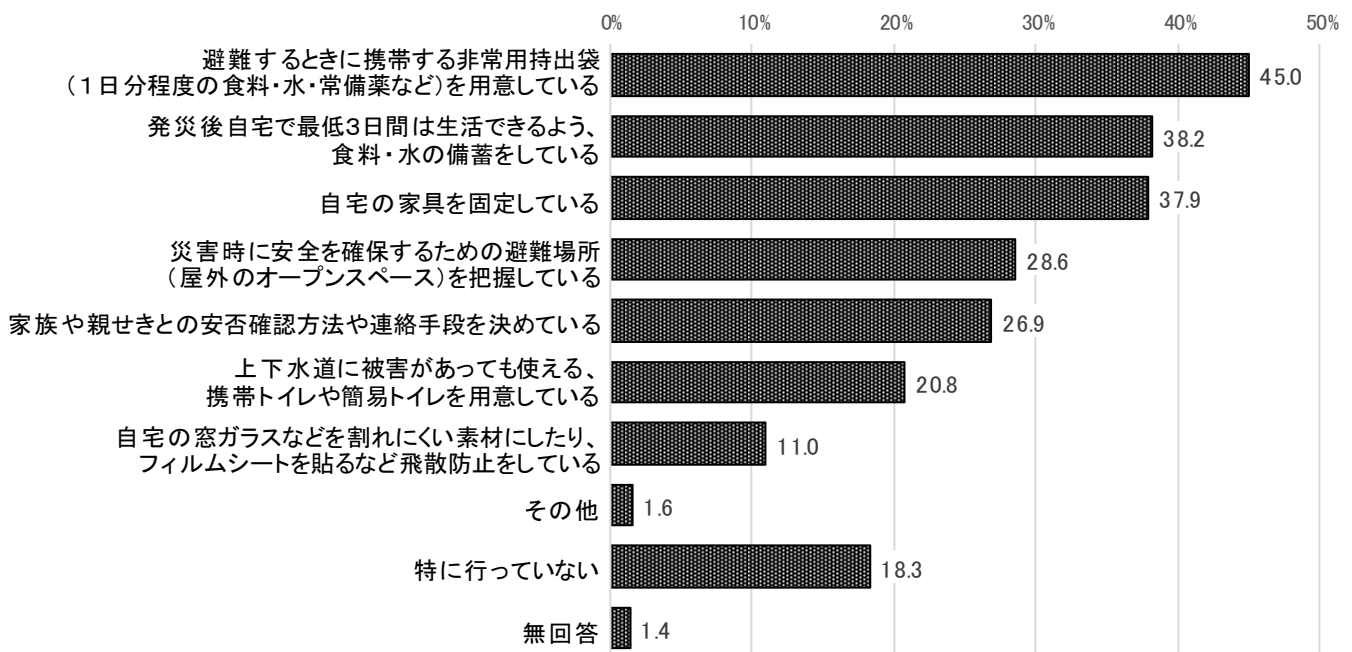
## 5 日頃の防災意識や行動

### (1) 日頃の地震対策

問 11: あなたは日頃からどのような地震対策を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「避難するときに携帯する非常用持出袋(1日分程度の食料・水・常備薬など)を用意している」が45.0%で最も高い。次いで、「発災後自宅で最低3日間は生活できるよう、食料・水の備蓄をしている」(38.2%)、「自宅の家具を固定している」(37.9%)が高い。「特に行っていない」は18.3%である。

図IV-5-1-1 日頃の地震対策(n=1,667)



#### 【その他の回答】

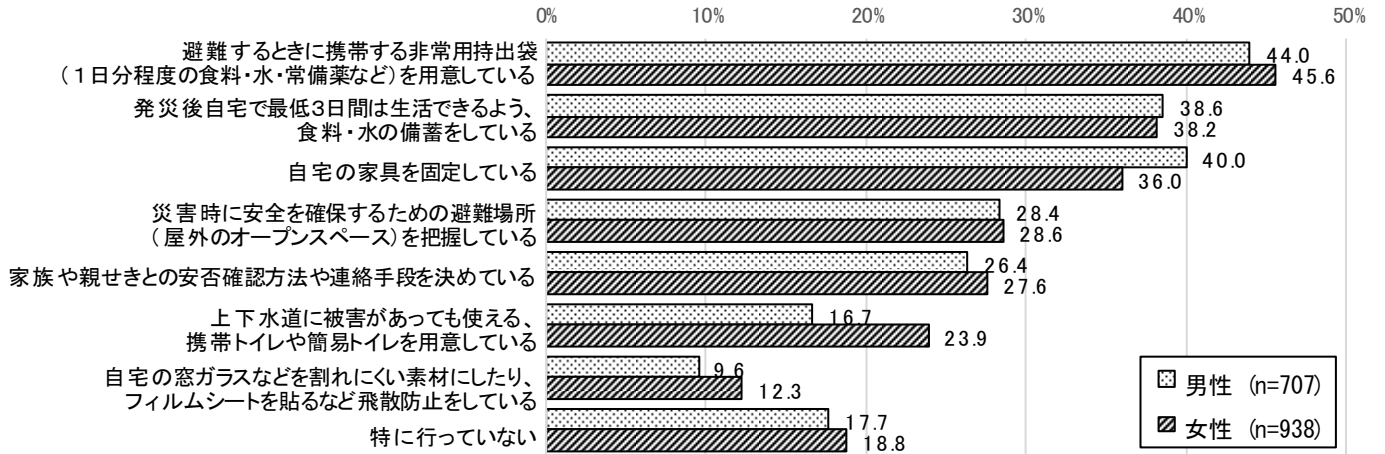
「大きな家具を置かない/家具の配置を工夫/耐震ラッチの使用」、「雨水タンクの設置/風呂の水をためておく」、「シェルタールーム/自宅の耐震化/太陽光発電・大型蓄電池設置」、「家族や知人と集合場所を決める」など

#### ①性・年齢別

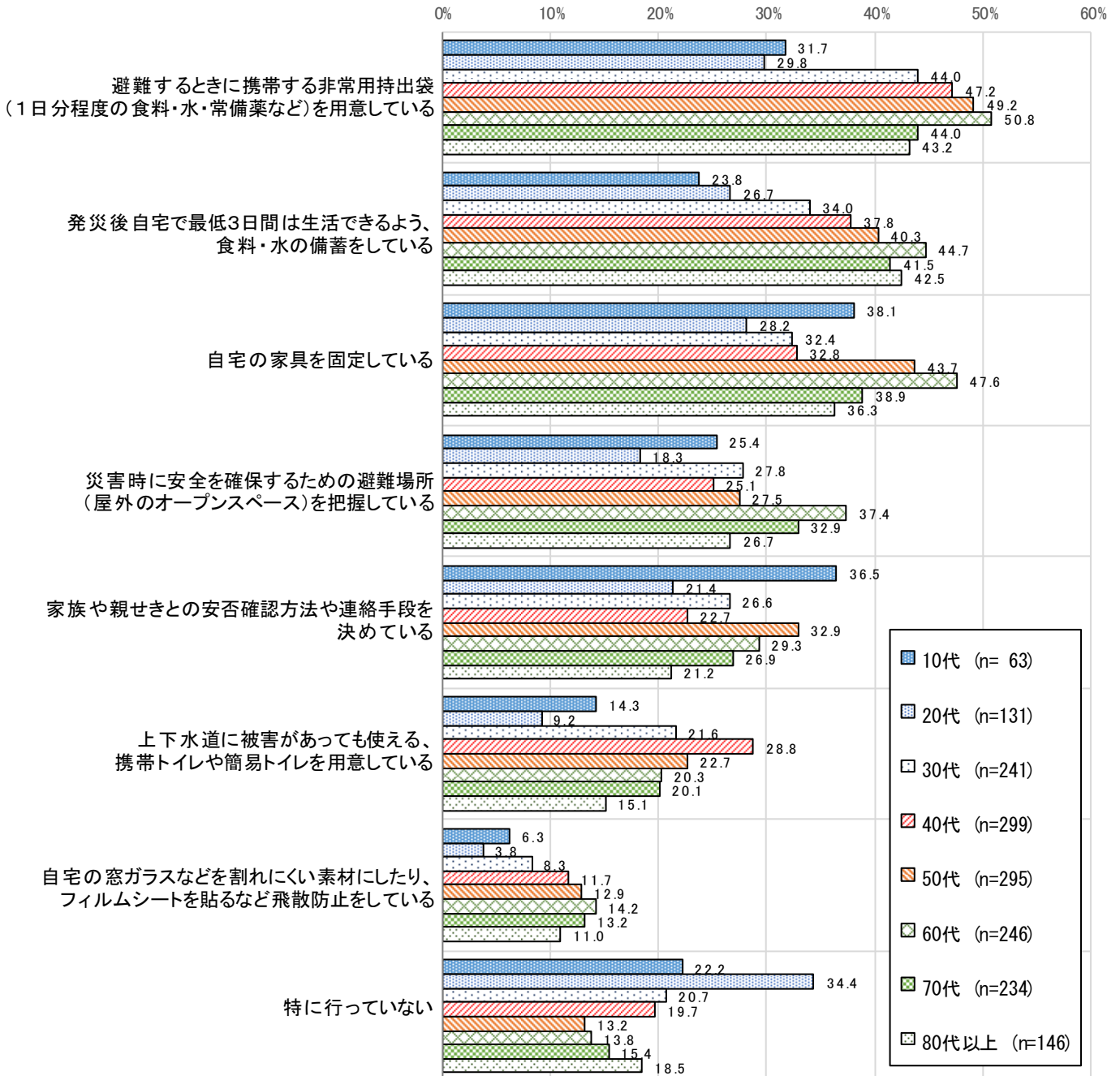
性別でみると、「自宅の家具を固定している」は女性より男性の方が高く、「上下水道に被害があっても使える、携帯トイレや簡易トイレを用意している」は男性より女性の方が高い。

年齢別でみると、「非常用持出袋の用意」は30代以上で4割を超え、「食料・水の備蓄」は50代以上で4割を超えている。10代は「家族や親せきとの安否確認方法や連絡手段を決めている」が36.5%ですべての年代の中で最も高い。「特に行っていない」は20代が34.4%で他の年代より高い。

図IV-5-1-2 日頃の地震対策(性別)



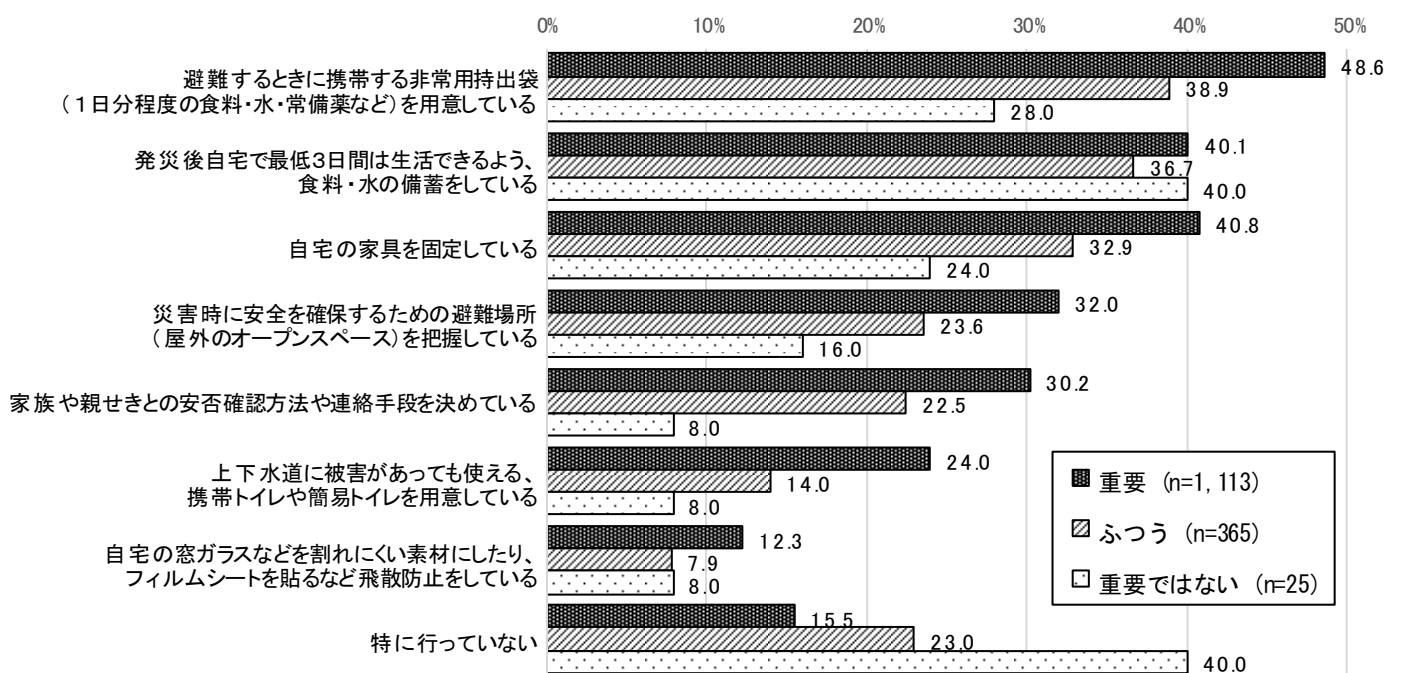
図IV-5-1-3 日頃の地震対策(年齢別)



## ②安全安心プロジェクトの重要度別

安全安心プロジェクトの重要度別でみると、「重要」と回答した人はどの地震対策も「ふつう」「重要ではない」と回答した人より実施率が高い。特に、「非常用持出袋の用意」や「携帯トイレや簡易トイレの用意」などは「ふつう」と比べても実施率の差が大きい。ただし、「重要」とした人でも15.5%は「特に行っていない」。

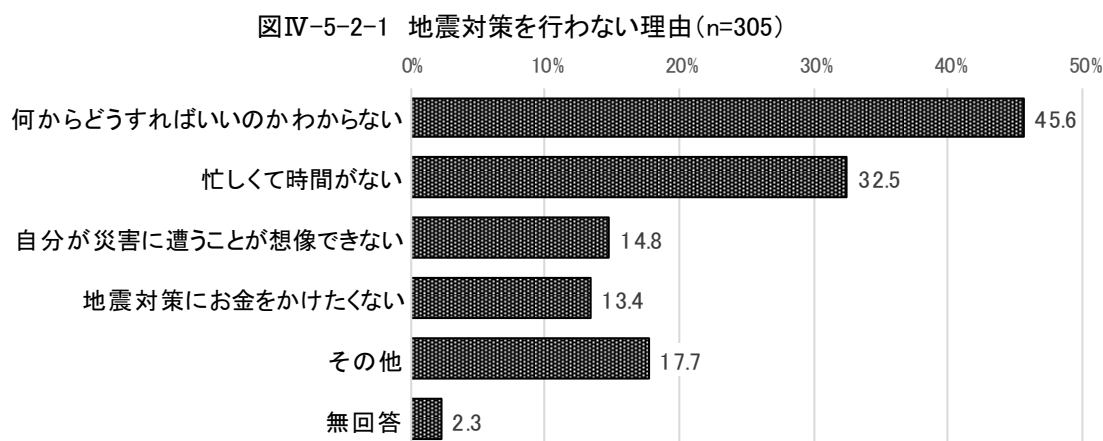
図IV-5-1-4 日頃の地震対策(安全安心プロジェクトの重要度別)



## (2) 地震対策を行わない理由

問 11-1:あなたが日頃から地震対策を行わないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問 11 で「特に行っていない」と回答した方対象]

「何からどうすればいいのかわからない」が 45.6%で最も高い。次いで、「忙しくて時間がない」(32.5%)が高い。



### 【その他の回答】

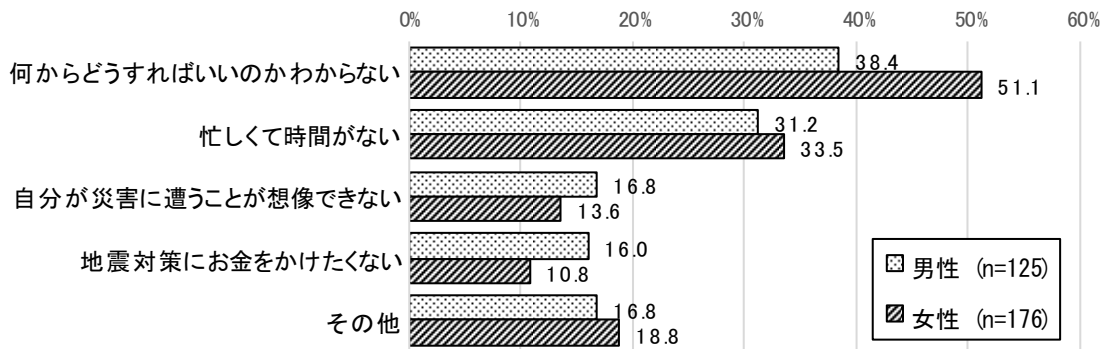
「何とかなんとか思う/その場で対応する」、「やらないと思いつつ今に至る」、「自宅で被災するとは限らない/災害に遭わないとわからない」、「対策にお金をかける余裕がない」、「転入したばかり/家を建て替える予定」、「諦めている」、「面倒くさい」など

### ①性・年齢別

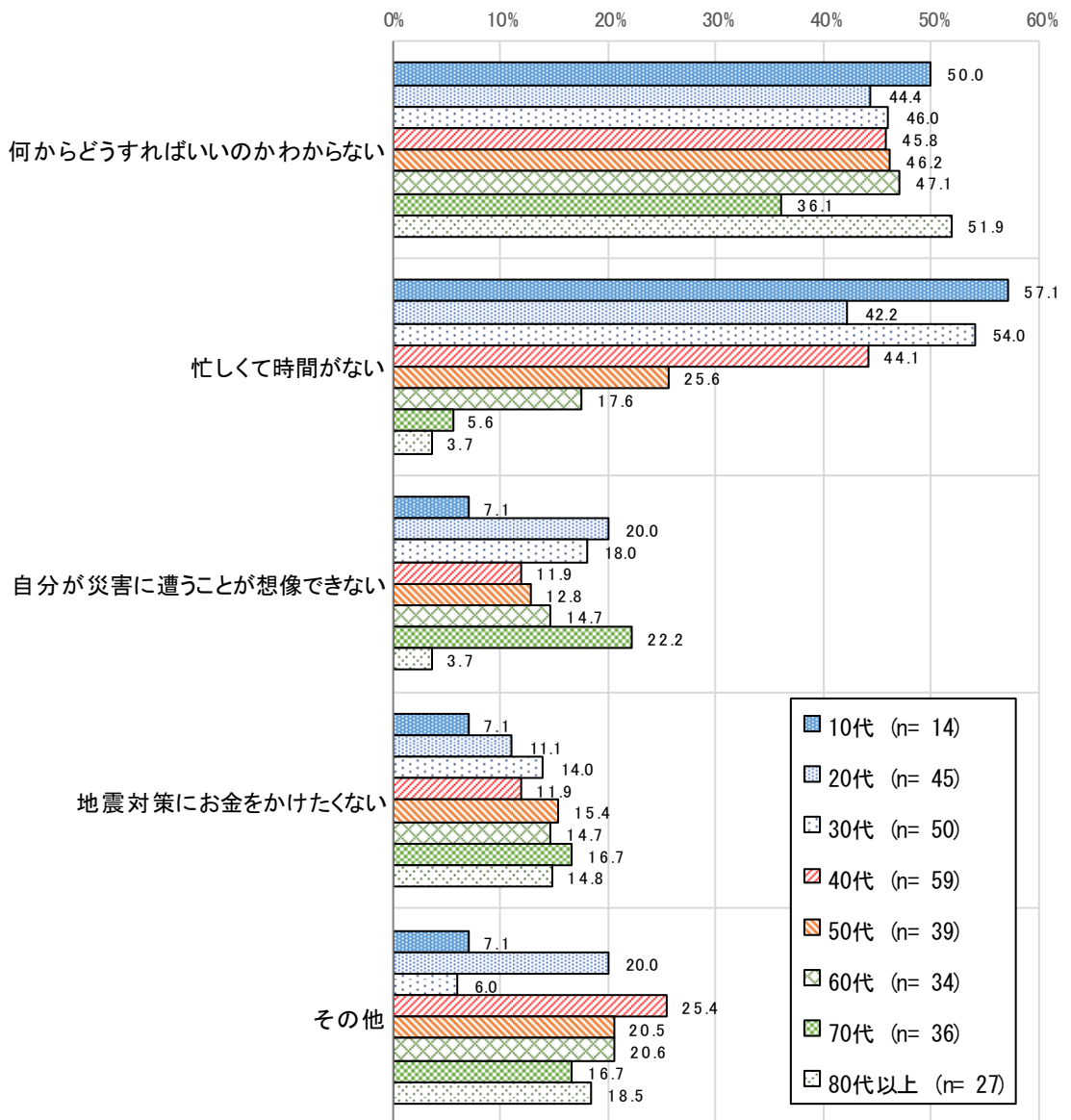
性別で見ると、「何からどうすればいいのかわからない」は男性の 38.4%に比べ、女性は 51.1%で半数を超えている。このことから、女性に対しては、情報やきっかけを与えることが地震対策の実施率向上につながるといえる。

年齢別で見ると、「忙しくて時間がない」は 40 代以下の年代が高い。

図IV-5-2-2 地震対策を行わない理由(性別)



図IV-5-2-3 地震対策を行わない理由(年齢別)



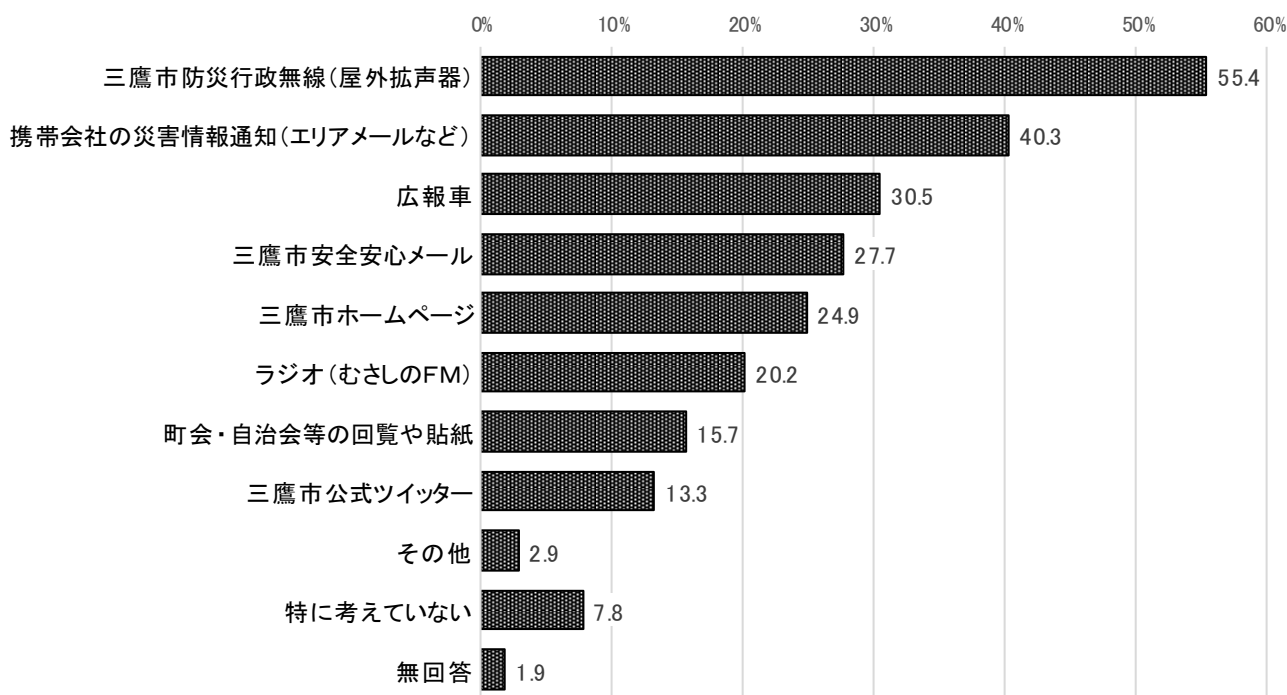


### (3) 地震発生時の市からの災害情報取得手段

問 12: あなたは大地震が発生した際に、どのような方法で市からの災害情報を得ようと考えていますか。  
あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「三鷹市防災行政無線(屋外拡声器)」が 55.4%で最も高く、5割を超えている。次いで、「携帯会社の災害情報通知(エリアメールなど)」(40.3%)が高い。

図IV-5-3-1 地震発生時の市の災害情報取得手段(n=1,667)



**【その他の回答】**

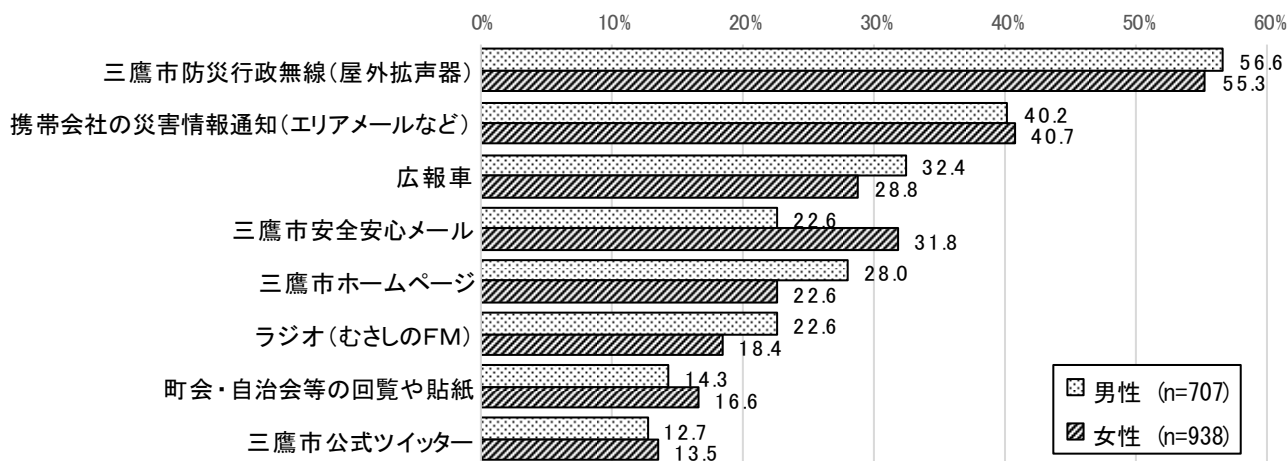
「インターネット/SNS/Twitter/LINE/Facebook/メール」、「TV/ラジオ」、「中央防災公園/避難所」、「市役所へ行く」、「ご近所/居住マンション」など

#### ①性・年齢別

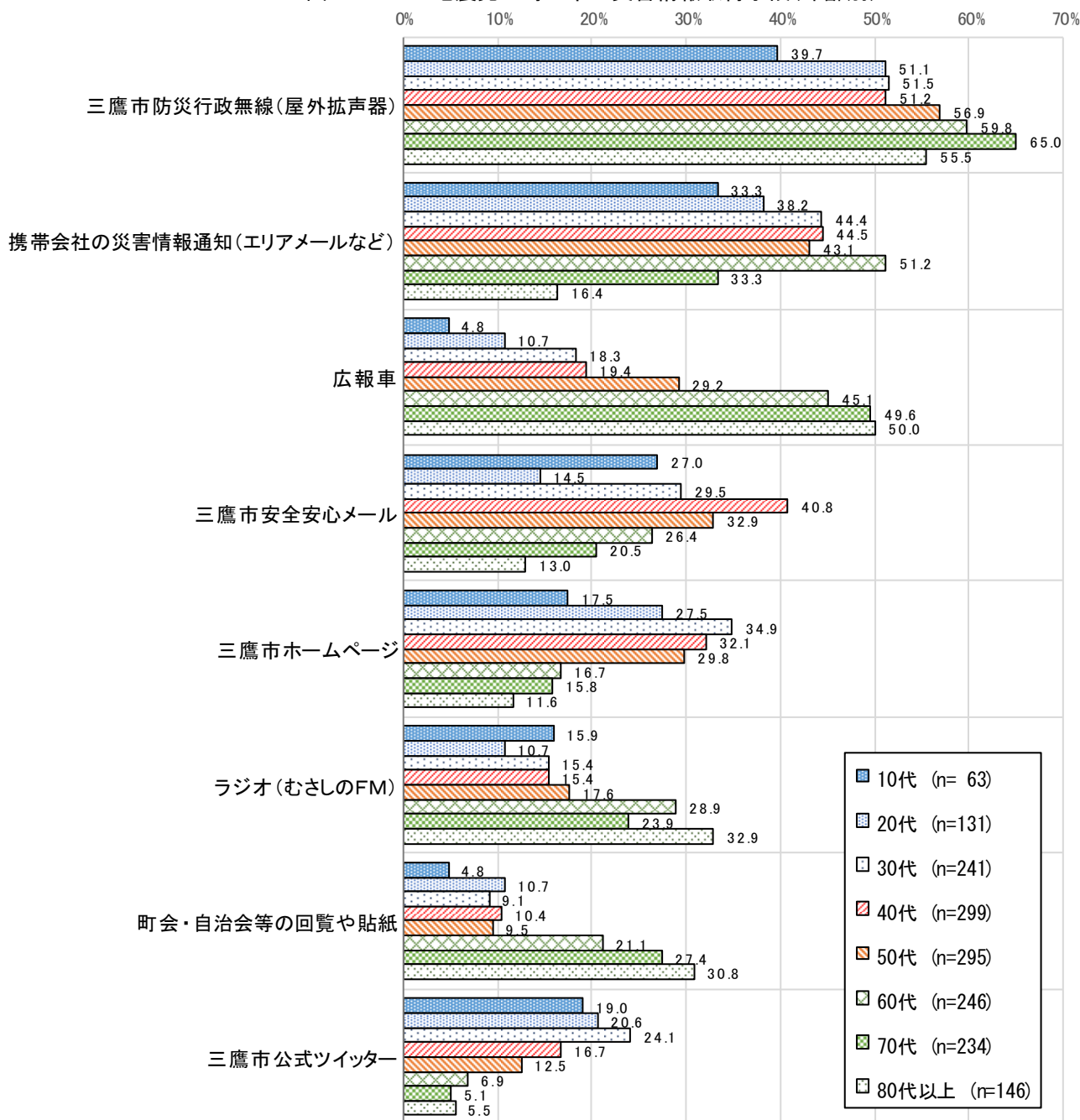
性別でみると、男女とも、1位と2位は変わらないが、3位は男性が「広報車」(32.4%)、女性が「三鷹市安全安心メール」(31.8%)である。

年齢別でみると、「三鷹市防災行政無線(屋外拡声器)」は10代が39.7%でやや低いですが、他の年代は5割を超えており、特に70代は65.0%と非常に高い。「携帯会社の災害情報通知(エリアメールなど)」は60代が51.2%で他の年代より高い。「広報車」は年代が上がるにつれ高くなる傾向にあり、10代・20代が1割前後であるのに対し、70代・80代以上は約5割である。

図IV-5-3-2 地震発生時の市の災害情報取得手段(性別)



図IV-5-3-3 地震発生時の市の災害情報取得手段(年齢別)



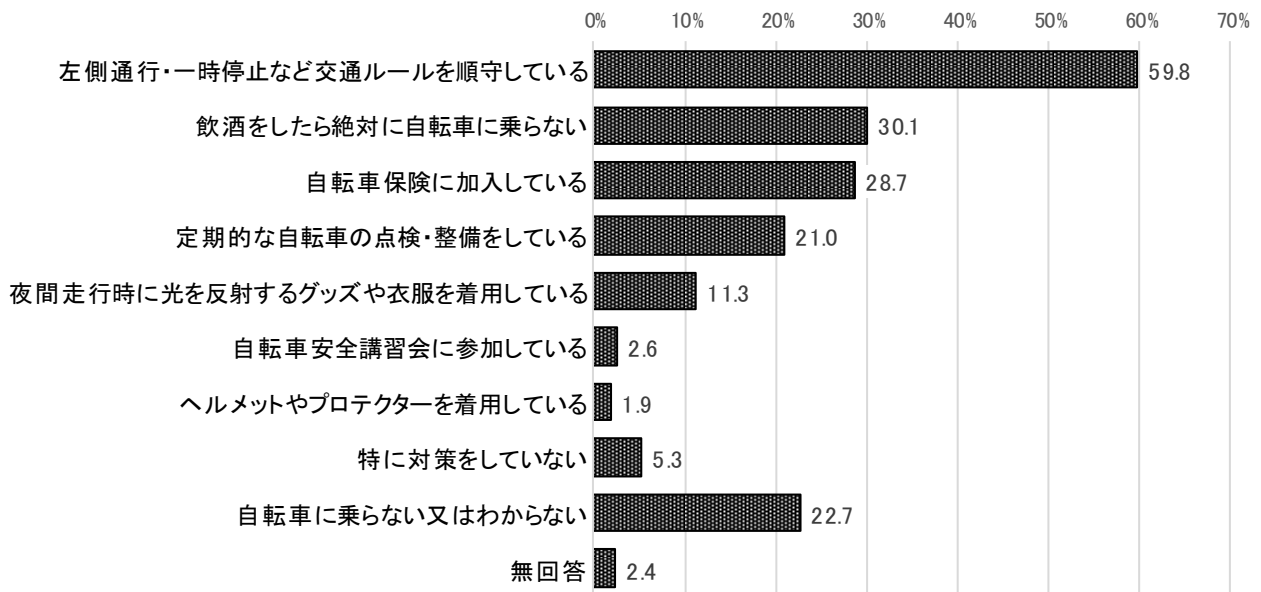
## 6 交通安全に対する意識

### (1) 自転車の安全運転対策

問 13: あなたは安全に自転車に乗るために、普段からどのような対策を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「左側通行・一時停止など交通ルールを順守している」が59.8%で最も高い。次いで、「飲酒をしたら絶対に自転車に乗らない」(30.1%)、「自転車保険に加入している」(28.7%)が高い。「特に対策をしていない」は5.3%にとどまっている。

図IV-6-1-1 自転車の安全運転対策(n=1,667)

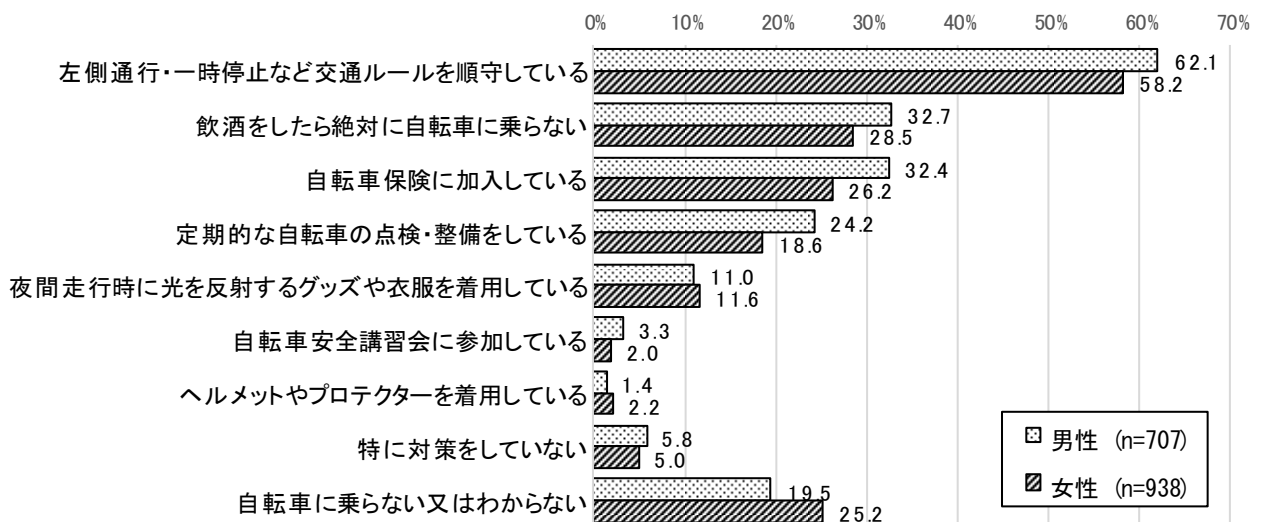


#### ①性・年齢別

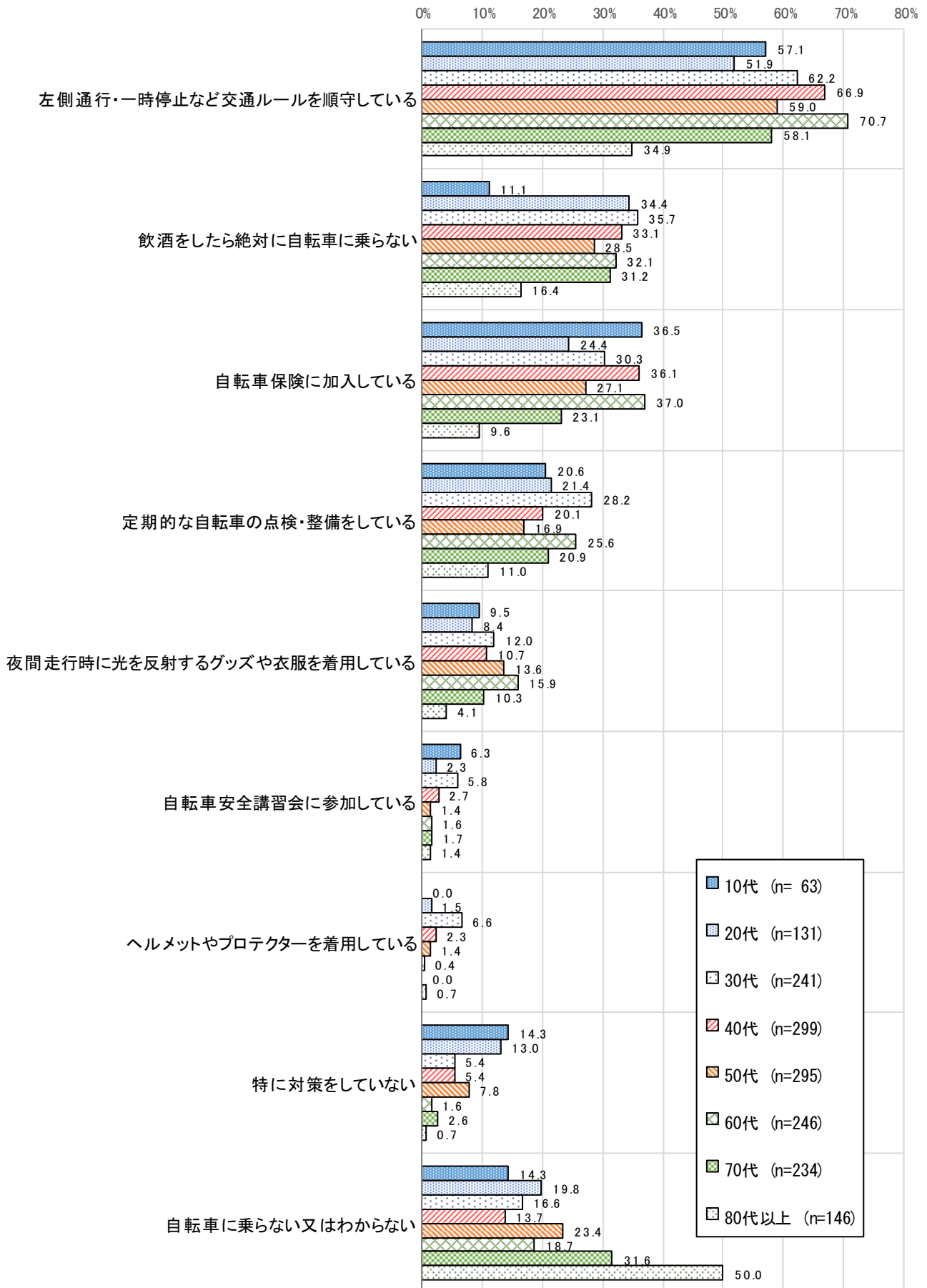
性別でみると、男女ともほぼ同様の傾向がみられる。

年齢別でみると、「自転車に乗らない又はわからない」の割合が年代により異なるため比較が難しいが、「左側通行・一時停止など交通ルールを順守している」は10代・20代よりも中・高齢層の方が高い。「特に対策をしていない」は10代・20代が1割を超えている。

図IV-6-1-2 自転車の安全運転対策(性別)



図IV-6-1-3 自転車の安全運転対策(年齢別)



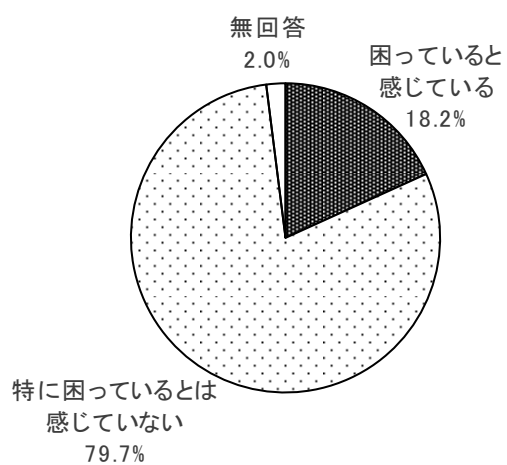
## 7 生活圏での買物環境に対する意識

### (1) 買物困難の有無

問 14: あなたが普段食料品や日用品などの買物をする際、困っていると感じることはありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「特に困っているとは感じていない」が 79.7%、「困っていると感じている」は 18.2%である。

図IV-7-1-1 買物困難の有無 (n=1,667)

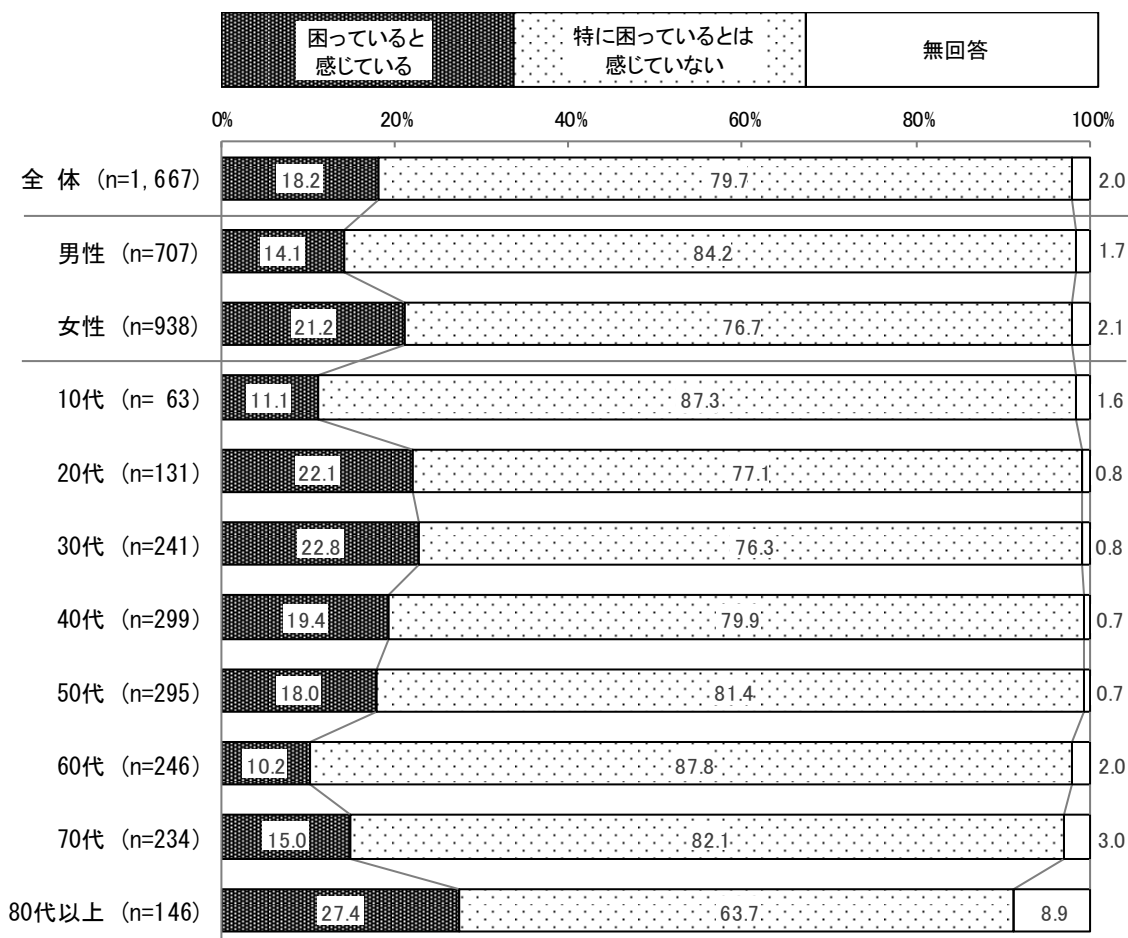


### ①性・年齢別

性別でみると、「困っていると感じている」は男性の 14.1%に対し、女性は 21.2%で2割を超えている。

年齢別でみると、「困っていると感じている」が最も高い年代は 80 代以上の 27.4%である。次いで、30 代(22.8%)、20 代(22.1%)が2割を超えている。

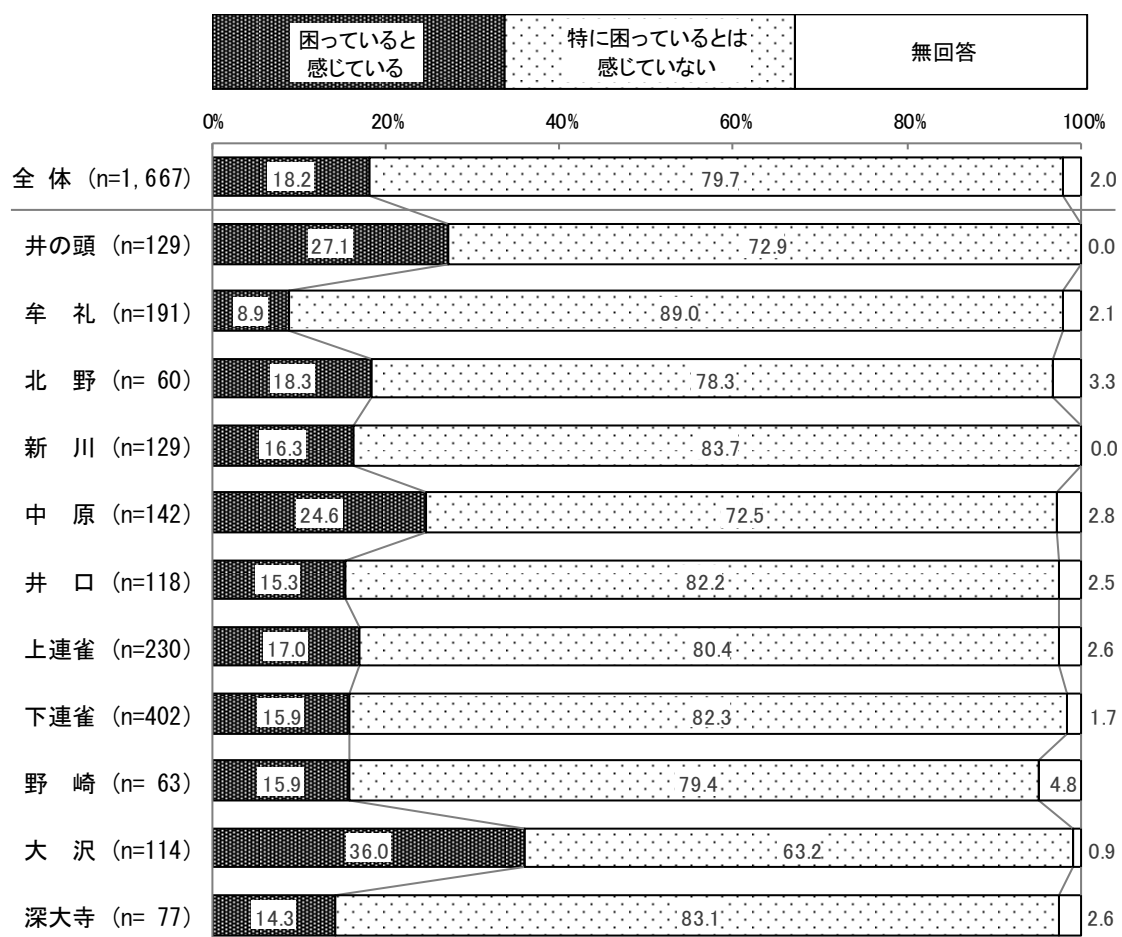
図IV-7-1-2 買物困難の有無(性・年齢別)



## ②地区別

地区別でみると、「困っていると感じている」が最も高い地区は大沢の36.0%である。次いで、井の頭(27.1%)、中原(24.6%)が2割を超えている。「特に困っているとは感じていない」が最も高い地区は牟礼(89.0%)である。

図IV-7-1-3 買物困難の有無(地区別)

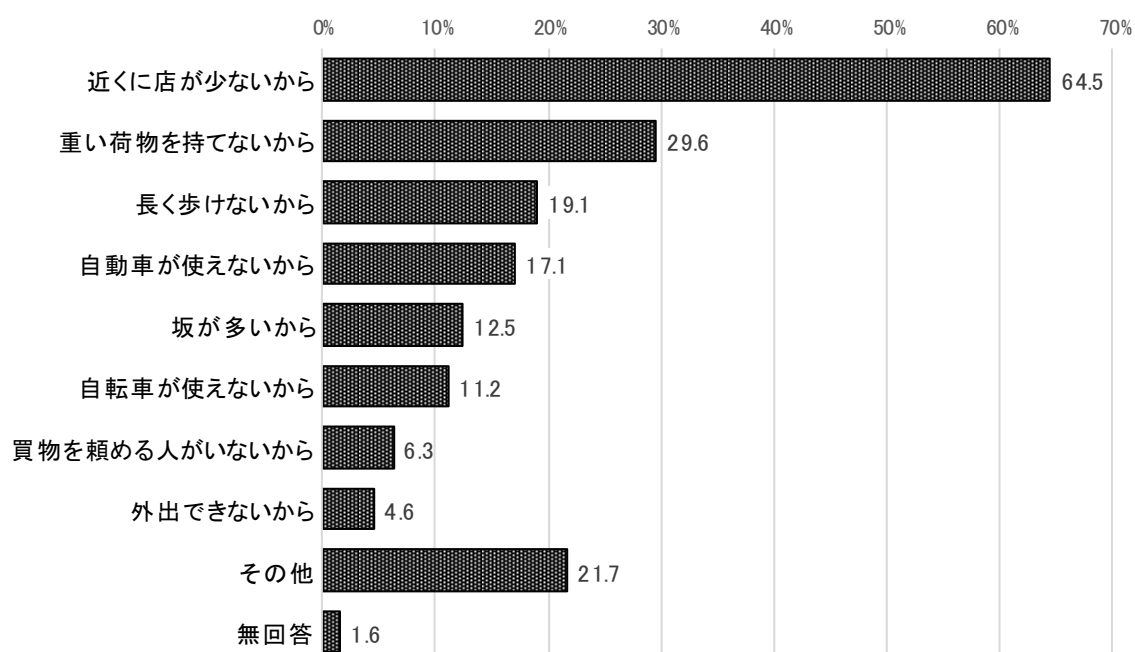


## (2) 買物困難の理由

問 14-1:あなたが買物困難と感じるのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問 14 で「困っていると感じている」と回答した方対象]

「近くに店が少ないから」が 64.5%で最も高い。次いで、「重い荷物を持ってないから」(29.6%)が高い。

図IV-7-2-1 買物困難の理由(n=304)



### 【その他の回答】

「大型店がない/商業施設が充実していない」、「駐輪場・駐車場が少ない・遠い」、「道路が狭く危険」、「ベビーカー・買物車が使えない店が多い/子ども連れで入れない」、「物価が高い」、「夜まで開いているスーパーが少ない」、「バスの利便性が悪い」、「大きな物を運ぶ術がない」など

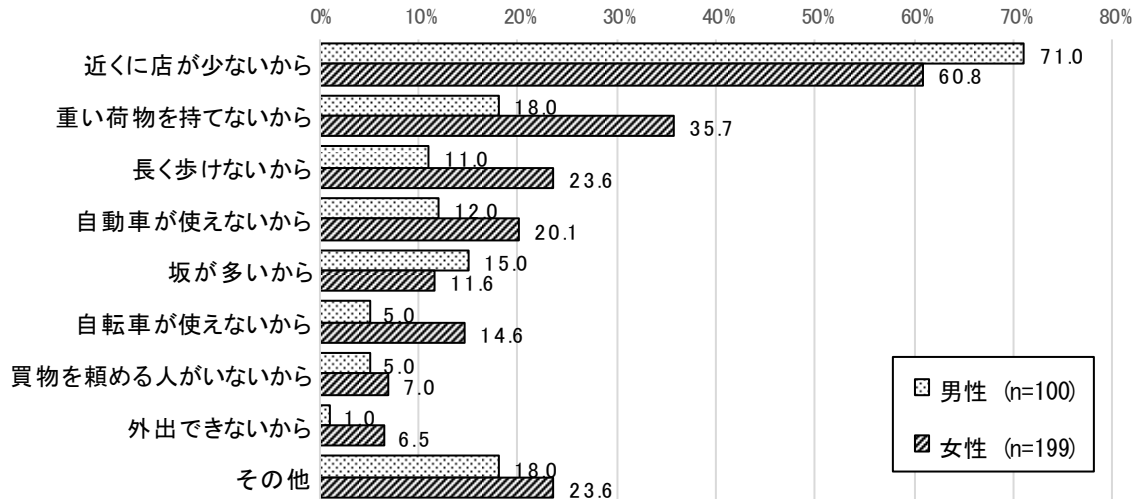
### ①性・年齢別

性別で見ると、「近くに店が少ないから」は男女とも高い。「重い荷物を持ってないから」「長く歩けないから」「自動車が使えないから」「自転車が使えないから」は男女差が大きく、女性の方が高いことから、買い物に際しての“足”に関して、女性が困難さを感じているといえる。

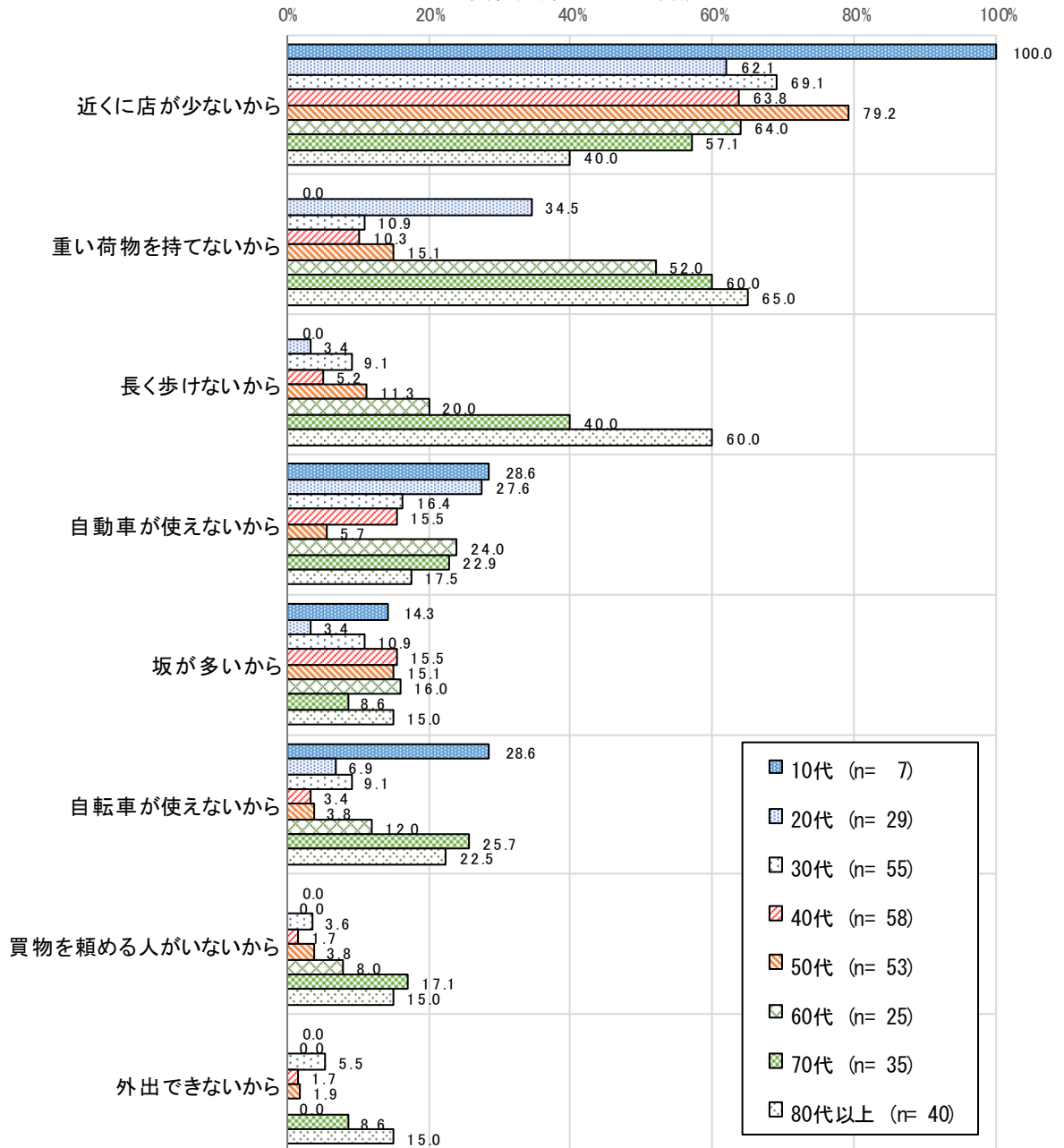
年齢別で見ると、回答数の少ない 10 代を除くと、「近くに店が少ないから」は 80 代以上を除くすべての年代で高い。「重い荷物を持ってないから」「長く歩けないから」は 70 代以上が高い。



図IV-7-2-2 買物困難の理由(性別)

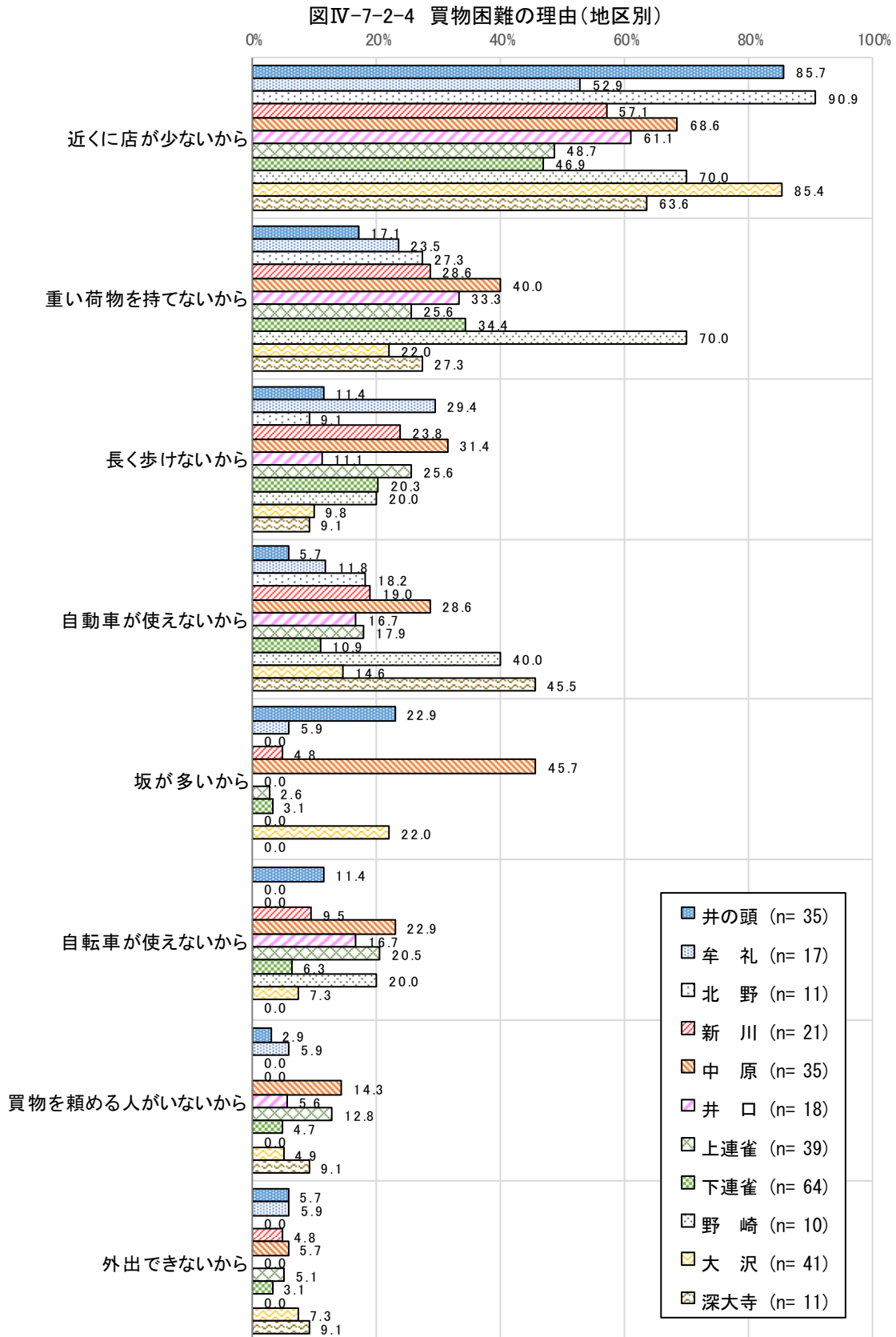


図IV-7-2-3 買物困難の理由(年齢別)



## ②地区別

地区別でみると、回答数が少ない地区もあるため注意が必要ではあるが、「近くに店が少ないから」は上連雀と下連雀が5割弱で、他の地区よりやや低い。中原は「坂が多いから」が45.7%で「近くに店が少ないから」(68.6%)に次いで高く、他の地区と比べて倍以上高い。



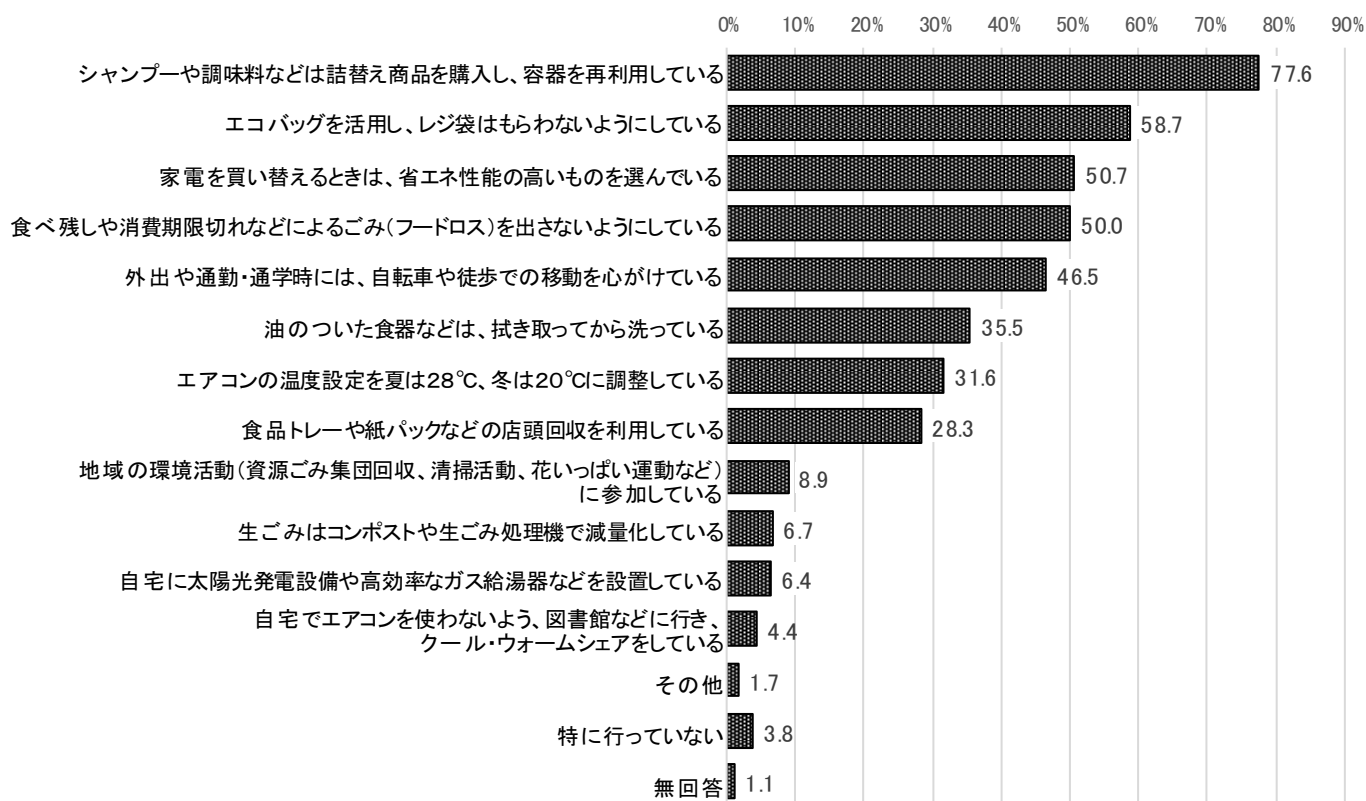
## 8 環境に対する意識や行動

### (1) 日頃の環境に配慮した取り組み

問 15: あなたは日頃からどのような環境に配慮した取り組みを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「シャンプーや調味料などは詰替え商品を購入し、容器を再利用している」が 77.6%で最も高い。次いで「エコバッグを活用し、レジ袋はもらわないようにしている」(58.7%)、「家電を買い替えるときは、省エネ性能の高いものを選んでいる」(50.7%)、「食べ残しや消費期限切れなどによるごみ(フードロス)を出さないようにしている」(50.0%)、「外出や通勤・通学時には、自転車や徒歩での移動を心がけている」(46.5%)などが挙げられている。「特に行っていない」は 3.8%にとどまっている。

図IV-8-1-1 日頃の環境に配慮した取り組み (n=1,667)



#### 【その他の回答】

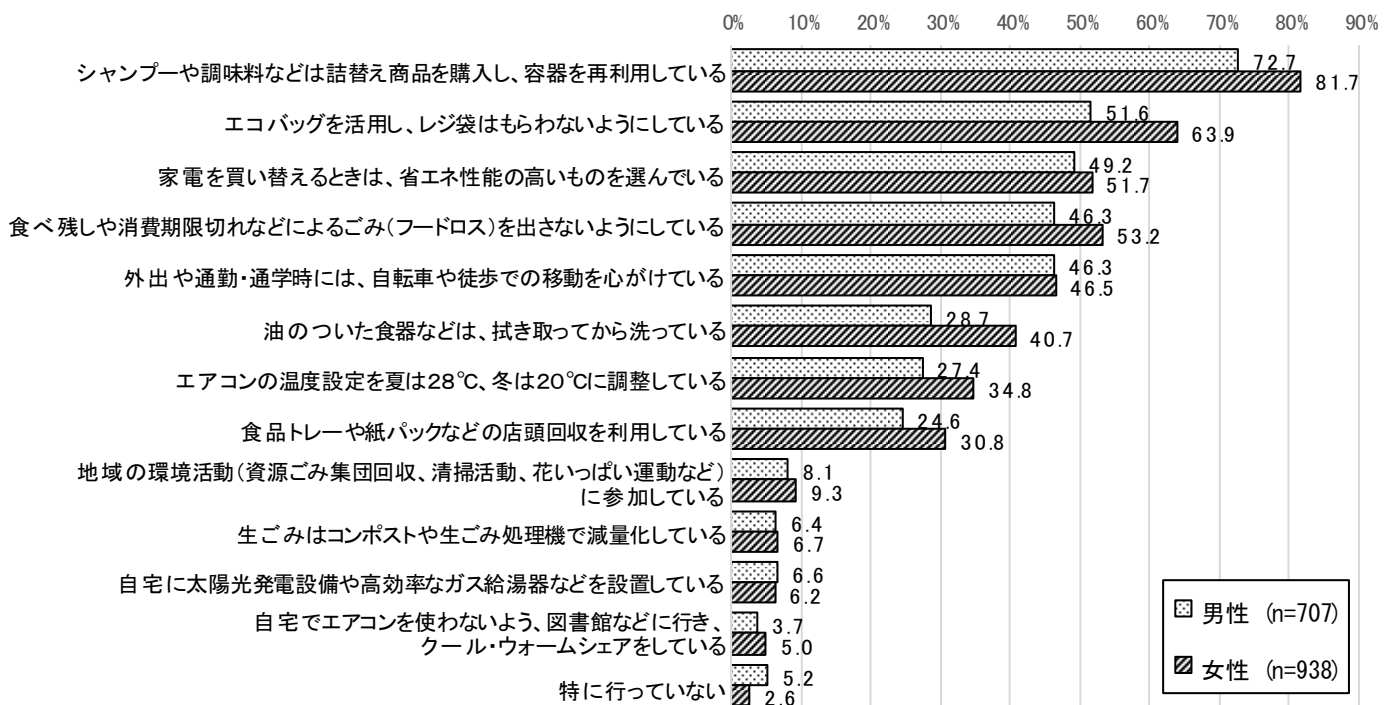
「分別をしっかりとやる/ごみをキレイに出す」、「エアコンの使用を減らす(断熱ガラス/窓を開ける/ゴーヤを栽培)」、「ゴミの多く出る物は買い控える」、「節電/LED使用」、「節水/雨水・風呂の水を利用」、「エコカー/エコな運転」など

### ①性・年齢別

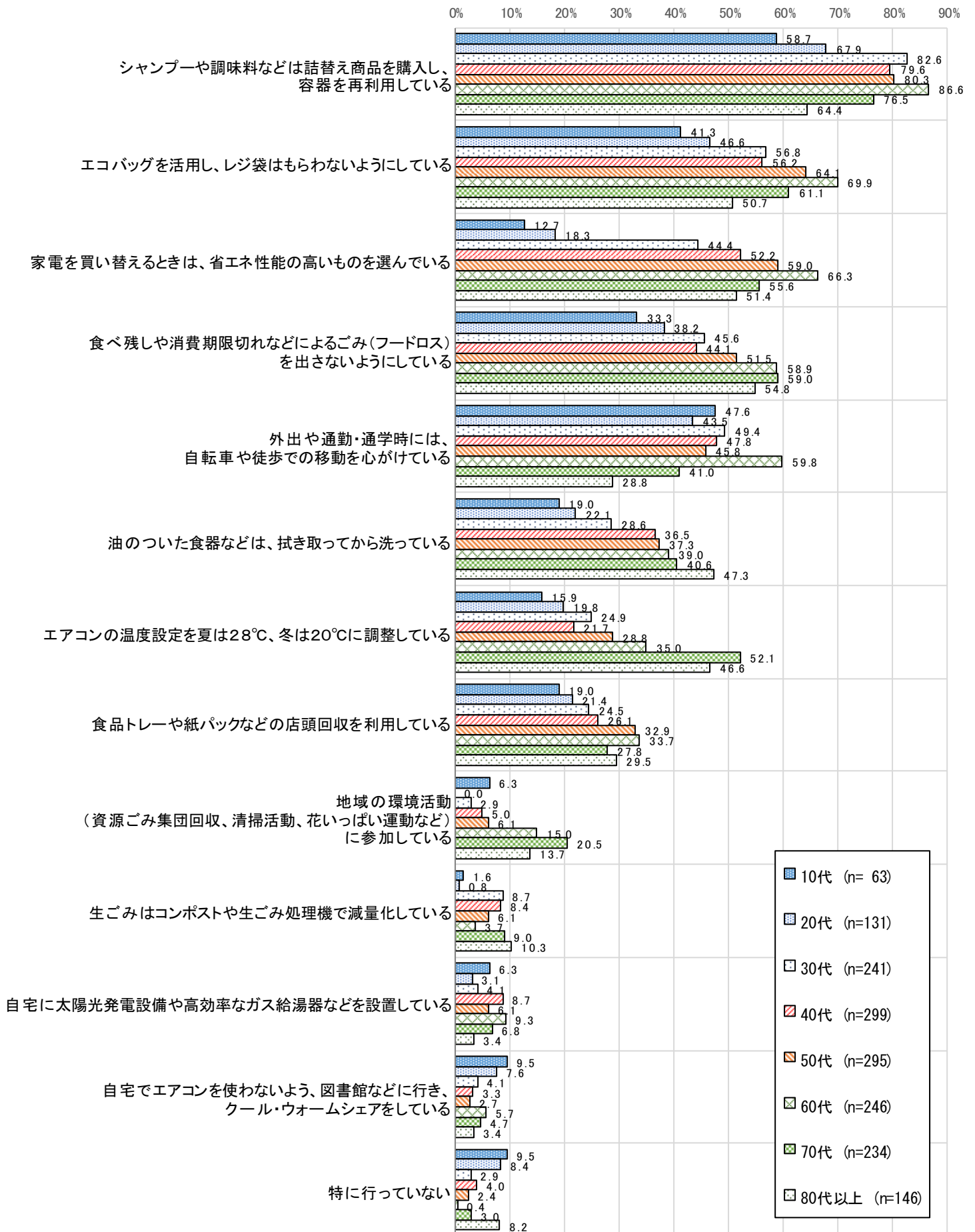
性別で見ると、女性の方が男性より概ね実施率は高い。男女差が大きい取り組みは「シャンプーや調味料などは詰替え商品を購入し、容器を再利用している」「エコバッグを活用し、レジ袋はもらわないようにしている」「油のついた食器などは、拭き取ってから洗っている」などである。

年齢別で見ると、60代が他の年代より比較的实施率が高く、「容器の再利用」は86.6%に達し、その他「エコバックの活用」「省エネ性能の高い家電の購入」「フードロスの削減」「自転車や徒歩での移動」も6～7割の実施率である。

図IV-8-1-2 日頃の環境に配慮した取り組み(性別)



図IV-8-1-3 日頃の環境に配慮した取り組み(年齢別)



## 9 ライフ・ワーク・バランス

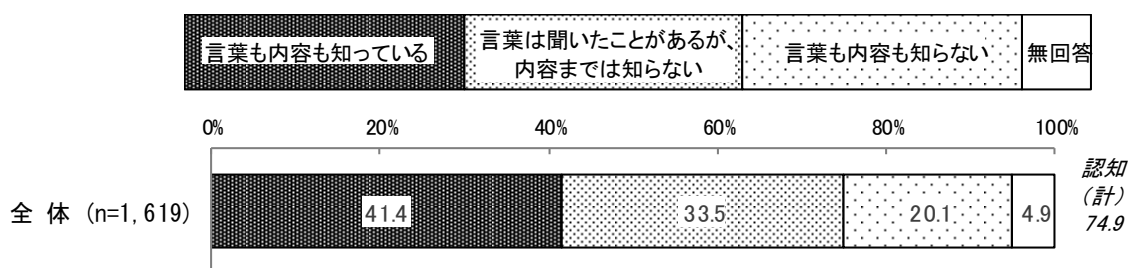
### (1) 「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知

問 16: あなたは、「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」という言葉を見聞きしたことがありますか。  
あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「言葉も内容も知っている」が 41.4%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」(33.5%)が高い。「言葉も内容も知らない」は 20.1%であり、「認知(計)」「言葉も内容も知っている」+「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」は 74.9%である。

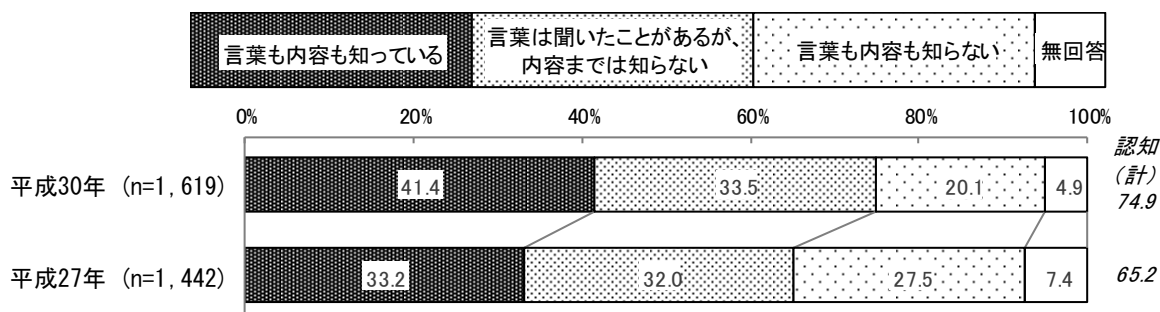
過去の調査結果と比較すると、「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」ともに前回より高くなっており、「認知(計)」は前回の 65.2%より約 10 ポイント高くなっている。

図IV-9-1-1 「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知(n=1,619)



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

図IV-9-1-2 「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知(過去調査比較)



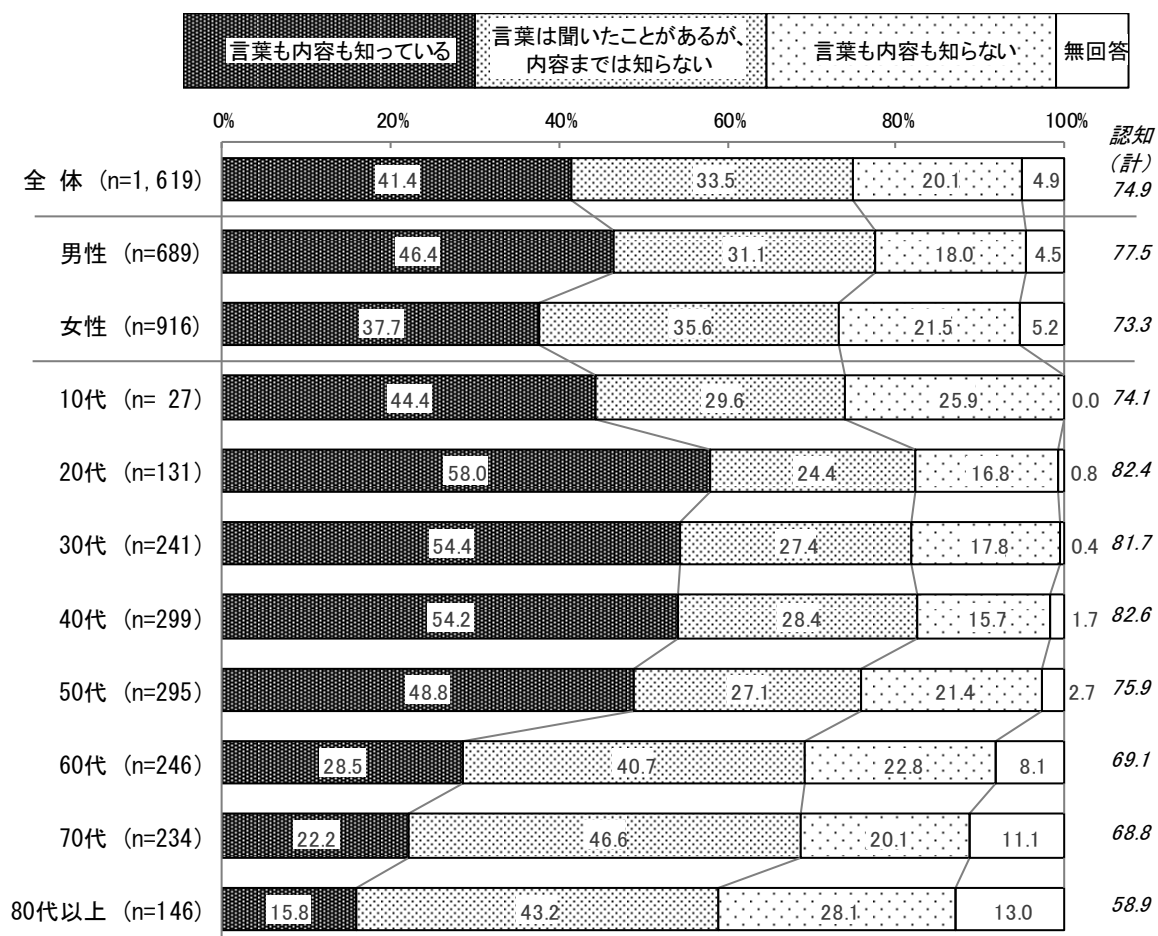
注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

### ①性・年齢別

性別でみると、「言葉も内容も知っている」は男性が 46.4%であるのに対し、女性は 37.7%である。「認知(計)」は男性 77.5%、女性 73.3%である。

年齢別でみると、回答数の少ない10代を除くと、「言葉も内容も知っている」が最も高い年代は20代(58.0%)である。20代以降、年代が上がるにつれ、「言葉も内容も知っている」の割合は低くなる。「認知(計)」は20~40代は8割を超えているが、それ以降は年代が上がるにつれ低くなっている。

図IV-9-1-3 「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知(性・年齢別)



注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

## (2) 仕事、家庭、地域・個人の生活における理想と現実の優先度比較

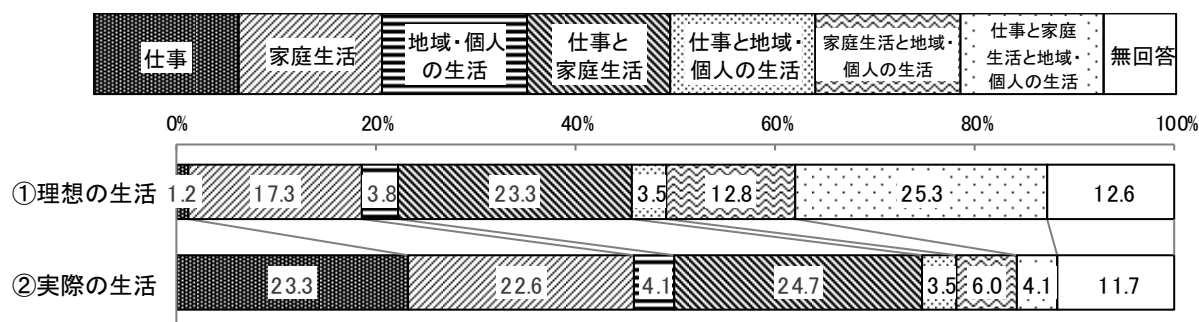
問 17: 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味等)の優先度についてうかがいます。「①理想の生活」「②実際の生活」でそれぞれあてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

①理想の生活では、『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』が 25.3%で最も高く、次いで『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』(23.3%)、『「家庭生活」を優先』(17.3%)が高い。②実際の生活では、『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』(24.7%)が最も高く、次いで『「仕事」を優先』(23.3%)、『「家庭生活」を優先』(22.6%)が高い。

また、『家庭生活(計)』(「家庭生活」+「仕事と家庭生活」+「家庭生活と地域・個人の生活」+「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」)の理想は 78.8%であるのに対し、実際は 57.4%、『地域・個人の生活(計)』の理想は 45.5%であるのに対し、実際は 17.7%と差がある。

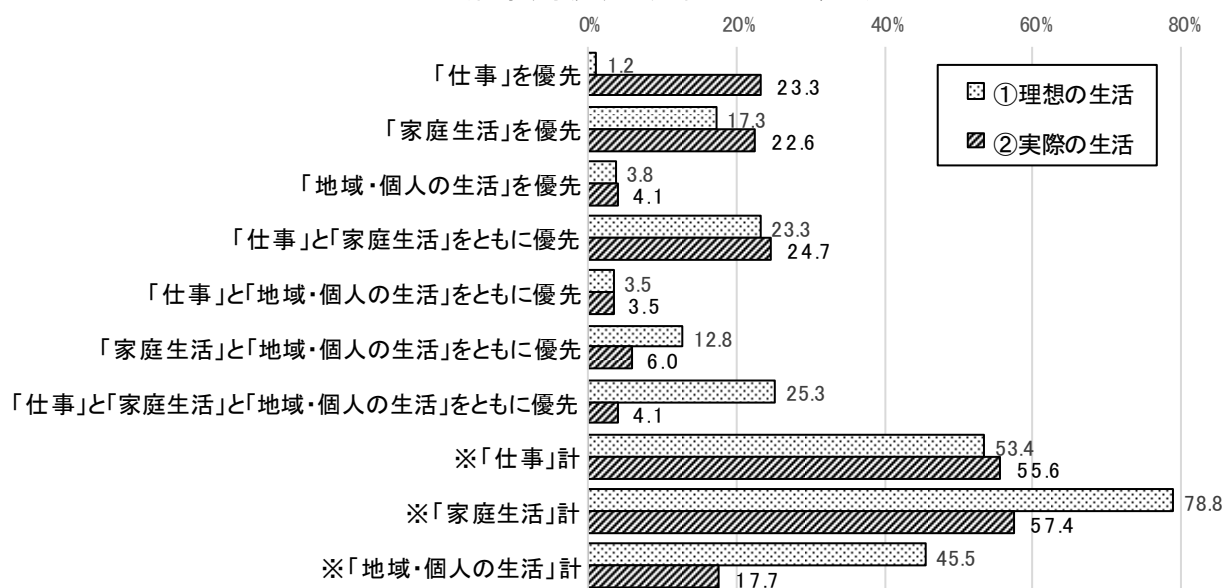
このことから、理想は「家庭生活」を優先しながら、「仕事」や「地域・個人の生活」も同様に優先したいと考えているが、実際は「仕事」のみ、「家庭」のみとなったり、あるいは「地域・個人の生活」は後回しとなっていることがうかがえる。

図IV-9-2-1 仕事、家庭、地域・個人の生活における理想と現実の優先度比較 (n=1,619)



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

図IV-9-2-2 仕事、家庭、地域・個人の生活における理想と現実の優先度比較 (仕事、家庭、地域・個人計 n=1,619)

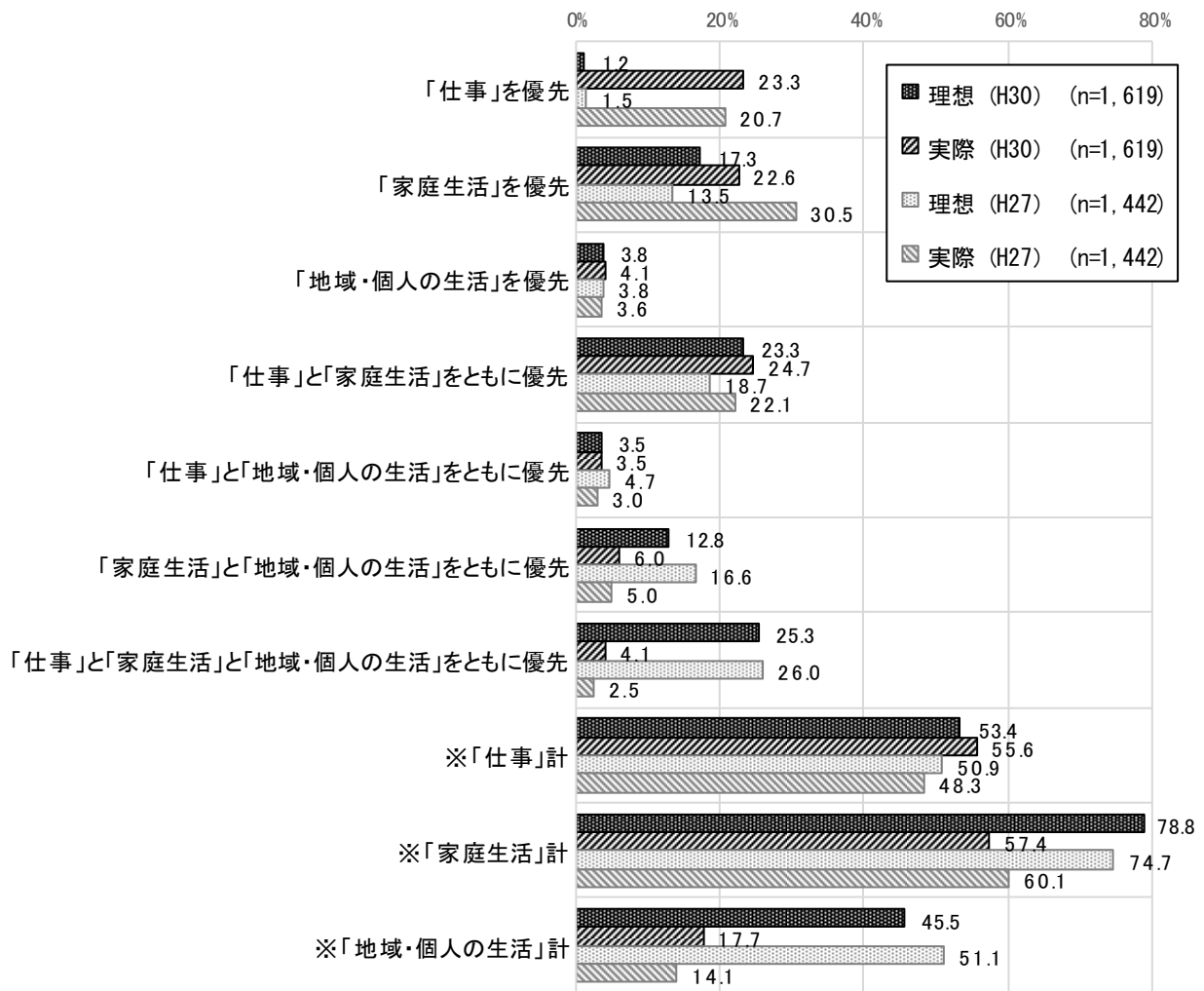


注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。



過去の調査結果と比較すると、「家庭生活(計)」は理想と実際の差が平成 27 年より大きくなっているが、『「家庭生活」を優先』のみで見ると、理想と実際の差は平成 27 年より小さくなっている。「仕事(計)」は、平成 27 年は実際より理想の方が高かったが、平成 30 年は理想より実際の方が高く、平成 27 年の実際が 48.3%、平成 30 年の実際は 55.6%である。

図IV-9-2-3 仕事、家庭、地域・個人の生活における理想と現実の優先度比較(過去調査比較)



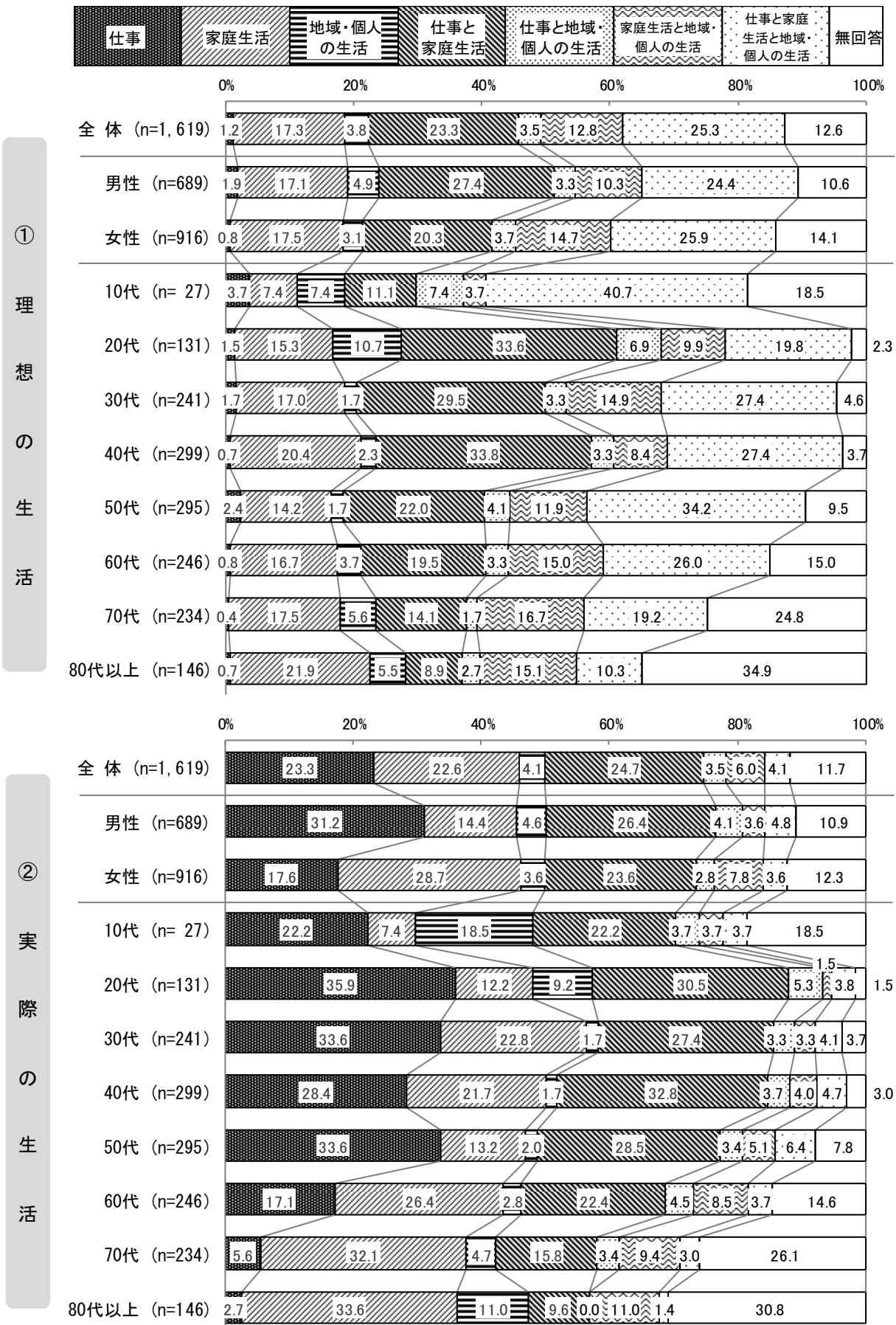
注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

### ①性・年齢別

性別で見ると、①理想の生活では、男性は「仕事と家庭生活」(27.4%)が最も高く、女性は「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」(25.9%)が最も高い。②実際の生活では、男性は「仕事」(31.2%)が最も高く、女性は「家庭生活」(28.7%)が最も高い。

年齢別で見ると、回答数の少ない 10 代を除くと、①理想の生活では、20~40 代は「仕事と家庭生活」が3割前後を占め最も高い。②実際の生活では、すべての年代で「仕事」の割合が高くなり、20~50 代で3割前後を占める。「家庭生活と地域・個人の生活」「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」は、各年代とも理想より実際の生活の方が割合が下がっている。

図IV-9-2-4 仕事、家庭、地域・個人の生活における理想と現実の優先度比較(性・年齢別)



注) n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

## 10 男女平等に関する考え

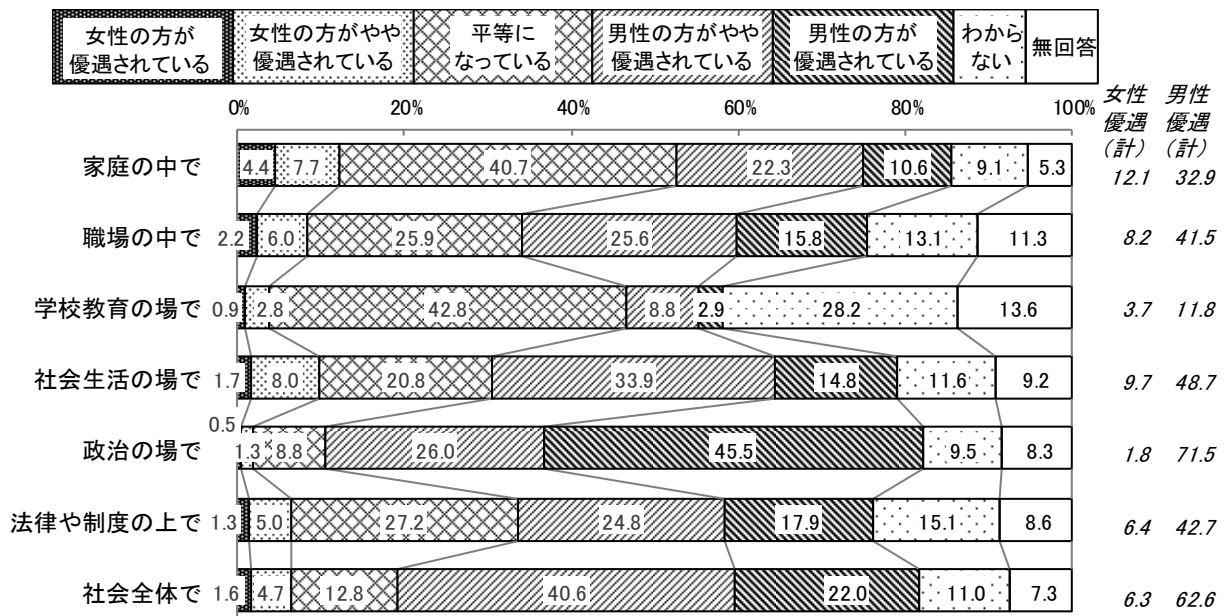
### (1) 男女平等に関する意識

問 18: あなたは、次にあげる7つの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目であてはまるもの1つを選び、番号に○印をつけてください。

「平等になっている」が高いのは、「学校教育の場で」(42.8%)と「家庭の中で」(40.7%)である。「男性優遇(計)」「(男性の方がやや優遇されている)」「(男性の方が優遇されている)」が高いのは、「政治の場で」(71.5%)、「社会全体で」(62.6%)などであり、すべての項目で「女性優遇(計)」より「男性優遇(計)」の方が高い。

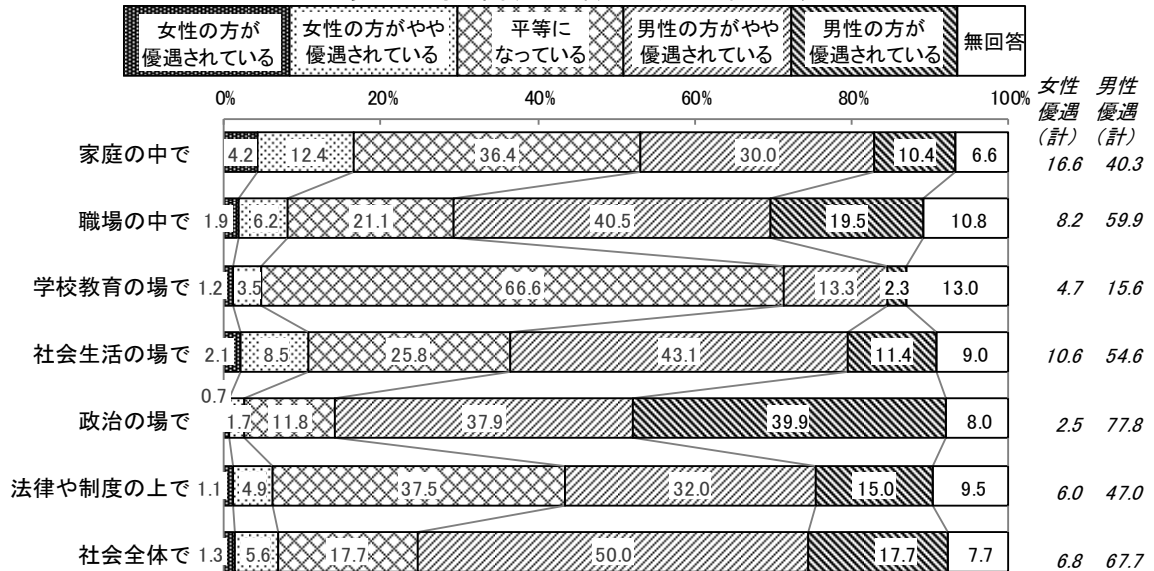
過去の調査では「わからない」の選択肢がないため直接的な比較はできないが、傾向は概ね変わらない。

図IV-10-1-1 男女平等に関する意識(n=1,667)



### 【参考資料】

男女平等に関する意識(平成 27 年 n=1,505)



### ①性・年齢別

性別でみると、どの項目も女性の方が男性より「男性優遇(計)」が高いが、特に差が大きいのは、「ア. 家庭の中で」(男性 22.6%、女性 40.9%)、「カ. 法律や制度の上で」(男性 33.5%、女性 49.9%)などである。

年齢別でみると、「ア. 家庭の中で」では、「平等になっている」は年代が上がるにつれ下がる傾向にあり、10代・20代が5割を超えているのに対し、60代以降は4割未満である。

「イ. 職場の中で」では、30～70代で「男性優遇(計)」が4割を超えている。

「ウ. 学校教育の場で」では、「平等になっている」は10代・20代・40代で5割を超えている。10代は「女性優遇(計)」が25.4%で、「男性優遇(計)」(7.9%)より高く、他の年代と傾向が異なる。

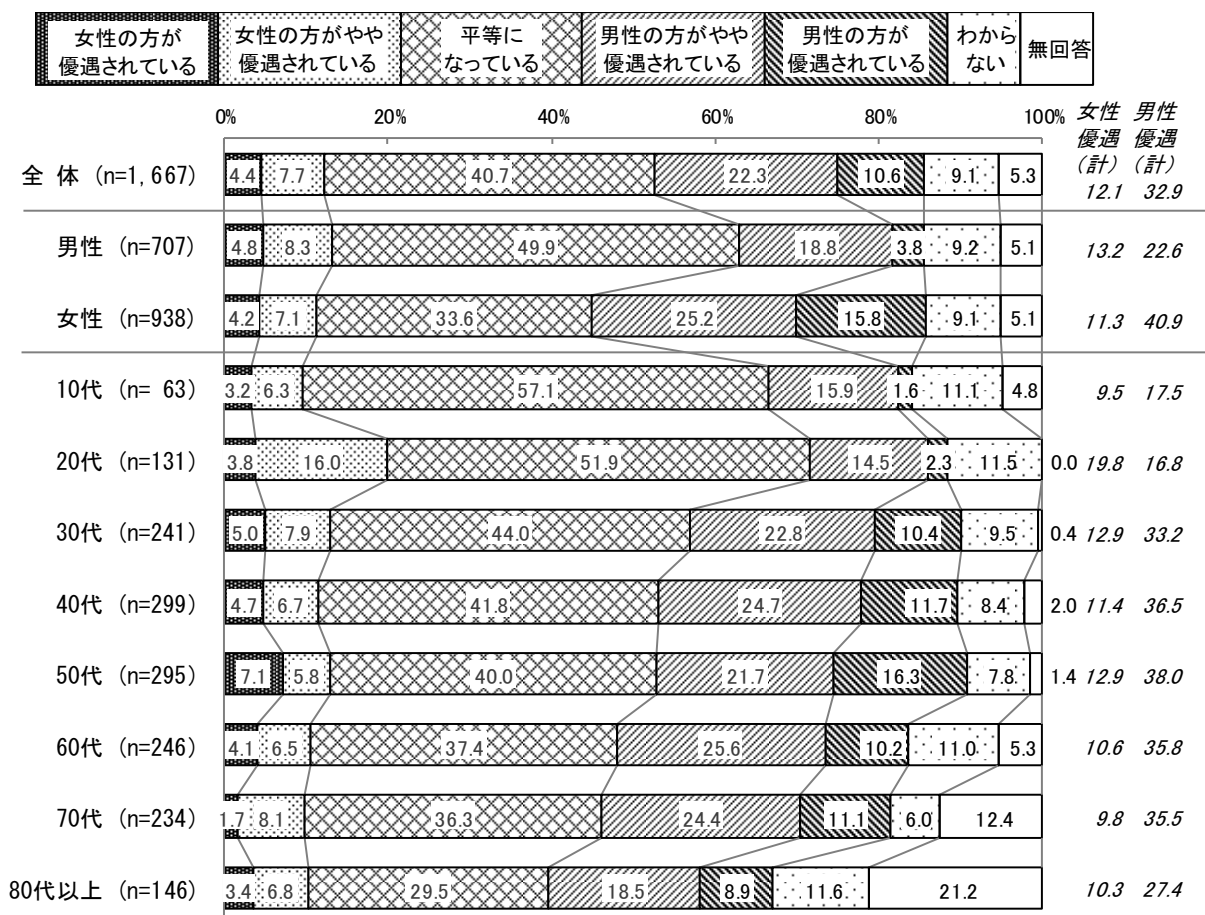
「エ. 社会生活の場で」では、「男性優遇(計)」が20～40代で4割を超え、50～70代で5割を超えている。

「オ. 政治の場で」では、「わからない」が多い80代以上を除くと、すべての年代で「男性優遇(計)」が6割を超えており、「女性優遇(計)」と「平等になっている」を合わせても2割に満たない。

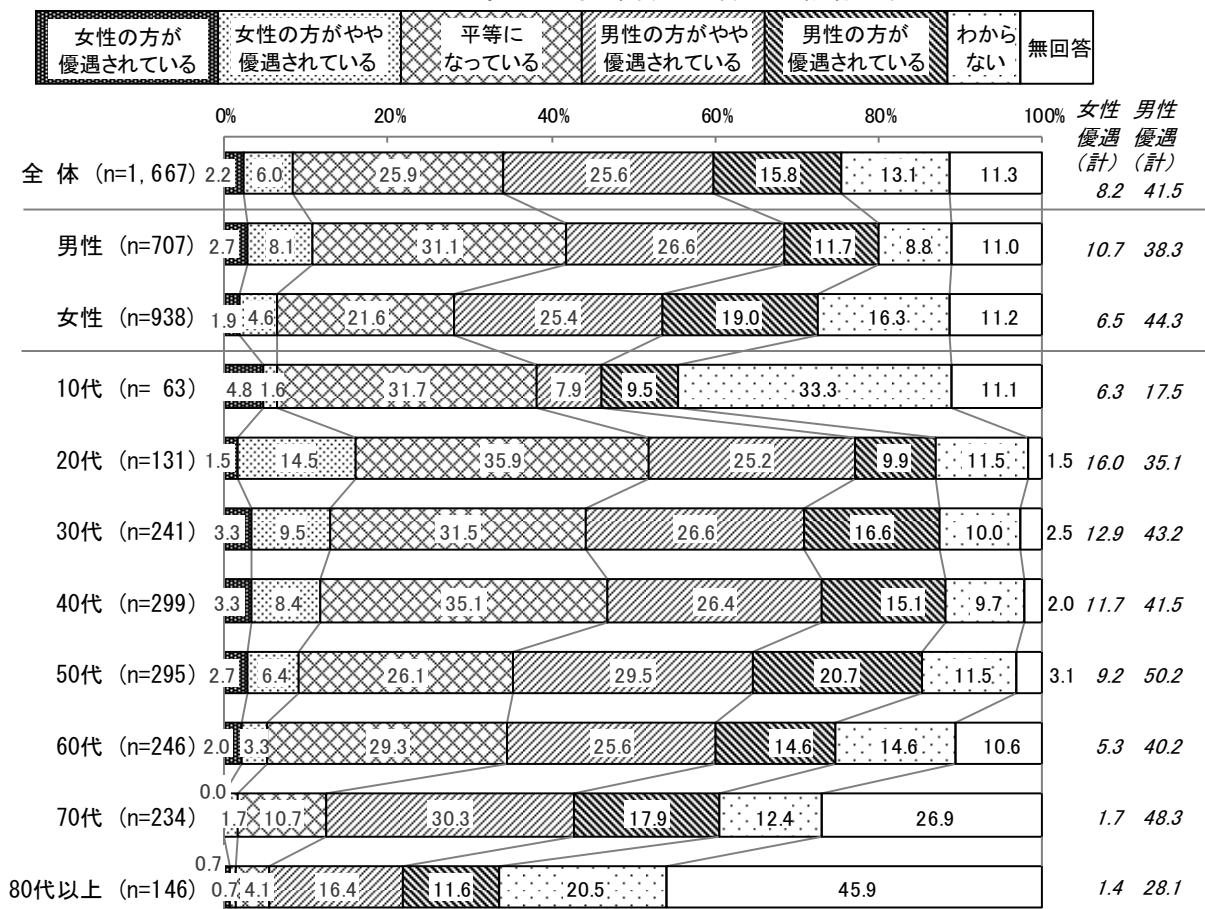
「カ. 法律や制度の上で」では、30～60代で「男性優遇(計)」が約5割を占める。

「キ. 社会全体で」では、30～70代で「男性優遇(計)」が6割を超えている。

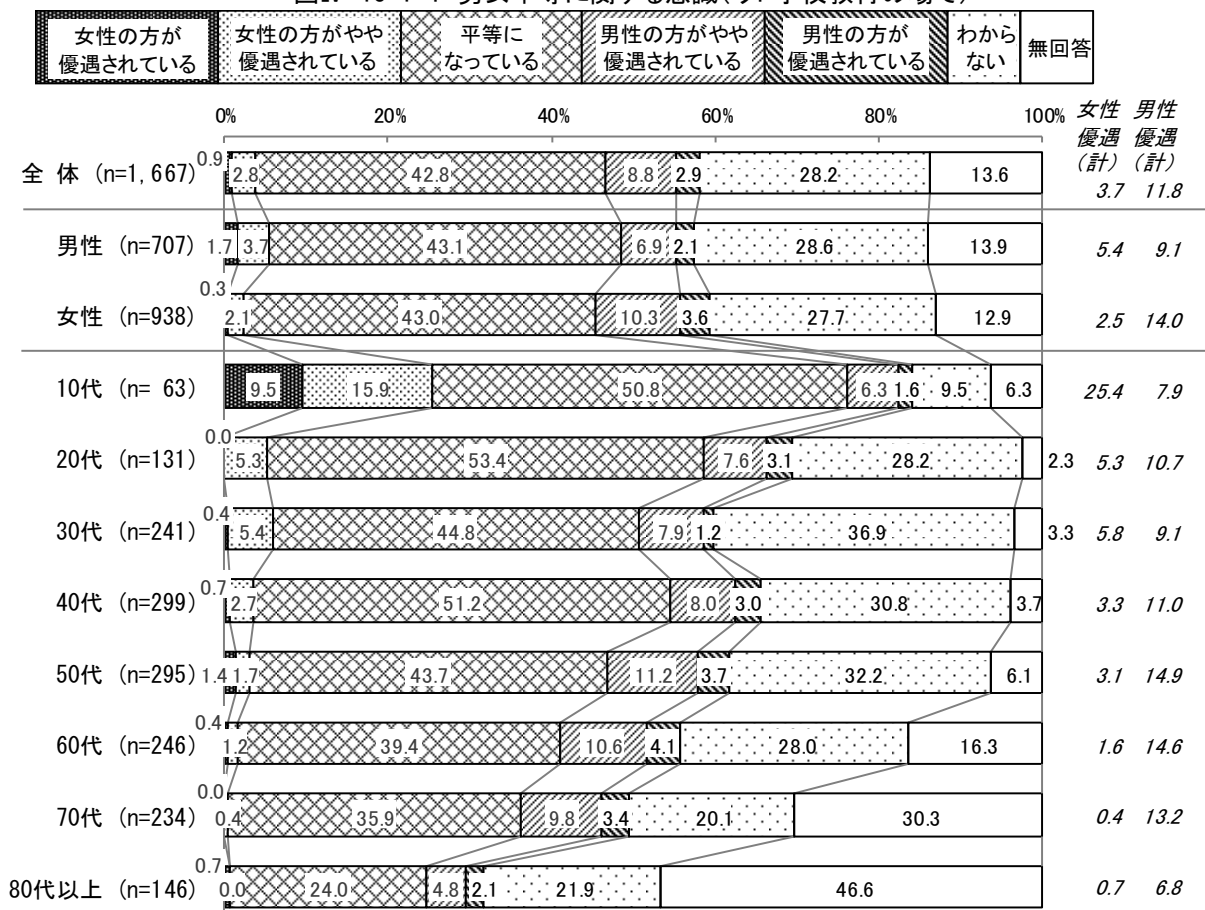
図IV-10-1-2 男女平等に関する意識(ア. 家庭の中で)



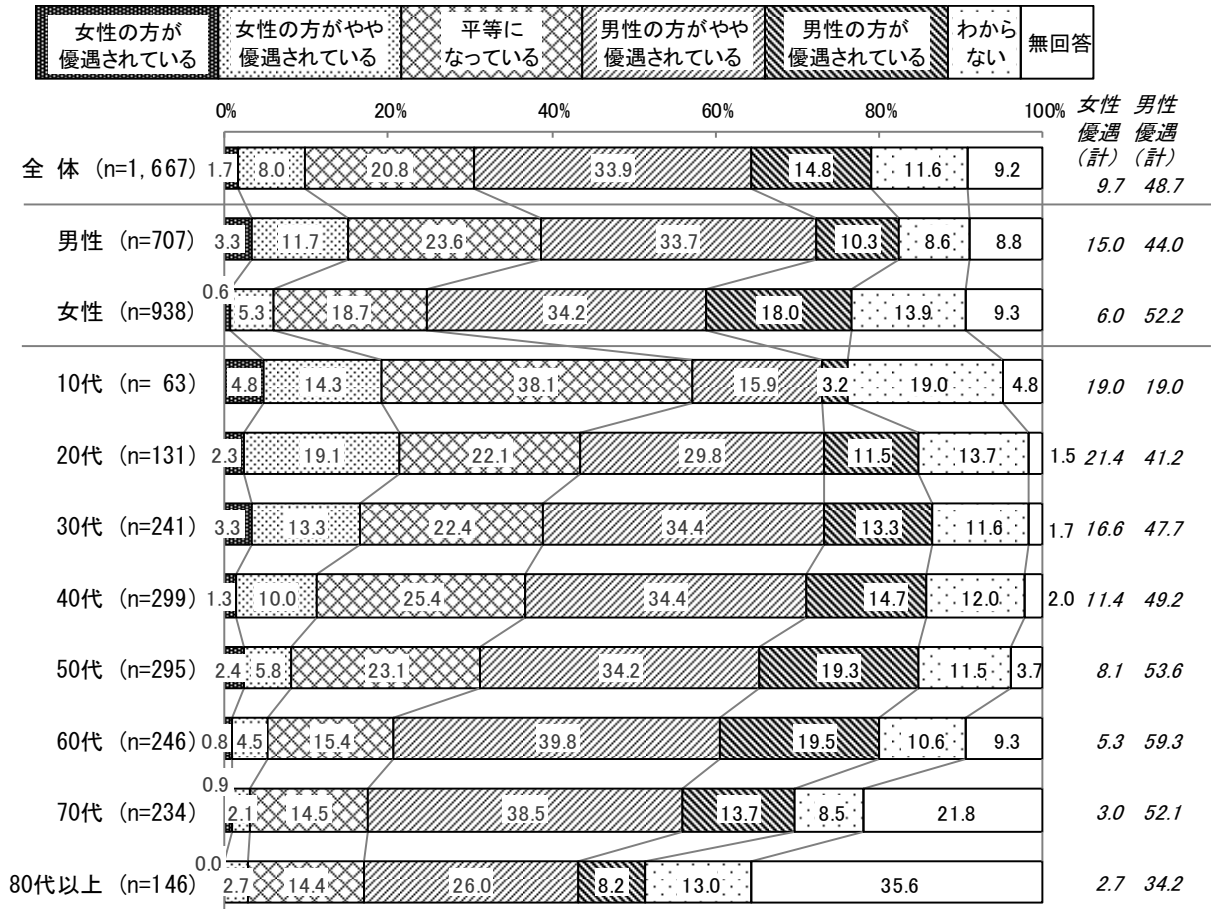
図IV-10-1-3 男女平等に関する意識(イ. 職場の中で)



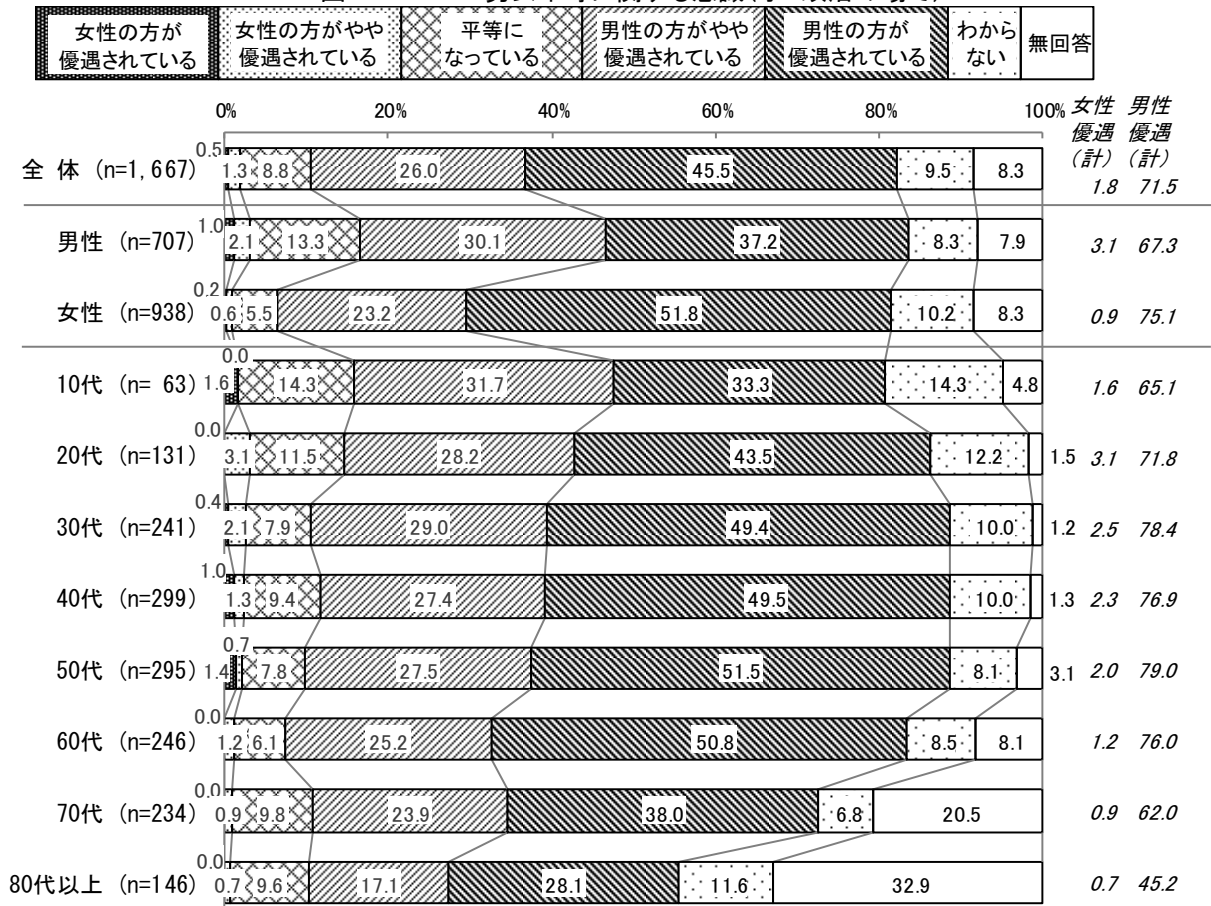
図IV-10-1-4 男女平等に関する意識(ウ. 学校教育の場で)



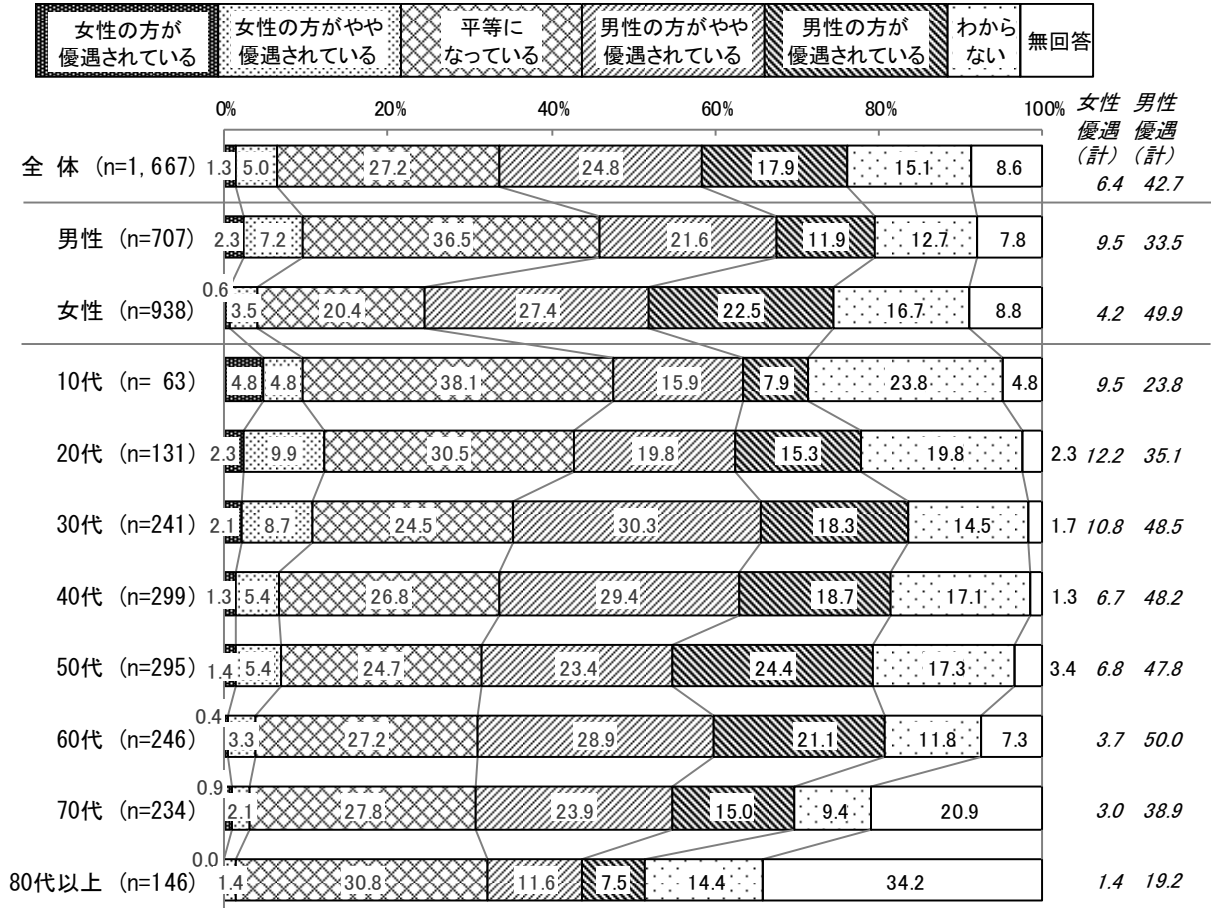
図IV-10-1-5 男女平等に関する意識(工. 社会生活の場で)



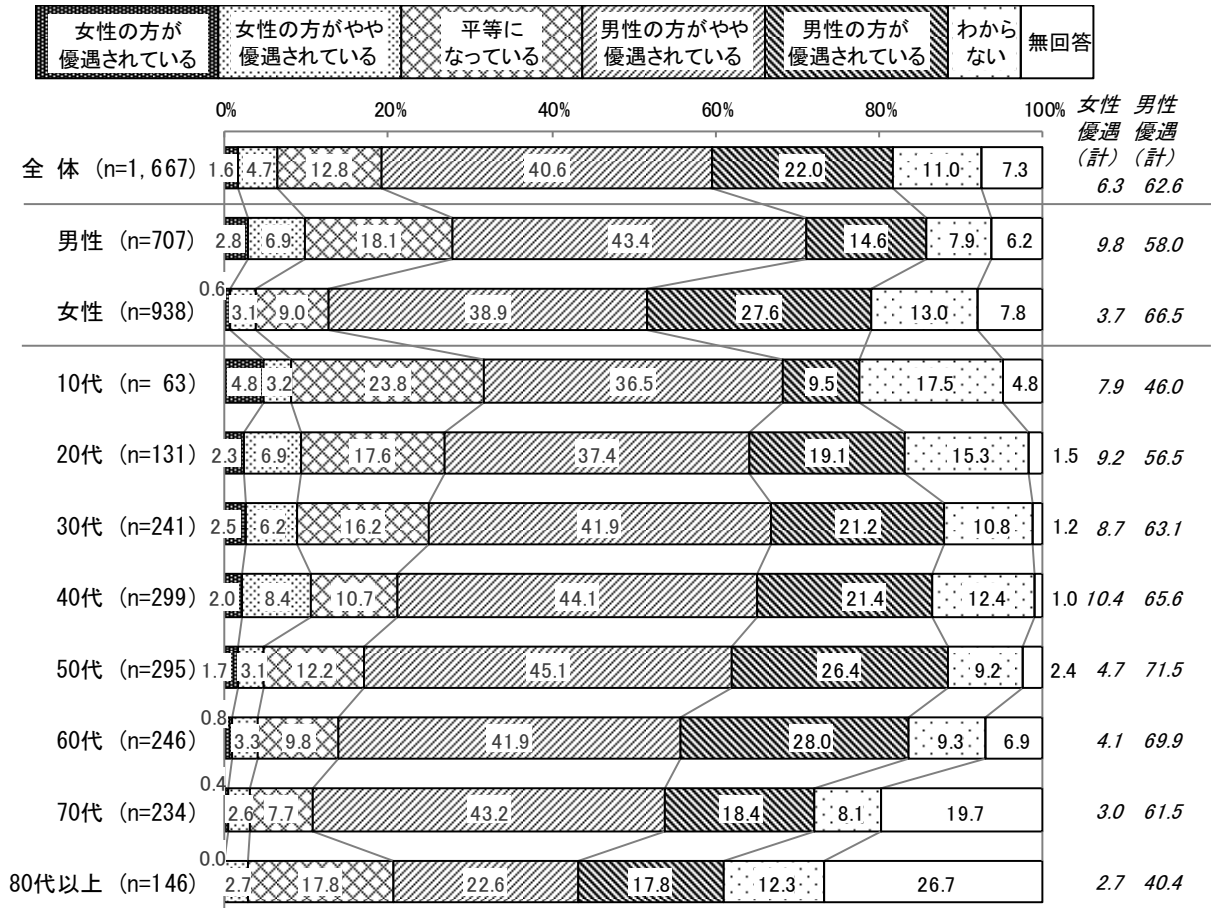
図IV-10-1-6 男女平等に関する意識(オ. 政治の場で)



図IV-10-1-7 男女平等に関する意識(カ. 法律や制度の上で)



図IV-10-1-8 男女平等に関する意識(キ. 社会全体で)



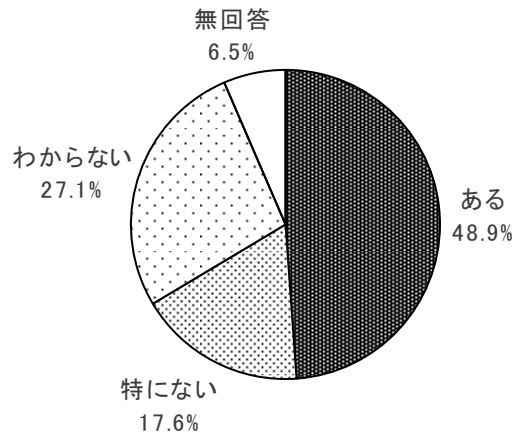
## 11 子育て支援施策に対する意識

### (1) 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策の有無

問 19: 子育て支援や少子化対策を進めるうえで、今後、三鷹市に充実してほしい施策はありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策が「ある」が 48.9%で約半数を占める。「特にない」は 17.6%である。

図IV-11-1-1 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策の有無(n=1,667)

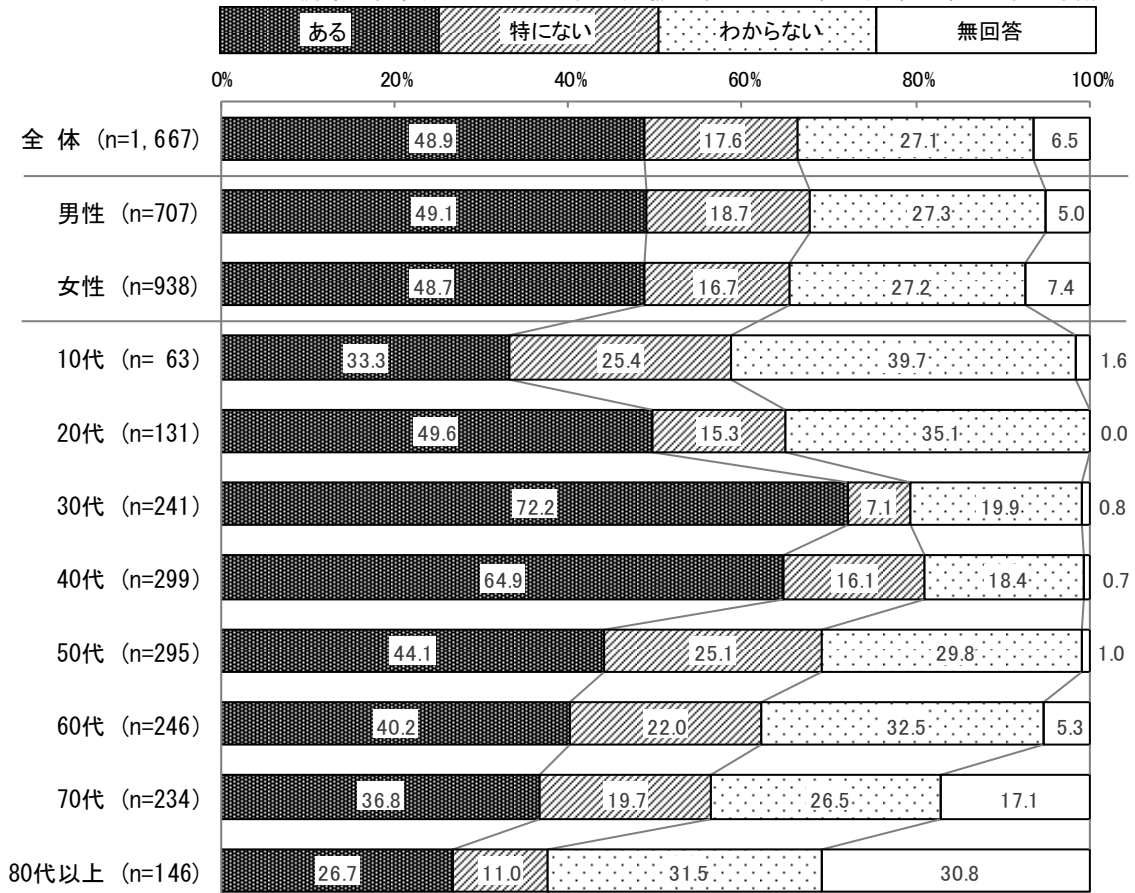


#### ①性・年齢別

性別でみると、男女ともほぼ同様の傾向がみられる。

年齢別でみると、「ある」が最も高いのは 30 代の 72.2%で、次いで 40 代の 64.9%である。

図IV-11-1-2 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策の有無(性・年齢別)

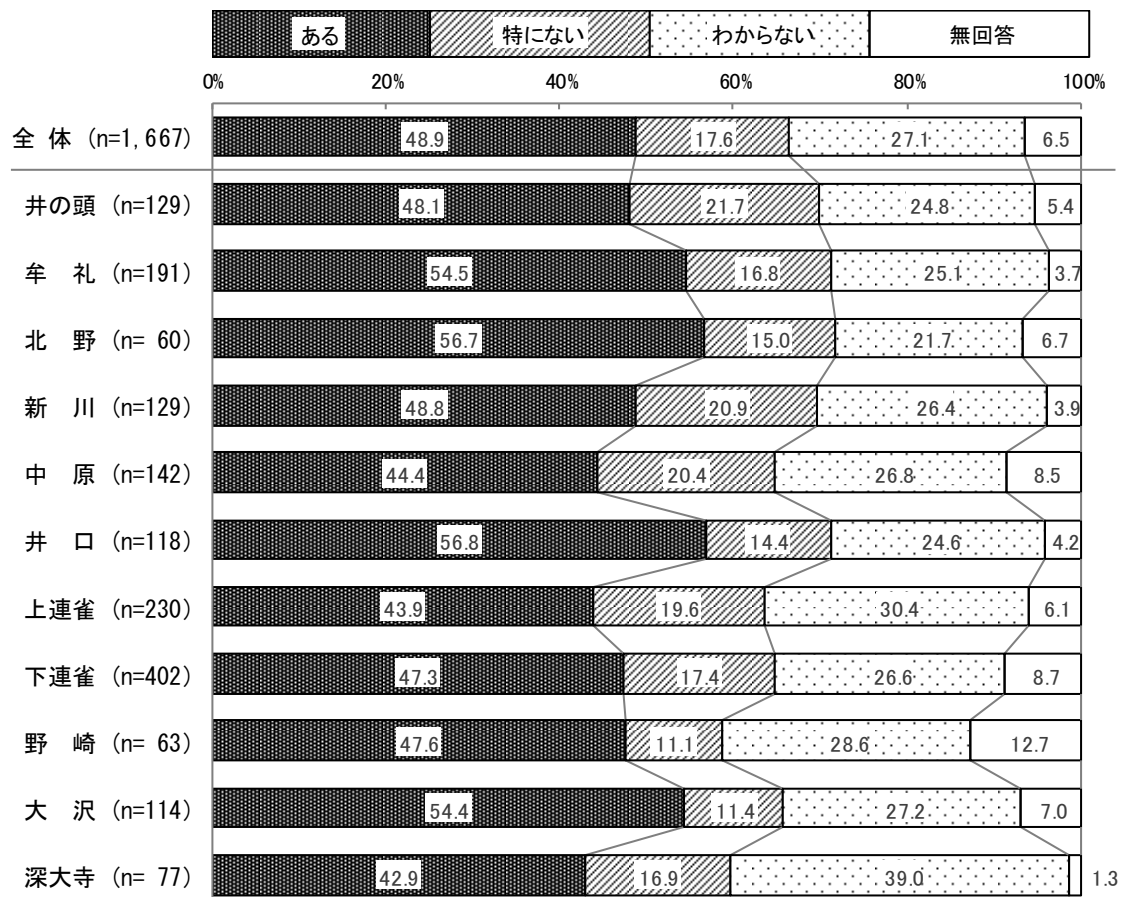




## ②地区別

地区別でみると、「ある」が高いのは井口(56.8%)、北野(56.7%)、牟礼(54.5%)、大沢(54.4%)などである。

図IV-11-1-3 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策の有無(地区別)

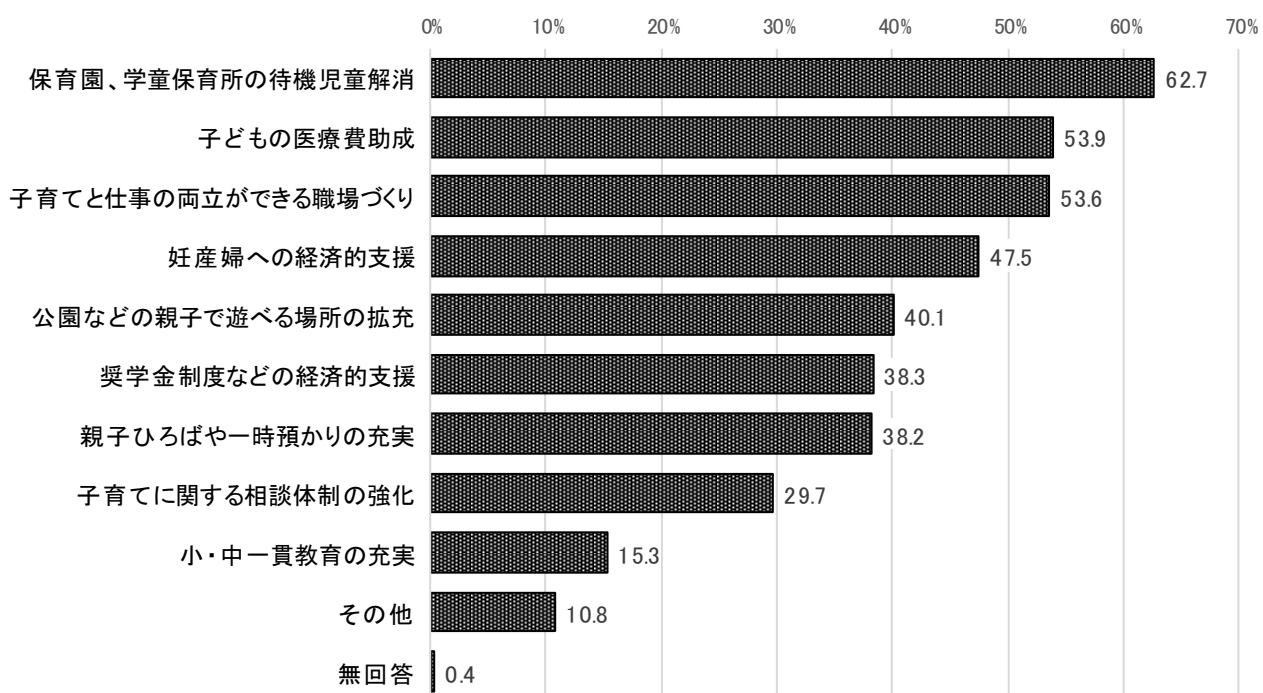


## (2) 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策

問 19-1: 今後、充実してほしい施策はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。[問 19 で「ある」と回答した方対象]

「保育園、学童保育所の待機児童解消」が 62.7%で最も高い。次いで、「子どもの医療費助成」(53.9%)、「子育てと仕事の両立ができる職場づくり」(53.6%)、「妊産婦への経済的支援」(47.5%)などが高い。

図IV-11-2-1 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策 (n=815)



### 【その他の回答】

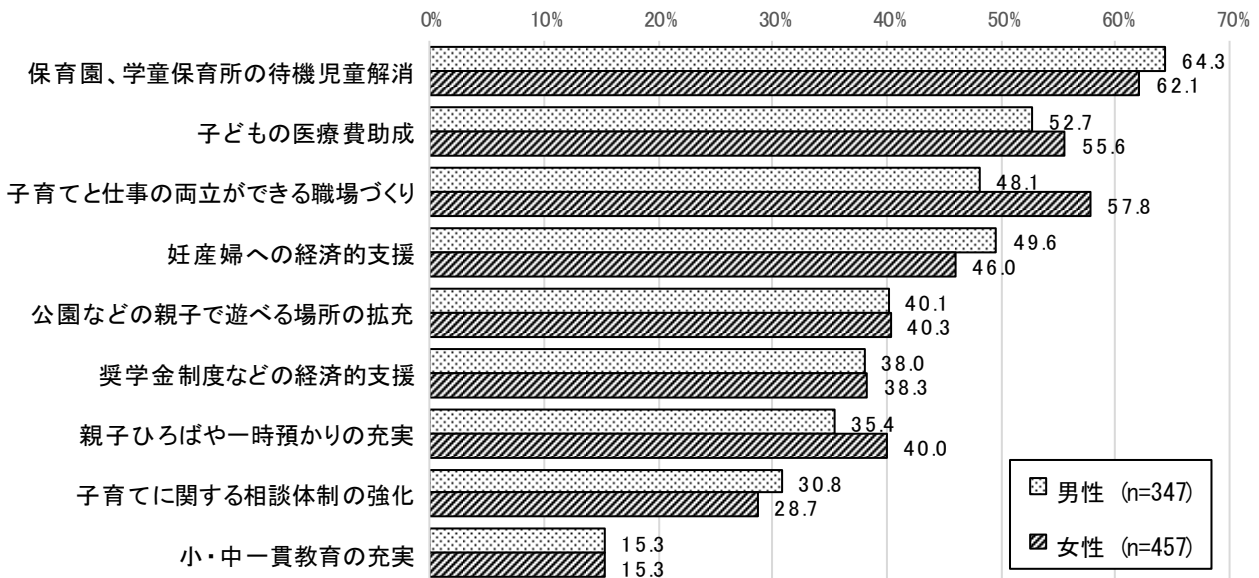
「学校教育の質の向上/小・中施設の充実」、「図書館・児童館等の公共施設の整備・充実」、「ボール遊びのできる広い公園」、「病児保育の拡充/保育園の公立化・時間拡大」、「医療費・児童手当等助成金の拡充」、「保育士の地位向上」、「障がい児への支援」、「街コン等出会いの場づくり/既婚者への補助」など

①性・年齢別

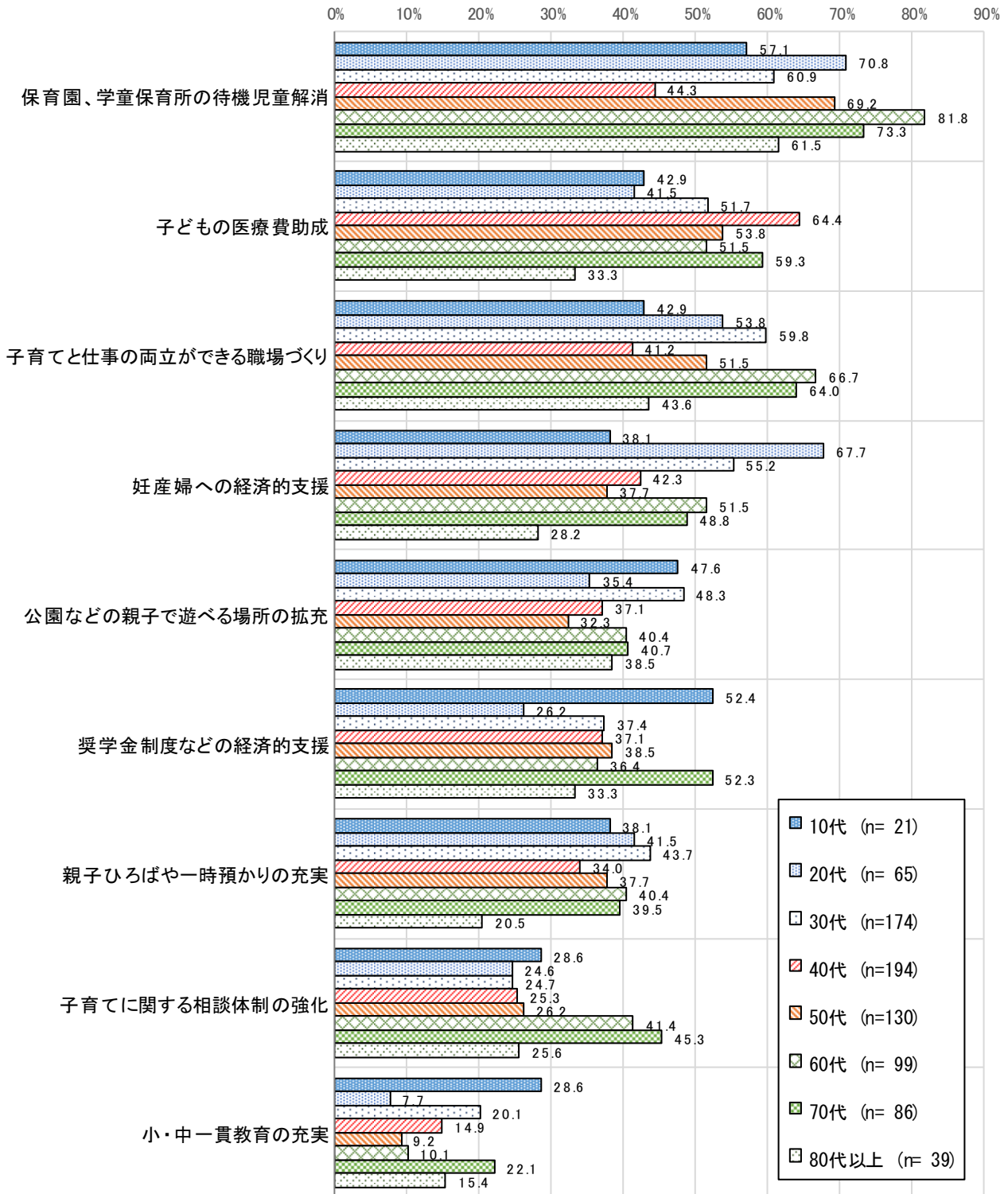
性別でみると、「待機児童解消」は男女とも6割を超えている。女性は「待機児童解消」に次いで「子育てと仕事の両立ができる職場づくり」(57.8%)が高く、また「親子ひろばや一時預かりの充実」(40.0%)も男性(35.4%)に比べ高い。

年齢別でみると、「待機児童解消」は60代が81.8%で最も高く、次いで70代(73.3%)、20代(70.8%)が高い。40代は44.3%で最も低い。「待機児童解消」は子どもを持つ、またはこれから子どもを持つ当事者と、当事者の親世代の要望が高いと言える。「子どもの医療費助成」は40代(64.4%)が最も高く、「子育てと仕事の両立ができる職場づくり」は60代・70代が6割を超え、「妊産婦への経済的支援」は20代(67.7%)が最も高い。

図IV-11-2-2 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策(性別)



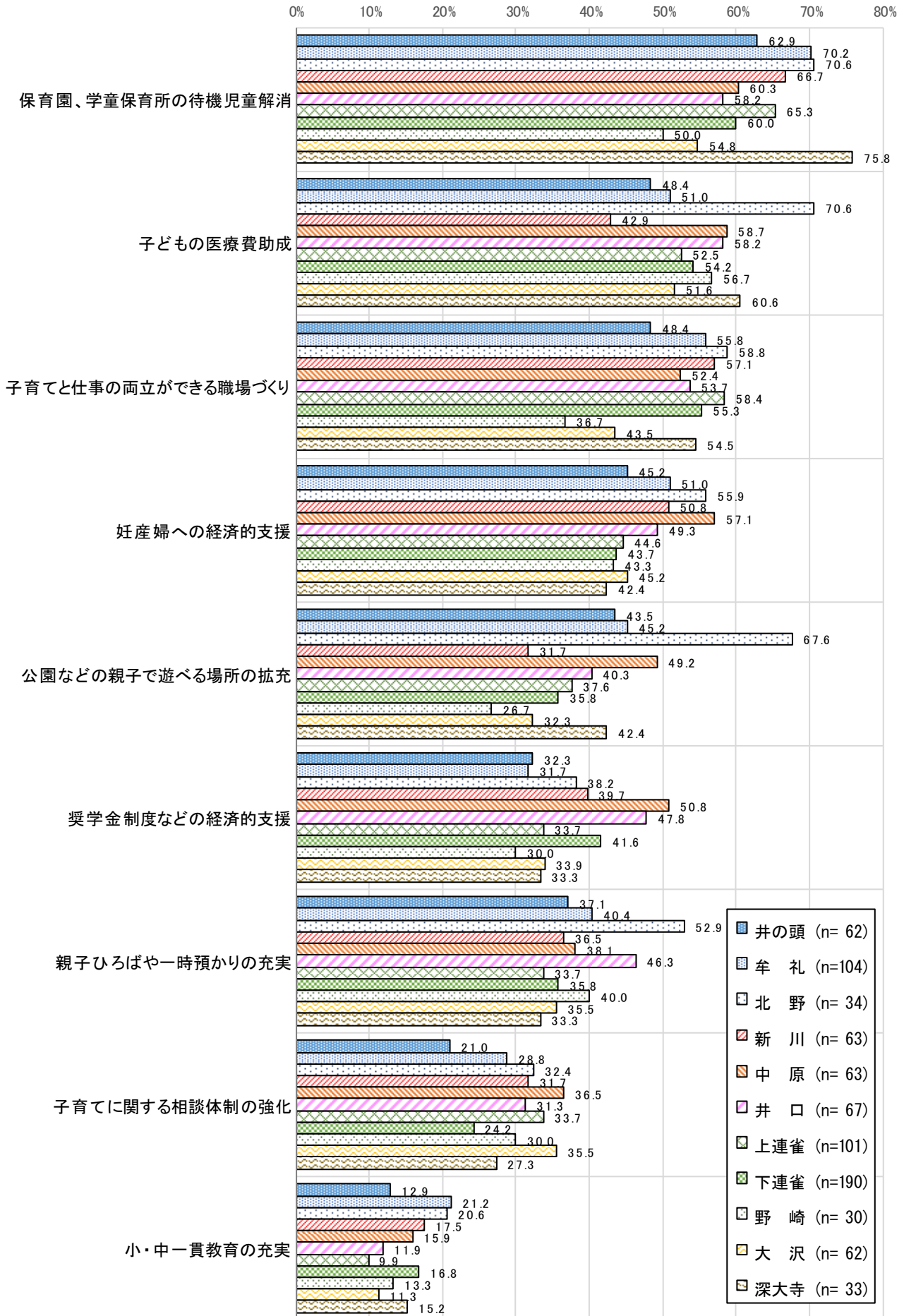
図IV-11-2-3 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策(年齢別)



②地区別

地区別でみると、「待機児童解消」が7割を超えている地区は、深大寺(75.8%)、北野(70.6%)、牟礼(70.2%)である。北野は「子どもの医療費助成」(70.6%)、「公園などの親子で遊べる場所の拡充」(67.6%)、「親子ひろばや一時預かりの充実」(52.9%)などが他の地区より高い。

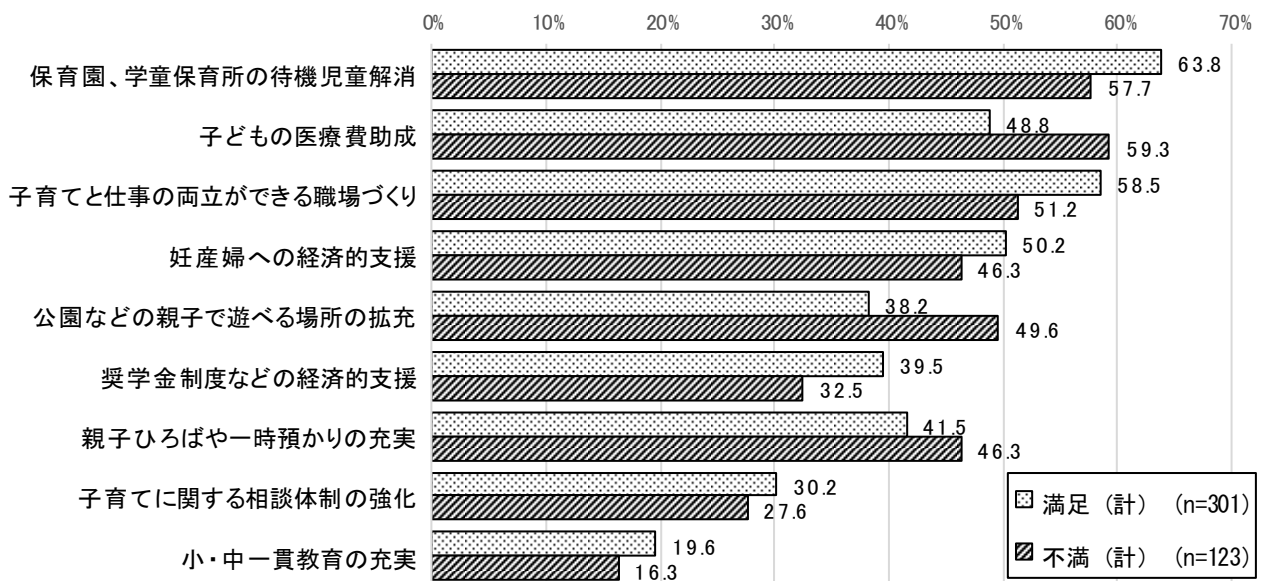
図IV-11-2-4 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策(地区別)



### ③子ども・子育て支援プロジェクトの満足度別

子ども・子育て支援プロジェクトの満足度別でみると、プロジェクトに「不満(計)」層は、「子どもの医療費助成」(59.3%)や「公園などの親子で遊べる場所の拡充」(49.6%)、「親子ひろばや一時預かりの充実」(46.3%)で「満足(計)」層より割合が高くなっている。「満足(計)」層は、「待機児童解消」(63.8%)や「子育てと仕事の両立ができる職場づくり」(58.5%)、「妊産婦への経済的支援」(50.2%)で5割を超えている。

図IV-11-2-5 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策  
(子ども・子育て支援プロジェクトの満足度別)



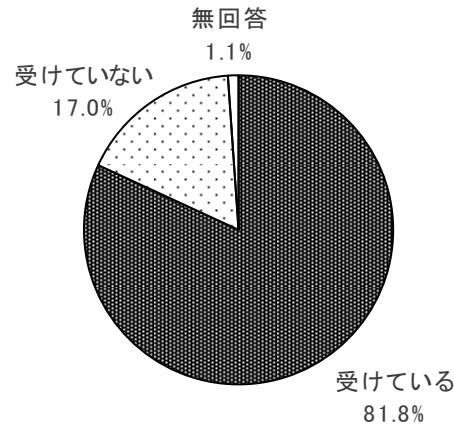
## 12 健康に対する意識や行動

### (1) 健康診断の受診有無

問 20: あなたはご自身の健康管理のために、年に1回は健康診断を受けていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

健康診断を「受けている」が81.8%、「受けていない」が17.0%である。

図IV-12-1-1 健康診断の受診有無 (n=1,667)

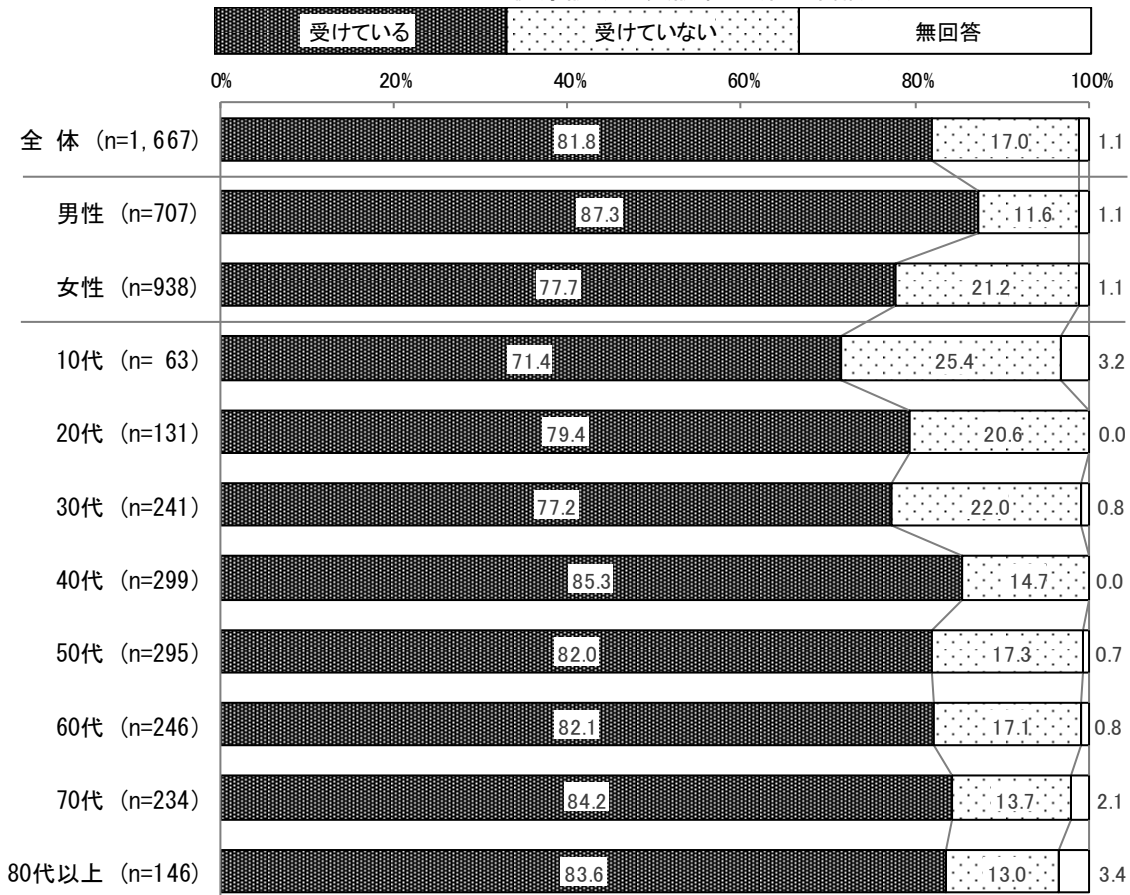


#### ① 性・年齢別

性別でみると、受診率は男性(87.3%)の方が女性(77.7%)より高い。

年代別でみると、30代以下は受診率が7割台、40代以上は8割台である。

図IV-12-1-2 健康診断の受診有無(性・年齢別)

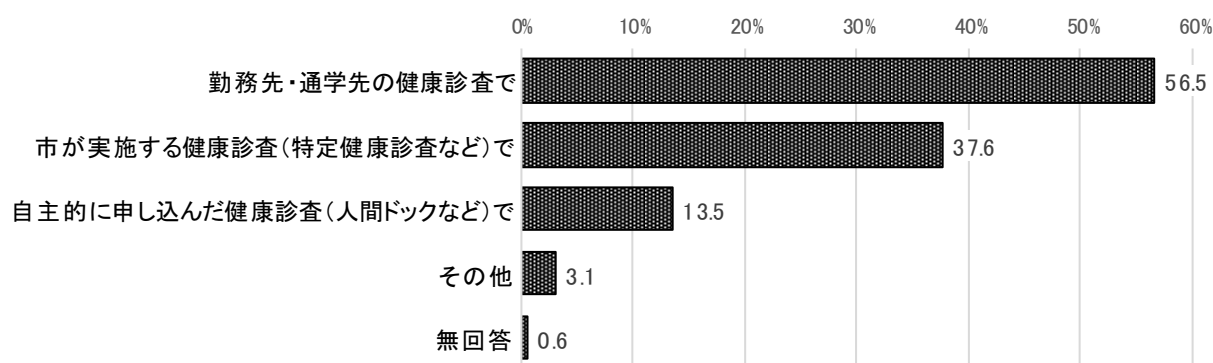


## (2) 健康診断の受診場所

問 20-1:どこで健康診断を受診していますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問 20 で「受けている」と回答した方対象]

「勤務先・通学先の健康診査で」が 56.5%で最も高い。次いで「市が実施する健康診査(特定健康診査などで)」(37.6%)が高い。

図IV-12-2-1 健康診断の受診場所 (n=1,364)



### 【その他の回答】

「かかりつけの病院/通院先」、「配偶者の勤務先・健康組合」、「施設」、「居住マンション」、「必要に応じて専門医に」

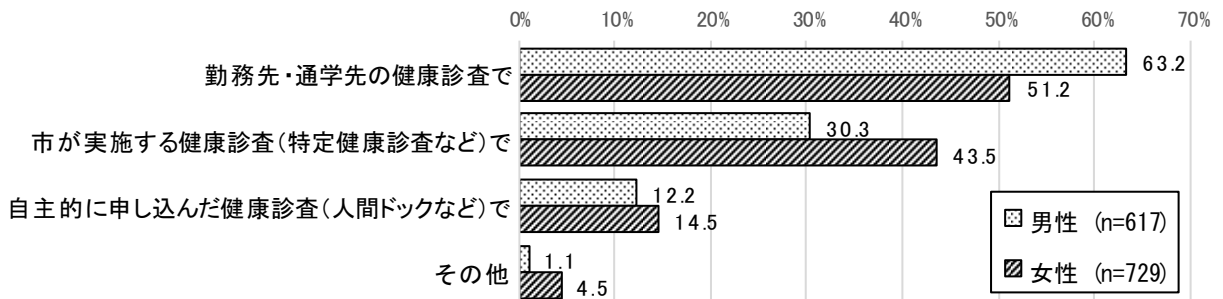


①性・年齢別

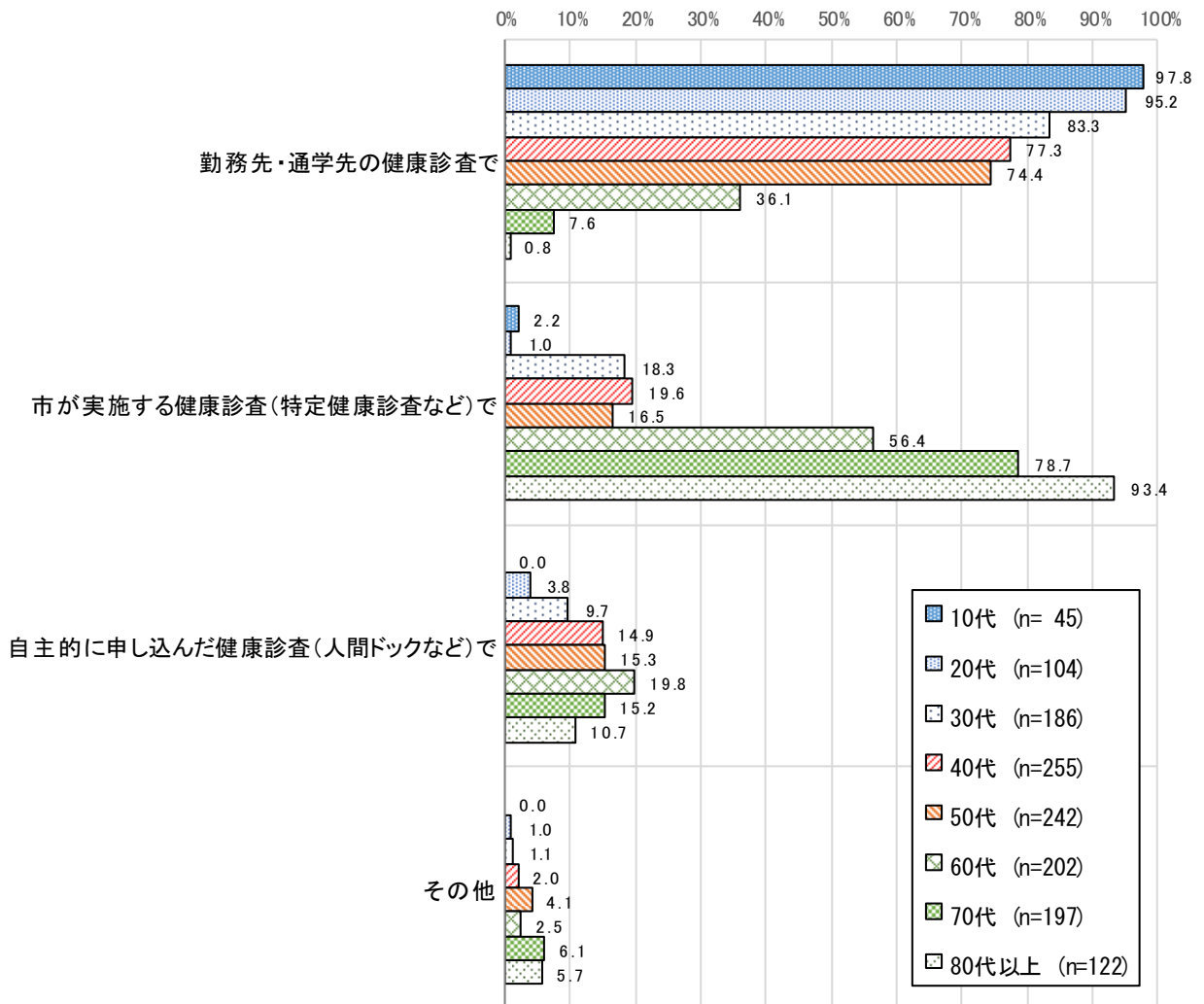
性別でみると、男性は「勤務先・通学先の健康診査で」が 63.2%で最も高い。女性は「勤務先・通学先の健康診査で」(51.2%)とともに、「市が実施する健康診査(特定健康診査など)で」(43.5%)も高い。

年齢別でみると、10～50代は「勤務先・通学先の健康診査で」が最も高い。60～80代以上は「市が実施する健康診査(特定健康診査など)で」が最も高い。

図IV-12-2-2 健康診断の受診場所(性別)



図IV-12-2-3 健康診断の受診場所(年齢別)

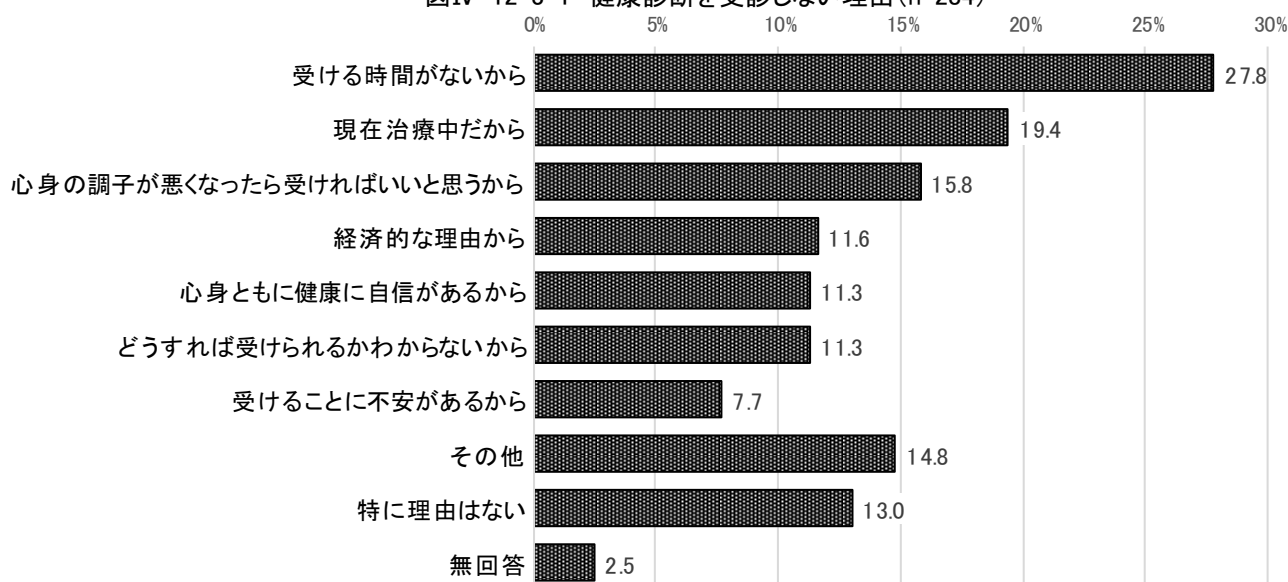


### (3) 健康診断を受診しない理由

問 20-2: あなたが健康診断を受けないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問 20 で「受けていない」と回答した方対象]

「受ける時間がないから」が 27.8%で最も高い。次いで「現在治療中だから」(19.4%)、「心身の調子が悪くなったら受ければ良いと思うから」(15.8%)などが高い。「特に理由はない」は 13.0%である。

図IV-12-3-1 健康診断を受診しない理由(n=284)



【その他の回答】

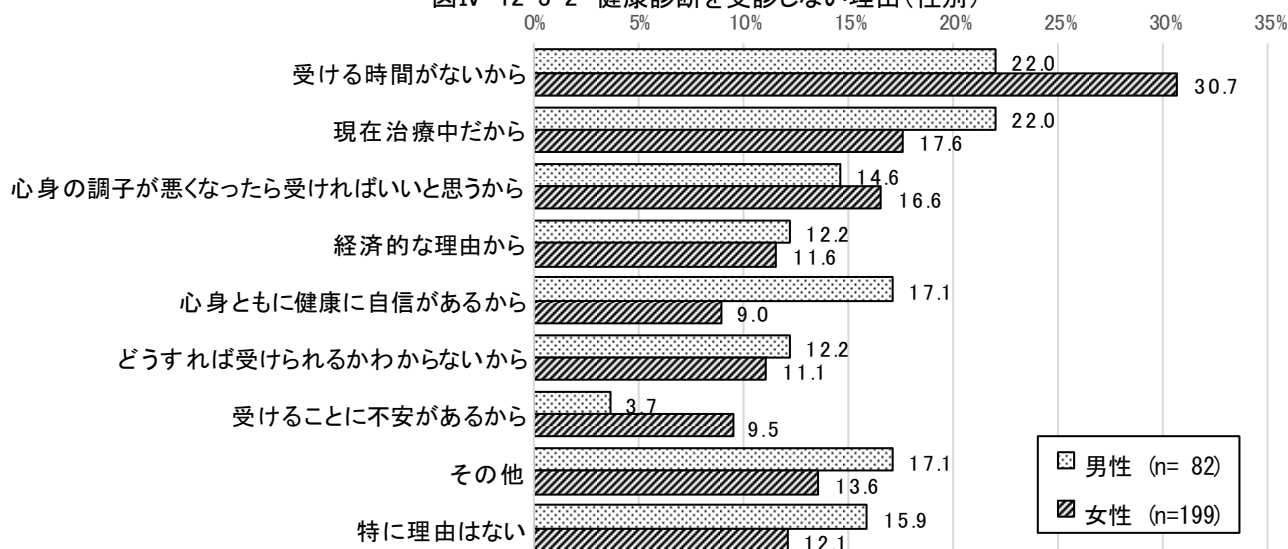
「健診で病気が見つかると思えない」、「病院が遠くて不便/時間帯の問題/申し込みが面倒」、「育児・介護のため」、「2~3年に1回受診」、「健康診断で不快な思いをした」、「体調不良で病院へ行く回数が多かった/かかりつけ医の指示」など

#### ①性・年齢別

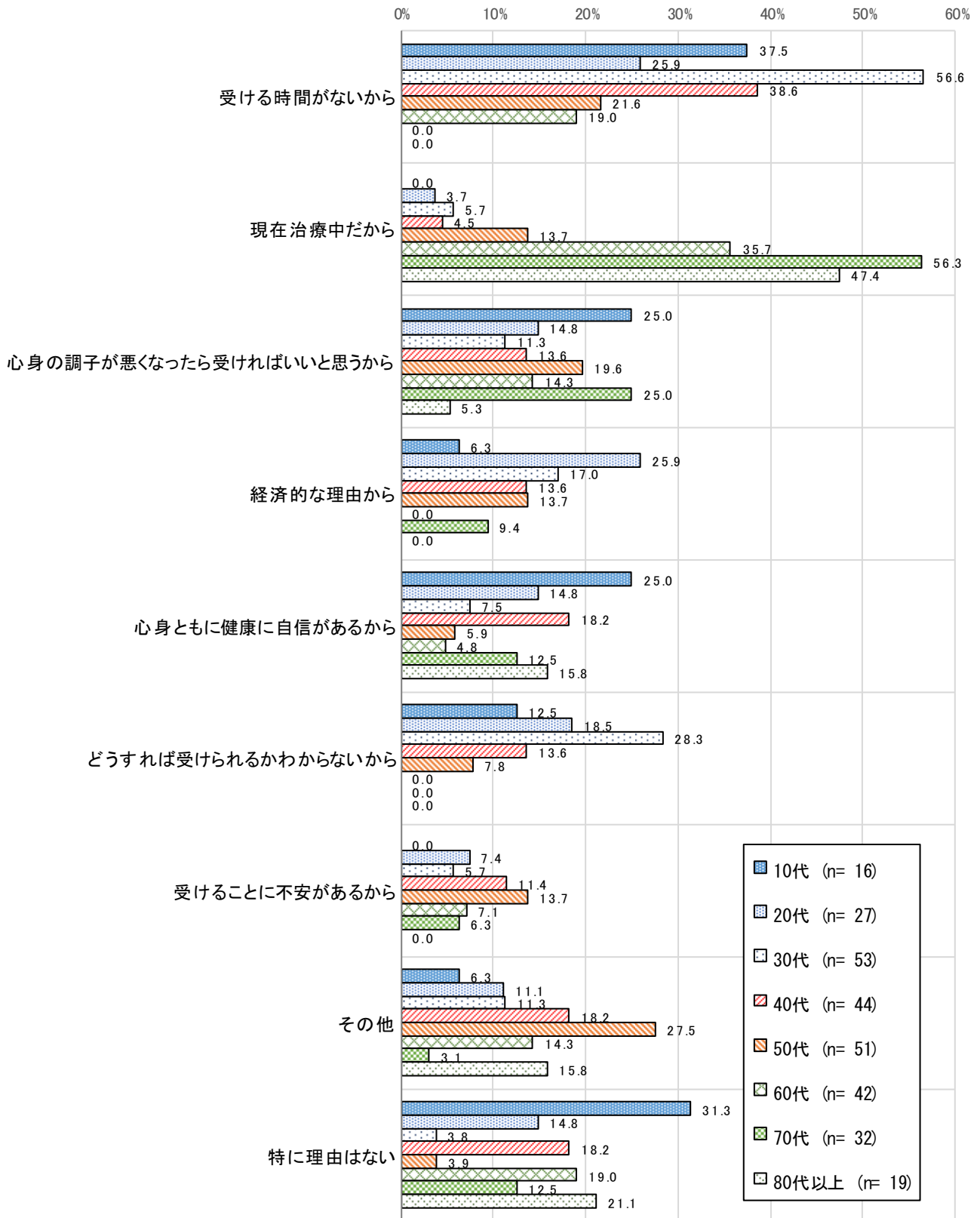
性別でみると、女性は「受ける時間がないから」(30.7%)が男性よりも高い。

年齢別でみると、「受ける時間がないから」は 30代が 56.6%で他の年代より高い。30代は「どうすれば受けられるかわからないから」(28.3%)も他の年代より高い。「現在治療中だから」は 60代以上が高い。

図IV-12-3-2 健康診断を受診しない理由(性別)



図IV-12-3-3 健康診断を受診しない理由(年齢別)



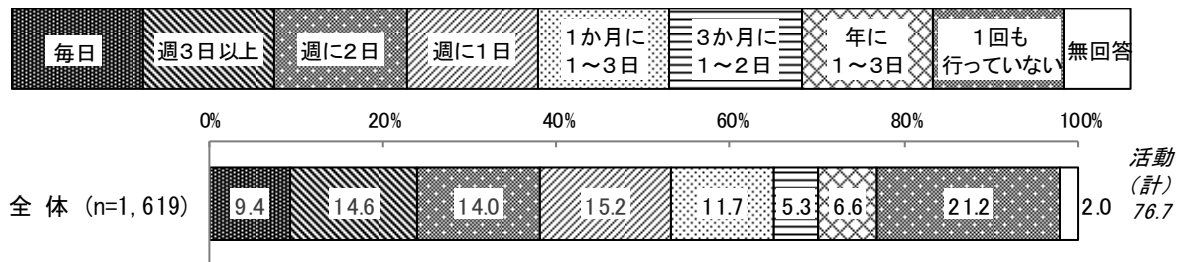
### 13 スポーツに対する意識や活動

#### (1) スポーツを行う頻度

問 21: あなたは、この1年間でスポーツをどのくらい行っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

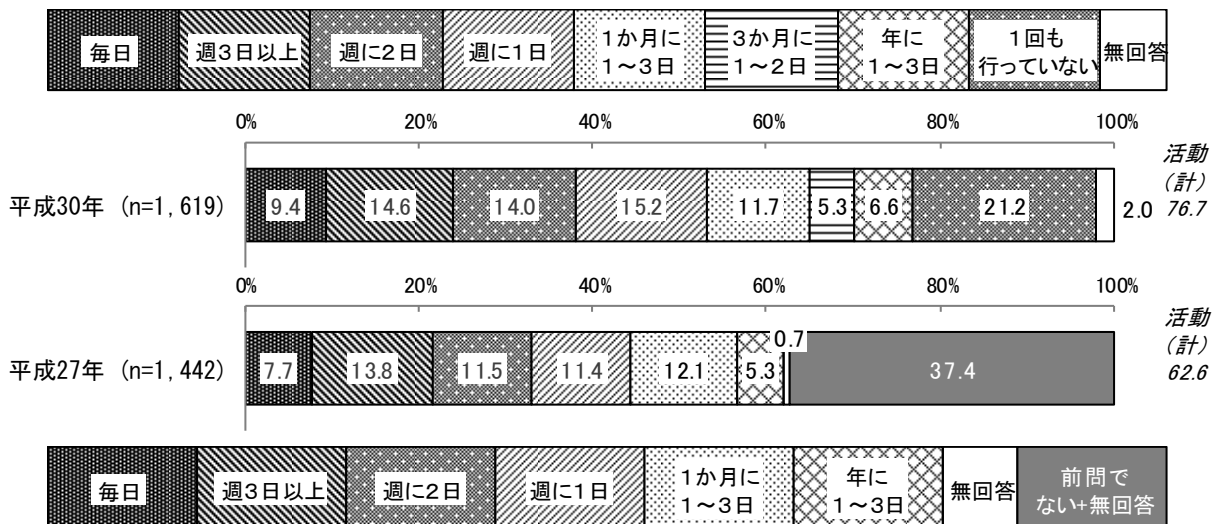
「1回も行っていない」が21.2%で最も高い。「週3日以上」～「週に1日」はそれぞれ1割半ばである。過去の調査は質問の仕方や選択肢が異なるため直接的な比較はできないが、傾向はほぼ同様であり、「活動(計)（「1回も行っていない」と無回答を除く）」は前回より高くなっている。

図IV-13-1-1 スポーツを行う頻度(n=1,619)



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

図IV-13-1-2 スポーツを行う頻度(過去調査比較)



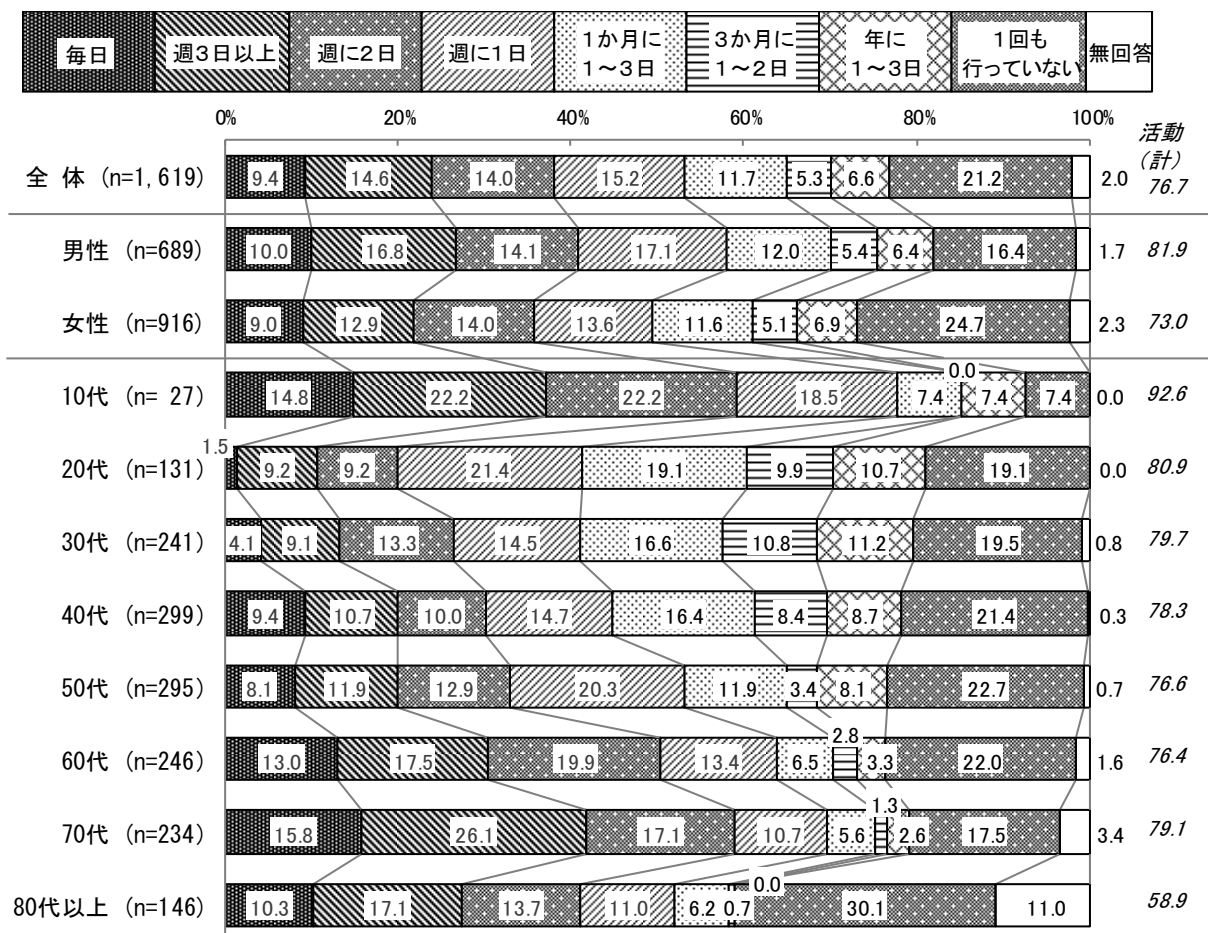
注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

### ①性・年齢別

性別でみると、「1回も行っていない」は男性(16.4%)より女性(24.7%)の方が高い。

年齢別でみると、回答数の少ない10代を除くと、20～70代までは年代が上がるにつれ「毎日」「週3日以上」の割合は高くなる傾向がみられる。一方、「1回も行っていない」は20～70代の各年代とも2割前後、80代は約3割を占める。

図IV-13-1-3 スポーツを行う頻度(性・年齢別)

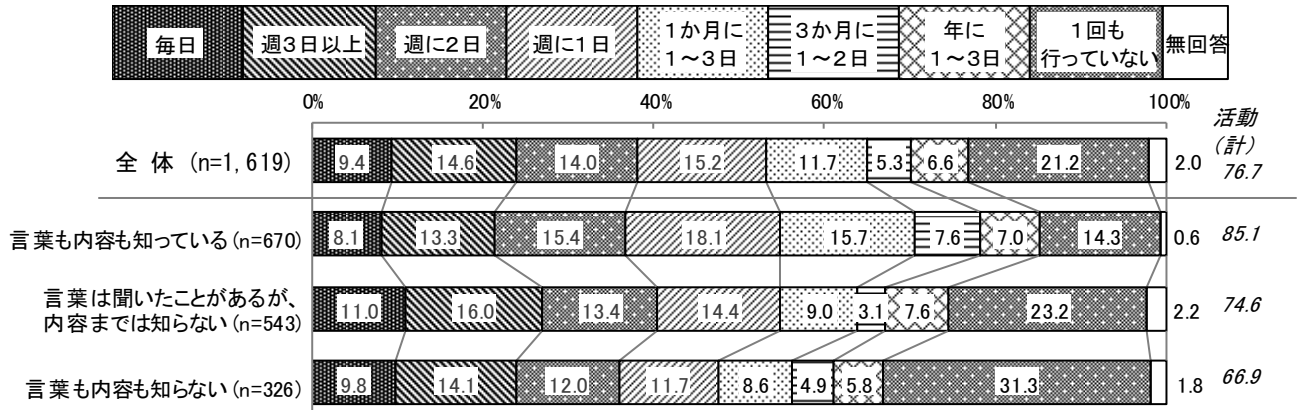


注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

## ②「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知別

「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知別でみると、「1回も行っていない」は認知度が低くなるほど割合が高くなる傾向がみられ、「言葉も内容も知らない」層は31.3%を占める。

図IV-13-1-4 スポーツを行う頻度(「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知別)



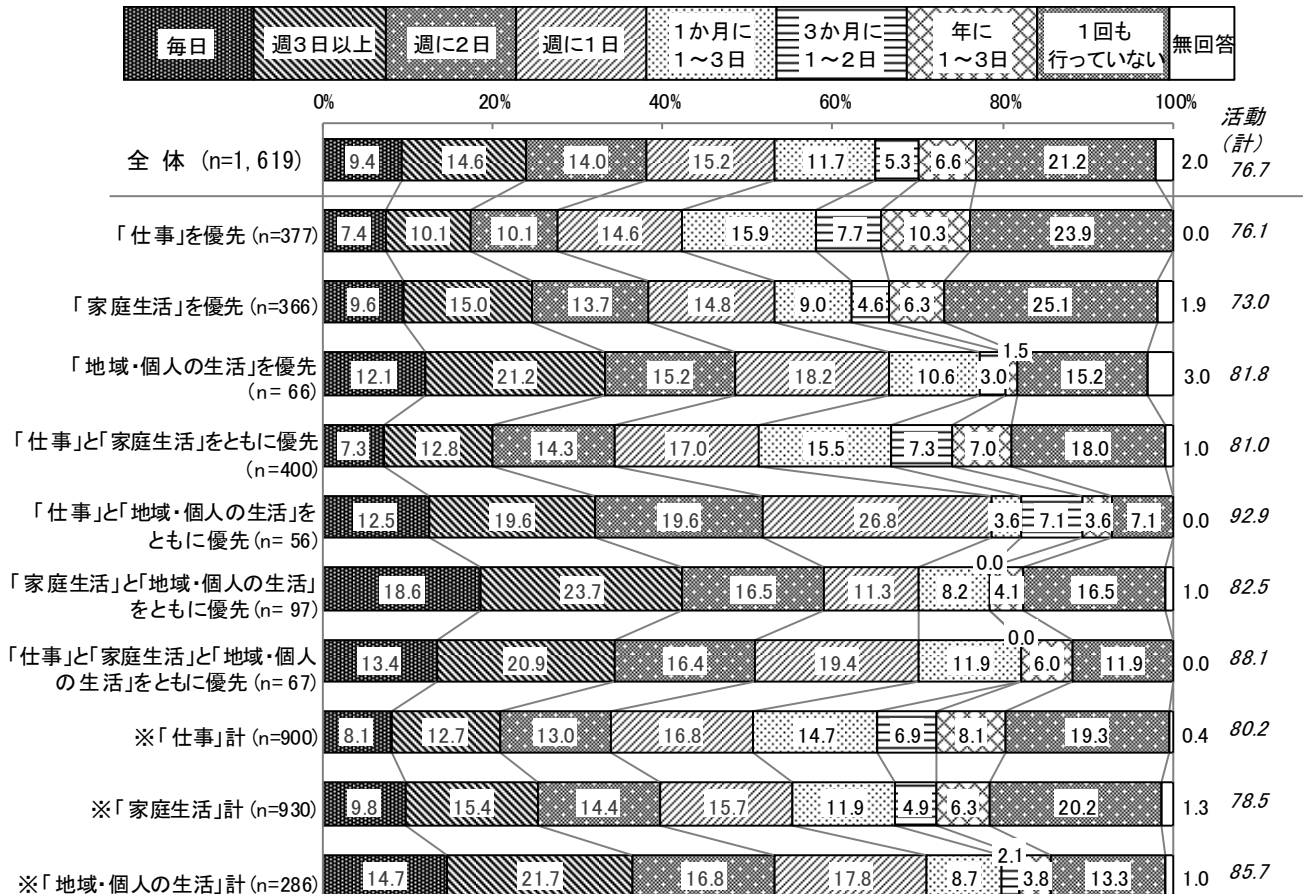
注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

## ③実際の生活での仕事、家庭、地域・個人の生活優先度別

実際の生活での仕事、家庭、地域・個人の生活優先度別でみると、「活動(計)」が高い層は『「仕事」と「地域・個人の生活」』(92.9%)、『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」』(88.1%)などである。

「仕事(計)」、「家庭生活(計)」、「地域・個人の生活(計)」で比較すると、スポーツを行う頻度の高い週2日以上は「地域・個人の生活(計)」が最も高く、「仕事(計)」が最も低い。

図IV-13-1-5 スポーツを行う頻度(実際の生活での仕事、家庭、地域・個人の生活優先度別)

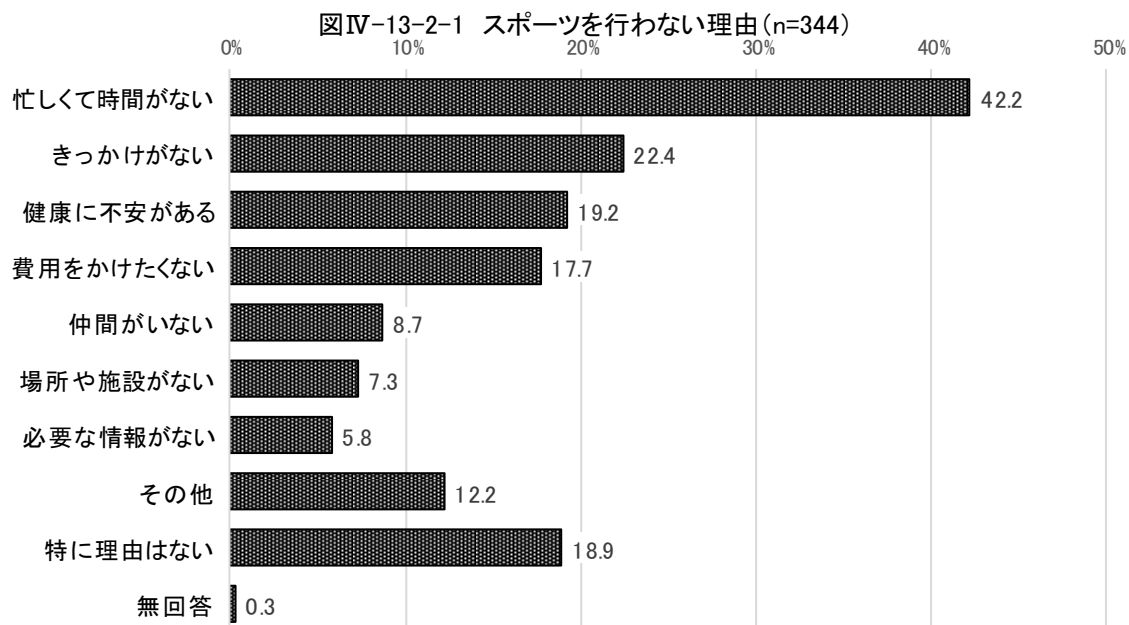


注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

## (2) スポーツを行わない理由

問 21-1: あなたがスポーツを行わないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問 21 で「1回も行っていない」と回答した方対象]

「忙しくて時間がない」が42.2%で最も高い。次いで「きっかけがない」(22.4%)、「健康に不安がある」(19.2%)、「費用をかけたくない」(17.7%)が高い。「特に理由はない」は18.9%である。



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

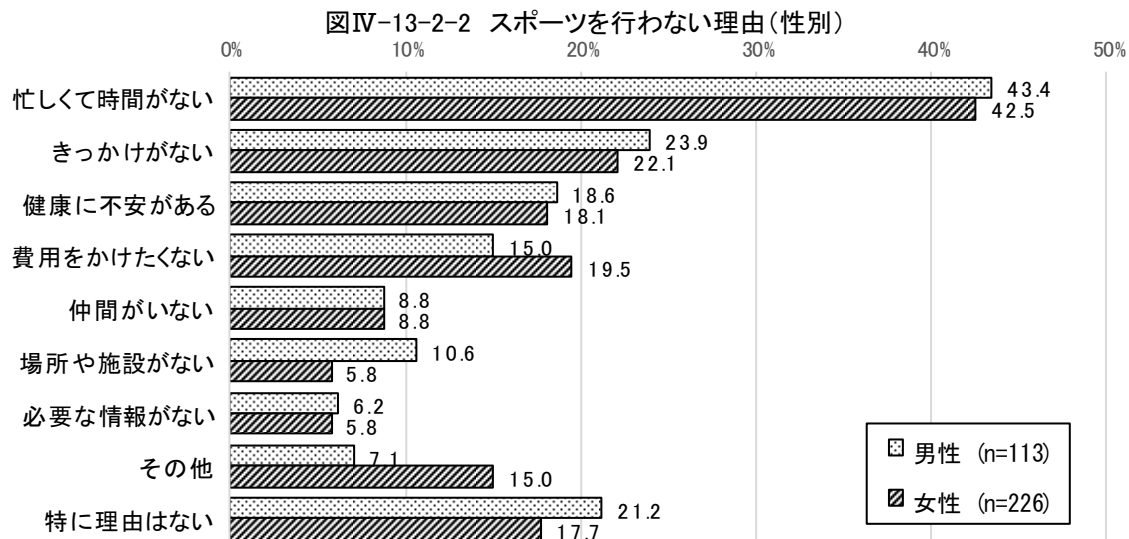
### 【その他の回答】

「家・仕事で体を動かしている」、「高齢のため」、「スポーツが好きではない」、「小さい子どもがいるため」、「体力がない」など

### ①性・年齢別

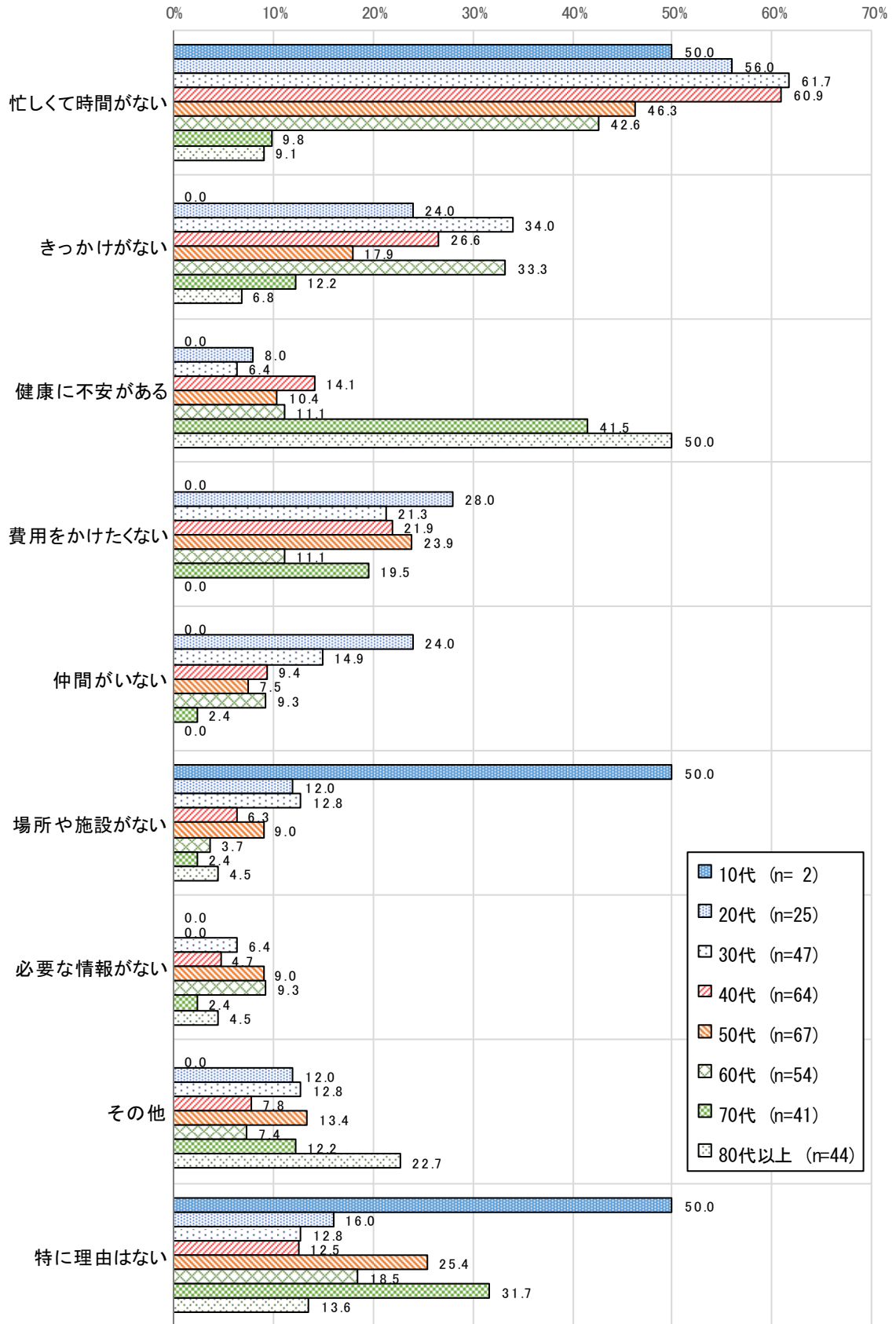
性別でみると、男女とも同様の傾向がみられるが、「費用をかけたくない」は男性(15.0%)より女性(19.5%)の方が高く、「特に理由はない」は女性(17.7%)より男性(21.2%)の方が高い。

年齢別でみると、数の少ない 10 代、20 代を除くと、「忙しくて時間がない」は 30 代・40 代で6割を超える。「健康に不安がある」は 70 代以上で高い。



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

図IV-13-2-3 スポーツを行わない理由(年齢別)



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。



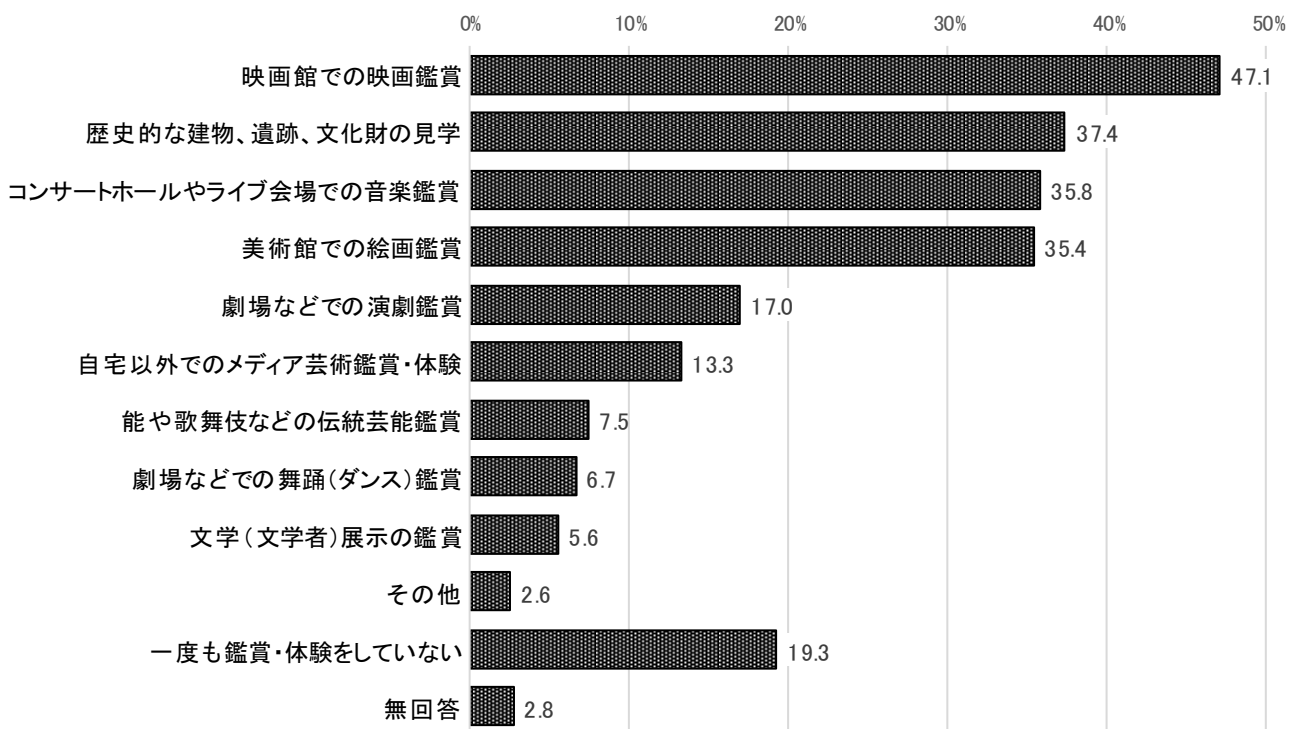
## 14 芸術・文化や生涯学習に対する意識や活動

### (1) 芸術・文化の鑑賞・体験状況

問 22: あなたは、市内外を問わずこの1年間で、芸術・文化を鑑賞・体験しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「映画館での映画鑑賞」が 47.1%で最も高い。次いで「歴史的な建物、遺跡、文化財の見学」(37.4%)、「コンサートホールやライブ会場での音楽鑑賞」(35.8%)、「美術館での絵画鑑賞」(35.4%)などが高い。「この1年間の間で一度も鑑賞・体験をしていない」は 19.3%である。

図IV-14-1-1 芸術・文化の鑑賞・体験状況(n=1,667)



**【その他の回答】**

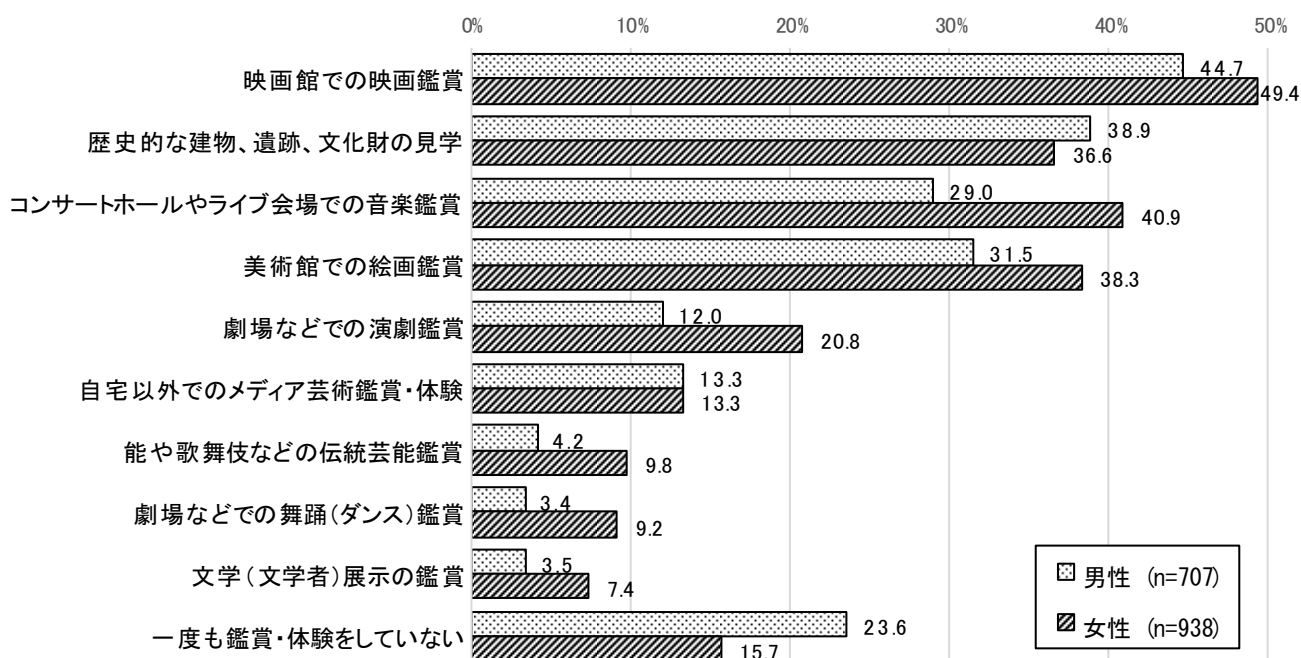
「個展/デパート等での美術展」、「コンサート参加/合唱講座/音楽鑑賞/カラオケ」、「落語」、「公会堂・テレビ・ネットでの映画鑑賞」、「講演会/学習講座受講」など

### ① 性・年齢別

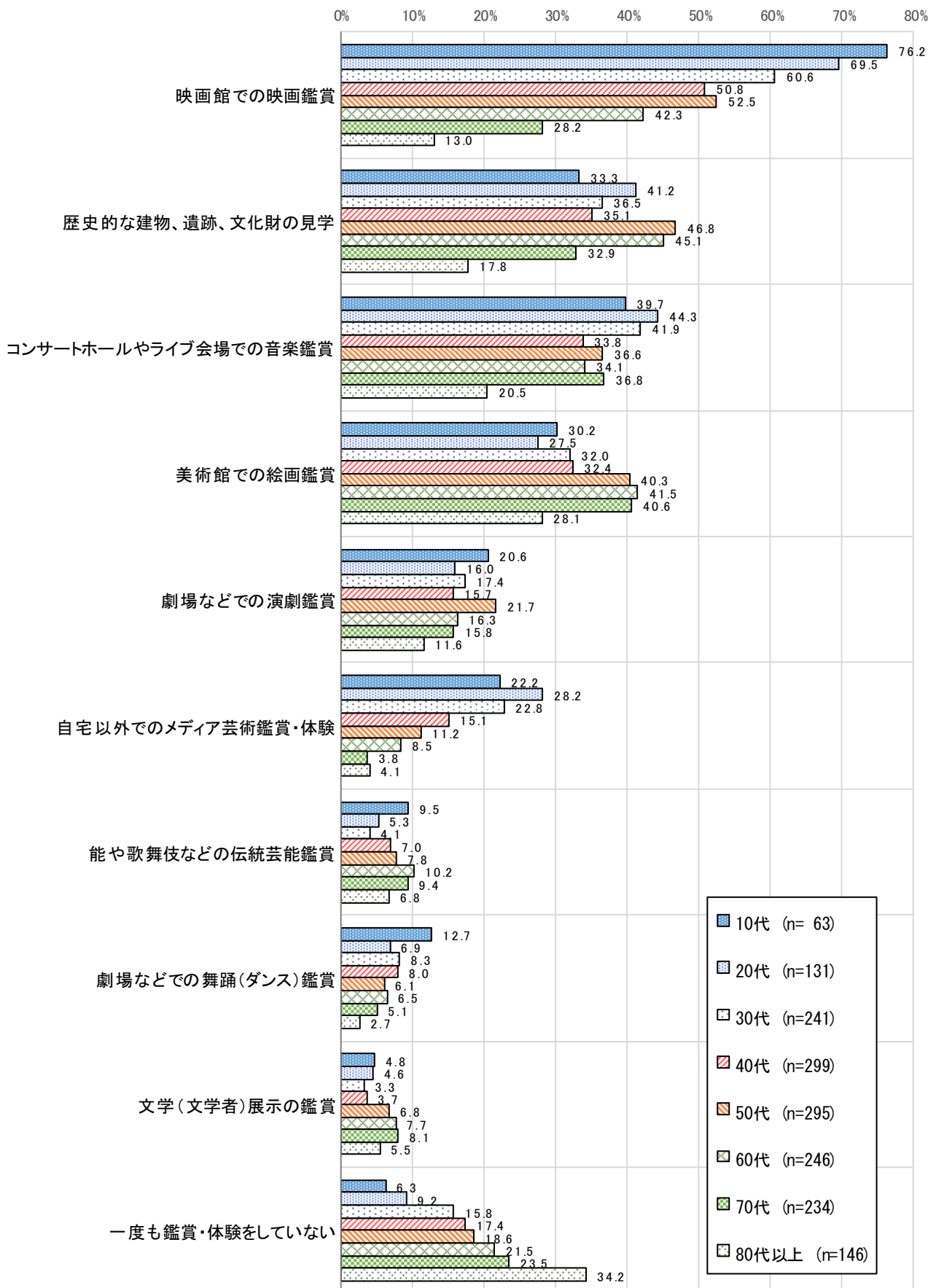
性別でみると、全般的に男性より女性の方が鑑賞・体験を多くしていることがわかる。特に「音楽鑑賞」「演劇鑑賞」でその差が大きい。「この1年間の間で一度も鑑賞・体験をしていない」は男性が23.6%、女性15.7%である。

年齢別でみると、「映画館での映画鑑賞」は年代が上がるにつれ割合が下がる傾向がみられる。その他に30代以下の若年層が比較的高いのは「音楽鑑賞」や「自宅以外でのメディア芸術鑑賞・体験」などである。「歴史的な建物、遺跡、文化財の見学」は50代・60代、「美術館での絵画鑑賞」は50～70代がやや高い。「この1年間の間で一度も鑑賞・体験をしていない」は年代が上がるにつれ高くなる傾向がみられ、60代以上で2割を超える。

図IV-14-1-2 芸術・文化の鑑賞・体験状況(性別)



図IV-14-1-3 芸術・文化の鑑賞・体験状況(年齢別)

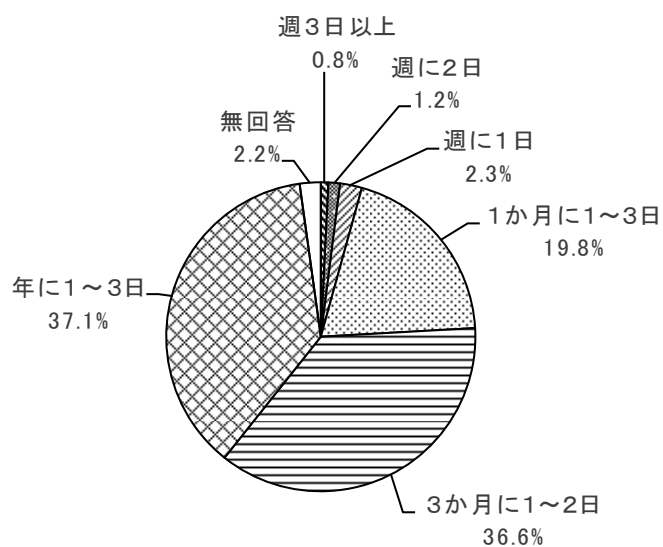


## (2) 芸術・文化の鑑賞・体験頻度

問 22-1: お答えいただいた鑑賞・体験はどのくらいの頻度で行いましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。(複数回答いただいた方は、すべて合わせた頻度をお答えください)  
[問 22 で「この1年間の間で一度も鑑賞・体験をしていない」以外を回答した方対象]

鑑賞・体験頻度は「年に1～3日」が 37.1%で最も高く、次いで「3か月に1～2日」(36.6%)、「1か月に1～3日」(19.8%)である。「週に1日以上」は 4.3%と低い。

図IV-14-2-1 芸術・文化の鑑賞・体験頻度(n=1,299)

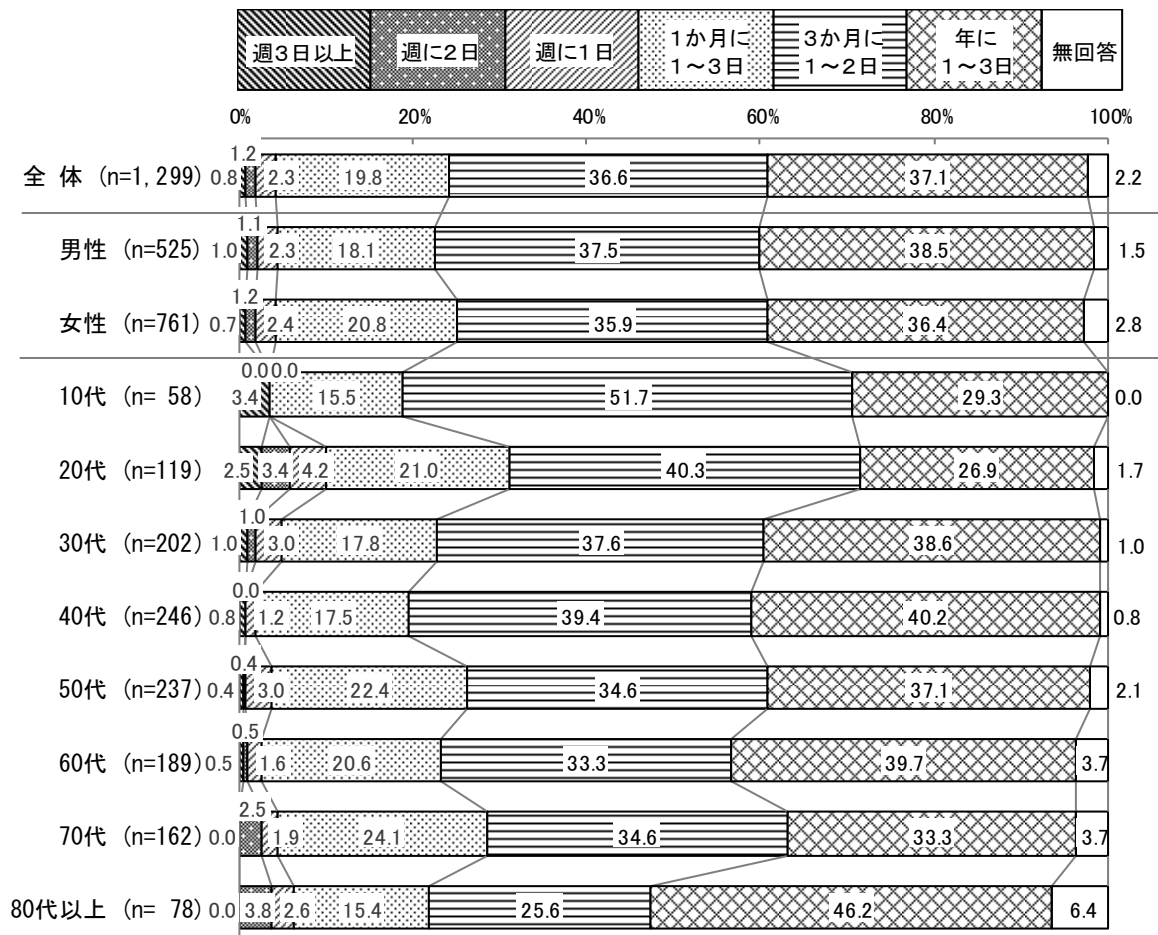


①性・年齢別

性別でみると、男女ともほぼ同様の傾向がみられる。

年齢別でみると、1か月に1日以上(「週3日以上」～「1か月に1～3日」)の割合が高い年代は20代、70代、50代などである。40代と80代以上は「年に1～3日」が4割を超えている。

図IV-14-2-2 芸術・文化の鑑賞・体験頻度(性・年齢別)



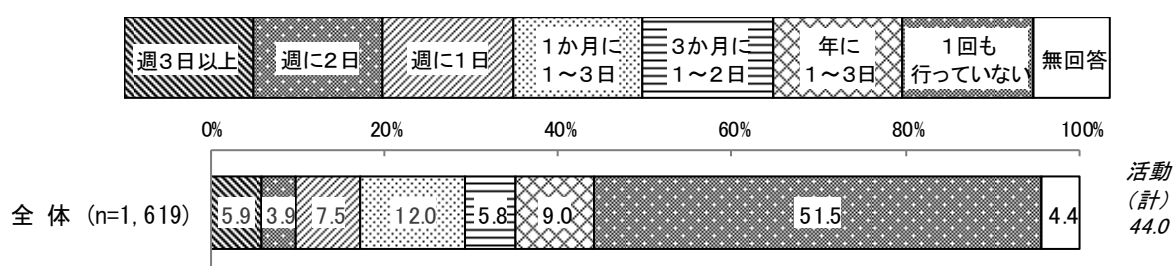
### (3) 生涯学習活動を行う頻度

問 23: あなたは、この1年間で何らかの生涯学習活動(スポーツを除く)をどのくらいの頻度で行いましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「1回も行っていない」が 51.5%で半数以上を占める。活動を行っている中では、「1か月に1～3日」が 12.0%で最も高い。

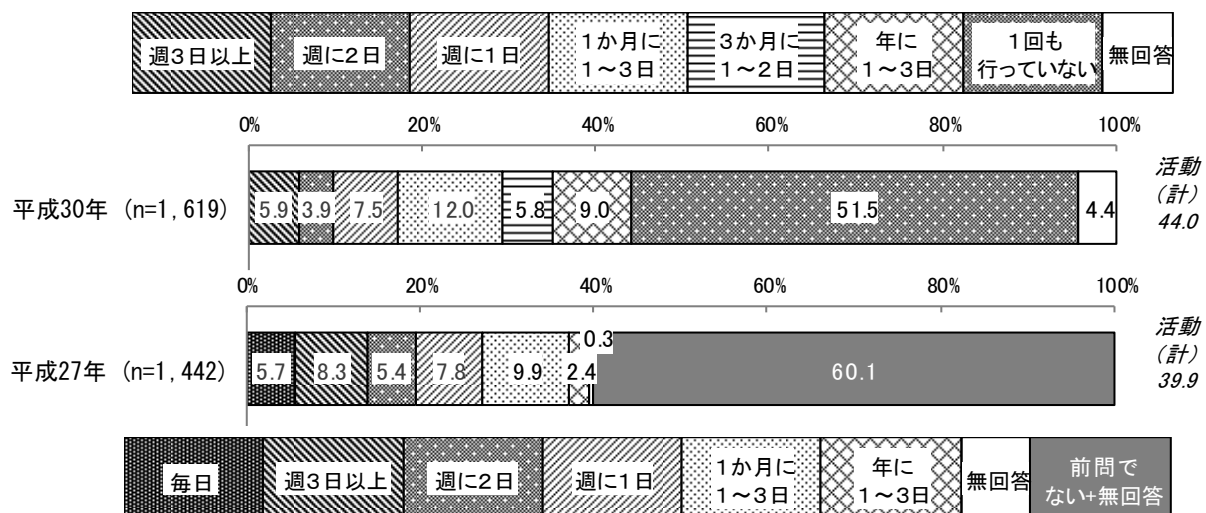
過去の調査は質問の仕方や選択肢が異なるため直接的な比較はできないが、「活動(計)」はどちらの年も4割前後である。

図IV-14-3-1 生涯学習活動を行う頻度(n=1,619)



注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

図IV-14-3-2 生涯学習活動を行う頻度(過去調査比較)



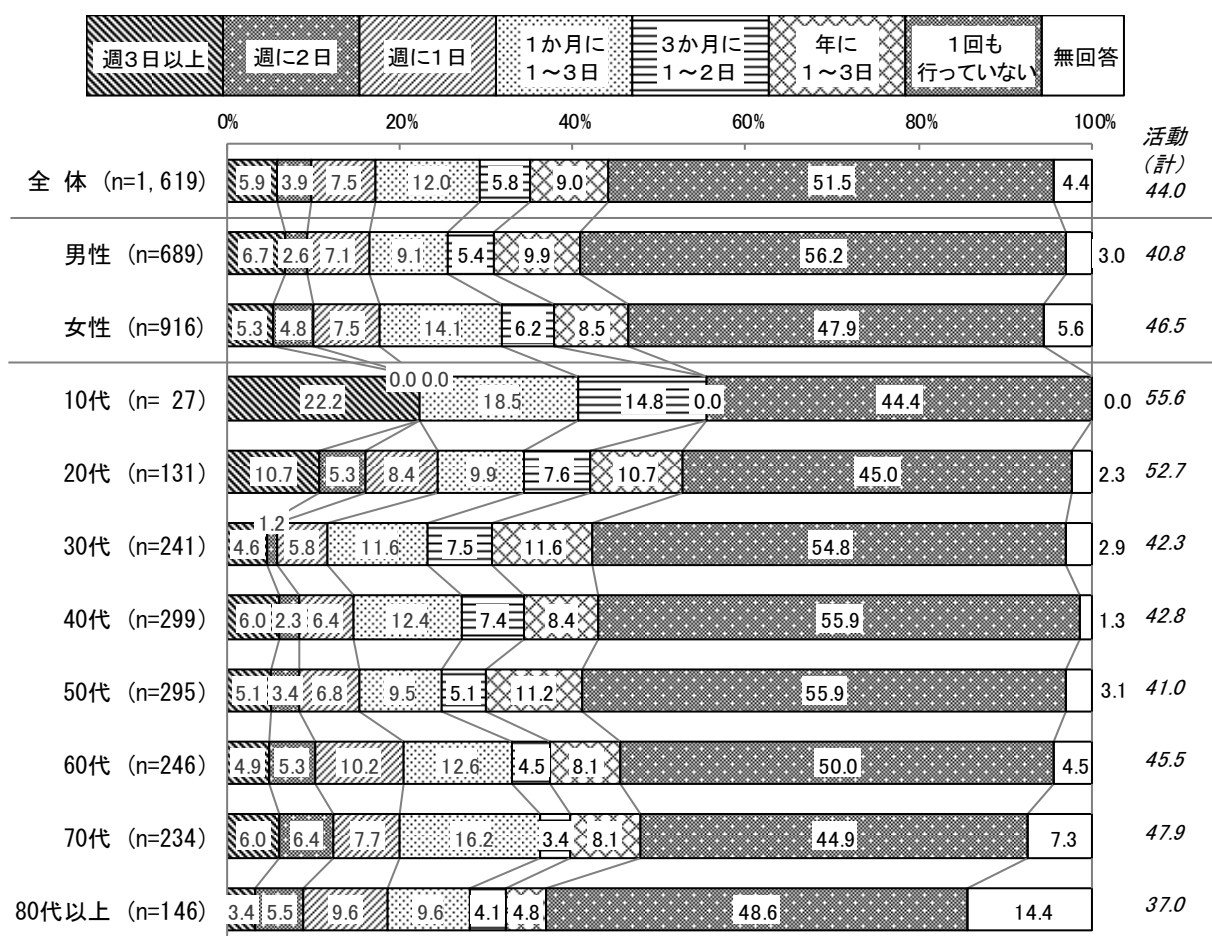
注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

### ①性・年齢別

性別でみると、「活動(計)」は男性の40.8%に対し、女性は46.5%とやや高い。活動を行っている中では、男性は「年に1～3日」が9.9%で最も高く、女性は「1か月に1～3日」(14.1%)が最も高い。

年齢別でみると、回答数が少ない10代を除くと、「活動(計)」が最も高い年代は20代(52.7%)であり、次いで70代(47.9%)である。活動を行っている中では、20代は「週3日以上」と「年に1～3日」がともに10.7%で最も高く、70代は「1か月に1～3日」が16.2%で最も高い。

図IV-14-3-3 生涯学習活動を行う頻度(性・年齢別)



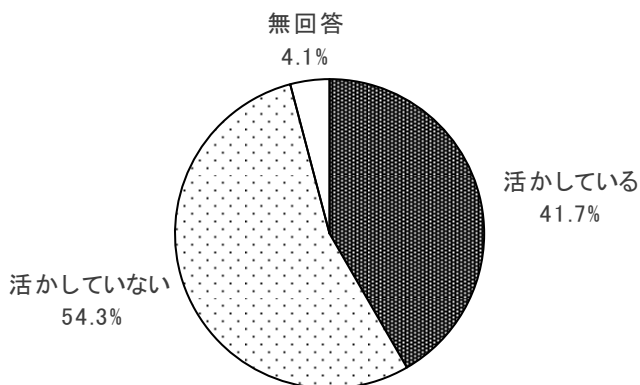
注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

#### (4) 生涯学習活動で身に付けた知識・技能の活用の有無

問 23-1:あなたは生涯学習(スポーツを除く)を通じて身に付けた知識・技能をまちづくりや仲間づくりなど自分以外のために活かしていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。  
[問 23 で「1回も行っていない」以外を回答した方対象]

生涯学習を通じて身に付けた知識・技能を「活かしている」が 41.7%、「活かしていない」が 54.3%である。

図IV-14-4-1 生涯学習活動で身に付けた知識・技能の活用の有無(n=713)

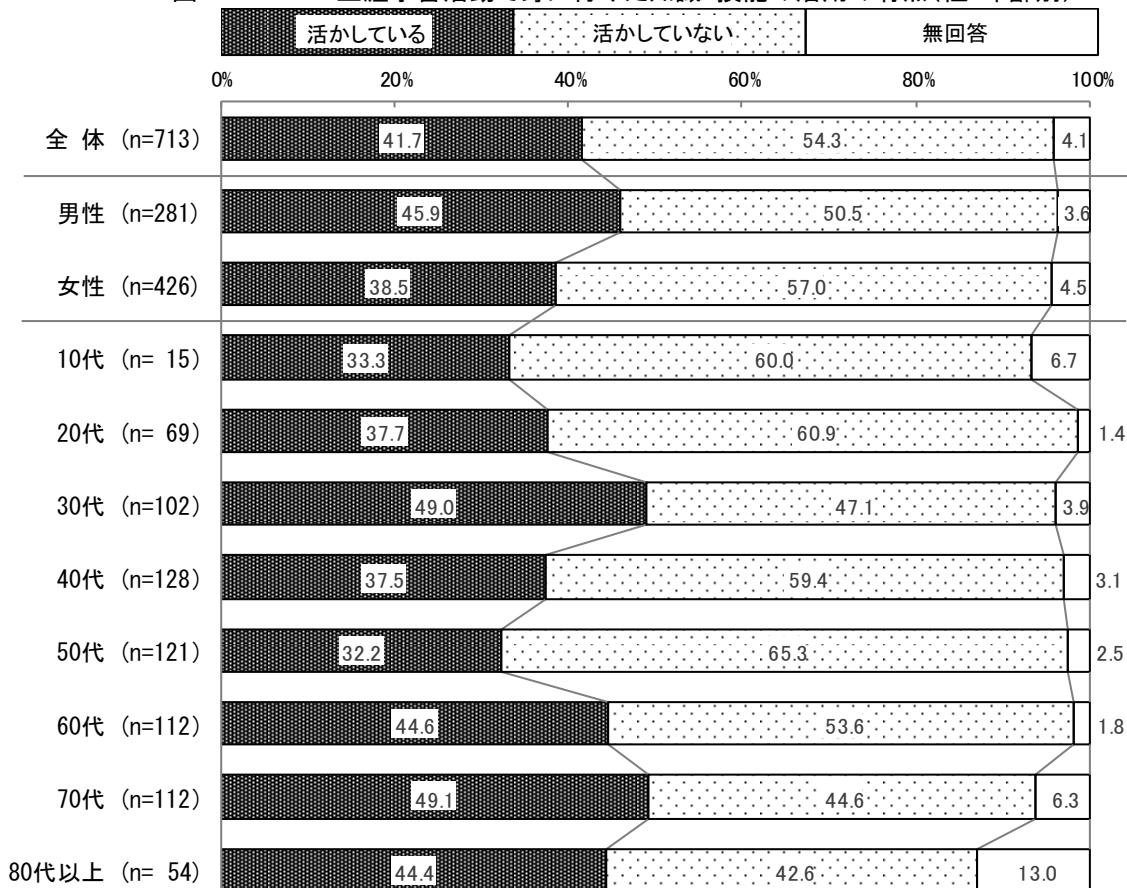


注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

#### ①性・年齢別

性別でみると、「活かしている」は男性の 45.9%に対し、女性は 38.5%とやや低い。  
年齢別でみると、30 代と 60 代以上は「活かしている」が4割を超えている。

図IV-14-4-2 生涯学習活動で身に付けた知識・技能の活用の有無(性・年齢別)



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

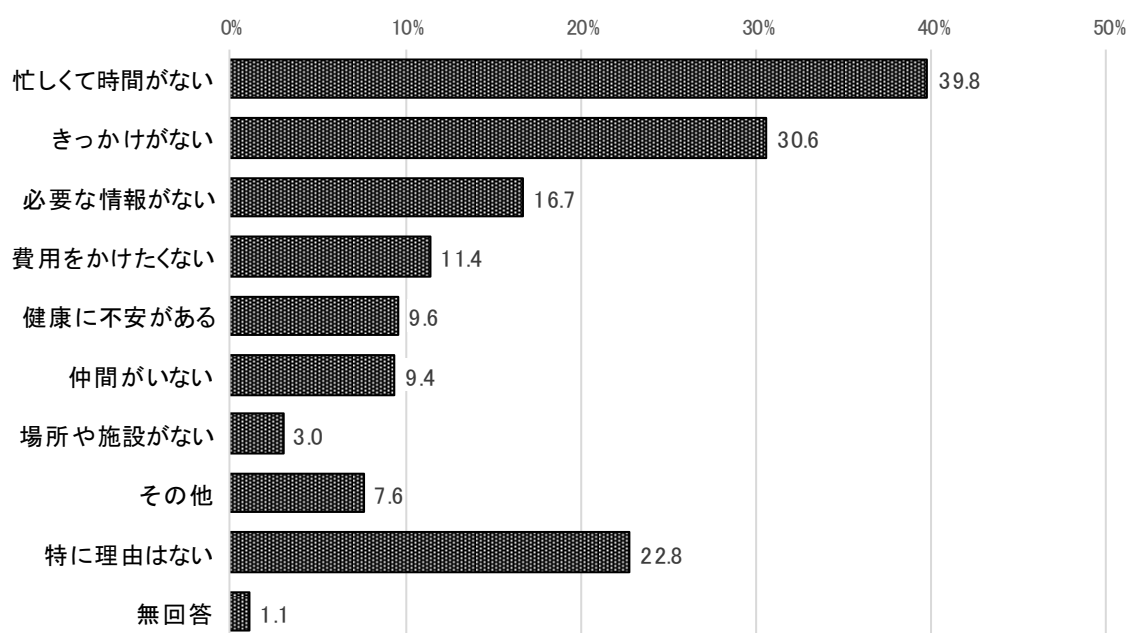


## (5) 生涯学習活動を行わない理由

問 23-2: あなたが生涯学習活動(スポーツを除く)を行わないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問 23 で「1回も行っていない」と回答した方対象]

「忙しくて時間がない」が 39.8%で最も高く、次いで「きっかけがない」(30.6%)が高い。「特に理由はない」は 22.8%である。

図IV-14-5-1 生涯学習活動を行わない理由(n=834)



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

### 【その他の回答】

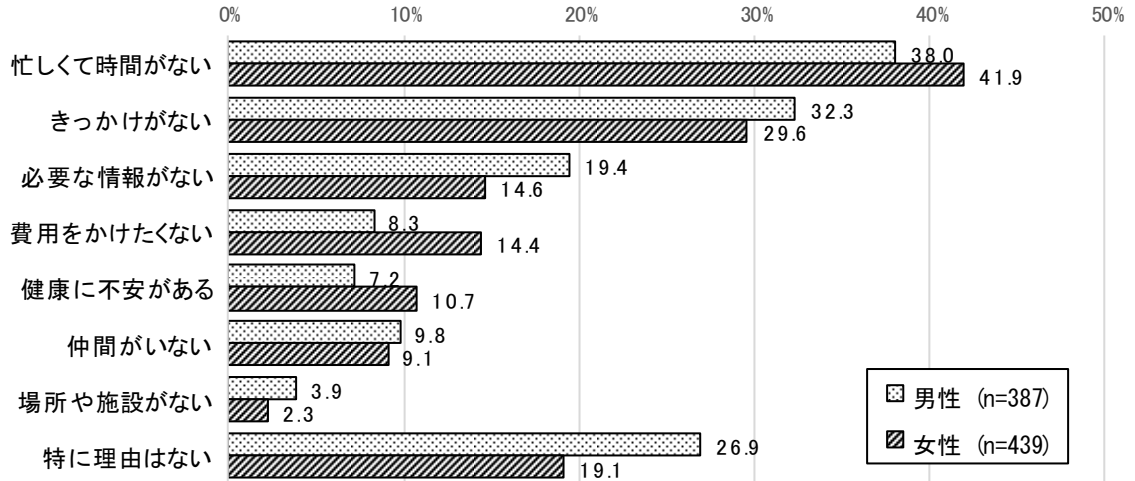
「興味がない/必要性を感じない」、「小さい子どもがいるため」、「他に優先すべき事がある/自分で学習している」、「身体障害のため/けがをしてやめた」、「歩行困難で外出できない/外出が好きではない」、「スポーツをしている」など

### ①性・年齢別

性別でみると、男女とも同様の傾向がみられるが、「費用をかけたくない」は男女差が大きく、男性 8.3%、女性 14.4%である。また、「特に理由はない」も女性の 19.1%に対し、男性は 26.9%と高い。

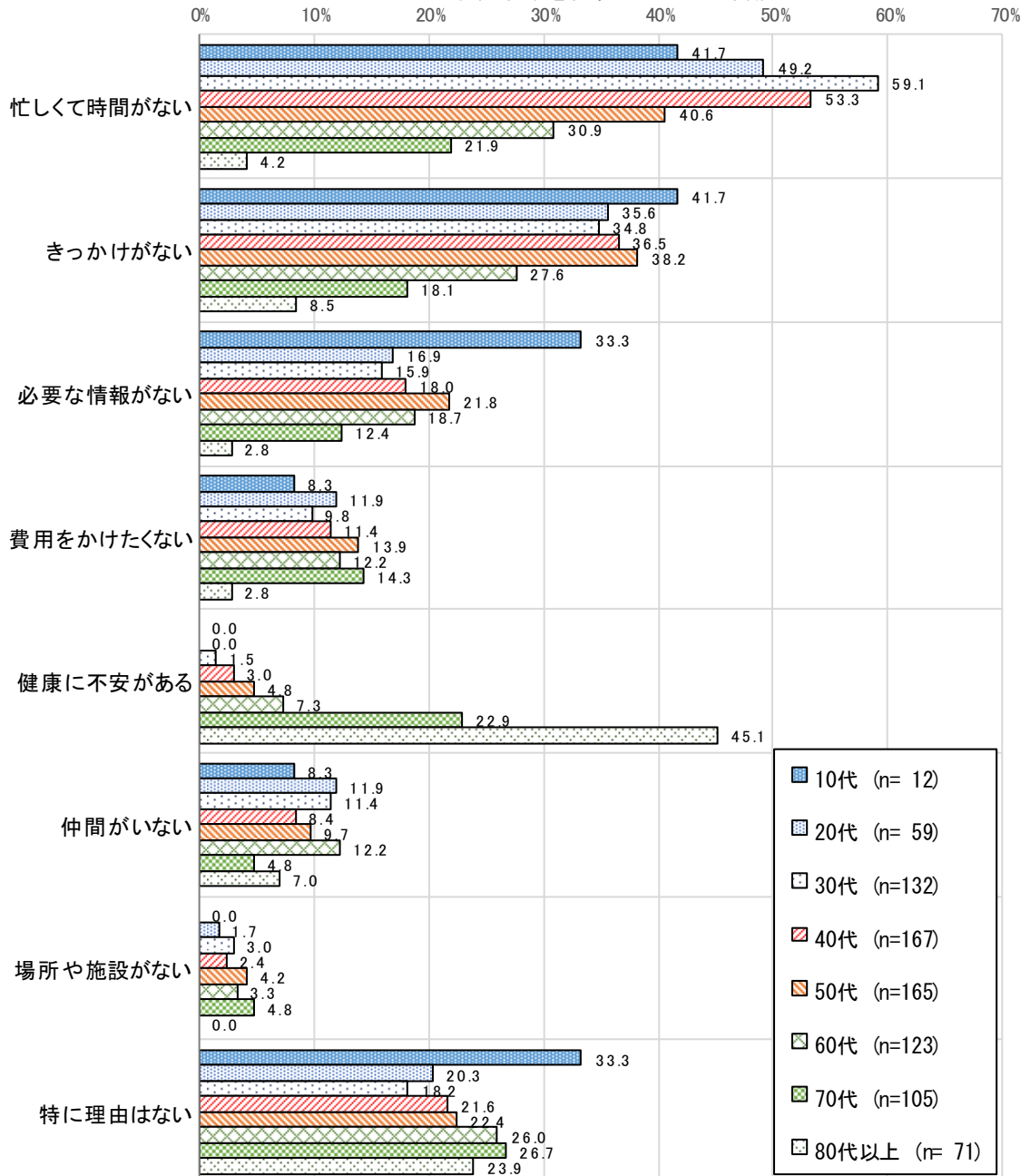
年齢別でみると、回答数が少ない 10 代を除くと、「忙しくて時間がない」は 20~40 代が高く、5~6割である。「きっかけがない」は 20~50 代で3割を超えている。「健康に不安がある」は年代が上がるにつれ高くなる傾向がみられ、70 代で 22.9%、80 代以上は 45.1%である。

図IV-14-5-2 生涯学習活動を行わない理由(性別)



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

図IV-14-5-3 生涯学習活動を行わない理由(年齢別)



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

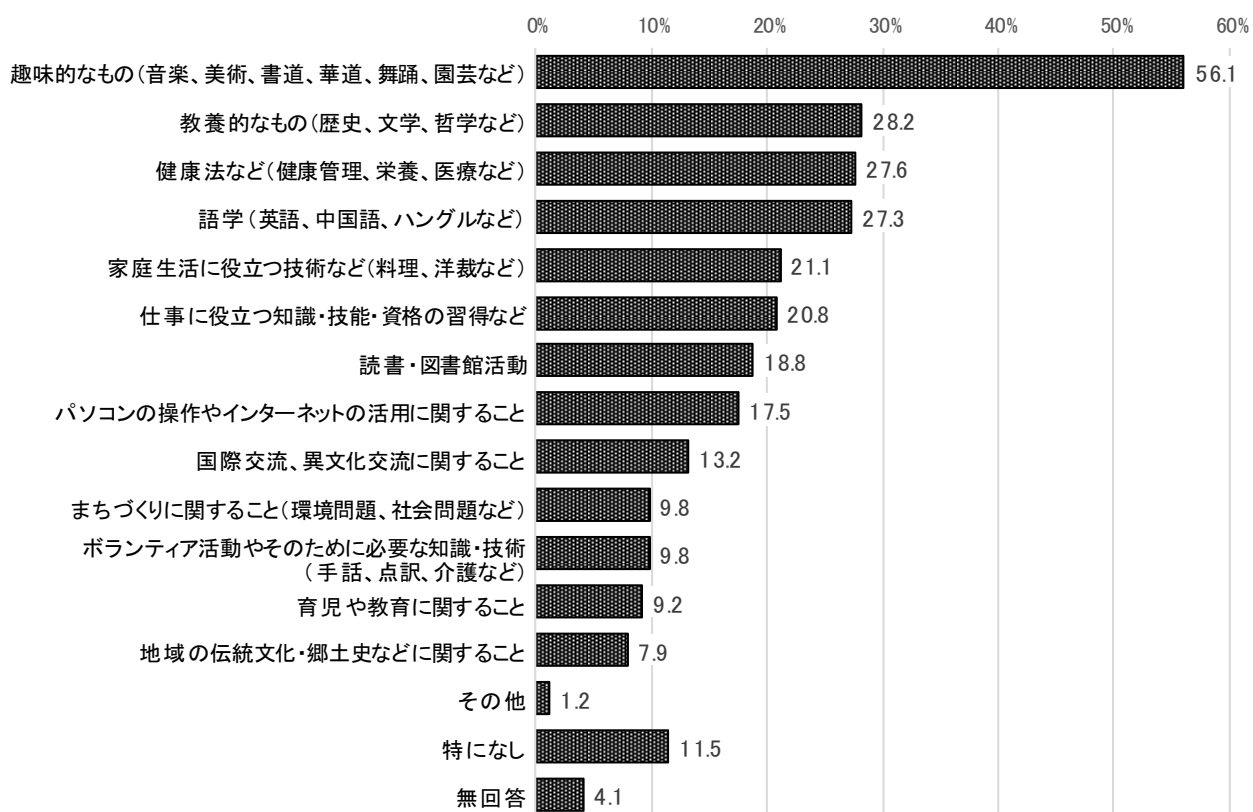
## (6) 今後行いたい生涯学習活動

問 24: 今後あなたが行いたい生涯学習活動の内容はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「趣味的なもの(音楽、美術、書道、華道、舞踊、園芸など)」が 56.1%で最も高い。次いで「教養的なもの(歴史、文学、哲学など)」(28.2%)、「健康法など(健康管理、栄養、医療など)」(27.6%)、「語学(英語、中国語、ハングルなど)」(27.3%)などが高い。

過去の調査は選択肢が異なるため直接的な比較はできないが、どちらの年もほぼ同様の傾向がみられる。

図IV-14-6-1 今後行いたい生涯学習活動(n=1,619)

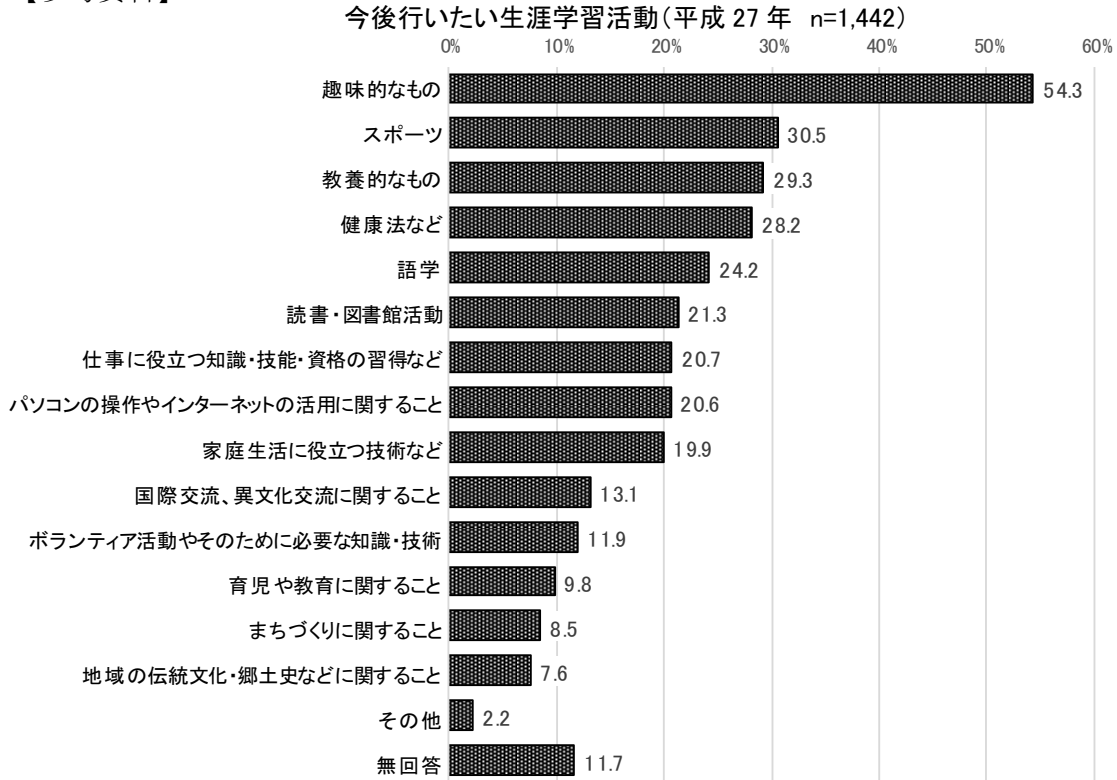


注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

### 【その他の回答】

「スポーツ/太極拳」、「国内・国際政治/科学/医学」、「相続・遺言/資産運用」、「人財育成」、「地方との交流機会」、「米を育てる」、「ハイキング」、「オペラ」、「ボーイスカウト」など

【参考資料】

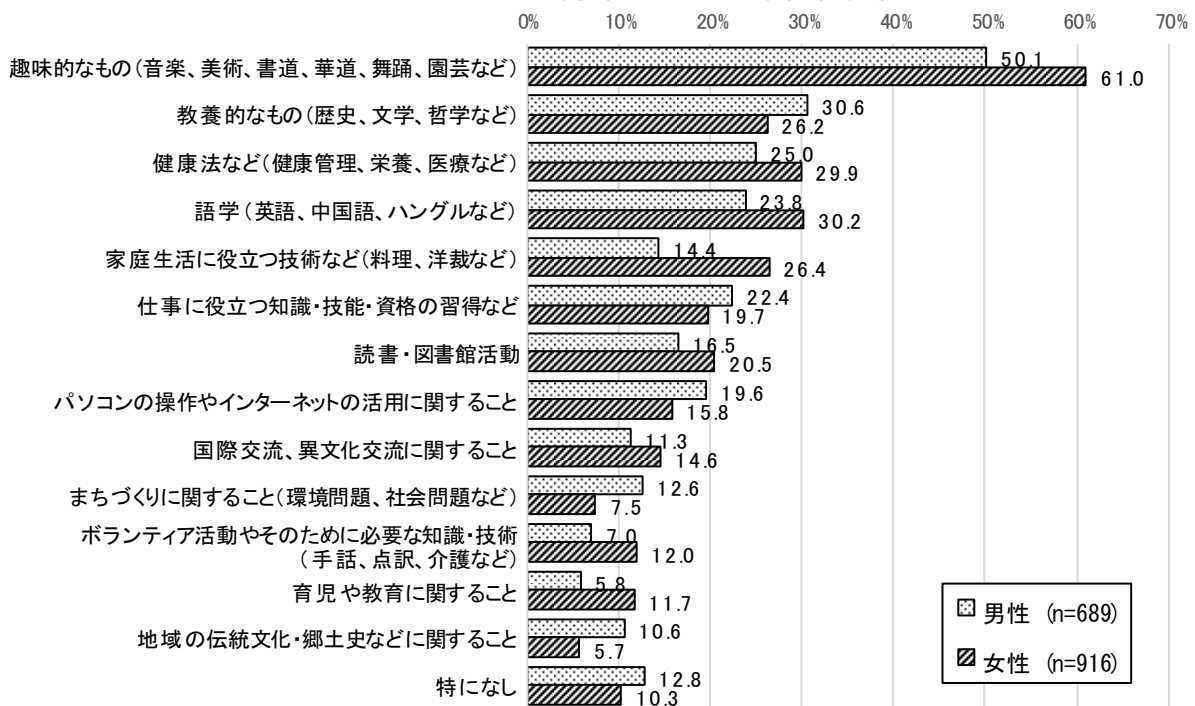


①性・年齢別

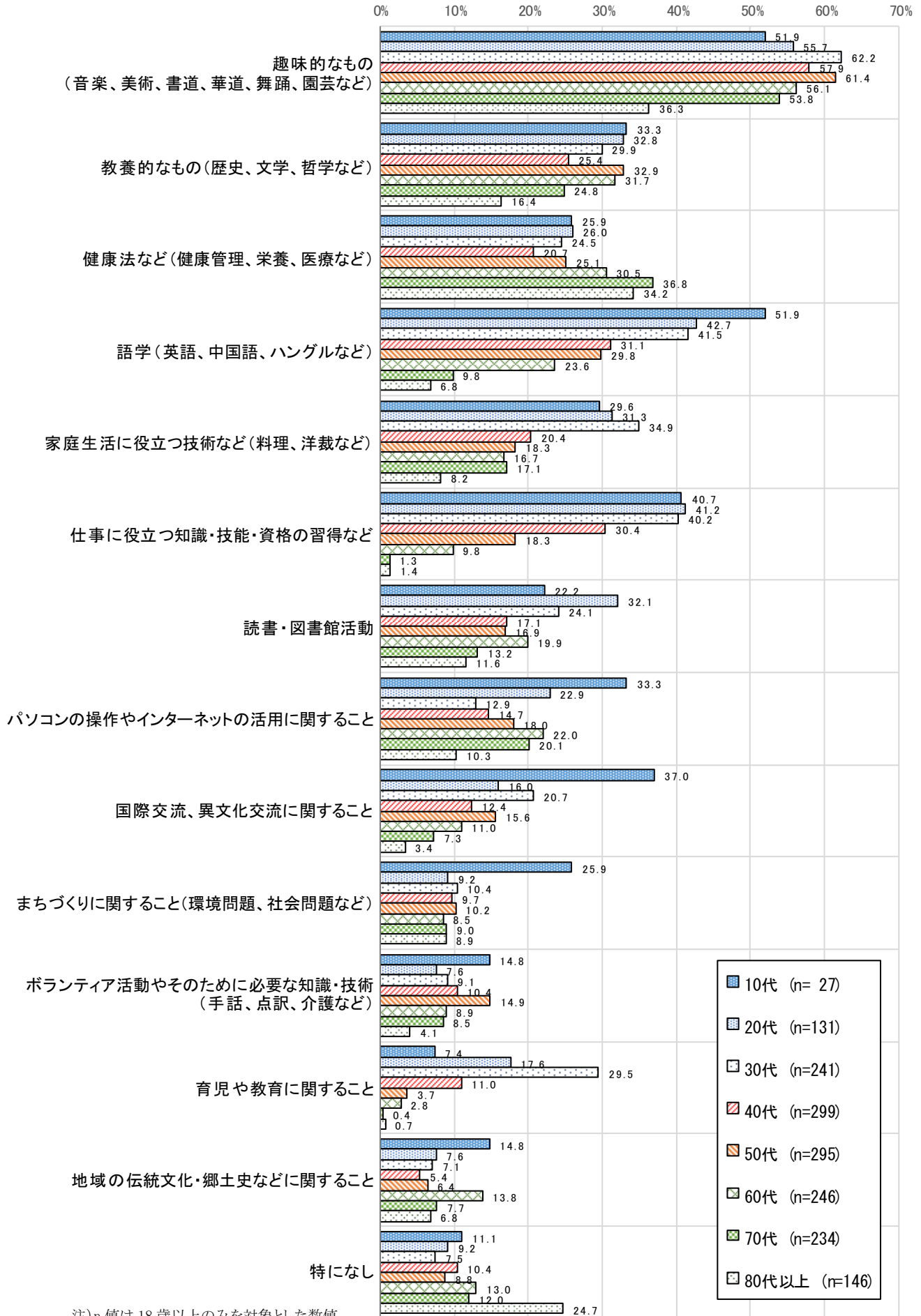
性別でみると、男女差が大きいものは「趣味的なもの」(男性 50.1%、女性 61.0%)、「家庭生活に役立つ技術」(男性 14.4%、女性 26.4%)などである。

年齢別でみると、30 代以下の若年層の方が比較的関心の高い活動は「語学」、「家庭生活に役立つ技術」、「仕事に役立つ知識・技能・資格の習得」などである。「育児や教育に関すること」は 30 代が 29.5%と他の年代より高い。

図IV-14-6-2 今後行いたい生涯学習活動(性別)



図IV-14-6-3 今後行いたい生涯学習活動(年齢別)



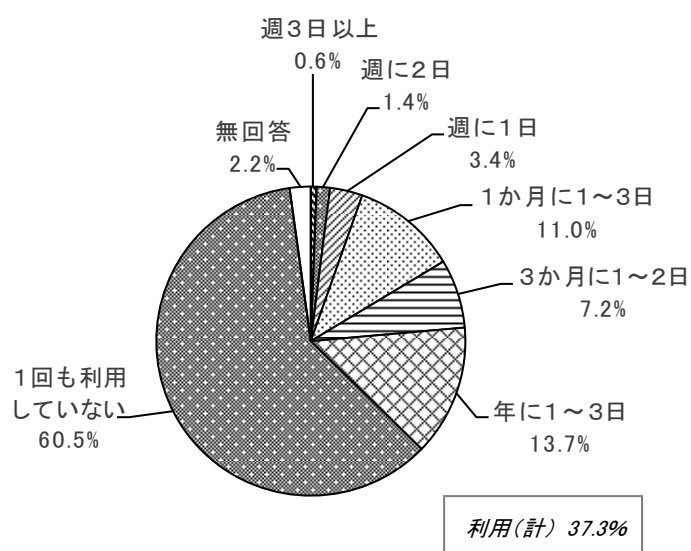
注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

### (7) 三鷹市立図書館利用頻度

問25:あなたは、この1年間で三鷹市立図書館をどのくらいの頻度で利用しましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「1回も利用していない」が60.5%を占める。「利用(計)」は37.3%となり、利用者の中では、「年に1～3日」が13.7%で最も高く、次いで「1か月に1～3日」(11.0%)が高い。

図IV-14-7-1 三鷹市立図書館利用頻度(n=1,667)

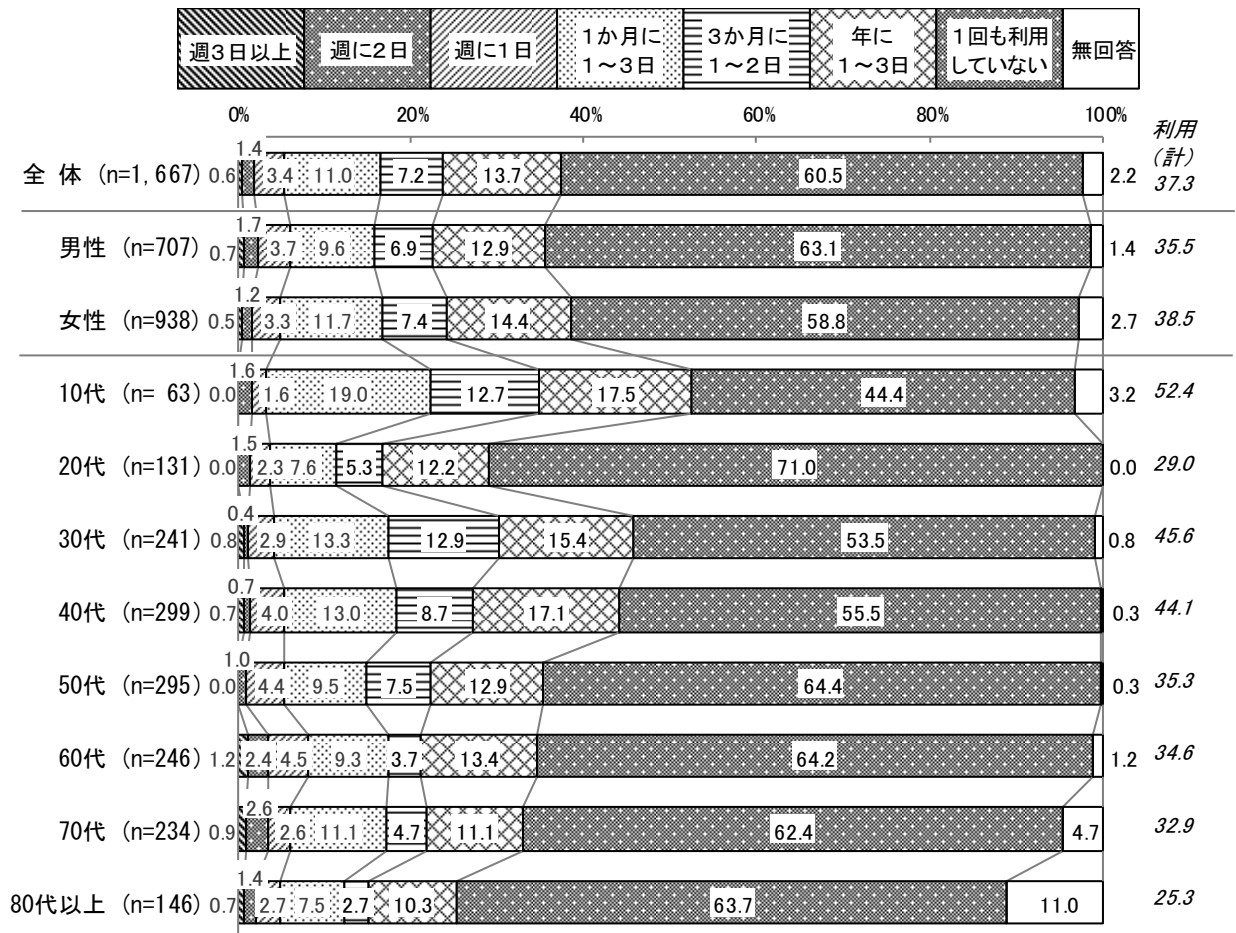


① 性・年齢別

性別で見ると、「利用(計)」は女性(38.5%)の方が男性(35.5%)より高い。

年齢別で見ると、「利用(計)」は10代(52.4%)が最も高く、20代(29.0%)は80代以上(25.3%)に次いで低い。利用者の中では、10代は「1か月に1～3日」が最も高いが、他の年代は「年に1～3日」が最も高く、あまり利用頻度は高くない。

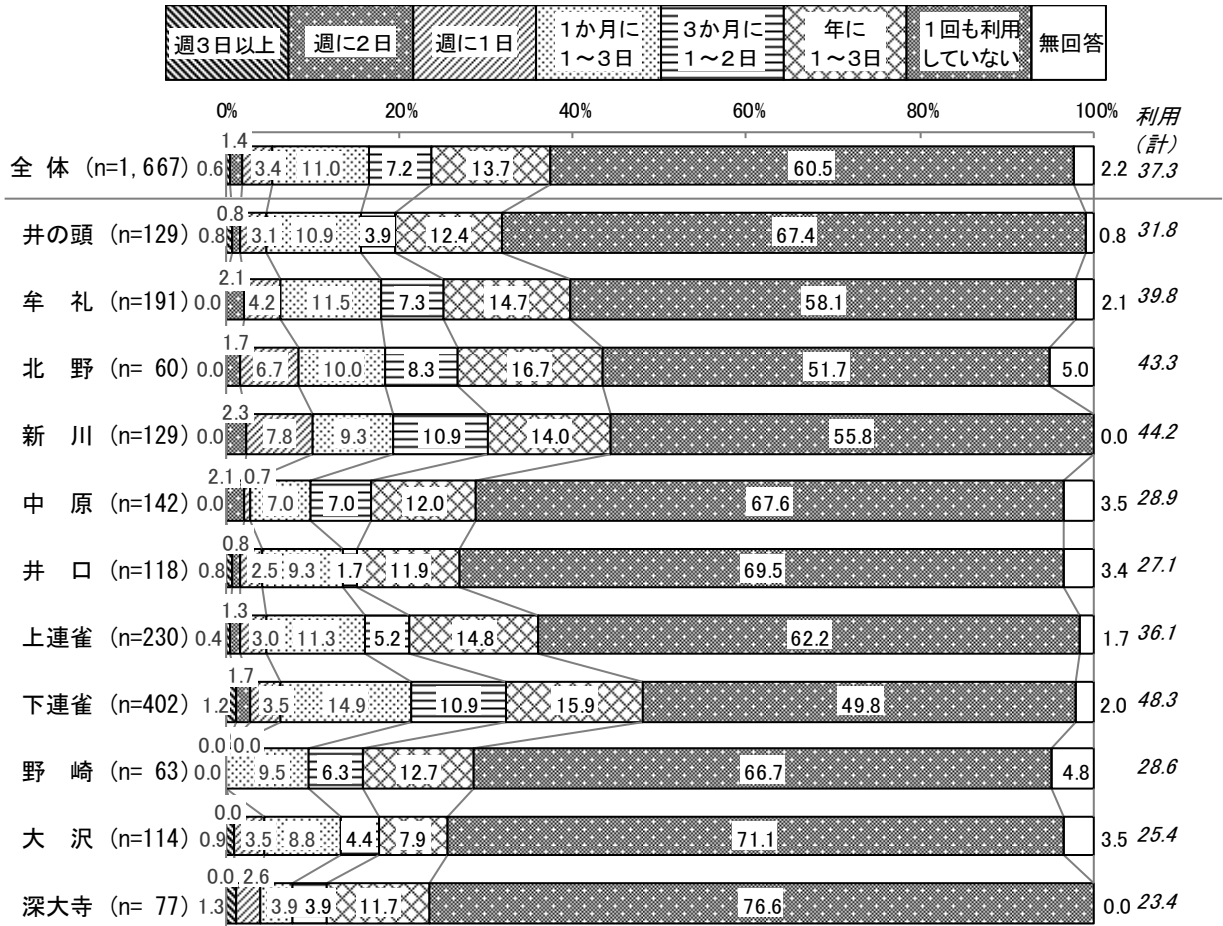
図IV-14-7-2 三鷹市立図書館利用頻度(性・年齢別)



②地区別

地区別でみると、「利用(計)」が高い地区は、下連雀(48.3%)、新川(44.2%)、北野(43.3%)、牟礼(39.8%)などである。一方、「利用(計)」が低い地区は、深大寺(23.4%)、大沢(25.4%)などである。

図IV-14-7-3 三鷹市立図書館利用頻度(地区別)



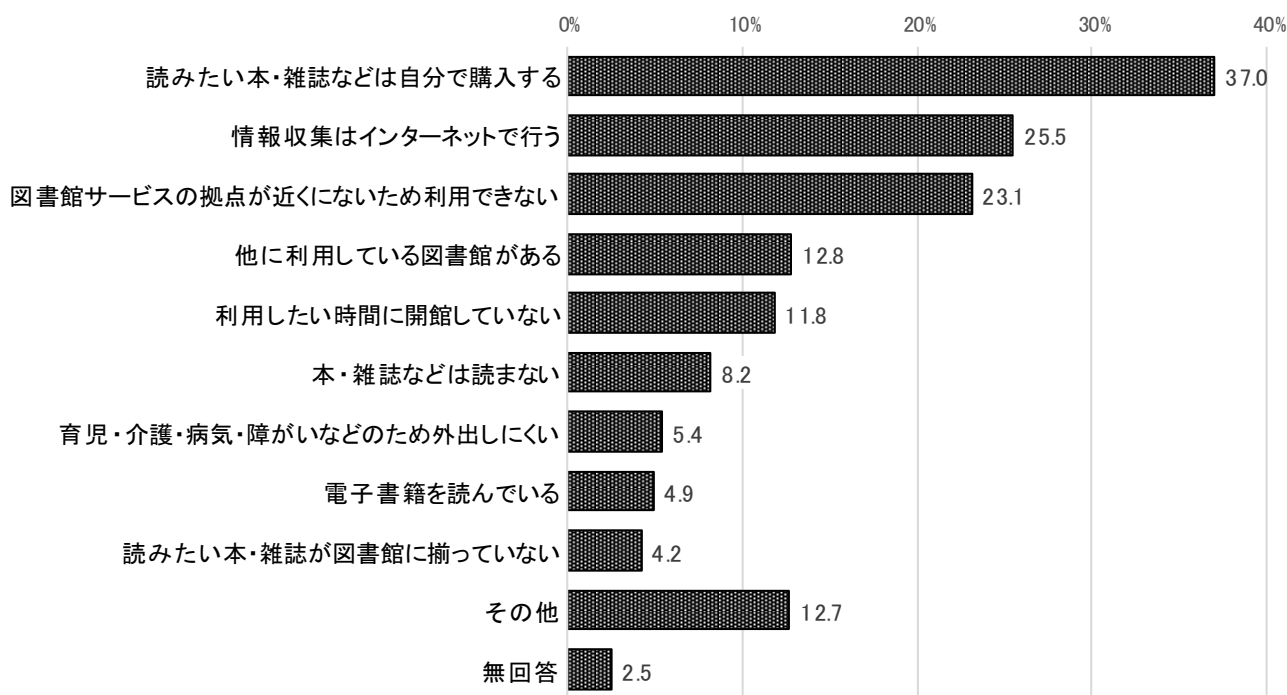


(8) 三鷹市立図書館を利用しない理由

問 25-1:あなたが三鷹市立図書館を利用しないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問 25 で「1回も利用していない」と回答した方対象]

「読みたい本・雑誌などは自分で購入する」が37.0%で最も高い。次いで「情報収集はインターネットで行う」(25.5%)、「図書館サービスの拠点が近くにならないため利用できない」(23.1%)などが高い。

図IV-14-8-1 三鷹市立図書館を利用しない理由(n=1,009)



【その他の回答】

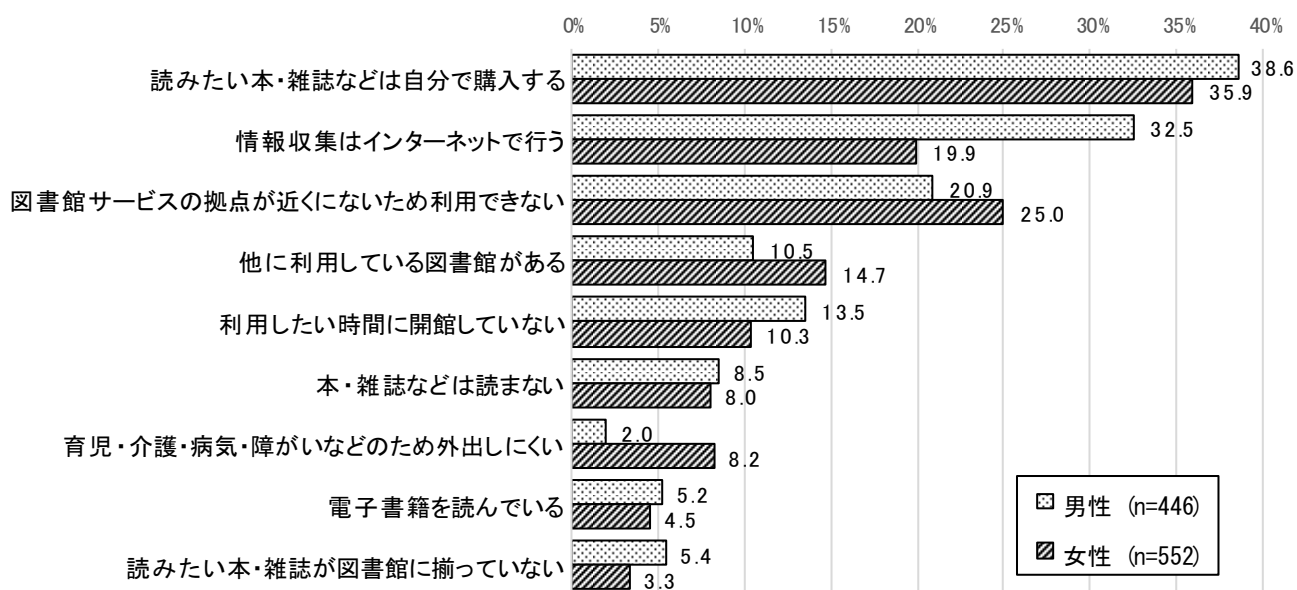
「忙しい/時間がない」、「図書館を利用する習慣がない・必要がない」、「高齢のため/病気のため」、「アクセスが悪い/遠い/駐車場がない」、「場所を知らない」、「閲覧席が少ない/学習室がない・狭い」、「転入したばかり」、「職員の態度が悪い」など

### ①性・年齢別

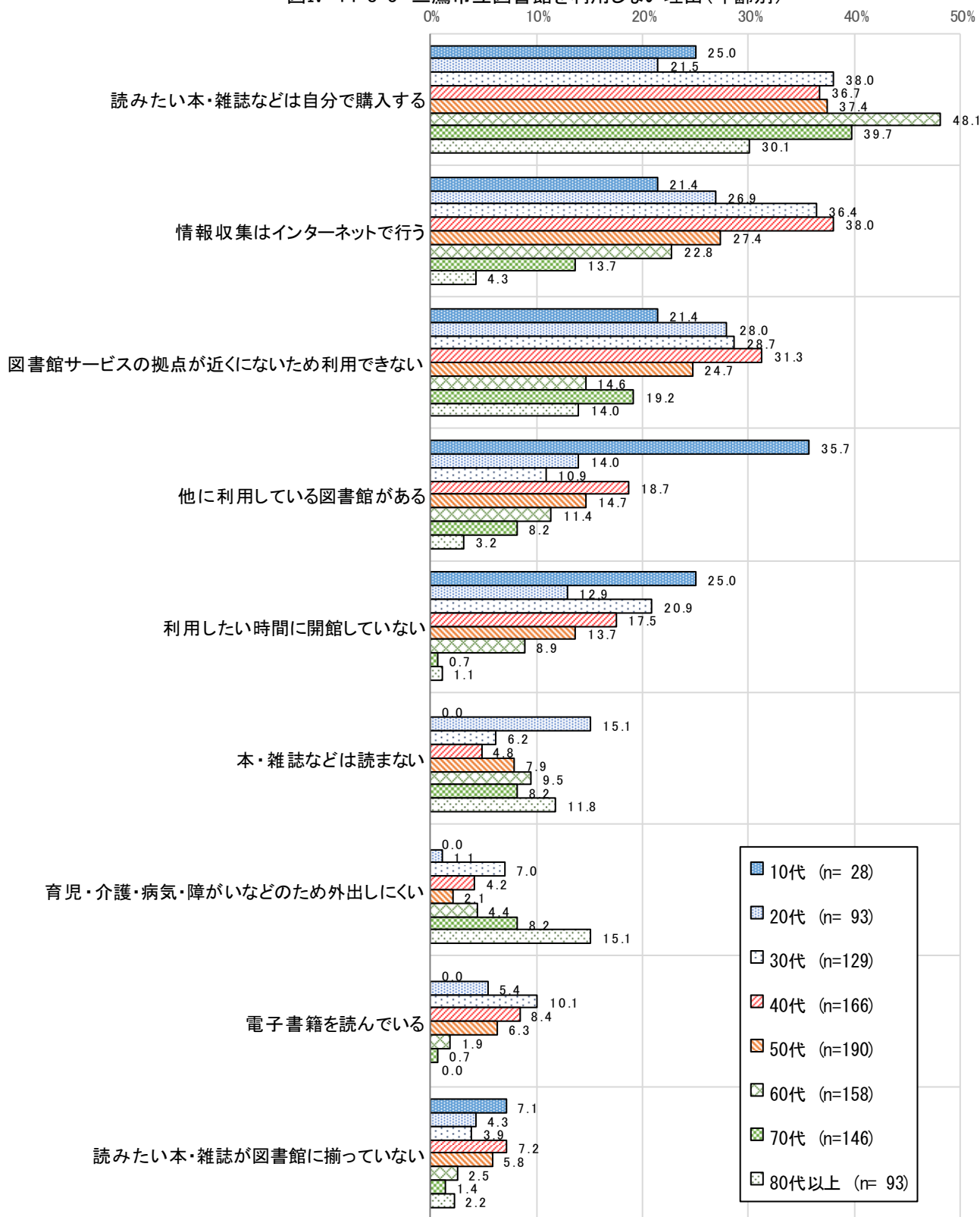
性別で見ると、「情報収集はインターネットで行う」は女性(19.9%)より男性(32.5%)の方が高い。「育児・介護・病気・障がいなどのため外出しにくい」は男性(2.0%)より女性(8.2%)の方が高い。

年齢別で見ると、「読みたい本・雑誌などは自分で購入する」は30～70代で高く、特に60代は48.1%に達する。「情報収集はインターネットで行う」は30代・40代が3割を超える。

図IV-14-8-2 三鷹市立図書館を利用しない理由(性別)



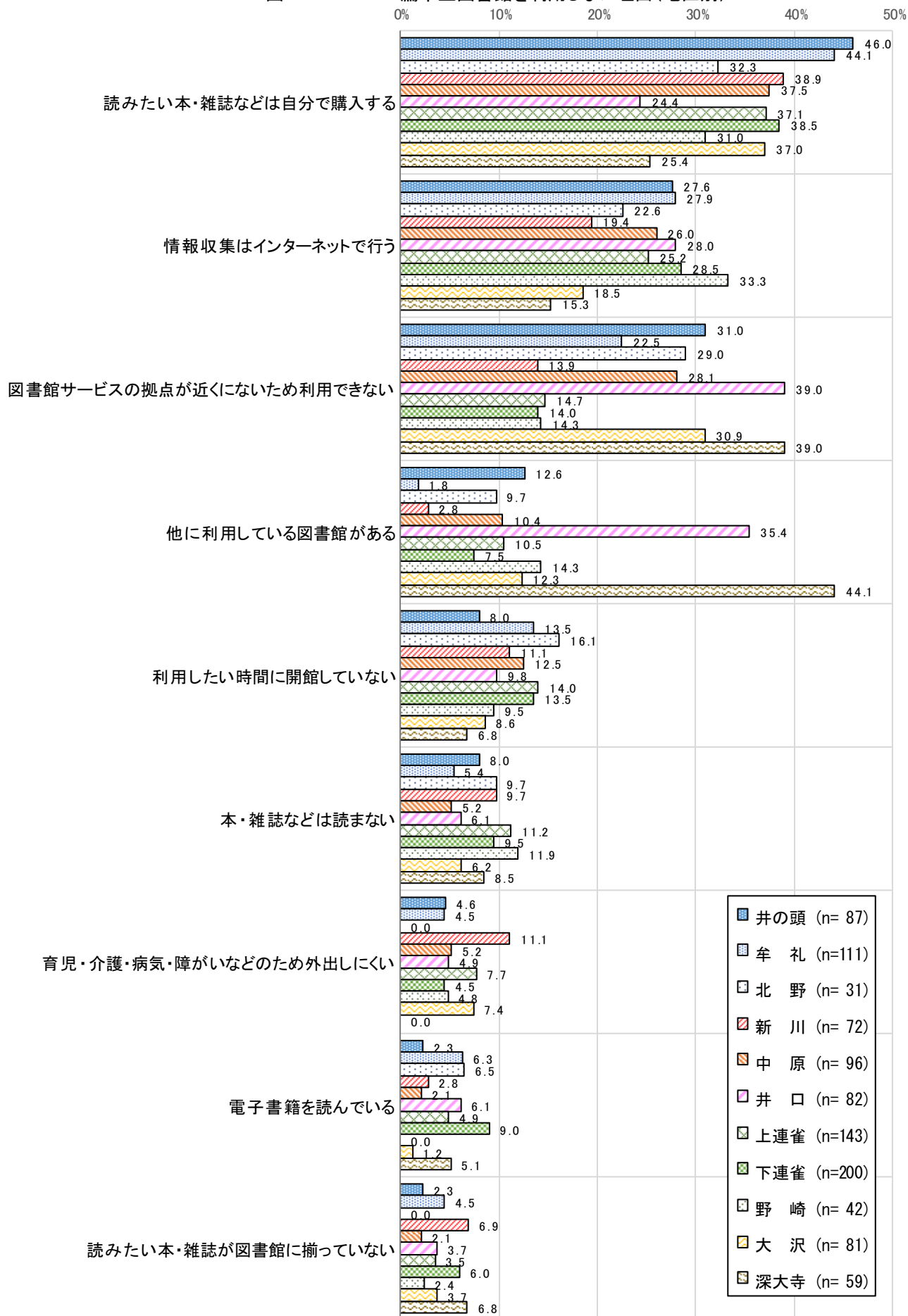
図IV-14-8-3 三鷹市立図書館を利用しない理由(年齢別)



②地区別

地区別でみると、「図書館サービスの拠点が近くにならないため利用できない」が高い地区は井口と深大寺(ともに 39.0%)である。「他に利用している図書館がある」も同様に、深大寺(44.1%)と井口(35.4%)が他の地区に比べ倍以上高い。

図IV-14-8-4 三鷹市立図書館を利用しない理由(地区別)

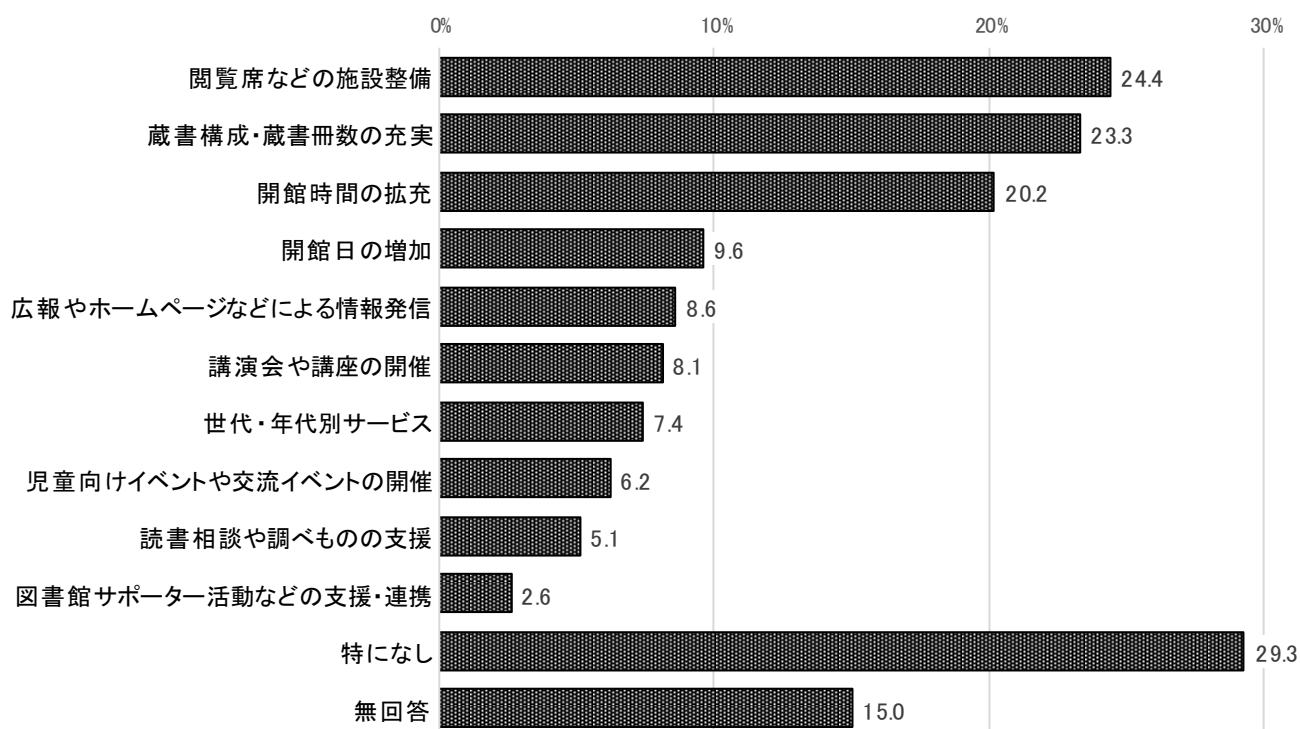


### (9) 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス

問 26: あなたが「三鷹市立図書館で充実する必要がある」と考える図書館サービスはどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「特になし」(29.3%)を除くと、「閲覧席などの施設整備」(24.4%)、「蔵書構成・蔵書冊数の充実」(23.3%)、「開館時間の拡充」(20.2%)の順に高い。

図IV-14-9-1 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス(n=1,667)

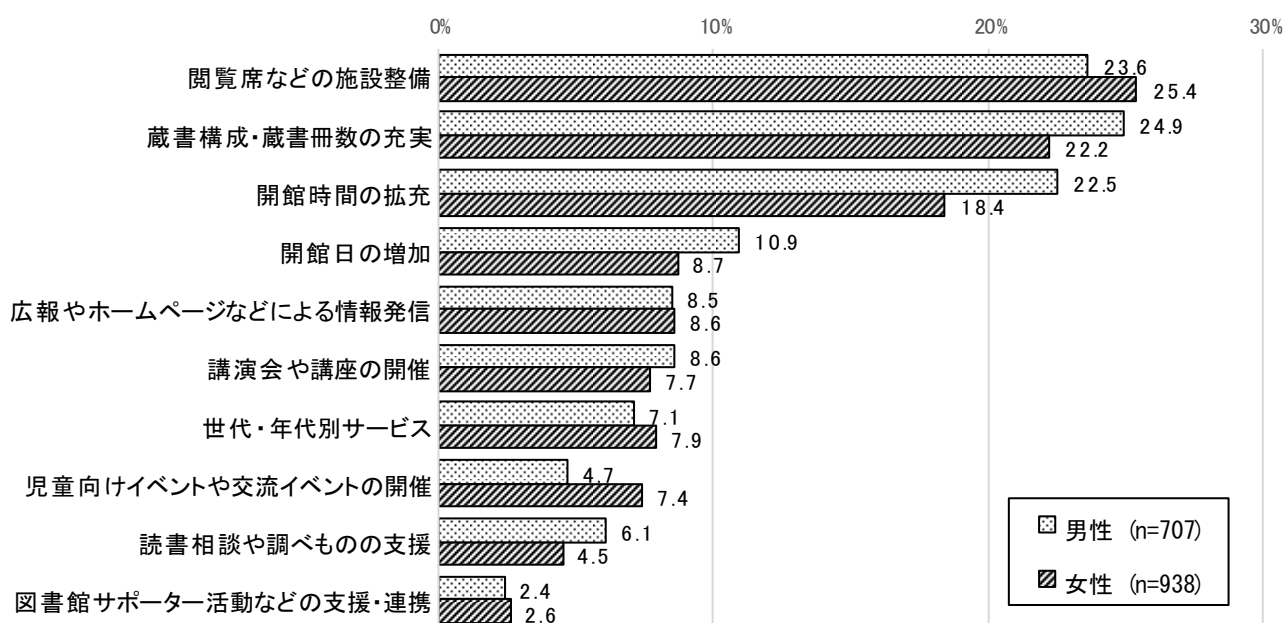


### ①性・年齢別

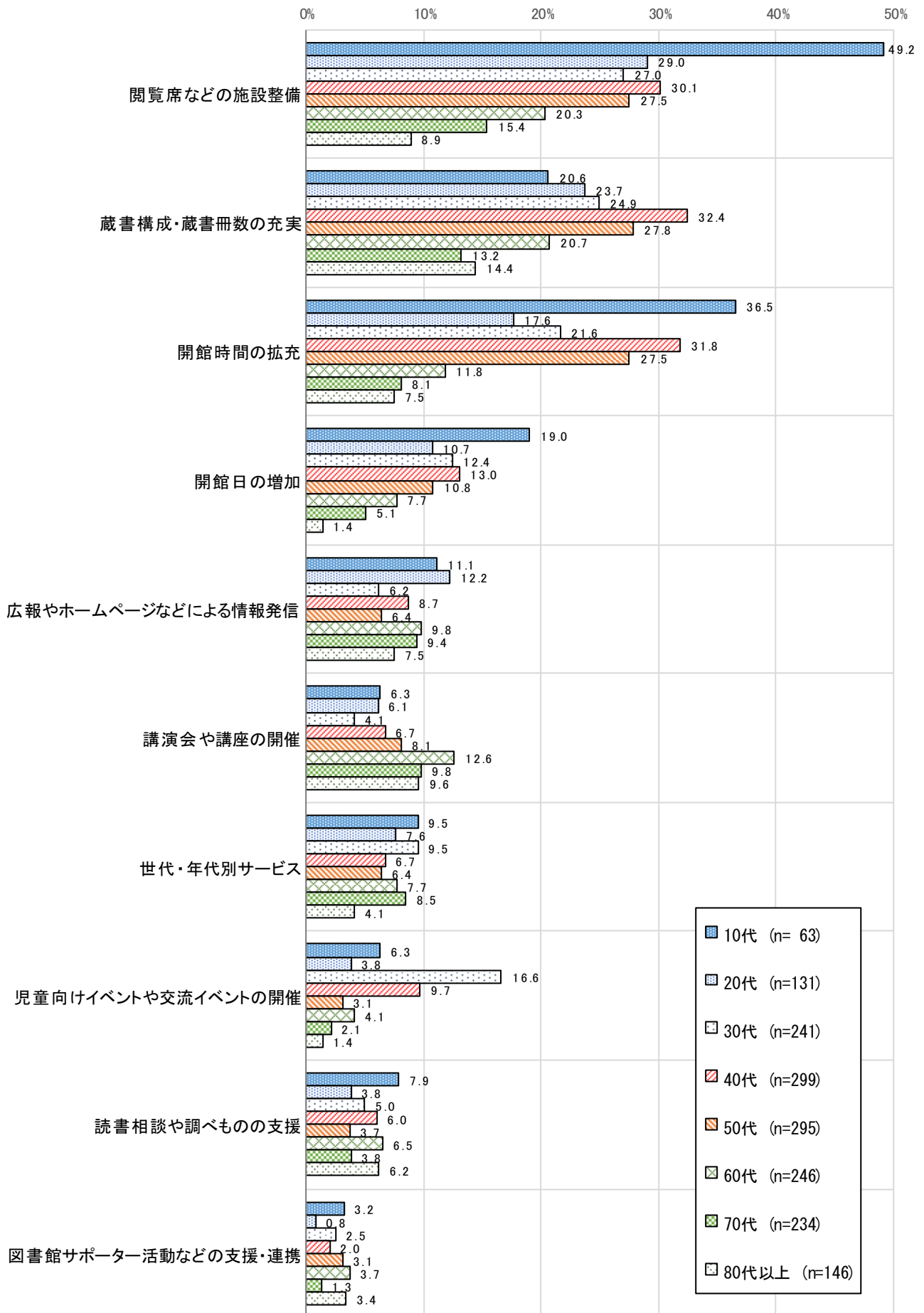
性別でみると、男性は「蔵書構成・蔵書冊数の充実」(24.9%)が最も高く、女性は「閲覧席などの施設整備」(25.4%)が最も高い。「開館時間の拡充」は女性(18.4%)より男性(22.5%)の要望が高い。

年齢別でみると、「閲覧席などの施設整備」は10代が49.2%で他の年代より19ポイント以上高い。10代は「開館時間の拡充」、「開館日の増加」への要望も他の年代より高い。「児童向けイベントや交流イベントの開催」は30代(16.6%)が高い。

図IV-14-9-2 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス(性別)



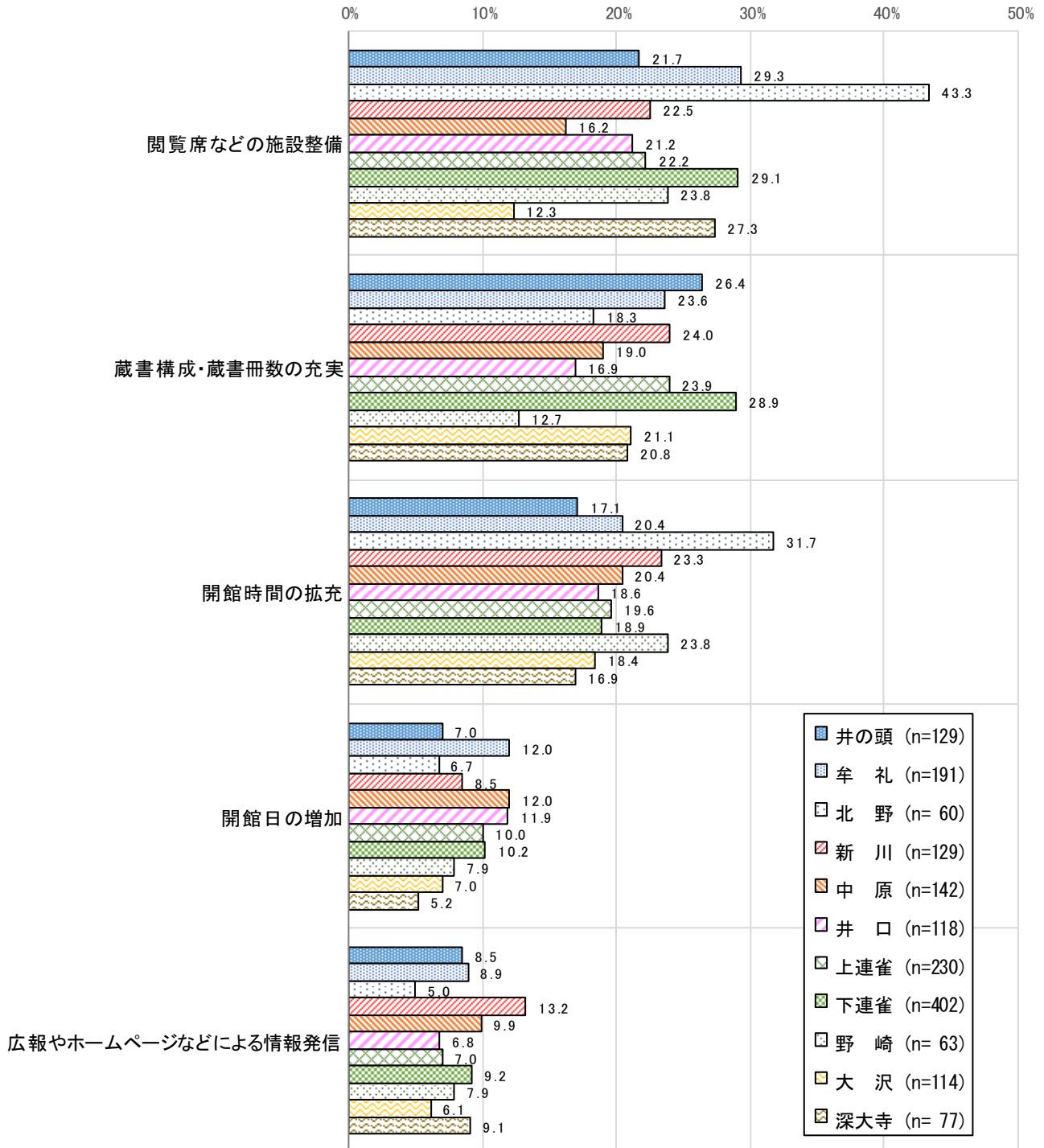
図IV-14-9-3 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス(年齢別)



## ②地区別

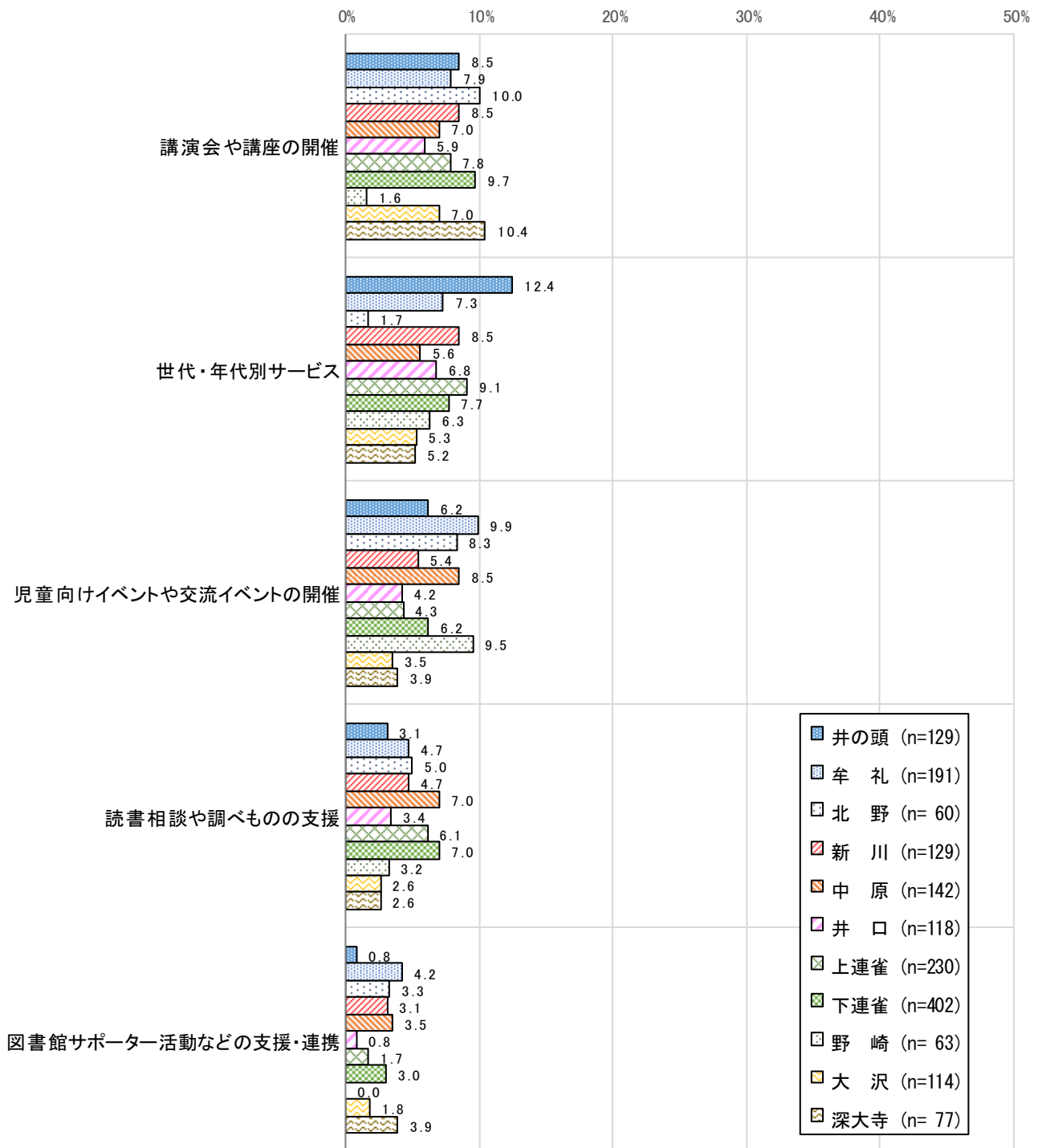
地区別でみると、「閲覧席などの施設整備」「開館時間の拡充」は北野が最も高い。「蔵書構成・蔵書冊数の充実」は下連雀(28.9%)、井の頭(26.4%)などがやや高い。

図IV-14-9-4 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス(地区別)(その1)





図IV-14-9-4 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス(地区別)(その2)



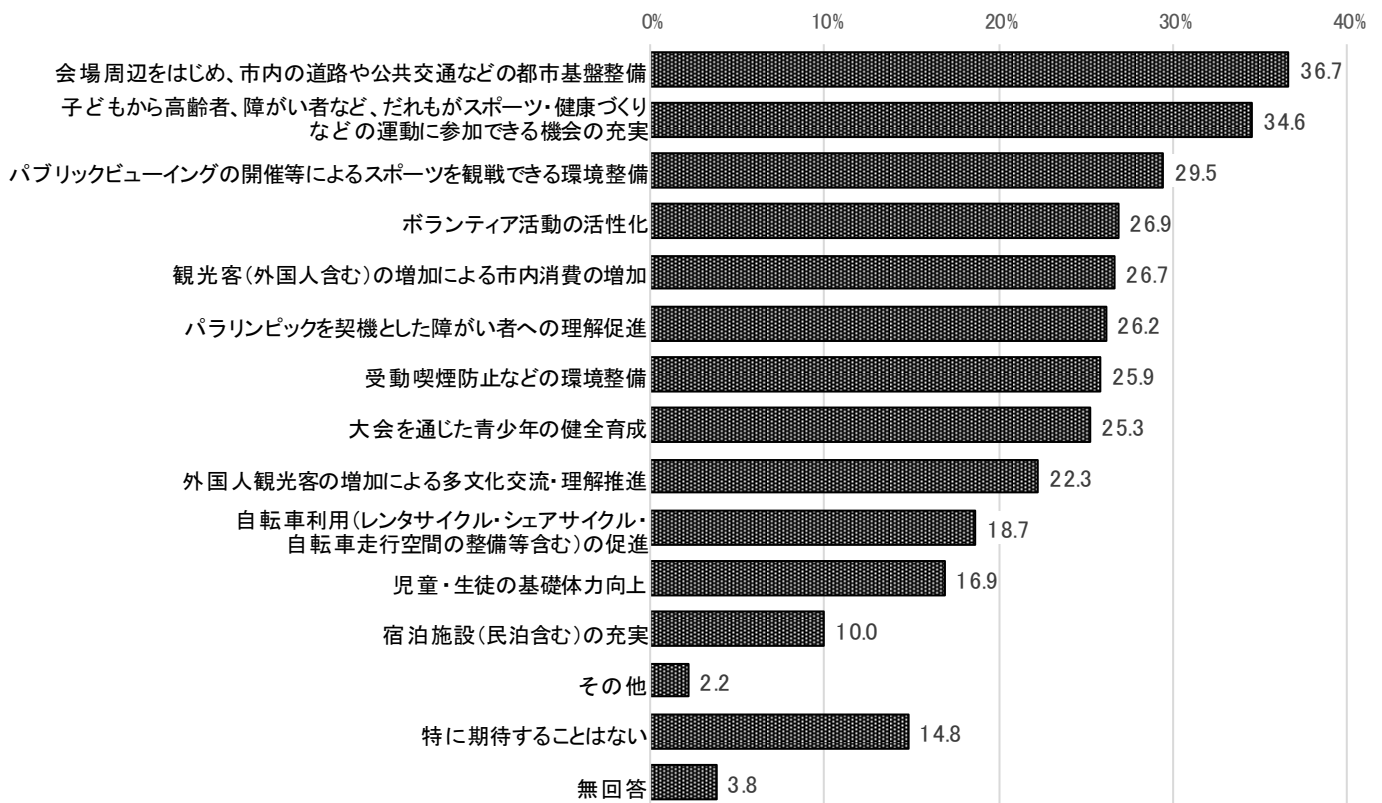
## 15 東京 2020 大会、ラグビーワールドカップ 2019

### (1) 両大会の三鷹市への期待できる効果

問 27: あなたは、両大会を通じて、三鷹市にどのような効果があることを期待しますか。あてはまるものすべてを選び、番号に○印をつけてください。

「会場周辺をはじめ、市内の道路や公共交通などの都市基盤整備」が 36.7%で最も高く、次いで「子どもから高齢者、障がい者など、だれもがスポーツ・健康づくりなどの運動に参加できる機会の充実」(34.6%)、「パブリックビューイングの開催等によるスポーツを観戦できる環境整備」(29.5%)などが高い。一方、「特に期待することはない」は 14.8%となっている。

図IV-15-1-1 両大会の三鷹市への期待できる効果(n=1,667)



#### 【その他の回答】

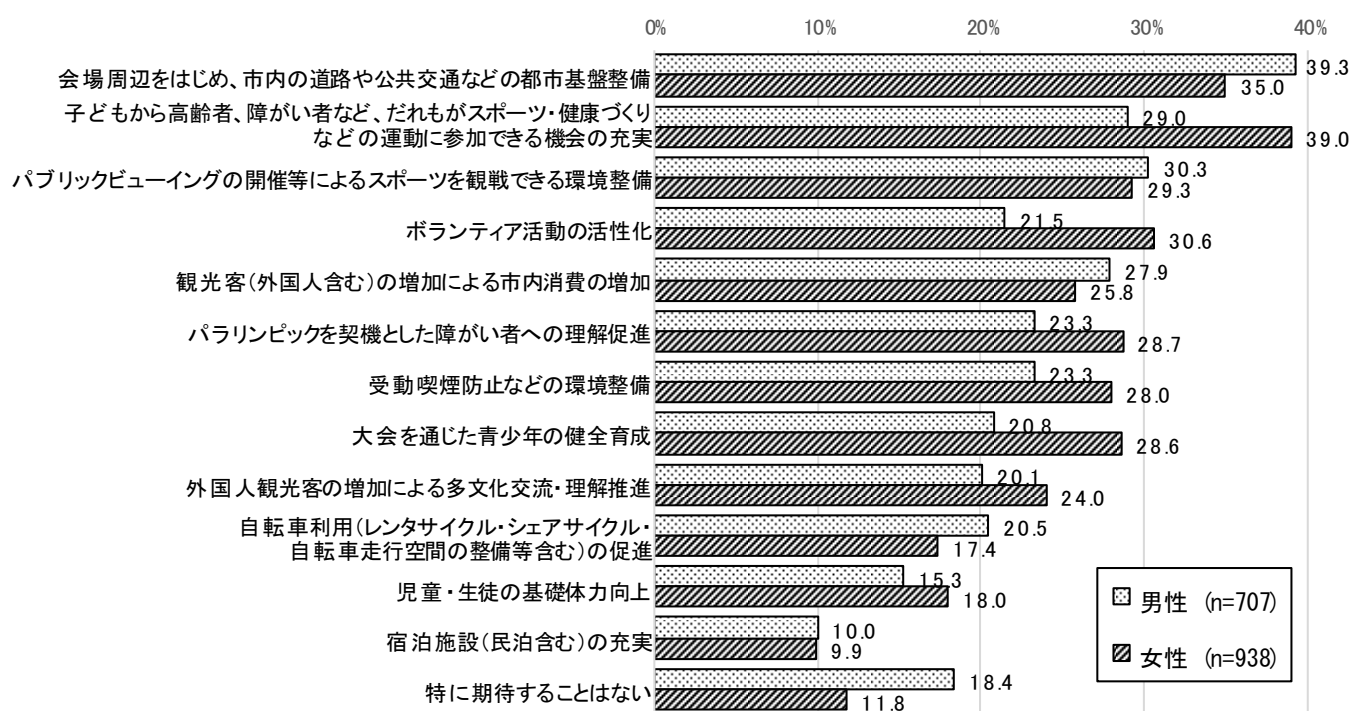
「危機管理・治安維持/防犯意識・設備の向上」、「子どもたちの競技会への観戦」、「生活のマナーやルールの啓蒙」、「グランド・スポーツ施設の整備・充実」、「商業施設の誘致」、「外国人への倫理道德等の啓蒙」、「三鷹市のアピール」など

### ①性・年齢別

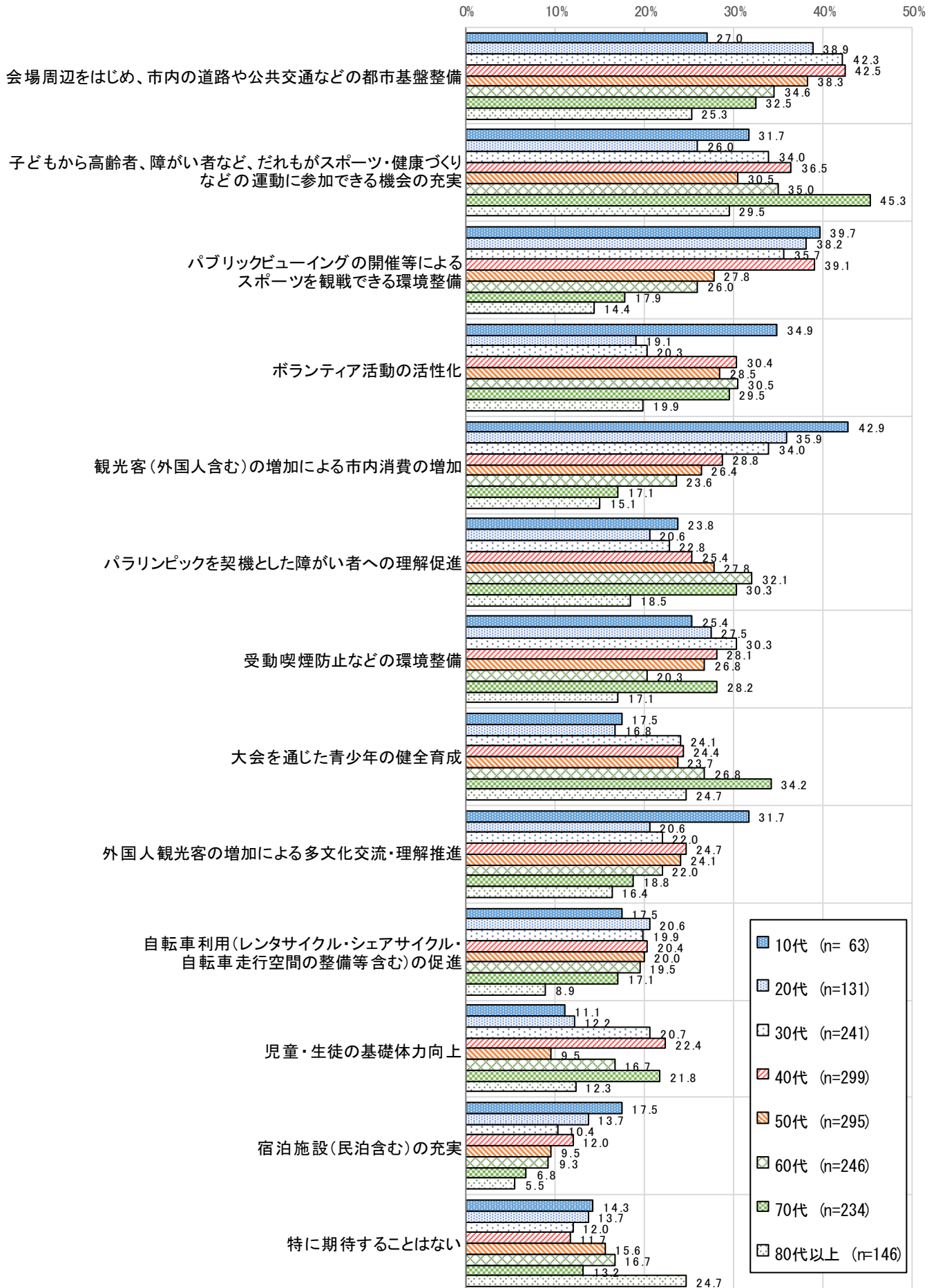
性別で見ると、男性は「都市基盤整備」(39.3%)が最も高く、次いで「スポーツを観戦できる環境整備」(30.3%)が高い。女性は「だれもがスポーツ・健康づくりなどの運動に参加できる機会の充実」(39.0%)が最も高く、次いで「都市基盤整備」(35.0%)が高い。

年齢別で見ると、「だれもがスポーツ・健康づくりなどの運動に参加できる機会の充実」は70代が45.3%で最も高い。「スポーツを観戦できる環境整備」は40代以下の年代で高い。「観光客(外国人含む)の増加による市内消費の増加」は10代が42.9%で最も高く、年代が上がるにつれ割合は下がる傾向にある。

図IV-15-1-2 両大会の三鷹市への期待できる効果(性別)



図IV-15-1-3 両大会の三鷹市への期待できる効果(年齢別)

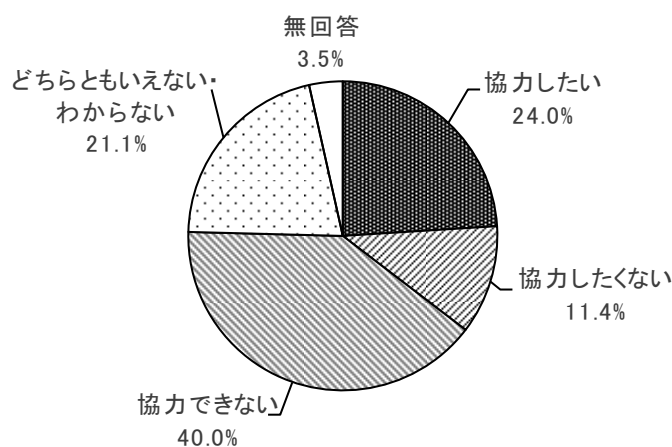


## (2) ボランティア協力意向

問 28: あなたは、両大会または両大会に係るスポーツイベントの運営に、ボランティアとして協力したいと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「協力できない」が 40.0%で最も高い。次いで、「協力したい」(24.0%)、「どちらともいえない・わからない」(21.1%)、「協力したくない」(11.4%)である。

図IV-15-2-1 ボランティア協力意向 (n=1,667)



### 【どちらともいえない・わからない理由】

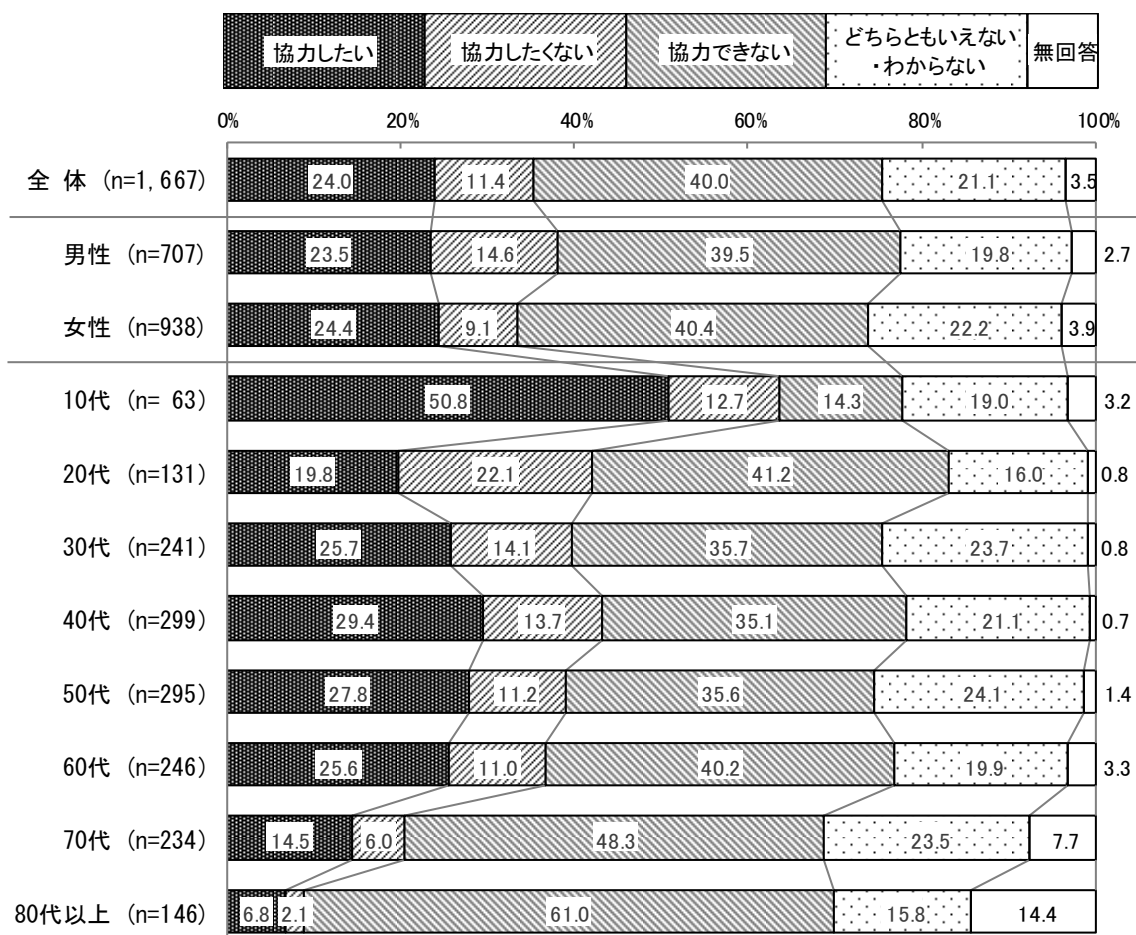
「健康・体力に不安/高齢」、「忙しいから」、「内容と日時による/時間があれば協力したい」、「具体的な内容がわからない/情報がない」、「その時の状況による」、「時間があるかわからない」、「子どもがまだ小さい」、「興味がない」、「転居予定」など

① 性・年齢別

性別で見ると、「協力したくない」は男性(14.6%)の方が女性(9.1%)より高い。

年齢別で見ると、10代は「協力したい」が50.8%を占め、他の年代より高い。「協力したくない」と「協力できない」の合計は、20代と80代以上で6割を超えている。

図IV-15-2-2 ボランティア協力意向(性・年齢別)

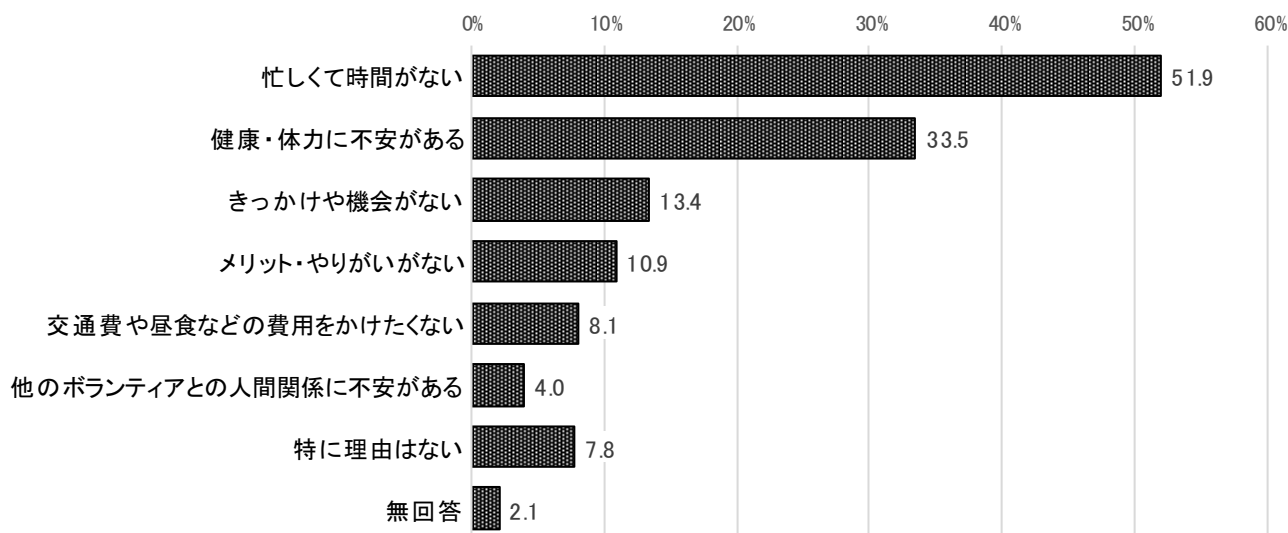


### (3) ボランティアに協力したくない、できない理由

問 28-1:あなたが「協力したくない」または「協力できない」と思うのは、どのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問 28 で「協力したくない」「協力できない」と回答した方対象]

「忙しくて時間がない」が 51.9%で最も高い。次いで「健康・体力に不安がある」(33.5%)が高い。

図IV-15-3-1 ボランティアに協力したくない、できない理由 (n=856)

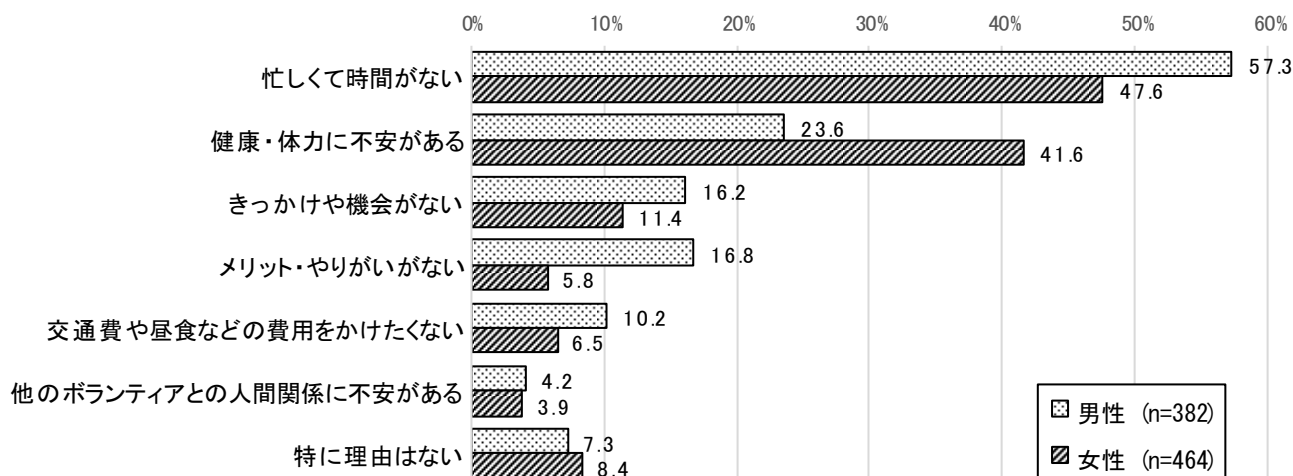


#### ①性・年齢別

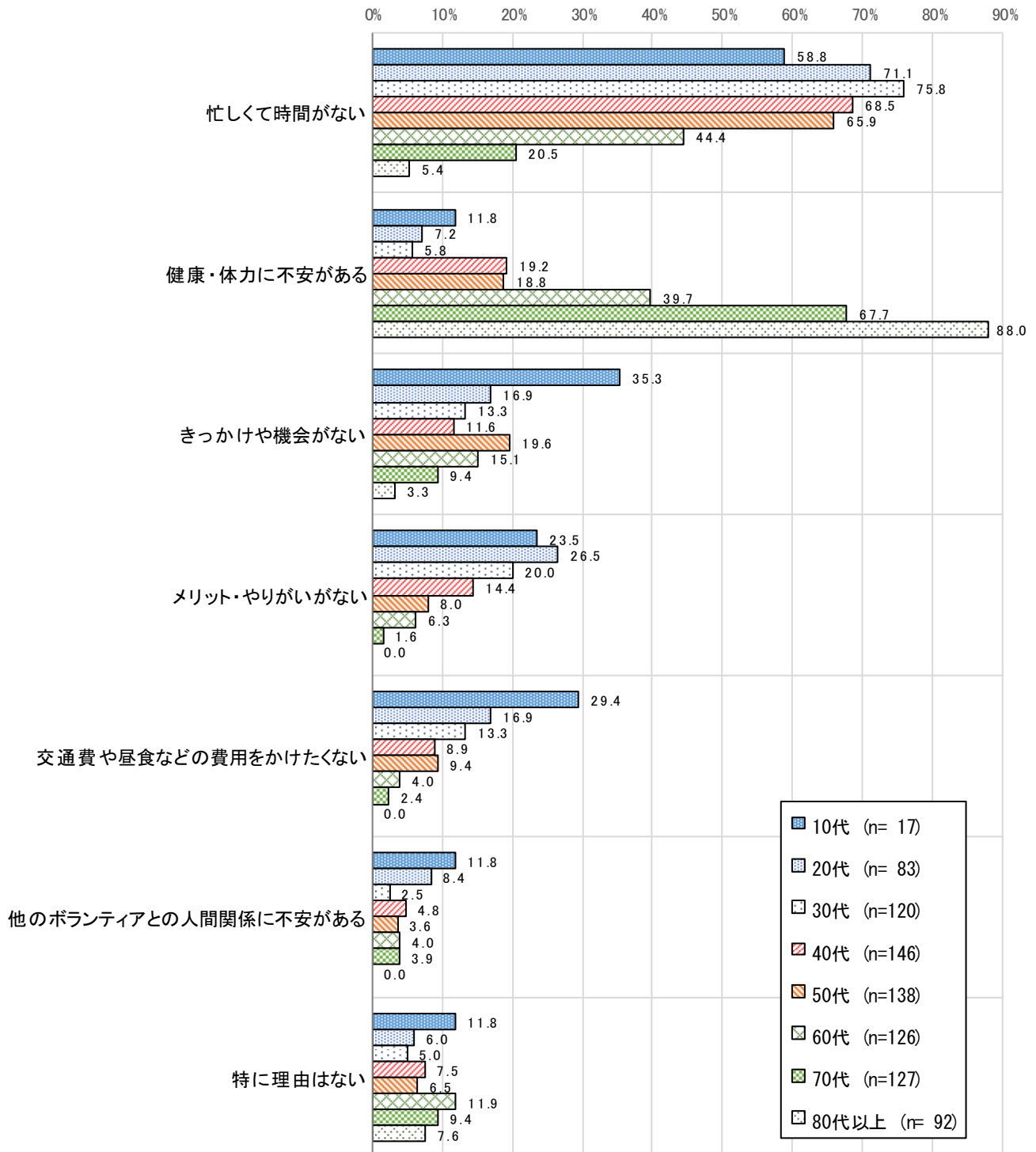
性別でみると、「忙しくて時間がない」は男性(57.3%)の方が女性(47.6%)より高く、「健康・体力に不安がある」は男性(23.6%)より女性(41.6%)の方が高い。「メリット・やりがいがない」も男女差(男性16.8%、女性5.8%)が大きい。

年齢別でみると、回答数の少ない10代を除くと、「忙しくて時間がない」は20～50代で6割を超える。「健康・体力に不安がある」は60代以上から年代が上がるにつれ高くなる傾向にある。

図IV-15-3-2 ボランティアに協力したくない、できない理由(性別)



図IV-15-3-3 ボランティアに協力したくない、できない理由(年齢別)





資 料 編

調 査 票



「第4次三鷹市基本計画第2次改定等に向けた市民満足度・意向調査」  
三鷹市の施策に対するご意見をお聞かせください

このたびは、突然のお願いで失礼いたします。現在、三鷹市では、平成31年度に予定している第4次基本計画第2次改定に向けた準備として、これまでの施策の達成状況の確認とともに新たな政策課題に関する検討を進めています。

このため、現在取り組んでいるさまざまな課題やまちづくりの進め方について、広く市民の皆様のご意見をうかがい、基本計画の第2次改定に反映するとともに、今後のより良い行政サービスの提供に向けた仕組みづくりを検討するため、アンケート調査を実施いたします。

調査の実施にあたりましては、市内にお住まいの満15歳以上の方から、住民基本台帳をもとに無作為に3,500名を選ばせていただきました。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、広く市民の皆様のご意見を反映した市政運営のため、どうぞ最後の質問まで、もれなくご回答いただき、貴重なご意見をおよせいただきますように、心からお願い申し上げます。

平成30年6月

三鷹市長 清原慶子

※この調査は無記名形式で行い、ご回答いただいたアンケート調査票から個人が特定されることはありません。また、結果はすべて統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。調査結果は、この調査の目的以外に使用することはありません。

※本調査の集計等は株式会社アダムスコミュニケーションに委託して行いますが、上記の点について順守する契約をかわしています。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご回答済の調査票は、同封の返信用封筒に封入のうえ、

6月21日（木） までにご投函ください。

\*本アンケート調査に関してご質問・ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

三鷹市役所 企画部企画経営課 企画調整係

〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号

【電話】 0422-45-1151（代表）内線2114

【FAX】 0422-48-1419

【E-mail】 kikaku@city.mitaka.tokyo.jp

## I はじめに、あなたご自身についてうかがいます。

以下の項目についてあてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。(F3(2)を除く)

F1 性別	1. 男性      2. 女性
F2 年齢	1. 15～17歳    2. 18・19歳    3. 20代      4. 30代      5. 40代 6. 50代      7. 60代      8. 70代      9. 80代以上
F3 世帯の構成	F3(1)あなたには同居している家族がいますか。
	1. 同居している家族がいる →F3(2)にお答え下さい 2. 同居している家族はいない →F4へ
	F3(2)同居しているご家族のうち、あてはまる方についてすべて選び○をつけてください。(あなたご自身は除きます)また、いずれにも該当しない場合は「4」に○をつけてください。
	1. 6歳未満の乳幼児    2. 小・中学生      3. 65歳以上の方 4. いずれにも該当しない
F4 ご職業	1. 会社員    2. 専業主婦・主夫      3. 公務員      4. 学生      5. 自営・自由業 6. 無職      7. パート・アルバイト    8. その他(具体的に:      )
F5 居住地区	1. 井の頭    2. 牟礼      3. 北野      4. 新川      5. 中原      6. 井口 7. 上連雀    8. 下連雀    9. 野崎      10. 大沢      11. 深大寺
F6 丁目	1. 一丁目    2. 二丁目    3. 三丁目    4. 四丁目    5. 五丁目    6. 六丁目 7. 七丁目    8. 八丁目    9. 九丁目
F7 三鷹市にお住まいの年数	1. 3年未満      2. 3年以上5年未満      3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満    5. 20年以上30年未満    6. 30年以上
F8 ご自宅や職場等でのインターネット・メールのご使用状況	1. よく使っている      2. ときどき使っている      3. 使っていない

## 市政全般に関する質問

### II 三鷹市での今後の定住意向についてうかがいます。

問1: あなたは三鷹市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. これからも住み続けたい	}	問1-1にお答えください
2. 当分は住みたい		
3. あまり住みたくない(機会があれば転出したい)	}	問1-2にお答えください
4. すぐにでも転出したい		
5. わからない	→	問2にお進みください

問1-1: 問1で「1. これからも住み続けたい」「2. 当分は住みたい」と回答した方にうかがいます。三鷹市に住み続けたいと思う理由について、あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 住環境が良い	2. 交通の便が良い	3. 自然環境が良い
4. 教育環境が良い	5. 文化的な環境が良い	6. 買い物などに便利
7. 公共施設が充実している	8. 近隣の間人間関係が良好である	9. 長年住んでいて愛着がある
10. 持ち家がある	11. その他(具体的に:      )	

問1-2: 問1で「3. あまり住みたくない」「4. すぐにでも転出したい」と回答した方にうかがいます。三鷹市に住み続けたくない理由について、あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- |                      |                  |             |
|----------------------|------------------|-------------|
| 1. 住環境が悪い            | 2. 交通の便が悪い       | 3. 自然環境が悪い  |
| 4. 教育環境が悪い           | 5. 文化的な環境が悪い     | 6. 買い物などに不便 |
| 7. 公共施設が利用しにくい       | 8. 近隣の人間関係が良好でない | 9. 住宅のつごうで  |
| 10. その他（具体的に： _____） |                  |             |

### III お住まいの地域におけるご近所づきあいや地域活動についてうかがいます。

問2: あなたは日頃、近所の方との程度おつきあいをされていますか。最もあてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                          |
|--------------------------|
| 1. ほとんどつきあいはない           |
| 2. 会えばあいさつする程度           |
| 3. 会えば立ち話をする程度           |
| 4. ときどき電話をしたり、連絡を取り合っている |
| 5. 互いの家にあがり、話や食事をする      |

問3: あなたは、お住まいの地域とのつながりやご近所づきあいに満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                    |                   |              |
|--------------------|-------------------|--------------|
| 1. 満足している          | 2. どちらかといえば満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば満足していない | 5. 満足していない        |              |

問4: あなたが日常生活で手助けをしてもらったり、相談するのは誰ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 家族・親戚            | 2. 近隣に住む友人・知人   |
| 3. 友人・知人（近隣以外）      | 4. 町会・自治会       |
| 5. 民生・児童委員          | 6. 行政や民間の専門相談窓口 |
| 7. その他（具体的に： _____） | 8. 誰もいない        |
| 9. 必要がないからいない       |                 |

問5: 今後、住民同士が共に支えあう地域社会を生み出すために、三鷹市が推進すべき取り組みはどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 地域の居場所づくりや相談などを行う地域ケアネットワーク事業の推進 |
| 2. 孤立死などを防ぐ見守りネットワーク事業の推進           |
| 3. 地域で子どもを育てるコミュニティ・スクールの充実         |
| 4. 地域活動の担い手の育成                      |
| 5. 町会・自治会等の活動支援                     |
| 6. 自主的な防災・防犯活動の支援                   |
| 7. 住民による地域の緑化活動の推進                  |
| 8. 外国籍市民等との交流                       |
| 9. その他（具体的に： _____）                 |
| 10. 特になし                            |

問6: あなたはお住まいの地域で何かしらの活動を行っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                             |   |                   |
|-----------------------------|---|-------------------|
| 1. 活動している                   | → | 問6-1にお答えください      |
| 2. 今は活動していないが、今後活動したいと考えている | → | 問6-1、問6-2にお答えください |
| 3. 活動していない                  | → | 問6-2にお答えください      |

問6-1: 問6で「1. 活動している」「2. 今は活動していないが、今後活動したいと考えている」と回答した方にうかがいます。「1. 活動している」と回答した方は現在行っている活動、「2. 今は活動していないが、今後活動したいと考えている」と回答した方は今後行いたいと考えている活動について、あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動       |
| 2. 自分が指導者としてスポーツやレクリエーションなどを教える活動          |
| 3. 子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動      |
| 4. 防災訓練や防災イベントを実施するなどの災害への備えを啓発する防災活動      |
| 5. 歩道脇や公園など地域内の草木や花壇の管理をする緑化推進活動           |
| 6. 資源ごみの集団回収や、道路、河川などを清掃する環境保全活動           |
| 7. 地域ケアネットワークなど地域の支え合いを推進する地域福祉活動          |
| 8. 高齢者を対象としたサロンや健康教室を開くなどの高齢者福祉活動          |
| 9. 手話通訳や移動の補助など障がい者（児）福祉活動                 |
| 10. 絵本の読み聞かせや子育て中の悩み相談を受けるなどの子ども・子育て家庭支援活動 |
| 11. 学校の授業補助や児童・青少年の居場所づくりなどの教育・青少年育成活動     |
| 12. 町会・自治会や住民協議会の行事の運営に参加するなどの地域コミュニティ活動   |
| 13. その他（具体的に： _____）                       |
| 14. わからない                                  |

問6-2: 問6で「2. 今は活動していないが、今後活動したいと考えている」「3. 活動していない」と回答した方にうかがいます。あなたが今後、様々な地域の活動に参加する場合、どのような条件が必要となりますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 活動に関する情報提供の充実             |
| 2. 誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気      |
| 3. 仕事をしながらでも参加しやすい曜日や時間帯への配慮 |
| 4. 仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担       |
| 5. その他（具体的に： _____）          |
| 6. 特に必要な条件はない                |

#### IV 市政に対する満足度と、今後の取り組みの重要性についてうかがいます。

問7: 三鷹市では、第4次三鷹市基本計画(第1次改定)(平成27年3月改定)で、市政の重点課題として9つのプロジェクトを設定し、取り組みを進めてきました。これまで3年間の取り組みに対する評価(満足度)と引き続き重点的に取り組む必要性(重要度)について、記入例を参考に、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。なお、わからない場合には、空欄にしてください。

(次ページに続きます)

(問7 続き)

(記入例)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要では ない
5	4	3	2	1	3	2	1

プロジェクト名称／概要／3年間の主な取り組み	
1. 成熟した都市の質的向上を目指す、都市再生プロジェクト	
概要	既存の社会資本を有効に使いつつ、環境と調和を図りながら、ハード・ソフト両面における「都市の質的向上」を図ること、命と暮らしを守るまちづくりをめざします。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化により耐震性に課題がある公共施設を集約し、三鷹中央防災公園・元気創造プラザを開設(平成 29 年4月)</li> <li>・老朽化した第二分庁舎を建替え、上連雀分庁舎を開設(平成 28 年9月)</li> <li>・市立小・中学校、市立保育園、コミュニティ・センターの耐震化率 100%を達成</li> <li>・市庁舎・議場棟等の建替えに向けた取り組みを推進</li> </ul>

(概要と3年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A:満足度					回答欄B:重要度		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要では ない
5	4	3	2	1	3	2	1

2. ともに支えあう地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	
概要	高齢者、子育て世代、障がい者等、すべての市民が地域において健康で心ゆたかに生活を営めるような、ともに支えあう地域社会をめざします。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7つのコミュニティ・センターを地域の活動拠点とした施策を展開</li> <li>・保護者や地域の住民が学校運営に参加する「コミュニティ・スクール」を基盤とした小・中一貫教育の推進</li> <li>・地域でのつながりや支え合いの輪を広げる地域ケアネットワーク事業を市内の全7地域で推進</li> <li>・災害時に支援が必要な方の名簿を活用した、避難支援の仕組みづくりを推進</li> </ul>

(概要と3年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A:満足度					回答欄B:重要度		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要では ない
5	4	3	2	1	3	2	1

3. すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト	
概要	市民の命と暮らしを守り、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりをめざします。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪の抑止と地域の安全確保のため、通学路などに防犯カメラを設置</li> <li>・防災出前講座、防災訓練の実施等による市民の自助と地域の共助による防災力の強化</li> <li>・振り込め詐欺の被害を減らすため「電話撃退体験談の作成」や「自動通話録音機の無償貸与」を実施</li> <li>・集中豪雨による水害対策として、雨水管等の整備を実施。また、中仙川の改修工事に着手</li> </ul>

(概要と3年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A:満足度					回答欄B:重要度		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要では ない
5	4	3	2	1	3	2	1

(次ページに続きます)

(問7 続き)

(記入例)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要では ない
5	4	3	2	1	3	2	1

(概要と3年間の主な取  
組みの内容をご覧頂き、  
お答え下さい)

回答欄A: 満足度					回答欄B: 重要度			
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要では ない	重要では ない
5	4	3	2	1	3	2	1	

(概要と3年間の主な取  
組みの内容をご覧頂き、  
お答え下さい)

回答欄A: 満足度					回答欄B: 重要度			
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要では ない	重要では ない
5	4	3	2	1	3	2	1	

(概要と3年間の主な取  
組みの内容をご覧頂き、  
お答え下さい)

回答欄A: 満足度					回答欄B: 重要度			
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要では ない	重要では ない
5	4	3	2	1	3	2	1	

プロジェクト名称／概要／3年間の主な取り組み	
<b>4. いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト</b>	
概要	まちの未来を担う子どもたちが健やかに育つまち、子どもを育む力のある地域社会の実現をめざします。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気創造プラザ内に「子ども発達支援センター」を開設するとともに、すべての妊婦を対象に保健師などが面接する「ゆりかご面接」を実施</li> <li>・在宅で子育て中の家庭を支援するため、「子どもひろば」や「一時預かり施設」の運営を支援</li> <li>・保育園の待機児童解消に向け、私立認可保育園の開設支援等を実施し、保育定員を拡充</li> <li>・子ども一人ひとりの状況にあった学校環境の充実や、学習環境の確保</li> </ul>

5. いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト	
概要	保健・医療・福祉の連携、スポーツ施設を活用した施策展開により、いつまでも元気に暮らせる健康長寿社会の実現をめざします。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と介護の両方が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生活を続けられるよう在宅医療・介護連携協議会を設置</li> <li>・医療や介護サービスなどをまとめた「認知症ガイドブック」を作成するなど、「認知症にやさしいまち三鷹」を推進</li> <li>・健康診査の受診率向上に向けた取り組みを推進</li> <li>・がん検診の拡充</li> <li>・高齢者と地域支援者等をつなぐ「生活支援コーディネーター」の全市展開</li> </ul>

6. 市民の命、暮らしを守り、セーフティーネットプロジェクト	
概要	国の社会保障制度を踏まえつつ、市民に最も身近な政府として、市民の暮らしを守るセーフティーネットの構築をめざします。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護に至る前の段階の自立に向け、相談や学習支援など「生活困窮者自立支援事業」を実施</li> <li>・障がい者差別解消のために、全市職員に研修を実施及び市役所窓口到手話通訳者や筆談ボードを配置</li> <li>・生命に関する緊急事態に対応するための、安心見守り電話(24時間受付)など「見守りネットワーク事業」の推進</li> </ul>

(次ページに続きます)



(問7 続き)

(記入例)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)			
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	ない	重要では
5	4	3	2	1	3	2	1	

プロジェクト名称／概要／3年間の主な取り組み	
7. 持続可能な都市環境をめざす、サステナブルプロジェクト	
概要	「環境問題」のほか、「経済の活性化」「社会問題の解決」など3つの要素について、「統合的」に包含して、持続可能な都市、即ち「サステナブル都市」の実現をめざします。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみを焼却した際に発生する熱や電力を三鷹中央防災公園・元気創造プラザで活用</li> <li>・市内街路灯(デザイン灯等除く)のLED化率100%</li> <li>・ごみ分別アプリの配信開始</li> <li>・小中学校校庭の芝生化を推進</li> </ul>

(概要と3年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 満足度					回答欄B: 重要度			
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	ない	重要では
5	4	3	2	1	3	2	1	

8. まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	
概要	産業や人財、知恵や情報など、三鷹のまちにある貴重な、あらゆる資源を活用して、地域の活性化を図ることをめざします。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井の頭コミュニティ・センター図書室を市立図書館と同様の機能を持った地域の図書室として連携を開始</li> <li>・天文台のあるまち三鷹として、三鷹中央通り沿いに「天文・科学情報スペース」を開設し、幅広い情報を発信</li> <li>・ライフ・ワーク・バランスの実現に向け、市内企業の働き方改革を支援(働き方改革支援者の企業への派遣、コミュニティバスのラッピングによる啓発など)</li> <li>・外国人観光を促進するため、市内案内標識や一時避難場所案内図等の多言語化を推進</li> </ul>

(概要と3年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 満足度					回答欄B: 重要度			
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	ない	重要では
5	4	3	2	1	3	2	1	

9. 誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	
概要	環境にやさしく、誰もが安全で安心して快適に移動できる都市の交通環境を整備します。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車交通マナー向上のために自転車講習会を実施。また、自転車走行指導帯を整備</li> <li>・三鷹駅南口周辺駐輪場の効率的な活用に向けたサイクルシェア実証実験の実施</li> <li>・西部ルートと三鷹台ルートの統合など、コミュニティバス運行ルートの見直し</li> <li>・市道第135号線(三鷹台駅前通り)、都市計画道路3・4・13号(牟礼)、3・4・7号(連雀通り)の整備の促進</li> </ul>

(概要と3年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 満足度					回答欄B: 重要度			
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	ない	重要では
5	4	3	2	1	3	2	1	

## V 市政に対する総合的な満足度、行政機関としての信頼度についてうかがいます。

問8： 三鷹市政について、総合的にどの程度満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 満足している      2. まあ満足している      3. やや不満      4. 不満

問8-1： そのように思う理由をご記入ください。

問8の理由：

問9： 三鷹市役所は行政機関としてどの程度信頼できますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 信頼できる      2. まあ信頼できる      3. あまり信頼できない      4. 信頼できない

問10： 三鷹市役所に期待すること、ご意見・ご要望等がございましたらご記入ください。

## 個別のテーマに関する質問

## VI あなたの日頃の防災意識や行動についてうかがいます。

問11： あなたは日頃からどのような地震対策を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 自宅の家具を固定している  
2. 自宅の窓ガラスなどを割れにくい素材にしたり、フィルムシートを貼るなど飛散防止をしている  
3. 避難するときに携帯する非常用持出袋（1日分程度の食料・水・常備薬など）を用意している  
4. 発災後自宅で最低3日間は生活できるよう、食料・水の備蓄をしている  
5. 上下水道に被害があっても使える、携帯トイレや簡易トイレを用意している  
6. 家族や親せきとの安否確認方法や連絡手段を決めている  
7. 災害時に安全を確保するための避難場所（屋外のオープンスペース）を把握している  
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）  
9. 特に行ってない → **問11-1にお答えください**

問11-1： 問11で「9. 特に行ってない」と回答した方についてうかがいます。あなたが日頃から地震対策を行わないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 自分が災害に遭うことが想像できない      2. 忙しくて時間がない  
3. 何からどうすればいいのかわからない      4. 地震対策にお金をかけたくない  
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問 12: あなたは大地震が発生した際に、どのような方法で市からの災害情報を得ようと考えていますか。  
あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 三鷹市防災行政無線（屋外拡声器）
2. 三鷹市安全安心メール
3. 三鷹市公式ツイッター
4. 携帯会社の災害情報通知（エリアメールなど）
5. ラジオ（むさしのFM）
6. 三鷹市ホームページ
7. 町会・自治会等の回覧や貼紙
8. 広報車
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
10. 特に考えていない

### VII あなたの交通安全に対する意識についてうかがいます。

問 13: あなたは安全に自転車に乗るために、普段からどのような対策を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 左側通行・一時停止など交通ルールを順守している
2. 飲酒をしたら絶対に自転車に乗らない
3. 自転車保険に加入している
4. 自転車安全講習会に参加している（過去1年間で参加したことがある）
5. 夜間走行時に光を反射するグッズや衣服を着用している
6. ヘルメットやプロテクターを着用している
7. 定期的な自転車の点検・整備をしている
8. 特に対策をしていない
9. 自転車に乗らない又はわからない

### VIII あなたの生活圏での買物環境に対する意識についてうかがいます。

問 14: あなたが普段食料品や日用品などの買物をする際、困っていると感じることはありますか。  
あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                    |   |                |
|--------------------|---|----------------|
| 1. 困っていると感じている     | → | 問 14-1にお答えください |
| 2. 特に困っているとは感じていない | → | 問 15にお進みください   |

問 14-1: 問 14で「1. 困っていると感じている」と回答した方にうかがいます。あなたが買物困難と感じるのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 近くに店が少ないから      | 2. 長く歩けないから      |
| 3. 坂が多いから          | 4. 重い荷物を持ってないから  |
| 5. 外出できないから        | 6. 買物を頼める人がいないから |
| 7. 自転車が使えないから      | 8. 自動車が使えないから    |
| 9. その他（具体的に _____） |                  |

## IX あなたの環境に対する意識や行動についてうかがいます。

問 15: あなたは日頃からどのような環境に配慮した取り組みを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. エアコンの温度設定を夏は 28℃、冬は 20℃に調整している
2. 外出や通勤・通学時には、自転車や徒歩での移動を心がけている
3. 油のついた食器などは、拭き取ってから洗っている
4. 家電を買い替えるときは、省エネ性能の高いものを選んでいる
5. エコバッグを活用し、レジ袋はもらわないようにしている
6. シャンプーや調味料などは詰替え商品を購入し、容器を再利用している
7. 食品トレーや紙パックなどの店頭回収を利用している
8. 食べ残しや消費期限切れなどによるごみ（フードロス）を出さないようにしている
9. 生ごみはコンポストや生ごみ処理機で減量化している
10. 自宅でエアコンを使わないよう、図書館などに行き、クール・ウォームシェアをしている
11. 自宅に太陽光発電設備や高効率なガス給湯器などを設置している
12. 地域の環境活動（資源ごみ集団回収、清掃活動、花いっぱい運動など）に参加している
13. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
14. 特に行っていない

## X あなたのライフ・ワーク・バランスについてうかがいます。

問16: あなたは、「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」という言葉を見聞きしたことがありますか。  
あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない
3. 言葉も内容も知らない

問17: 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味等)の優先度についてうかがいます。「①理想の生活」「②実際の生活」でそれぞれあてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

	仕事 を優先	家庭生活 を優先	地域・個人の生活 を優先	仕事と家庭生活 をともに優先	仕事と地域・個人の生活 をともに優先	家庭生活と地域・個人の生活 をともに優先	仕事と家庭生活と地域・個人の生活 をともに優先
①理想の生活	1	2	3	4	5	6	7
②実際の生活	1	2	3	4	5	6	7

## XI 男女平等に関するあなたのお考えについてうかがいます。

問 18: あなたは、次にあげる7つの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目であてはまるもの1つを選び、番号に○印をつけてください。

	女性の方が 優遇されて いる	女性の方が やや優遇さ れている	平等になっ ている	男性の方が やや優遇さ れている	男性の方が 優遇されて いる	わから ない
(ア)家庭の中で	1	2	3	4	5	6
(イ)職場の中で	1	2	3	4	5	6
(ウ)学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
(エ)社会生活の場で	1	2	3	4	5	6
(オ)政治の場で	1	2	3	4	5	6
(カ)法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(キ)社会全体で	1	2	3	4	5	6

## XII あなたの子育て支援施策に対する意識についてうかがいます。

問 19: 子育て支援や少子化対策を進めるうえで、今後、三鷹市に充実してほしい施策はありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. ある	→	問 19-1 にお答えください
2. 特にない	}	問 20 にお進みください
3. わからない		

問 19-1: 問 19 で「1. ある」と回答した方にうかがいます。今後、充実してほしい施策はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 妊婦健診や出産費用、不妊治療などの妊産婦への経済的支援	
2. 子育てに関する相談体制の強化	
3. 子どもの医療費助成	
4. 親子ひろばや一時預かりの充実	
5. 保育園、学童保育所の待機児童解消	
6. 子育てと仕事の両立ができる職場づくり	
7. 小・中一貫教育の充実	
8. 奨学金制度などの経済的支援	
9. 公園などの親子で遊べる場所の拡充	
10. その他（具体的に： _____）	

## XIII あなたの健康に対する意識や行動についてうかがいます。

問 20: あなたはご自身の健康管理のために、年に1回は健康診断を受けていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 受けている	→	問 20-1 にお答えください
2. 受けていない	→	問 20-2 にお答えください

問 20-1: 問 20 で「1. 受けている」と回答した方にうかがいます。どこで健康診断を受診していますか。  
あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 勤務先・通学先の健康診査で
2. 自主的に申し込んだ健康診査（人間ドックなど）で
3. 市が実施する健康診査（特定健康診査など）で
4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問 20-2: 問 20 で「2. 受けていない」と回答した方にうかがいます。あなたが健康診断を受けないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 心身ともに健康に自信があるから
2. 受ける時間がないから
3. 現在治療中だから
4. 経済的な理由から
5. どうすれば受けられるかわからないから
6. 受けることに不安があるから
7. 心身の調子が悪くなったら受ければよいと思うから
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
9. 特に理由はない

#### XIV あなたのスポーツに対する意識や活動についてうかがいます。

問 21: あなたは、この1年間でスポーツをどのくらい行っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※「スポーツ」には、サッカー、野球等の競技スポーツだけでなく、健康・体力の保持増進を目的としたウォーキング、散歩（犬の散歩等を含む）、体操、ヨガ、太極拳等の軽い運動や野外活動としてのハイキングや登山、スキーなどを含みます。

- |  |   |                 |
|--|---|-----------------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎日</li> <li>2. 週3日以上</li> <li>3. 週に2日</li> <li>4. 週に1日</li> <li>5. 1か月に1～3日</li> <li>6. 3か月に1～2日</li> <li>7. 年に1～3日</li> <li>8. 1回も行っていない</li> </ol> | } | 問 22 にお進みください   |
| <p style="text-align: right;">→</p>  |   | 問 21-1 にお答えください |

問 21-1: 問 21 で「8. 1回も行っていない」と回答した方にうかがいます。あなたがスポーツを行わないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 忙しくて時間がない</li> <li>3. 仲間がない</li> <li>5. 費用をかけたくない</li> <li>7. 必要な情報がない</li> <li>9. 特に理由はない</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 健康に不安がある</li> <li>4. きっかけがない</li> <li>6. 場所や施設がない</li> <li>8. その他（具体的に： _____ )</li> </ol> |
|---|--|

**XV あなたの芸術・文化や生涯学習(スポーツを除く)に対する意識や活動についてうかがいます。**

問 22: あなたは、市内外を問わずこの1年間で、芸術・文化を鑑賞・体験しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンサートホールやライブ会場での音楽鑑賞</li> <li>2. 美術館での絵画鑑賞</li> <li>3. 劇場などでの演劇鑑賞</li> <li>4. 劇場などでの舞踊(ダンス)鑑賞</li> <li>5. 文学(文学者)展示の鑑賞</li> <li>6. 能や歌舞伎などの伝統芸能鑑賞</li> <li>7. 自宅以外でのメディア芸術鑑賞・体験 (アニメーション作品、プロジェクションマッピングなど)</li> <li>8. 映画館での映画鑑賞</li> <li>9. 歴史的な建物、遺跡、文化財の見学</li> <li>10. その他(具体的に: )</li> <li>11. この1年間の間で一度も鑑賞・体験をしていない</li> </ol>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">問 22-1 に お答えください</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto;">問 23 にお進みください</div>	

問 22-1: 問 22 で「1～10(何かしらの芸術・文化を鑑賞・体験した)」と回答した方にうかがいます。お答えいただいた鑑賞・体験はどのくらいの頻度で行いましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。(複数回答いただいた方は、すべて合わせた頻度をお答えください)

1. 週3日以上	2. 週に2日	3. 週に1日
4. 1か月に1～3日	5. 3か月に1～2日	6. 年に1～3日

問 23: あなたは、この1年間で何らかの生涯学習活動(スポーツを除く)をどのくらいの頻度で行いましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※「生涯学習」とは、人が生涯を通じて、各時期の興味や必要に応じて、自分の成長や生活の向上、社会のために自ら進んで行うさまざまな学習のことです。ボランティアや趣味の活動も含まれます。

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週3日以上</li> <li>2. 週に2日</li> <li>3. 週に1日</li> <li>4. 1か月に1～3日</li> <li>5. 3か月に1～2日</li> <li>6. 年に1～3日</li> <li>7. 1回も行っていない</li> </ol>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">問 23-1 に お答えください</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto;">問 23-2 にお答えください</div>	

問 23-1: 問 23 で「1～6(年1回は生涯学習活動を行った)」と回答した方にうかがいます。あなたは生涯学習(スポーツを除く)を通じて身に付けた知識・技能をまちづくりや仲間づくりなど自分以外のために活かしていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 活かしている	2. 活かしていない
-----------	------------

問 23-2: 問 23 で「7. 1 回も行っていない」と回答した方にうかがいます。あなたが生涯学習活動(スポーツを除く)を行わないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1. 忙しくて時間がない | 2. 健康に不安がある         |
| 3. 仲間がいない    | 4. きっかけがない          |
| 5. 費用をかけたくない | 6. 場所や施設がない         |
| 7. 必要な情報がない  | 8. その他(具体的に: _____) |
| 9. 特に理由はない   |                     |

問 24: 今後あなたが行いたい生涯学習活動の内容はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 趣味的なもの(音楽、美術、書道、華道、舞踊、園芸など)         |
| 2. 教養的なもの(歴史、文学、哲学など)                  |
| 3. まちづくりに関すること(環境問題、社会問題など)            |
| 4. 健康法など(健康管理、栄養、医療など)                 |
| 5. 家庭生活に役立つ技術など(料理、洋裁など)               |
| 6. 育児や教育に関すること                         |
| 7. 語学(英語、中国語、ハングルなど)                   |
| 8. 読書・図書館活動                            |
| 9. パソコンの操作やインターネットの活用に関すること            |
| 10. 仕事に役立つ知識・技能・資格の習得など                |
| 11. 地域の伝統文化・郷土史などに関すること                |
| 12. 国際交流、異文化交流に関すること                   |
| 13. ボランティア活動やそのために必要な知識・技術(手話、点訳、介護など) |
| 14. その他(具体的に: _____)                   |
| 15. 特になし                               |

問 25: あなたは、この1年間で三鷹市立図書館をどのくらいの頻度で利用しましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※三鷹市立図書館は、図書館本館、三鷹駅前図書館、東部図書館、西部図書館、南部図書館、移動図書館ひまわり号、井の頭コミュニティ・センター図書室(連携館)のことをいいます。

- |                                 |                 |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 週3日以上                        | } 問 26 にお進みください |
| 2. 週に2日                         |                 |
| 3. 週に1日                         |                 |
| 4. 1か月に1~3日                     | } 問 26 にお進みください |
| 5. 3か月に1~2日                     |                 |
| 6. 年に1~3日                       |                 |
| 7. 1回も利用していない → 問 25-1 にお答えください |                 |



問 25-1: 問 25 で「7(1回も利用していない)」と回答した方にうかがいます。あなたが三鷹市立図書館を利用しないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 図書館サービスの拠点が近くにないため利用できない
2. 利用したい時間に開館していない
3. 読みたい本・雑誌が図書館に揃っていない
4. 読みたい本・雑誌などは自分で購入する
5. 情報収集はインターネットで行う
6. 電子書籍を読んでいる
7. 育児・介護・病気・障がいなどのため外出しにくい
8. 本・雑誌などは読まない
9. 他に利用している図書館がある
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問 26: あなたが「三鷹市立図書館で充実する必要がある」と考える図書館サービスはどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 閲覧席などの施設整備
2. 蔵書構成・蔵書冊数の充実
3. 開館時間の拡充
4. 開館日の増加
5. 読書相談や調べものの支援
6. 世代・年代別サービス
7. 児童向けイベントや交流イベントの開催
8. 講演会や講座の開催
9. 図書館サポーター活動などの支援・連携
10. 広報やホームページなどによる情報発信
11. 特になし

**XVI 「東京 2020 大会、ラグビーワールドカップ 2019」についてうかがいます。**

■東京 2020 大会では、東京スタジアム(味の素スタジアム)と武蔵野の森総合スポーツプラザにおいて、複数の競技が開催される予定です。さらに、前年 2019 年度には、アジアで初のラグビーワールドカップが日本で開催され、東京スタジアム(味の素スタジアム)で開会式と開幕戦が開催される予定です。

■東京 2020 大会・ラグビーワールドカップ 2019 の概要

<b>東京 2020 オリンピック競技大会</b> 2020 年 7 月 24 日(金)～8 月 9 日(日)全 33 競技	<b>東京 2020 パラリンピック競技大会</b> 2020 年 8 月 25 日(火)～9 月 6 日(日)全 22 競技
<b>ラグビーワールドカップ 2019</b> 2019 年 9 月 20 日(金)～11 月 2 日(土)	

問 27: あなたは、両大会を通じて、三鷹市にどのような効果があることを期待しますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 子どもから高齢者、障がい者など、だれもがスポーツ・健康づくりなどの運動に参加できる機会の充実
2. パブリックビューイングの開催等によるスポーツを観戦できる環境整備
3. 観光客（外国人含む）の増加による市内消費の増加
4. ボランティア活動の活性化
5. 宿泊施設（民泊含む）の充実
6. 外国人観光客の増加による多文化交流・理解推進
7. 受動喫煙防止などの環境整備
8. 会場周辺をはじめ、市内の道路や公共交通などの都市基盤整備
9. 自転車利用（レンタサイクル・シェアサイクル・自転車走行空間の整備等含む）の促進
10. パラリンピックを契機とした障がい者への理解促進
11. 児童・生徒の基礎体力向上
12. 大会を通じた青少年の健全育成
13. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
14. 特に期待することはない

問 28: あなたは、両大会または両大会に係るスポーツイベントの運営に、ボランティアとして協力したいと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※ボランティア例:会場内の誘導、通訳・翻訳対応、物品搬送など

- |                               |   |  |
|-------------------------------|---|--|
| 1. 協力したい                      | → | <input type="checkbox"/> 終了です            |
| 2. 協力したくない                    | } | <input type="checkbox"/> 問 28-1 にお答えください |
| 3. 協力できない                     |   |  |
| 4. どちらともいえない・わからない（理由： _____） | → | <input type="checkbox"/> 終了です            |

問 28-1: 問 28 で「2.協力したくない」「3.協力できない」と回答した方にうかがいます。あなたが「協力したくない」または「協力できない」と思うのは、どのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 忙しくて時間がない
2. きっかけや機会がない
3. 健康・体力に不安がある
4. メリット・やりがいがない
5. 交通費や昼食などの費用をかけたくない
6. 他のボランティアとの人間関係に不安がある
7. 特に理由はない

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ(切手不要)、6月21日(木)までに ご投函ください。

---

第4次三鷹市基本計画第2次改定等に向けた  
市民満足度・意向調査報告書

平成 30 年 12 月発行

発行 三鷹市  
編集 三鷹市企画部企画経営課  
〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号  
電話 0422-45-1151(代表)